

HP Web Jetadmin



HP Web Jetadmin リファレンス マニュアル

著作権情報

© 2006 Copyright Hewlett-Packard Development Company, L.P.

著作権法で許可されている場合を除き、事前の許可なしに複製、翻案、または翻訳を行うことは禁止されています。

本書に記載されている情報は、断りなく変更される場合があります。

HP 製品およびサービスの唯一の保証は、当該製品およびサービスに付属の保証書に規定されています。本書に記載されている内容は一切追加保証とはなりません。HP は、本書に記載されている内容の誤りや記載漏れについて一切責任を負いません。

Edition 1, 10/2006

この文書は HP Web Jetadmin 8.1 に対応しています。

ソフトウェア著作権

2005 Copyright Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Portions Copyright 1995-1998 Jean-loup Gailly and Mark Adler.

この製品には、OpenSSL Toolkit での使用を目的として OpenSSL Project (<http://www.openssl.org>) により開発されたソフトウェアが含まれています。Copyright © 1998-2001 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Portions Copyright © The Apache Software Foundation. All Rights Reserved.

Portions Copyright © 1989, 1991, 1992 by Carnegie Mellon University.

Derivative Work - 1996, 1998-2000.

Copyright 1996, 1998-2000 The Regents of the University of California.

Portions Copyright © 2001, Networks Associates Technology, Inc. All Rights Reserved.

Portions Copyright © 2001, Cambridge Broadband Ltd. All Rights Reserved.

Portions Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.

この製品には、Apache HTTP サーバー プロジェクト用に Apache Group (<http://www.apache.org>) によって開発されたソフトウェアが含まれています。Copyright © 1999 - 2002 Tim Costello.

商標

Adobe®、Acrobat®、および Adobe Photoshop® は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Corel® は、Corel Corporation または Corel Corporation Limited の登録商標です。

Java™ は、Sun Microsystems, Inc. の米国における商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国における登録商標です。

Microsoft®、Windows®、および Windows NT® は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

表記規則

この文書では、次の規則を使用します。

太字

太字は、HP Web Jetadmin ソフトウェア内のオプション、ボタン、およびページの名前を示します。

斜体

斜体は強調するために使用します。

等幅フォント

等幅フォントは、ユーザーが入力するコマンドを示すために使用します。

青い下線付きテキスト

青い下線付きテキストは、ハイパーテキスト リンクを示すために使用します。特定のブラウザの設定によっては、これらのリンクの形式が異なる場合もあります。

ページ参照

HP Web Jetadmin マニュアルにはソフトウェア内のページへの参照が含まれています。これらの参照には、**[ナビゲーション]** 領域で展開可能なツリーを使用してそのページに移動する方法が記載されています。たとえば、**[デバイス管理]** > **[デバイス リスト]** > **[すべてのデバイス]** ページに移動するには、**[デバイス管理]** フォルダを展開し、**[デバイス リスト]** フォルダを展開して、**[すべてのデバイス]** を選択します。

注記、注意、および警告



注記 注記には、重要な情報が含まれます。



注意 従わない場合にデータが失われたり、デバイスが損傷する可能性がある手順の前に、注意メッセージが表示されます。



警告！ 警告メッセージは、特定の手順や方法に正しく従わないと、けがをしたり、データやデバイスに重大な損傷が起こる可能性のあることを読者に注意するものです。

目次

セクション 1

HP Web Jetadmin の紹介

1 HP Web Jetadmin の紹介

HP Web Jetadmin の概要	3
使いやすさ	3
拡張プリント ジョブ管理機能	3
時間の節約に関する機能	4
ネットワークへの HP Web Jetadmin の統合	5
プロトコルのサポート	5
サポートされているプラットフォーム	5
ネットワーク プリンタのサポート	5
ネットワーク周辺装置の管理のサポート	5
ブラウザのサポート	5
セキュリティ	6
ネットワーク管理者にとっての利点	8
ヘルプ デスクにとっての利点	10
一般のネットワーク ユーザーにとっての利点	11

2 ドキュメント

ドキュメントの概要	13
ブラウズ可能なヘルプ	14
コンテキスト ヘルプ	15
印刷可能なマニュアル	16

3 初めての管理者のためのセットアップ ガイド

4 HP Web Jetadmin の設計と実装

第 1 段階 目標を明確にする	21
システム依存タスクと非システム依存タスク	21
実装の目標を決める	21
ネットワーク プリンタのインストール	23
ヘルプ デスクおよびトラブルシューティング	23
企業管理	23
第 2 段階 目標を達成する方法を決める	24
手順 1: ビジネスの目標を明確にする	24
手順 2: 実装プロジェクト チームを組む	24

手順 3: ネットワーク情報を収集する	24
手順 4: プリント キュー作成のための計画を立てる	24
手順 5: プロトコルを選択する	25
IP アドレスを手動で割り当てる	25
IP アドレスを自動で割り当てる	25
手順 6: オペレーティング システムを選択する	26
手順 7: ハードウェア プラットフォームを選択する	27
手順 8: ブラウザを選択する	27
手順 9: ディスカバリ方針の決定	27
手順 10: インストールするコピー数を決める	28
HP Web Jetadmin の単一コピーのインストール	28
HP Web Jetadmin の複数コピーのインストール	28
手順 11: セキュリティ計画を立てる	28
手順 12: バックアップ計画を立てる	29
手順 13: プリンタ ドライバの管理計画を立てる	30
手順 14: デバイス グループを実装するかどうかを決める	30
手順 15: サイト マップを実装するかどうかを決める	31
第 3 段階 HP Web Jetadmin のインストール	32
第 4 段階 HP Web Jetadmin のカスタマイズ	33
第 5 段階 HP Web Jetadmin の操作	34
HP 製品情報とサポート	35

セクション 2

HP Web Jetadmin ソフトウェア

5 HP Web Jetadmin のインストール

インストールの概要	39
HP Web Jetadmin のフロント エンドとバック エンド	40
Web サーバーの構成	42
インストールの要件	43
オペレーティング システムとハードウェア	43
Novell NetWare プリント キュー サポート	43
サポートされている Web ブラウザ	43
画面解像度とカラー パレット	43
HP Web Jetadmin のダウンロード	43
Windows へのインストール	44
Linux へのインストール	45
旧バージョンの HP Web Jetadmin からのアップグレード	45
インストール プログラムの使用	45
インストール プログラムを使用する別の方法	45
構成の確認	46
HP Web Jetadmin の停止と開始	47
Windows	47
Linux	47
HP Web Jetadmin の表示	48
セットアップ ウィザード	49

6 ユーザー インタフェース

ユーザー インタフェースの概要	52
-----------------------	----

ページ レイアウト	53
ナビゲーション領域	53
一覧表領域	54
クイック デバイス検索	54
バックグラウンド タスク	54
監視デバイス	54
コンテンツ領域	54
デバイス リスト	55
コンテンツ タイトル バー	55
コンテンツ ツールバー	55
コンテキスト ヘルプ領域	55
HP Web Jetadmin における変更	56

7 HP Web Jetadmin のカスタマイズ

カスタマイズの概要	58
言語サポート	59
言語サポートの追加	60
ブラウザでの使用言語の指定	60
設定可能な表示	61
プロファイル	62
デバイスの一時グループと固定グループ	63
サポートへの直接リンク	64

8 HP Web Jetadmin ソフトウェアの更新

インテリジェント更新	66
ソフトウェア コンポーネントのインストール	67
ソフトウェア コンポーネントの削除	68
言語の追加と削除	69
更新の事前通知の有効化	70
パッケージのアップロード	71

セクション 3

構成の設定

9 一般設定

一般設定の概要	75
サポート設定	76
管理者情報	76
ローカル サポート URL	76
HTTP (Web) 設定	77
HTTP ポート	77
HTTP プロキシ	77
許可リスト	77
SMTP (メール) ホスト	79
同期化された HP Web Jetadmin ホスト コンピュータ	80

10 プロファイルの設定

プロファイルの概要	82
-----------------	----

プロファイルのパスワード	83
プロファイル許可	84
HP Web Jetadmin の外観のカスタマイズ	85
統合されたコンテキスト ヘルプ	85
監視デバイス アラート、クリティカル デバイス アラート、および注意デバ イス アラート	85
HP Web Jetadmin の機能のカスタマイズ	86
デフォルトの ナビゲーション 領域	86
デフォルトのデバイス リスト表示	86
デフォルトのホーム ページ	86
デフォルトのデバイス グループ表示	86

11 ネットワーク プロパティの設定

ネットワーク プロパティの概要	88
一般ネットワーク 設定	89
SNMP 設定	90
BOOTP 設定	91
TFTP 設定	92
Java ポーリング レート	93

セクション 4 アラート

12 アラートの概要

アラートの概要	97
SNMP トラップ	98
トラップ サーバーのポート番号	98
ポーリング	99
ポーリングの遅延	99
内蔵 Web サーバー (EWS)	100

13 アラートの設定と管理

HP Web Jetadmin アラートの設定	102
メール サーバーの設定	102
監視するデバイスの選択	102
アラートの選択	103
通知電子メールの選択と設定	103
電子メール設定	103
重複アラート	105
ログ ファイル	106

セクション 5 ディスカバリ

14 ディスカバリ方法の概要

ディスカバリ方法の概要	109
サードパーティのデバイスの検出	111

ディスカバリ方法	112
ディスカバリのトラフィック	114
ディスカバリ方針の計画	115

15 ディスカバリ方法の設定

HP Web Jetadmin ディスカバリの概要	119
ローカル ブロードキャスト - IP および IPX ブロードキャスト ディスカバリ	120
IP および IPX ブロードキャスト ディスカバリの使用に関する推奨事項	121
ローカル ブロードキャスト - IPX サービス クエリー ディスカバリ	122
IPX サービス クエリー ディスカバリの使用に関する推奨事項	123
マルチキャスト/SLP ディスカバリ	124
マルチキャスト/SLP ディスカバリの使用に関する推奨事項	125
ARP テーブル ディスカバリ	126
ARP テーブル ディスカバリの使用に関する推奨事項	127
指定アドレス ディスカバリ	128
ホスト ファイルの作成	129
指定アドレス ディスカバリの使用に関する推奨事項	129
HP Jetadmin ディスカバリ ファイルのインポート	129
HP Jetadmin データベースからの移行	129
IP 範囲ディスカバリ	130
IP 範囲ディスカバリの使用に関する推奨事項	131
リモート ディスカバリ エージェント (RDA) ディスカバリ	132
RDA ディスカバリの使用に関する推奨事項	133
NetWare バインダリ ディスカバリ	134
NetWare バインダリ ディスカバリの使用に関する推奨事項	135
NetWare ファイル サーバー ログイン ディスカバリ	136
NetWare ファイル サーバー ログイン ディスカバリの使用に関する推奨事項	137
新しいデバイスをリスン ディスカバリ	138
新しいデバイスをリスン ディスカバリの使用に関する推奨事項	139
他にインストールされている HP Web Jetadmin のディスカバリ	140
他にインストールされている HP Web Jetadmin の SNMP IP ブロードキャスト ディスカバリの使用に関する推奨事項	141
他にインストールされている HP Web Jetadmin の IP 範囲ディスカバリの使用に関する推奨事項	142

16 ディスカバリの管理

詳細ディスカバリ オプション	144
ネットワーク通信タイムアウト	144
コミュニティ名	144
事前設定キャッシュ レベル	144
バックグラウンド ディスカバリの起動	145
ディスカバリのスケジューリング	146

セクション 6 プリント キュー

17 プリント キューの管理

プリント キューの管理	149
印刷環境の計画	150
直接印刷	150
共有印刷	151
1つのプリント キュー	151
複数のプリント キュー	152
複数のホスト コンピュータ	153
プリント キューの作成	154
プリンタとホスト コンピュータの選択	154
プリント キューを管理するソフトウェアのインストール	154
プリント ジョブを作成するソフトウェアの指定	154
Windows プリンタ ドライバ	155
Linux の印刷フィルタ	155
プリント キュー名、共有名、およびポート名の指定	155
プリント キューの確認	155
プリント キューの削除	156
ソフトウェアのインストール	157
ソフトウェアの削除	158

18 Novell プリント キューの管理

Novell プリント キューの概要	160
バインダリおよび NetWare Directory Services の接続	161
Novell の設定の必要条件	162
NDS コンテキスト	164
NDS ツリー名	165
NetWare のプリント サーバーとプリンタ オブジェクト	166

セクション 7

セキュリティの概要

19 ネットワーク セキュリティ

ネットワーク セキュリティの概要	169
HTTP と HTTPS	170
許可リスト	171
SSL/TLS	172

20 プロファイル セキュリティ

プロファイル セキュリティの概要	174
認証方法	175
プロファイル設定	176

21 デバイス セキュリティ

デバイス セキュリティの概要	178
デバイス パスワード	179
設定コミュニティ名	180
SNMP	181
未使用のプロトコル	182
管理者パスワード	183

プリンタのコントロール パネル	184
デバイスの内蔵 Web サーバー	185
アクセス コントロール リスト	186
デバイスのネットワーク セキュリティ	187
デバイスのストレージ管理	188
ファイル システムの外部アクセス	188
安全ストレージ消去モード	188
安全なストレージ消去	189
資格証明ストレージ	190

セクション 8 デバイス

22 デバイスについて

デバイスの概要	193
レガシー サポート	193
TCP/IP および IPX/SPX プロトコル サポート	193
サードパーティ ベンダー製品のサポート	193
Java アプレットおよび JavaScript	196
内蔵および統合 Web サーバー	197
内蔵 Web サーバーの使用	197
統合 Web サーバー管理ツールの使用	197
デバイス アラート	199
内蔵 Web サーバー ページ	201

23 デバイスの検索

デバイス検索の概要	203
クイック検索	204
デバイス リスト検索	205

24 デバイス リストの管理

デバイス管理の概要	207
デバイス リスト表示	208
カスタム表示	209
リストのフィルタ	210
リストのソート	211
デバイス リストのエクスポート	212
デバイス リストの印刷	213

25 デバイスとデバイス キャッシュの管理

デバイス キャッシュの概要	215
ステータス ページ	216
設定ページ	218
内蔵 Web サーバーの設定	219
デジタル送信設定	220
FAX 設定	220
プリント キューの作成	222
診断情報	223

プリント ジョブ ページ	224
デバイス キャッシュの管理	225
デバイス キャッシュのクリア	225
デバイス キャッシュ エントリのエージング	225
デバイスの確認	225
Device Application Manager	226
アクティビティ ログの表示	226
デバイスごとのデバイス アプリケーションの表示	227
デバイス アプリケーションのインストール	228
インストール結果の表示	229
デバイス アプリケーションの削除	229
デバイス アプリケーションの削除結果の表示	230
デバイス テスト ページ	231
デバイス リセット	232
ログの表示	233

26 複数デバイスの設定

複数デバイスの設定	235
デバイス グループのバッチ設定	237
インポート ファイルの設定	238

27 ファームウェアの更新

ファームウェア更新の概要	241
ファームウェアのダウンロード	242
ファームウェアの自動ダウンロード	242
ファームウェアの手動ダウンロード	242
ファームウェアの更新	243
HP Jetdirect ファームウェア	243
デバイス ファームウェアの更新	244

セクション 9

デバイス グループ

28 デバイス グループの管理

デバイス グループの概要	247
デバイス グループの作成	248
デバイス グループのセキュリティ	249
デバイス グループの保守	250
デバイス グループの自動グループ化	251
デバイス グループの自動設定	252
デバイス グループ用の自動アラート設定	253
サブグループ	254
デバイス グループのステータスのリフレッシュ	255

29 サイト マップの管理

サイト マップの概要	257
マップの作成	258
マップのアップロード	259

デバイス グループへのマップの割り当て	260
マップの保守	261
マップの表示	262
マップのネスト	263

セクション 10

付録

付録 A トラブルシューティング

インストール	267
Windows プリンタ ドライバ	269
オペレーティング システム	270
Web ブラウザ	271
セキュリティ	272
HP Jetdirect プリント サーバーのセキュリティ	273
SMTP メール ホスト	274
HTTP 設定	275
ディスカバリ方法	276
ディスカバリの一般的な問題	276
ローカル ブロードキャスト ディスカバリ	276
マルチキャスト/SLP ディスカバリ	277
ARP テーブル ディスカバリ	278
指定アドレス ディスカバリ	278
IP 範囲ディスカバリ	278
リモート ディスカバリ エージェント (RDA) ディスカバリ	279
NetWare バインダリ ディスカバリ	279
NetWare ファイル サーバー ログイン ディスカバリ	280
新しいデバイスをリスン ディスカバリ	280
プリント キュー	282
NDS の設定	284
デバイス	285
サイト マップ	287

付録 B 頻繁に寄せられる質問

頻繁に寄せられる質問	289
------------------	-----

用語集	301
-----------	-----

索引	315
----------	-----

セクション 1

HP Web Jetadmin の紹介

このセクションには、次の章があります。

[第 1 章 HP Web Jetadmin の紹介](#)

[第 2 章 ドキュメント](#)

[第 3 章 初めての管理者のためのセットアップ ガイド](#)

[第 4 章 HP Web Jetadmin の設計と実装](#)

1 HP Web Jetadmin の紹介

この章では、次の項目を説明します。

- [HP Web Jetadmin の概要](#)
- [ネットワークへの HP Web Jetadmin の統合](#)
- [セキュリティ](#)
- [ネットワーク管理者にとっての利点](#)
- [ヘルプ デスクにとっての利点](#)
- [一般のネットワーク ユーザーにとっての利点](#)

HP Web Jetadmin の概要

ネットワークのパフォーマンス向上は、ネットワーク管理者なら誰もが望むことです。HP プリンタ、スキャナ、多機能製品やプリント サーバーなどのネットワーク接続デバイスのきめ細かい管理は、パフォーマンス改善への成功のカギとなります。HP Web Jetadmin を使用すると、ネットワーク接続デバイスを管理し、最適化することができます。HP Web Jetadmin の直観的なブラウザ インタフェースなら、ローカルなイントラネットにアクセスするあらゆる場所から、プラットフォームの違いを越えて広範囲のネットワーク接続デバイスをリモート管理することが可能になります。

HP Web Jetadmin は、ネットワーク周辺装置を積極的に管理し、印刷の生産性を最適化するためのシンプルで包括的な方法を提供します。機能やステータスといったプリンタの主要な情報を活用することにより、ネットワーク プリンタのスムーズな動作を維持し、ユーザーへの影響を最小限に抑えた問題の解決や予測ができるようになります。また、常にユーザーの要求の一步先に行くことができます。

HP Web Jetadmin を使用すると、次の管理タスクを実行できます。

- プリント キューの作成
- プリンタ オプションの設定
- 複数のプリント キューを一度に作成
- プリンタの問題のトラブルシューティング
- デバイス キャッシュをオフピーク時に更新するディスカバリのスケジューリング
- IP アドレス、カラー印刷機能、モデル名などの各種の条件を使用した特定のプリンタやプリンタ グループの検索
- プリンタの現在のステータスのチェック
- 用紙やインク残量などのプリンタの消耗品の状態に関するチェック
- プリンタのトレイにセットされたメディアの種類の確認
- プリンタの機能の確認
- プリンタの論理的なグルーピング
- ダイナミックなサイトマップによる仮想オフィス レイアウトの作成

これらすべてのタスクを、複数のセキュリティ レベルで実行することができます。HP Web Jetadmin によって、時間の節約、ユーザーの生産性の向上、ネットワーク周辺装置のトータル コストの削減が可能となります。

使いやすさ

HP Web Jetadmin には Web サーバーが統合されているので、簡単にインストールできます。クライアント ソフトウェアをインストールする必要はありません。複数の HP Jetdirect 接続プリンタのプリンタ オプションを一度に設定することもできます。

拡張プリント ジョブ管理機能

ネットワーク技術が今日のように高度化されるまで、プリンタ管理者は、ユーザーがプリンタに送信するジョブの管理に多大な労力を費やしていました。この作業がネットワーク プリンタの管理に占める割合は小さくなりましたが、重要であることに変わりはありません。ネットワーク プリンタの印刷

処理量は増加し、プリント ジョブの優先度や必要なリソースの変化に対応できる効果的な解決策が求められています。

ネットワーク管理者やヘルプ デスクの担当者は、HP Web Jetadmin を使用することで、プリント ジョブがネットワーク プリンタにスムーズに流れるようにすることができます。また、ユーザーの生産性への影響を最小限に抑えながら変更を加えることができます。たとえば、HP Web Jetadmin を使用すると、以下のタスクを実行できます。

- プリント ジョブ ステータスのチェック
- プリント ジョブの所有者など、プリント ジョブに関する情報の確認
- 適切なメディアがセットされているかどうかの確認

時間の節約に関する機能

HP Web Jetadmin では、さまざまな方法で時間を節約します。

- リモート ステータス、診断、設定情報などによって、ユーザーの生産性が影響を受ける前に、印刷の問題を特定して解決することができます。
- 設定可能なアラート機能によって、プリンタに問題が発生した場合に、電子メールによる通知が担当者に速やかに送信されます。
- 最も先進的なディスカバリ機能によって、ネットワーク上のデバイスが確実に検出され、デバイス キャッシュに追加されるので、各デバイスに関する情報を手動でデバイス キャッシュに入力する必要がなくなります。
- 全体的なデバイスの検索や、IP アドレス、カラー印刷機能、モデル名などの指定条件によるデバイス検索によって、デバイスの検出や管理が容易になります。
- デバイス グループ機能とサイトマップ機能によって、仮想オフィス マップを作成してデバイスをワーク グループに組織化し、簡単に管理することができます。
- 消耗品ステータス拡張機能は、HP トナー ゲージ技術を使用して、選択した HP デバイスのトナーや用紙などの消耗品の状態を示します。



注記 HP Web Jetadmin は、標準プリンタ MIB 準拠のあらゆるプリンタのトナー ゲージを表示します。

ネットワークへの HP Web Jetadmin の統合

HP Web Jetadmin では、さまざまな種類のプリンタ、周辺装置、サーバー プラットフォーム、およびブラウザをサポートしています。HP Web Jetadmin は、RFC (Request for Comments) 1759 で定義された標準プリンタ MIB (Management Information Base) を使用した、業界で最も完成度が高い、複数ベンダーのプリンタに対する管理ソリューションを提供します。

既存のネットワークまたはシステム管理パッケージからプリンタを管理する場合は、HP Systems Insight Manager や HP OpenView Network Node Manager など、最も広く使用されているいくつかのソリューションに HP Web Jetadmin を統合できます。

プロトコルのサポート

HP Web Jetadmin は、TCP/IP と IPX/SPX の両方のプロトコルをサポートしています。

HP Web Jetadmin は、Internet Protocol バージョン 4 (IPv4) をサポートしています。これは、最新の標準 Internet Protocol です。ネットワークの利用拡大に伴い、新バージョンである Internet Protocol バージョン 6 (IPv6) が開発されています。この 2 つのバージョンの主な違いは、IPv4 が 32 ビットの IP アドレスをサポートするのに対し、IPv6 は 128 ビットの IP アドレスをサポートするということです。HP Web Jetadmin は IPv6 をサポートしませんが、IPv6 を使用したデバイス上で HP Web Jetadmin を使用して、IPv6 固有の情報を表示したり、制限付きの IPv6 の設定値を設定したりできます。IPv6 機能を持ったデバイスでは、**[デバイス設定]** ページや **[複数デバイス設定]** ページの設定オプションにアクセスできます。

サポートされているプラットフォーム

HP Web Jetadmin でサポートしているオペレーティング システムの一覧については、Readme ファイルを参照してください。

ネットワーク プリンタのサポート

HP Web Jetadmin でプリント キューを作成できるオペレーティング システムの一覧については、Readme ファイルを参照してください。

ネットワーク周辺装置の管理のサポート

HP Web Jetadmin にはすべてのプリンタ管理ソフトウェアが用意されています。HP Jetadmin では、HP Jetdirect プリント サーバーを介して接続された HP プリンタおよび HP 以外のプリンタと、標準プリンタ MIB 準拠のすべてのサードパーティ製ネットワーク接続プリンタを管理できます。






注記 HP Web Jetadmin は、HP Embedded Jetdirect で接続されたデバイスをサポートしています。

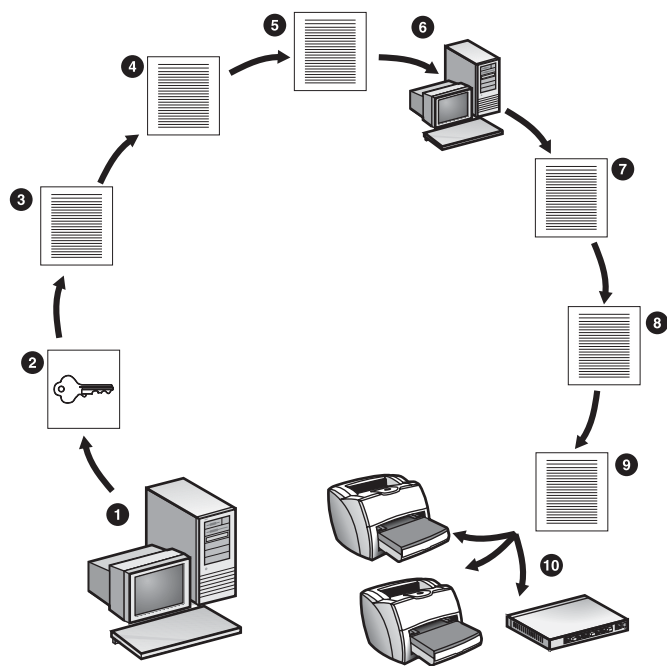
ブラウザのサポート

HP Web Jetadmin では、Linux 環境の Mozilla Firefox、Windows 環境の Microsoft® Internet Explorer をサポートしています。HP Web Jetadmin でサポートしているバージョンの一覧については、Readme ファイルを参照してください。

セキュリティ

HP Web Jetadmin は、複数のレベルのセキュリティを提供しており、ネットワーク上でデバイス管理をカスタマイズし、保護することができます。以下の図は、これらのセキュリティ レベルを示します。

アイコン	説明	アイコン	説明
	HP Web Jetadmin ホスト コンピューター		プリント サーバー機器
	プリンタ		



1	HP Web Jetadmin ユーザー – HP Web Jetadmin へのアクセスを開始します。
2	SSL/TLS – HP Web Jetadmin ホスト コンピュータと Web ブラウザ間で渡される情報を HTTPS を使用して暗号化し、Windows NT® パスワードなどの機密情報を保護します。
3	許可リスト – HP Web Jetadmin へのアクセスを、特定の IP アドレスを持つコンピュータに制限します。
4	ログイン パスワード – 権限のないユーザーが HP Web Jetadmin にアクセスするのを防止し、権限のあるユーザーが HP Web Jetadmin 内でアクセスできる機能を指定します。HP Web Jetadmin でパスワードをプロファイルに割り当てるか、または Windows NT ドメイン認証機能を使用して Windows NT ドメイン ユーザーおよびグループをプロファイルに関連付けることができます。
5	プロファイル – ユーザーのクラスに応じてアクセスできる製品機能を管理します。たとえば、プロファイルを使用すると、権限のないユーザーによるシステム全体の設定の変更、ディスカバリの開始、デバイス グループの作成などを防止できます。
6	HP Web Jetadmin ホスト コンピュータ – HP Web Jetadmin ホスト コンピュータにアクセスできます。
7	デバイス グループのパスワード – 権限のないユーザーによるデバイス グループの変更を防止できます。

-
- 8 デバイスごとのパスワード-権限のないユーザーによるネットワーク デバイス設定の変更を防止できます。



注記 HP Web Jetadmin 製品チームは、デバイス セキュリティの管理を大幅に簡略化する努力を続けています。デバイス パスワードは、ここ数年 HP Web Jetadmin のセキュリティ機能セットの一部になっていますが、このソフトウェアの今後のリリースでは廃止される予定です。デバイス セキュリティを有効にするために、SNMPv3 などの他のセキュリティ機能は継続してサポートされます。HP Web Jetadmin とデバイス セキュリティの詳細については、<http://www.hp.com/go/webjetadmin> をご覧ください。

-
- 9 SNMPv3 - HP Web Jetadmin とネットワーク デバイス間の通信を保護します。HP Web Jetadmin では、SNMPv3 を使用して権限のないユーザーによるネットワーク デバイスの設定の表示または変更を防止できます。
-
- 10 デバイス-すべてのセキュリティ レベルを確認した後に、HP Web Jetadmin ユーザーはプリンタなどのデバイスにアクセスできます。
-

また、Web ブラウザやイントラネットには製品独自のセキュリティ基準がありますが、HP Web Jetadmin はこれらの環境でも動作します。

ネットワーク管理者にとっての利点

HP Web Jetadmin を使用すると、ネットワーク管理者にはさまざまなメリットがあります。

経済的なメリット

HP Web Jetadmin は、HP の Web サイトから無料でダウンロードできます。HP Web Jetadmin のコピーをダウンロードするには、<http://www.hp.com/go/webjetadmin> にアクセスします。

企業イントラネットが既にセットアップされている場合、HP Web Jetadmin はそのイントラネットにシームレスに統合されます。イントラネットがセットアップされていない場合、Web サーバー ソフトウェアを別途購入する必要はありません。HP Web Jetadmin が Web サーバーとして機能します。

すばやく簡単なインストール

ネットワーク上の中心となるコンピュータに HP Web Jetadmin を 1 回インストールするだけで済みます。

Web サーバーを設定する必要はありません。HP Web Jetadmin が自動的に Web サーバーをセットアップします。

クライアント ワークステーションに特別なソフトウェアをインストールする必要はありません。必要となるのは、サポートされている Web ブラウザだけです。

整合のとれたルック アンド フィール

HP Web Jetadmin の外観と動作は、それ自体が稼動するプラットフォームやワークステーションのオペレーティング システムに関係なく統一されています。管理しているデバイスが異なるネットワーク OS や異なるプラットフォームで稼動している場合も同様です。

利便性

HP Web Jetadmin を使用すると、次の管理タスクを実行できます。

- プリンタの設定と診断、およびプリント キューの作成を、1 つのソフトウェア パッケージからリモートで実行。
- 複数のデバイスを一括して設定し、設定オプションを繰返し入力する手間を省く。
- 単一デバイスまたは複数デバイスのアラート通知の設定。
- ファームウェアの更新。環境の異なるデバイスに別々のダウンローダを使用したり、新しいファームウェア イメージを Web で手動で検索する必要がなくなります。
- 企業イントラネットに接続できるすべての場所から HP Web Jetadmin にアクセス。たとえば、ポケットベルの呼び出しに、どこにいても即座に応答することができます。
- 検索機能を使用してデバイスをすばやく検索。機能、ステータス、場所、モデル名などの条件を指定してデバイスを検索できます。
- デバイスのステータスのチェック、障害の診断、プリンタのオンライン復帰、プリンタのリセットをリモートで行うことができます。
- デバイスのトナーおよびインクの残量をリモートで監視。これにより、消耗品がなくなる前に注文と交換を行って、ダウン タイムを最小限に抑えることができます。
- プリンタ、スキャナ、およびその他のデバイスのグループを作成してリソースを簡単に管理。

- デバイスのグループを離れた場所から管理。これにより、管理者とユーザーの柔軟性が増します。
- デバイス グループとその場所を示すイメージ マップの作成。
- デバイス グループの所有者割り当て。これにより、他のユーザーが管理者の支援なしにグループのデバイスを変更したり、新しいデバイスを追加したり、デバイスを削除したりすることができます。

サードパーティ ベンダー製品のサポート

HP Web Jetadmin では、多数のサードパーティ ベンダーのデバイスをサポートしています。これらのデバイスは、標準プリンタ MIB に準拠している必要があります。

サードパーティのデバイスを使用する場合は、HP Web Jetadmin を使用し、次のタスクをサードパーティのデバイス上でリモートで実行できます。

- ステータス情報の表示
- 設定オプションの表示と変更
- 診断情報の表示
- 内蔵 Web サーバーの表示
- テスト ページの印刷
- アラート プロパティの設定



注記 サードパーティのメーカーの中には、HP Web Jetadmin に機能を追加するサードパーティ プラグインを提供しているところもあります。たとえば、サードパーティのプラグインは、HP Web Jetadmin を使用して追加のデバイス設定オプションの表示や変更を実行する機能を追加できます。詳細については「[サードパーティのデバイスの検出](#)」を参照してください。

広範な診断

HP Web Jetadmin は、あらゆる Web ベースのデバイス管理パッケージの中で、最も広範な診断が可能です。

強化機能

HP Web Jetadmin には、以下のような一連の強化機能が用意されています。

- スケジュールされたディスクバリ
- 複数デバイスの設定
- カスタマイズされたサイトマップ
- デバイス グループの管理
- 複数レベルのセキュリティ
- HP デバイス アラートのサポート
- クロス プラットフォームのファームウェア ダウンローダ
- トナー ゲージとインク ゲージ

ヘルプ デスクにとっての利点

HP Web Jetadmin を使用することで、ヘルプ デスクの担当者はエンド ユーザーに対する支援を向上させることができます。ヘルプ デスクの担当者は、次のタスクをローカルでもリモートでも実行することができます。

- ネットワーク デバイスのステータスをチェックする。
- 特定のジョブに必要な機能をサポートしているプリンタや、そのジョブを最も効果的に印刷できるプリンタを判断する。
- 設定可能な HP デバイス アラートから、デバイスの障害に関する通知を電子メールで受け取る。
- トナーや用紙の補充など、プリンタがどのような調整を必要としているかを判断する。
- デバイスの責任者を特定し、そのデバイスに操作が必要となった場合に、その責任者に通知する。
- HP Jetdirect プリント サーバーや一部のプリンタの電源をリモートで操作する。
- 一部のプリンタをリモートでオンラインに戻す。

ヘルプ デスク業務をサード パーティ ベンダーに委託している場合でも、HP Web Jetadmin を使用すれば、最低限のトレーニングで効果的にデバイスをサポートできます。HP Web Jetadmin の直観的な Web ブラウザ インタフェースは、Microsoft 認定のサポート エンジニアや Novell 認定のエンジニアでなくても使用できます。

一般のネットワーク ユーザーにとっての利点

HP Web Jetadmin は、一般のネットワーク ユーザーにもいくつかの利点をもたらします。ネットワーク ユーザーは、HP Web Jetadmin を使用して以下のタスクを実行できます。

- プリンタ、スキャナ、およびその他デバイスのステータス、設定、機能を表示。
- 必要なデバイスをすばやく検索。機能、ステータス、場所、モデル名などの条件を指定してデバイスを検索することができます。
- セットアップされたデバイス グループを表示するとともに、それらのデバイスのステータスを監視。

このような簡単なタスクを一般のネットワーク ユーザーが実行できるようにすると、ネットワーク管理者やヘルプ デスク担当者の負担が軽減され、その時間を他のタスクに割くことができます。

2 ドキュメント

この章では、次の項目を説明します。

- [ドキュメントの概要](#)
- [ブラウズ可能なヘルプ](#)
- [コンテキスト ヘルプ](#)
- [印刷可能なマニュアル](#)

ドキュメントの概要

HP Web Jetadmin には、ブラウズ可能なヘルプ、コンテキスト ヘルプ、および印刷可能なマニュアルの 3 つの形式のドキュメントが用意されています。ここでは、これらのドキュメントについて説明します。

ブラウズ可能なヘルプ

ブラウズ可能なヘルプには HP Web Jetadmin の機能に関する概念的な情報が含まれています。ブラウズ可能なヘルプには HP Web Jetadmin のどこからでも直接アクセスできます。

ブラウズ可能なヘルプへのアクセス

1. [ナビゲーション] 領域で [ヘルプ] フォルダを展開します。
2. [HP Web Jetadmin] を選択します。

[HP Web Jetadmin] フォルダを展開すると、[用語集]、[インデックス]、[Readme]、[ライセンス]、[バージョン情報]、および [フィードバック] ページにアクセスできます。

コンテキスト ヘルプ

HP Web Jetadmin の各ページには、コンテンツ ツールバーにヘルプ アイコンがあります。このヘルプ アイコンをクリックすると、そのページに対応するコンテキスト ヘルプが表示されます。デフォルト設定では、コンテキスト ヘルプは、別のブラウザ ウィンドウに表示されます。ただし、コンテキスト ヘルプがページ内に表示されるようにプロファイルを設定することもできます。詳細については「[統合されたコンテキスト ヘルプ](#)」を参照してください。

コンテキスト ヘルプの目的は、表示しているページ、実行中の作業、または特定のオプションに必要な情報のみを表示することです。したがって、コンテキスト ヘルプの内容は、印刷可能なマニュアルやブラウズ可能なヘルプより簡潔です。コンセプトやタスクに関する詳細な説明が必要な場合は、ブラウズ可能なヘルプ、または印刷されたマニュアルを参照してください。

HP Web Jetadmin の一部のページには、テキスト ボックスやオプションの横にヘルプ アイコンが表示されています。ヘルプ アイコンをクリックすると、その特定のテキスト ボックスやオプションに関する特定の情報が表示されます。

[コンテキスト ヘルプ] 領域のドロップダウン リストには、**[内容説明]**、**[効果]**、および **[方法]** の3つのオプションがあります。HP Web Jetadmin の **[コンテキスト ヘルプ]** 領域に表示される情報は、選択したオプションによって異なります。**[内容説明]** オプションをクリックすると、ページ、トピック、作業、またはオプションに関する概要が表示されます。**[効果]** オプションをクリックすると、ページ、トピック、作業、またはオプションに関心を払う必要がある理由が表示されます。このページの設定がネットワークのパフォーマンスに与える影響についても示されます。**[方法]** オプションをクリックすると、このページに対して実行可能な作業に関する手順が表示されます。

印刷可能なマニュアル

印刷可能なマニュアルは PDF ファイルで、HP 社の Web サイトからダウンロードする必要があります。このマニュアルには、ブラウズ可能なヘルプに含まれている情報がすべて含まれています。

この PDF ファイルを表示するには、Adobe® Acrobat® Reader をインストールする必要があります。Adobe Acrobat Reader で PDF ファイルを開くと、マニュアル全体、現在表示されているページ、またはページ範囲を印刷できます。

3 初めての管理者のためのセットアップガイド

この章では、HP Web Jetadmin を初めて使用する場合に役に立つ情報を提供します。HP Web Jetadmin を実装する際のチェックリストとして使用することもできます。



注記 HP Web Jetadmin には数多くの機能がありますが、すべての機能を使用する必要はありません。たとえば、小規模なネットワークでは、デバイス グループやサイト マップを作成したり、複数デバイス設定機能を使用したりする必要のない場合があります。

HP Web Jetadmin のインストール

HP Web Jetadmin は簡単にインストールできます。「[第 5 章 HP Web Jetadmin のインストール](#)」の説明を参照してください。

ディスカバリ方法の設定

HP Web Jetadmin でネットワーク上のデバイスを検索する方法を設定します。「[第 14 章 ディスカバリ方法の概要](#)」の説明を参照してください。

HP Web Jetadmin のカスタマイズ

HP Web Jetadmin の外観や動作に関するオプションを設定します。手順については、「[HP Web Jetadmin の外観のカスタマイズ](#)」および「[HP Web Jetadmin の機能のカスタマイズ](#)」を参照してください。

セキュリティ オプションの設定

HP Web Jetadmin は、製品や機能へのアクセスが可能なユーザーを管理するために、さまざまなレベルのセキュリティを提供しています。

- デフォルトでは、SSL/TLS プロトコルを使用するとすべてのブラウザから HP Web Jetadmin にアクセスできます。この設定にアクセスするには、**[一般設定] > [セキュリティ] > [SSL/TLS]** ページにアクセスします。このページから、ブラウザで使用する暗号化のレベルを指定することもできます。
- 許可リストを作成して、特定の IP アドレスを持つコンピュータだけが HP Web Jetadmin にアクセスできるように制限できます。「[HTTP \(Web\) 設定](#)」の説明を参照してください。
- 管理者プロファイルにパスワードを割り当てると、権限のないユーザーによるシステム全体の設定の変更、ディスカバリの開始、デバイス グループの作成を防止できます。「[プロファイルのパスワード](#)」の説明を参照してください。

- さまざまなユーザー クラスに複数のプロファイルを作成できます。これらのプロファイルを使用して、ユーザー クラスがアクセスできる製品の機能を制御できます。「[第 10 章 プロファイルの設定](#)」の説明を参照してください。
- プロファイルを作成する場合は、これらのプロファイルに Windows NT ドメイン ユーザーおよびグループを関連付けることができます。Windows NT ドメイン ユーザーをプロファイルに関連付けると、これらのユーザーはプロファイルのパスワードを新たに覚える必要がなくなり、Windows NT ドメイン ユーザー名とパスワードをそのまま使用できます。Windows NT グループをプロファイルに関連付けると、HP Web Jetadmin へのアクセスを複数のユーザーに一度に許可することができ、時間の短縮になります。手順については、[一般設定] > [プロファイル管理] > [認証] ページのコンテキスト ヘルプを参照してください。
- デバイス グループのパスワードを割り当てると、権限のないユーザーによるデバイス グループの変更を防止できます。「[デバイス グループのセキュリティ](#)」の説明を参照してください。
- デバイスごとのパスワードを割り当てると、権限のないユーザーによるネットワーク デバイスの設定の変更を防止できます。手順については、[デバイス設定] ページのコンテキスト ヘルプを参照してください。
- 各デバイスが SNMPv3 を使用するように設定すると、権限のないユーザーによるネットワーク デバイスの設定の表示または変更を防止できます。手順については、SNMPv3 対応の [デバイス設定] ページのコンテキスト ヘルプを参照してください。

証明書の管理

自己署名証明書の作成、証明書署名要求の作成、およびサードパーティの証明機関が署名した証明書のインストールを行います。手順については、[一般設定] > [セキュリティ] > [SSL/TLS] ページのコンテキスト ヘルプを参照してください。

デバイスの検索

ネットワーク上のデバイスの検索、特定の基準に基づいたデバイス リストのフィルタリング、および特定の列を基準にしたデバイス リストのソートを行います。手順については、「[第 23 章 デバイスの検索](#)」および「[リストのソート](#)」を参照してください。

ホスト コンピュータでのプリント キューの作成

ホスト コンピュータにプリント キューをリモートで作成します。ネットワークに対応した手順については、以下の章を参照してください。

- [第 17 章 プリント キューの管理](#)
- [第 18 章 Novell プリント キューの管理](#)

デバイス グループの作成

場所や部署など、特定の基準でデバイスを組織化してデバイス グループを作成します。「[デバイス グループの作成](#)」の説明を参照してください。

デバイス グループへのデバイスの追加

プリンタやスキャナなどのデバイスをデバイス グループに追加します。手順については、[デバイス管理] > [デバイス グループ] > [グループ名] ページのコンテキスト ヘルプを参照してください。

複数デバイスの設定。

選択したオプションの値を複数のデバイスに一括して設定します。「[複数デバイスの設定](#)」の説明を参照してください。

マップのアップロードと編集

あらかじめ作成した、デバイスの場所を示すサイト マップを、デバイス グループに割り当てます。「[第 29 章 サイト マップの管理](#)」の説明を参照してください。

デバイス グループのデフォルト表示の選択

デバイス グループの表示方法を変更します。デバイス表示が、デバイスのリストを表示しているときに、マップ表示は、グループのデバイスをグラフィックで表示します。「[デフォルトのデバイス グループ表示](#)」の説明を参照してください。

デバイス グループのデフォルト表示の選択

ユーザーがブラウザで HP Web Jetadmin を起動するたびに、またはコンテンツ ツールバーのホーム アイコンをクリックした場合や、ブラウザで **[リフレッシュ]** または **[再ロード]** をクリックした場合に表示されるデフォルトのデバイス グループを割り当てます。「[デフォルトのホーム ページ](#)」の説明を参照してください。

サポート URL の定義

Web サポート ページへのリンクを定義します。ユーザーがネットワーク デバイスや HP Web Jetadmin のヘルプを必要とするときに、この Web サポート ページを参照することができます。「[サポート設定](#)」の説明を参照してください。

4 HP Web Jetadmin の設計と実装

この章では、次の項目を説明します。

- [第 1 段階 目標を明確にする](#)
- [第 2 段階 目標を達成する方法を決める](#)
- [第 3 段階 HP Web Jetadmin のインストール](#)
- [第 4 段階 HP Web Jetadmin のカスタマイズ](#)
- [第 5 段階 HP Web Jetadmin の操作](#)
- [HP 製品情報とサポート](#)

第 1 段階 目標を明確にする

このセクションでは、次の項目を説明します。

- [システム依存タスクと非システム依存タスク](#)
- [実装の目標を決める](#)

システム依存タスクと非システム依存タスク

実装を完了するには、2 種類の作業を実行する必要があります。

- 非システム依存タスクとは、ビジネスや経営における意思決定のことです。HP Web Jetadmin を実装しなければならない理由、自分の組織に求められるシステム コンポーネントや機能を選択する方法などを記述します。非システム依存タスクの例としては、HP Web Jetadmin で管理するプリンタの台数の決定、プリンタ リソースを管理および監視するために必要なネットワーク管理者とユーザーの数の決定、HP Web Jetadmin の実装を必要とするビジネスにおけるニーズの決定などが挙げられます。
- システム依存タスクは、コンピュータやネットワーク テクノロジを使用して、実際に具体的な成果を生み出します。これには、HP Web Jetadmin 自体と、HP Web Jetadmin をインストールして使用するサーバーおよびワークステーションが含まれます。システム依存タスクの例としては、特定のユーザーが管理するプリンタを含むデバイス グループを定義すること、消耗品の使用を監視して月間在庫量を決めることなどがあります。

どのような非システム依存タスクを達成する必要があるかを特定したら、次に目標を達成するために必要なシステム依存タスクを特定します。

実装の目標を決める

ネットワーク プリンタの管理を強化するために HP Web Jetadmin を使用する場合、さまざまな状況が考えられます。HP Web Jetadmin は、それぞれの状況に応じた効果をもたらします。

次の表は、HP Web Jetadmin の機能を、多様な実装目標別に分類したものです。機能を使用する職種も示します。HP Web Jetadmin を使用するユーザーを特定できる場合は、組織内でのこれらのユーザーの役割を考慮して、実装の目標を設定します。

この表にある機能や職種を検討して、どの実装の目標が、使用する環境に適しているかを特定してください。便利な機能がないか、注意して表を見てください。ある目標を選択したからといって、その他の目標の機能を使用できないわけではありません。すべての機能は、HP Web Jetadmin のどのインストールにも組み込まれています。

実装の目標	機能	HP Web Jetadmin のユーザー
ネットワーク プリンタのインストール	<ul style="list-style-type: none">● さまざまなプラットフォームでのプリント キューの作成。● 複数デバイスの設定。● どのワークステーションからでも可能な HP Jetdirect プリント サーバー ファームウェアのリモートによる更新 (統合ファームウェア ダウンローダ)。	プリンタの専門家

実装の目標	機能	HP Web Jetadmin のユーザー
	<ul style="list-style-type: none"> ● デバイスの検出。手作業で情報を入力しなくても、デバイスを検出します。 ● 複数レベルのセキュリティの実装。許可なく、デバイスあるいは HP Web Jetadmin ソフトウェアが変更されるのを防ぎます。 	
ヘルプ デスクおよびトラブルシューティング	<ul style="list-style-type: none"> ● デバイスを検出し、手動で情報を入力せずに、デバイスのキャッシュを構築。 ● サイト マップの表示。デバイスの位置を表すサイト マップを表示します。 ● 特定の性能によるプリンタの検索。 ● デバイス グループ。場所や、特定の機能、またはその他の条件に従って、デバイスをグループに分類することができます。 ● プリンタ ステータスの表示。 ● リモート診断の実行。 ● HP デバイス アラートの表示と設定。 ● リモートでのプリンタのオンライン復帰。 ● リモートでのプリンタのオン/オフ。 ● プリンタ以外のデバイスのサポート。HP ネットワーク スキャナ、多機能製品、サーバー機器など、プリンタ以外のデバイスもサポートします。 ● サポートへのリンクの設定。ユーザーが、ヘルプ デスクや、サポート部門に簡単にアクセスできるようなリンクを設定することができます。 	ヘルプ デスクの担当者
企業管理	<ul style="list-style-type: none"> ● HP Systems Insight Manager や HP OpenView などのパッケージとの統合。 ● HP デバイスのアラートの設定。 ● プロトコルの制御。HP Jetdirect プリント サーバーのプロトコルを有効または無効にします。 ● SAP の停止。HP Jetdirect プリント サーバーの SAP (Service 	経営者、IT 部門の管理者

実装の目標	機能	HP Web Jetadmin のユーザー
	Advertising Protocol) ブロードキャストを停止します。	
	<ul style="list-style-type: none"> HP ネットワーク接続デバイスのサポート。HP 社製のスキャナやプリンタをサポートします。 	

企業の業務上の意思決定に基づいて、最適な HP Web Jetadmin 実装目標を設定する場合もあります。次に、あるシステム依存の機能を得るために HP Web Jetadmin を実装する理由について例を示します。

ネットワーク プリンタのインストール

- インストールの際に、ネットワーク管理者はプリンタの機能を認識し、正しいプリンタ ドライバまたはモデル スクリプトを割り当てる必要があります。
- 多数のプリンタを所有する企業は、複数のプリンタを同時に設定することで、時間を節約できます。
- プリンタを個人でインストールする場合は、共有ネットワーク プリンタへのプリント キューを確立する必要があります。

ヘルプ デスクおよびトラブルシューティング

- ユーザーは、プリント ジョブが印刷されない理由を知りたいがっています。
- いくつもの建物を持つ企業に、ヘルプ デスクが 1 つしかない場合があります。些細な問題で、他の建物まで移動することを避けるため、ヘルプ デスクの管理者がプリンタの所在を知っていると便利です。

企業管理

- ネットワーク管理者には、クロスプラットフォームをサポートするツールが必要です。
- 新しい HP Jetdirect プリント サーバーを導入した場合、ネットワーク管理者はファームウェアを常にすばやく更新する必要があります。
- ネットワーク管理者がプリンタをリモートで管理できれば、特定のプリンタ コンソールは不要になります。

第 2 段階 目標を達成する方法を決める

HP Web Jetadmin で達成する目標が決まりました。次に、HP Web Jetadmin の機能を使用して目標を達成する方法を決めます。方法を決定するには、ネットワークにおけるデバイス管理の問題に関する情報を収集し、次にどのようにその問題に取り組めばよいかを決定します。

手順 1: ビジネスの目標を明確にする

HP Web Jetadmin を実装する理由を明確にします。ビジネスの目標を明確にするために、第 1 段階で決定した非システム依存タスクを使用することもできます。

手順 2: 実装プロジェクト チームを組む

HP Web Jetadmin の実装のためのプロジェクト チームに、どのような人材が必要かを決めます。ネットワーク管理者、IT 管理者、ネットワーク プリンタの専門家などが含まれます。



注記 実装作業のさまざまな段階で、その他の専門家をプロジェクト チームに加えます。

手順 3: ネットワーク情報を収集する

以下のネットワーク情報を収集します。

- ネットワーク トポロジ (インフラストラクチャ、ルーター、リモート サイト、リモート サイト管理など)
- オペレーティング システム
- プロトコル
- プリンタ
- プリント サーバーの製品名 (HP Jetdirect など)
- サービス (DHCP、NDS、BOOTP、DNS、WINS など)
- 物理的なサイトのレイアウト (マップ用)
- HP Web Jetadmin にアクセスするユーザーと、アクセスする必要のないユーザーの特定
- HP Web Jetadmin および OS のセキュリティ

手順 4: プリント キュー作成のための計画を立てる

プリント キューを作成する前に、多くのネットワーク環境において、いくつかの質問について検討する必要があります。通常は、ネットワーク管理者が、このタスクのプロジェクト マネージャに就きます。組織のプリンタを管理する人物に相談することもできます。

以下の質問は、プリント キュー作成の計画を立てる際に役立ちます。

- ユーザーは何を印刷するのか。どのような OS が実行されているか。
- 印刷に何が必要か。印刷の要求はどこで生じたか (クライアント/サーバー、ピアツーピアなど)。
- HP Web Jetadmin で、Novell、標準ポート モニタ、line printer remote など既存のプリンタのインフラストラクチャをサポートするか。あるいは、新しいインフラストラクチャに移行するか。

- 集中プリント サービスと分散プリント サービスのどちらにするか。
- 1 台のコンピュータにいくつのプリント キューを格納するか。この数は、プリンタの種類や、プリント キューを集中化するか分散化するかによって変わります。



注記 プリント キューを格納するコンピュータと、HP Web Jetadmin を実行するコンピュータを同じにする必要はないので、プリント キューを作成する場所を決める際に、HP Web Jetadmin をインストールする場所を考慮する必要はありません。

- どの種類のプリント ジョブをサポートするか (メインフレーム、ワークステーションなど)。
- どのオペレーティングシステムで、プリント キューを処理するか。この問題は、プリント キューを作成するプラットフォームや、プリント キューの集中化および分散化に関係します。

プリント キューの作成に関する詳細については、「[第 17 章 プリント キューの管理](#)」を参照してください。

手順 5: プロトコルを選択する

HP Web Jetadmin では、TCP/IP または IPX/SPX プロトコルを使用して、プリンタを管理できます。たとえば IPX/SPX を使用して、Novell 環境や、その他の IPX/SPX を使用するネットワーク環境のプリンタを管理することができます。これらのプリンタに、IP アドレスを設定する必要はありません。ただし、Windows® 環境でプリント キューを作成する必要がある場合、各プリンタには既存の IP アドレスが必要です。IP アドレスがない場合は、プリント キューの作成時に割り当てる必要があります。



注記 Novell NetWare 環境に HP Web Jetadmin を実装するには、「[第 18 章 Novell プリント キューの管理](#)」で、その環境でのプリント キューの作成に関する情報を参照してください。

TCP/IP を使用してプリンタを管理する場合、IP アドレスを割り当てるための方法を決めます。IP アドレスは、手動でも自動でも割り当てることができます。

IP アドレスを手動で割り当てる

HP Web Jetadmin コンピュータのプロトコルとして TCP/IP だけを使用していても、HP Web Jetadmin で IP アドレスを HP Jetdirect プリント サーバーに個別に割り当てることができます。また、複数デバイスの設定機能を使用することもできます。有効な IP アドレスを割り当てるまで、HP Web Jetadmin は、HP Jetdirect プリント サーバーと通信する際に、ハードウェア アドレスを使用します。HP Web Jetadmin がインストールされている同じサブネットにあるデバイスに限って、IP アドレスを手動で割り当てることができます。HP Jetdirect プリント サーバーにスタティック IP アドレスを設定した場合、電源がいったん切られて再投入された場合も、このスタティック IP アドレスが使用されます。

IP アドレスを自動で割り当てる

BOOTP (Bootstrap Protocol) と DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) のいずれかを IP アドレスの割り当てに使用することができます。出荷時のデフォルトの設定では、電源投入時に、HP Jetdirect プリント サーバーから、BOOTP と DHCP 要求が転送されます。そして BOOTP と DHCP サーバーは、応答時に IP アドレスをデバイスに割り当てます。HP Jetdirect プリント サーバーが、5 分たっても応答を受信しない場合は、デフォルトの IP アドレスとして、192.0.0.192 が割り当てられます。その HP Jetdirect プリント サーバーの電源が切れ、再投入されると、このプロセスが繰り返されます。

DHCP サーバーが IP アドレスを HP Jetdirect プリント サーバーに割り当てると、その IP アドレスは、リース期間と呼ばれる一定の間だけ有効となります。HP Jetdirect プリント サーバーの電源が入

っていて、ネットワークに接続されている限り、IP アドレスのリースが維持されます。HP Jetdirect プリント サーバーの電源が切れたり、ネットワーク接続が切断されたりすると、このリースが失われます。

HP Jetdirect プリント サーバーの電源が再投入されるか、または再度ネットワークに接続されると、DHCP サーバーと通信して、リースがまだ有効かどうかを確認します。HP Jetdirect プリント サーバーは、最初に割り当てられた IP アドレスの使用を試みます。一定の時間が経過すると、HP Jetdirect プリント サーバーはその IP アドレスのリースを破棄します。他のデバイスがその IP アドレスを獲得すると、HP Jetdirect プリント サーバーは、DHCP サーバーから異なる IP アドレスをリースします。

IP アドレスを自動的に割り当てると、時間の節約になり、他の作業に専念できますが、対処する必要のある問題がいくつかあります。

- HP Jetdirect プリント サーバーが BOOTP や DHCP 要求を転送したり、応答を待っていたりする間、プリント サーバーには TCP/IP 設定がありません。この間、HP Web Jetadmin は HP Jetdirect プリント サーバーを検出したり、通信したりすることはできません。
- DHCP 環境などで HP Standard TCP/IP Port Monitor を使用するために設定されたプリンタの IP アドレスが変わると、WINS (Windows Internet Naming Service) サーバーに、新しい IP アドレスを調べるためのクエリーが送られます。WINS サーバーが存在しないか、新しいプリンタの情報を提供できない場合、ポートをあらためて設定する必要があります。MAC アドレスによる再検出は、HP Jetdirect Port では使用できません。
- IP アドレスを使用してデバイスを検索するディスカバリ方法では、新しい IP アドレスが割り当てられたばかりのデバイスを検索できません。これは、指定アドレスのディスカバリ方法や IP 範囲のディスカバリ方法でも同様です。

こういった問題はあるものの、自動 IP アドレス割り当ては、多大な効果をもたらします。DHCP によって IP アドレスが確実に HP Jetdirect プリント サーバーに割り当てられるように予約します。これにより、一定の期間以上 HP Jetdirect プリント サーバーの電源が切れていたり、ネットワークの接続が切断されていても、IP アドレスが変更されることはなくなります。

手順 6: オペレーティング システムを選択する

デバイスの管理に HP Web Jetadmin だけを使用する予定ならば、プリント キューをどのように設定しても構いません。HP Jetdirect プリント サーバーを最初にどのように設定しても、HP Web Jetadmin で管理できます。プリント キューを作成し直す必要もありません。たとえば、次に示すどの方法を使用して設定された HP Jetdirect プリント サーバーでも、HP Web Jetadmin を使用して管理することができます。

- HP Jetadmin (HP Jetdirect Port Monitor)
- HP Web Jetadmin (HP Standard TCP/IP Port Monitor)
- HP ネットワーク プリンタ インストーラ
- IPP (Internet Printing Protocol)
- lpr (line printer remote)
- Novell Directory Services (NDS)、バインダリ、リモート プリンタ モード サポート
- NDPS (Novell Distributed Print Services)

HP Web Jetadmin を使用してプリント キューを作成する場合、プリント キューを作成するオペレーティング システムによって、HP Web Jetadmin をインストールする場所が決まります。次のガイドラインに従って、正しいプラットフォームを決めます。

- Windows NT、Windows 2000、Windows XP、または Novell 環境でプリント キューを作成する場合は、HP Web Jetadmin を Windows NT、Windows 2000、または Windows XP にインストールします。
- UNIX®/Linux 環境でプリント キューを作成する場合は、HP Web Jetadmin を Windows NT、Windows 2000、Windows XP、または Linux にインストールします。
- 混在環境において IPX/SPX をサポートする場合、または IPX/SPX で設定されたプリンタを検出する場合は、HP Web Jetadmin を Windows NT、Windows 2000、または Windows XP にインストールします。これらは、IPX/SPX プロトコルをサポートする唯一のプラットフォームです。
- HP Web Jetadmin を Novell NetWare 環境で使用して、NDS またはバインダリのプリント キューを設定する予定がある場合には、Novell NetWare Client がインストールされていることを確認します。Microsoft の NetWare クライアントとは互換性がありません。Novell NetWare Client のサポートされているバージョンの一覧は、Readme ファイルを参照してください。Novell NetWare Client がインストールされていない場合、HP Web Jetadmin を使用して NetWare プリンタを設定しようとすると、エラー メッセージが表示されます。詳細については「[第 18 章 Novell プリントキューの管理](#)」を参照してください。

手順 7: ハードウェア プラットフォームを選択する

HP Web Jetadmin をインストールするためのコンピュータ ハードウェア要件のリストについては、「[第 5 章 HP Web Jetadmin のインストール](#)」および HP Web Jetadmin の Readme ファイルを参照してください。

手順 8: ブラウザを選択する

ユーザーは HP Web Jetadmin をブラウザのインターフェースを通じて操作します。このため、選択したブラウザが必要な機能をサポートしているか、および HP Web Jetadmin にアクセスするすべてのユーザーが簡単に使用できるかを確認します。HP Web Jetadmin が各環境でサポートしているブラウザのリストについては、「[ブラウザのサポート](#)」および HP Web Jetadmin の Readme ファイルを参照してください。

HP Web Jetadmin をセキュリティの高い環境で実行する場合は、ブラウザのセキュリティ機能についても考慮する必要があります。Internet Explorer の最も高いセキュリティ設定では、Java アプレットが実行されません。ダイナミックでリアルタイムのステータス レポートや、高度な設定など、HP Web Jetadmin の機能を最大限に利用するには、Internet Explorer のセキュリティを中レベルまたは低レベルに設定する必要があります。これは、すべての環境に有効な選択肢ではありません。HP Web Jetadmin を実装する場所のセキュリティ ポリシーに従って、中レベルまたは低レベルのセキュリティに設定します。セキュリティ ポリシーによって高レベルのセキュリティが求められる場合、HP Web Jetadmin の URL のみ低レベルに定義し、その他の URL は高レベルに設定できる場合もあります。

手順 9: ディスカバリ方針の決定

特定のネットワーク トポロジおよびトラフィック パターンに最適なディスカバリ方針を作成するためのガイドラインについては、「[第 14 章 ディスカバリ方法の概要](#)」を参照してください。この章では、各ディスカバリ方法の概要について説明します。この情報は、発生するネットワーク トラフィックの量やタイプ、サポートされるネットワーク トポロジ、および要求される精度のレベルについて理解するのに役立ちます。

手順 10: インストールするコピー数を決める

ソフトウェアの使用目的によって、HP Web Jetadmin の単一コピーをインストールすることも、複数のコピーをインストールすることもできます。次のガイドラインに従って、インストールする HP Web Jetadmin のコピー数を決定できます。

HP Web Jetadmin の単一コピーのインストール

すべてのデバイスを管理したり、集中して組織やネットワークの資産を調査する場合は、HP Web Jetadmin のコピーを 1 つだけインストールします。複数のコピーでは、デバイス キャッシュを共有できません。HP Web Jetadmin でデバイス キャッシュが作成されると、その HP Web Jetadmin のコピーでのみデバイス キャッシュを使用できます。HP Web Jetadmin の単一のコピーは、すべてのデバイスに関する情報を記載したデバイス キャッシュを 1 つだけコンパイルすることができます。

HP Web Jetadmin の単一コピーのインストールには、次の利点があります。

- デバイス キャッシュの集中化
- 集中資産管理データベース
- ネットワーク デバイスの集中コントロール

HP Web Jetadmin の複数コピーのインストール

異なるデバイス グループを個別に管理する場合、HP Web Jetadmin の複数コピーをインストールすることをお勧めします。たとえば、複数のユーザーが異なるサブネットのデバイスを管理する場合は、それぞれのサブネットに HP Web Jetadmin のコピーをインストールします。HP Web Jetadmin の複数コピーをインストールすると、大規模ネットワークのディスカバリ処理が簡単になります。

HP Web Jetadmin の複数コピーのインストールには、次の利点があります。

- リモート サイトのデバイスのディスカバリ
- 低速リンクのルーターを介したデバイスのディスカバリ
- 大規模なネットワークのディスカバリ トラフィックの軽減

手順 11: セキュリティ計画を立てる

HP Web Jetadmin では、さまざまなセキュリティ オプションを使用できます。セキュリティ オプションを使用して、組織に適したセキュリティ レベルをカスタマイズできます。セキュリティの目標を明確にした後、以下のガイドラインを使用して、その目標を達成する方法を決めます。

- **HP Web Jetadmin にアクセスするすべての Web ブラウザに SSL/TLS を強制するかどうか。** デフォルトでは、SSL/TLS プロトコルを使用するとすべてのブラウザから HP Web Jetadmin にアクセスできます。SSL/TLS を強制しないように選択した場合は、HP Web Jetadmin と Web ブラウザ間のほとんどの通信が暗号化されずに HTTP を使用して送信されます。つまり、HP Web Jetadmin と Web ブラウザ間で渡される情報は捕捉されやすくなります。
- **Web ブラウザでどのレベルの暗号化を使用するか。** 組織の特定のニーズを満たす暗号化レベルを、低、中、高から選択します。高レベルの暗号化を選択すると、処理速度が低下し、すべてのブラウザが連動しなくなる場合がありますが、より安全です。
- **どのタイプの証明書を使用するか。** HP Web Jetadmin では、自己署名証明書を作成することも、サードパーティの証明機関が署名した証明書をインストールすることも可能です。

- **特定のユーザーだけが HP Web Jetadmin を変更でき、その他のユーザーは情報へのアクセスのみ可能にするようにセキュリティを実装するかどうか。**これは、HP Web Jetadmin のセキュリティを設定する最も一般的な方法です。この目標を達成する方法の 1 つは、デフォルトの管理者プロファイルのパスワードとデバイス パスワードを定義することです。管理者プロファイルのパスワードを知っているユーザーだけが、HP Web Jetadmin に変更を加えることができます。特定のデバイスのパスワードがわかっているならば、そのデバイスの設定にアクセスして変更を加えることができますが、HP Web Jetadmin を設定することはできません。
- **特定のユーザーだけが HP Web Jetadmin にアクセスできるようにするかどうか。**許可リストを定義して、指定した IP アドレスのコンピュータからのみ、HP Web Jetadmin にアクセスできるようにします。HP Web Jetadmin へのアクセスに通常特定のワークステーションだけを使用していて、そのワークステーションが常に同じ IP アドレスを使用する場合は、アクセス コントロール リストを使用して他のワークステーションから HP Web Jetadmin を実行できないように設定できます。DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) の問題について、「[手順 5: プロトコルを選択する](#)」も参照してください。HP Web Jetadmin にアクセスするワークステーションにスタティック IP アドレスを設定してあることを確認してください。または、DHCP サーバーを予約済みで、IP アドレスが変更されないことを確認してください。複数のワークステーションから HP Web Jetadmin にアクセスする予定で、各ワークステーションの IP アドレスがわからない場合、この方法はお勧めできません。
- **ユーザーのクラス別に HP Web Jetadmin の特定の機能を表示できるようにするかどうか。**ユーザーのクラスごとに HP Web Jetadmin で使用できる機能を指定するプロファイルを作成します。たとえば、プリント キューの作成や、デバイス、デバイス グループ、および HP Web Jetadmin ソフトウェアの変更はできないが、デバイスのステータスは表示できるプロファイルを定義できます。
- **権限のないユーザーによるネットワーク デバイスの設定の変更を防止するかどうか。**設定許可を制限するデバイスにパスワードを割り当てます。デバイスが SNMPv3 をサポートしている場合は、SNMPv3 を使用して権限のないユーザーによるデバイスの設定の表示や変更を防止できます。

手順 12: バックアップ計画を立てる

次のような作業を行う場合は、HP Web Jetadmin のバックアップをお勧めします。

- デバイス キャッシュの作成や更新
- 新しいファームウェアのダウンロード
- サイト マップの作成や更新
- セキュリティ オプションの定義や更新
- デバイス グループの設定の定義や更新
- ディスカバリの設定の定義や更新

インストールした HP Web Jetadmin 全体をアーカイブに保存する方法をお勧めします。最低限、次のファイルをバックアップしてください。



注記 このリストは、ルートディレクトリを参照しています。ルートディレクトリは、HP Web Jetadmin をインストールした場所です。リストにあるディレクトリはすべて、このルートディレクトリに続きます。

- 設定オプション (セキュリティ、ディスクバリ、デバイス グループなど) については、ルートディレクトリとそのサブディレクトリにあるすべての INI ファイル (*.ini) をバックアップします。
- デバイス キャッシュについては、ルートディレクトリにあるすべての DAT ファイル (*.dat) をバックアップします。
- サイト マップについては、ルートディレクトリ ¥ doc ¥ plugins ¥ hpjwja ¥ maps にあるすべてのファイル (*.*) をバックアップします。
- ファームウェアのすべてのイメージについては、root directory ¥ doc ¥ firmware 以下のすべてのディレクトリと、これらディレクトリ内のすべてのファイルをバックアップします。このバックアップにより、HP 社の Web サイトからファームウェア イメージを再度ダウンロードする手間が省けます。

手順 13: プリンタ ドライバの管理計画を立てる

ユーザーがプリンタ ドライバを取得する方法と、そのプリンタ ドライバに関連付けられる HP Web Jetadmin を配置する場所を決める必要があります。

- UNIX/Linux の環境では、この問題は関係ありません。UNIX/Linux 環境のプリンタだけを管理する場合は、「[手順 14: デバイス グループを実装するかどうかを決める](#)」を参照してください。
- Windows の環境では、ポイント アンド プリントをセットアップして、プリンタ ドライバがユーザーのコンピュータに自動的にダウンロードされるように設定します。ポイント アンド プリント機能の詳細については、「[Windows プリンタ ドライバ](#)」を参照してください。

Hewlett-Packard 社では、HP Web Jetadmin をインストールしたコンピュータと同じコンピュータにプリンタ ドライバをインストールすることをお勧めします。

手順 14: デバイス グループを実装するかどうかを決める

デバイス グループは、ユーザーがデバイスに関する情報をすばやく簡単に知ることができるようにデバイスをグループ分けする場合に非常に便利です。たとえば、ある部署でデバイスの監視を担当するユーザーは、監視するデバイスを単一グループとして定義することによって、効率的に作業できます。これにより、デバイス ステータスのチェックが簡単になるので、ネットワーク上のすべてのデバイスの長いリストにわずらわされることもありません。

次に示すのは、デバイスをグループに分ける方法の例です。

- 279.4 × 431.8 mm (11 × 17 インチ) の用紙をサポートし、大容量の RAM を搭載したすべてのプリンタを含むグラフィックス プリンタ グループ
- あるサポート担当者が監視するすべてのプリンタを含むグループ
- マーケティング部門にあるすべてのプリンタを含むマーケティンググループ

デバイス グループを定義する前に、デバイスにどのような種類の管理タスクが必要になるのかを考慮します。デバイス グループの定義が不適正だと、効果的に管理できません。たとえば、ヘルプ デスク担当者がカラー プリンタだけをサポートし、これらのプリンタがサイト内に散在している場合、配置場所に基づいたデバイス グループは便利ではありません。カラー プリンタだけをグループにすると、ヘルプ デスク担当者は単一リストでそれらプリンタのステータスを監視することができます。異

なる場所にある複数のグループのプリンタを1つずつチェックして、カラー プリンタを探す必要はありません。

デバイス グループを実装する方法を決める際のいくつかの質問を次に示します。

- **ヘルプ デスク担当者が、HP Web Jetadmin を使用してサポートするデバイスの特定のサブセットを調査することがあるか。** 各ヘルプ デスク担当者がサポートするプリンタや、特定の場所にあるプリンタ、あるいは、代わりのないプリンタや定期メンテナンスが必要なプリンタなどの頻繁にチェックが必要なプリンタを示すデバイス グループを作成します。
- **組織全体のデバイスやデバイス グループの位置を表すサイト マップを作成するか。** 作成すると、ヘルプ デスクの担当者やネットワーク管理者は、サイト マップのデバイス グループ内で個別のデバイスをすばやく探し出すことができます。

手順 15: サイト マップを実装するかどうかを決める

サイト マップは HP Web Jetadmin 内のデバイス グループを表示します。そこで、サイト マップを実装する前に、デバイス グループを定義します。

つまり、作業環境でサイト マップを便利に使用できるかどうかを判断するには、HP Web Jetadmin を使用してどのようなタスクを実行するかを評価する必要があります。たとえば、一般にサイト マップはヘルプ デスク担当者に便利です。階層的にデバイス グループを定義して、入れ子状のデバイス グループ内を移動できます。部署や階、建物など、それぞれの場所でデバイスを簡単に調査できます。ヘルプ デスク担当者は、プリンタを操作する必要がある場合、プリンタの場所をサイト マップで確認して、プリンタの近くにいるユーザーに連絡できます。

サイト マップの作成と管理には、特別な作業が必要なため、組織にとってサイト マップが便利かどうかを慎重に判断する必要があります。

- 実行するタスクによっては、デバイスの場所を視覚的に表現する必要がなく、サイト マップを管理する労力に見合う効果を得られない場合もあります。
- デバイスを頻繁に移動する場合は、サイト マップを使用する利点と、サイト マップを更新する手間を十分考慮してください。
- サイト マップは、GIF 形式のファイルに保存できるグラフィックス ソフトウェアで作成する必要があります。このようなソフトウェアがない場合は、購入するか、サイト マップ ファイルを作成する専門技術者に依頼してください。サイト マップの作成には、複数のグラフィックス ソフトウェアを使用できます。たとえば、Visio バージョン 5 では、適切な形式のファイルを出力したり、階のレイアウトを設計したりする機能があります。さらに、Adobe Photoshop®、Corel® PhotoPaint、Jasc Paint Shop Pro など也可以使用できます。ほとんどのスキャン ソフトウェア パッケージで GIF 形式がサポートされています。



注記 ここで述べたサードパーティ製品は、HP Web Jetadmin のサイト マップ作成に使用できるプログラムの一例です。Hewlett-Packard 社がこれらの製品を保証しているわけではありません。また、Hewlett-Packard 社は、ユーザーが他の製品を使用することにも同意します。

第 3 段階 HP Web Jetadmin のインストール

HP Web Jetadmin は簡単にインストールできます。詳細については「[第 5 章 HP Web Jetadmin のインストール](#)」を参照してください。HP Web Jetadmin をインストールするために必要な、基本的な手順と準備について、次に示します。

1. HP Web Jetadmin をインストールします。Windows の場合は管理者権限で、Linux の場合は root でログインしてください。インストール プロセス時に、パスワードをデフォルトの管理者プロファイルに割り当ててください。
2. 使用するネットワークに合わせてディスカバリ オプションを設定します。
3. 初期ディスカバリを実行します。これにより、デバイス キャッシュが作成されます。
4. プリント キューを作成します。

第 4 段階 HP Web Jetadmin のカスタマイズ

HP Web Jetadmin をインストールしたら、ソフトウェアをニーズに合わせてカスタマイズします。これにはいくつかの方法があります。たとえば、次の方法が可能です。

- 指定した日付や時刻にディスカバリが実行されるように設定します。デバイス キャッシュの管理に適するように複数のディスカバリ方法の有効化が必要な場合もあります。
- ローカル サポート情報を提供するかどうかを決めます。提供する場合は、ローカル サポートの URL を HP Web Jetadmin で設定します。
- 次の領域で HP Web Jetadmin のパフォーマンスの微調整を行います。
 - デバイス キャッシュに保存される情報の量
 - DNS 参照
 - ブラウザのバージョン
- プロファイルをカスタマイズします。ユーザーが HP Web Jetadmin ソフトウェアを起動したときに表示されるデフォルト ページなど、HP Web Jetadmin の外観と動作を制御します。すべてのプロファイルに同じ設定を適用するか、または個々のプロファイルを選択して異なる設定を適用できます。
- デバイス リスト表示を設定し、デバイス表示や **[デバイス ステータス]** ページを更新する頻度を指定します。
- すべてのネットワーク プリンタに共通なプリンタ設定を決めます。複数デバイスの設定機能を使用します。
- セキュリティを設定します。Hewlett-Packard 社ではデバイスのパスワードを定義することをお勧めします。これを行うには、複数デバイスの設定機能を使用します。また、プロファイルを作成して、ユーザー クラス別にアクセスできる製品機能を管理することができます。
- HP デバイス アラートを使用するかどうかを決めます。使用する場合は、SMTP サーバーで、電子メール ゲートウェイを有効にします。プリンタや HP Jetdirect プリント サーバーのファームウェアがアラートをサポートしている場合は、設定だけを行います。どのアラートをトラップするか、および誰がアラート通知を受け取るかを決めます。プリンタや HP Jetdirect プリント サーバーがアラートをサポートしていない場合は、新しいファームウェアをダウンロードするか、または新しいプリンタの購入を検討してください。
- デバイス グループを使用する場合は、それらを定義します。
- サイト マップを使用する場合は、HP Web Jetadmin にアップロードします。サイト マップがない場合は、作成する必要があります。

第 5 段階 HP Web Jetadmin の操作

HP Web Jetadmin をインストールしてカスタマイズしたら、HP Web Jetadmin をスムーズに動作させ続けるために、日々の作業において、いくつかのタスクが必要です。必要なタスクを次に示します。

- ネットワーク トラフィックに対するタスクの影響を監視。
- デバイス キャッシュの保守管理。組織でディスカバリ方法を最も効果的に使用するために、ディスカバリ トラフィックの影響とディスカバリ結果の精度を監視します。
- 既存のデバイス グループを保守管理し、必要に応じて新たに作成。デバイス グループを使用するユーザーに、より効果的に使用するための変更の時期の判断を依頼します。
- カスタマイズしたサイト マップの保守管理。デバイスを移動したときや、サイトを変更したとき、デバイス グループを変更、追加したときなどに、サイト マップの更新が必要です。
- HP Web Jetadmin のパフォーマンスの監視と、必要に応じた微調整。
- *Unable to communicate* など、通常のシステム メッセージを分析して解決する。
- バックアップ方針を実行する。ファイルに変更があった際は、HP Web Jetadmin の実装に必須の重要なファイルを確実にバックアップします。

HP 製品情報とサポート

Hewlett-Packard 社では、このマニュアルで説明する方法を実装した場合の情報とサポートを提供する、広範な Web サイトを管理しています。次に示す Web サイトでは、Hewlett-Packard 社のネットワーク デバイス管理ソリューションに関する詳細な情報を提供します。一部のサイトには、ソフトウェア ツールのダウンロードやアップデートに関するリンクもあります。

製品	URL
HP Web Jetadmin	http://www.hp.com/go/webjetadmin
HP Jetdirect	http://www.hp.com/go/jetdirect
HP OpenView	http://www.openview.hp.com/

再販業者は、HP 製品に関するさまざまなサポート情報を入手したり、サポートを受けたりすることができます。これらには、テクニカル サポート、修理補助およびサービス、マイペースで学べるクラス トレーニング、部品および保証情報、在庫情報や研究論文、ネットワーク支援などが含まれます。サポート Web サイト <http://www.hp.com/go/support> にアクセスしてください。

セクション 2

HP Web Jetadmin ソフトウェア

このセクションには、次の章があります。

[第 5 章 HP Web Jetadmin のインストール](#)

[第 6 章 ユーザー インタフェース](#)

[第 7 章 HP Web Jetadmin のカスタマイズ](#)

[第 8 章 HP Web Jetadmin ソフトウェアの更新](#)

5 HP Web Jetadmin のインストール

この章では、次の項目を説明します。




- [インストールの概要](#)
- [HP Web Jetadmin のフロント エンドとバック エンド](#)
- [Web サーバーの構成](#)
- [インストールの要件](#)
- [Windows へのインストール](#)
- [Linux へのインストール](#)
- [HP Web Jetadmin の停止と開始](#)
- [HP Web Jetadmin の表示](#)
- [セットアップ ウィザード](#)

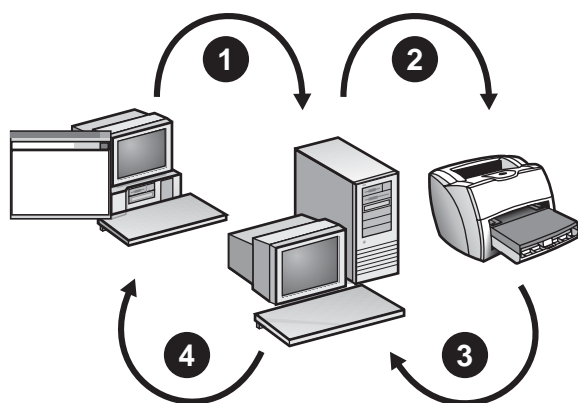
インストールの概要

HP Web Jetadmin は簡単にインストールできます。インストール プログラムを実行し、画面に表示される手順に従って操作するだけです。

6.5 以降の旧バージョンに新しいバージョンの HP Web Jetadmin をインストールする場合は、旧バージョンで使用していたデバイス グループなどのカスタム設定を保存できます。

HP Web Jetadmin のフロント エンドとバック エンド

アイコン	説明
	HP Web Jetadmin ホスト コンピュータ
	Web ブラウザを実行するワークステーション
	イントラネットで動作するプリンタ



1	HTTP 要求
2	SNMP 要求
4	SNMP 応答
3	HTTP 応答

HP Web Jetadmin を使用して、サーバー (バック エンド) を構築し、Web ブラウザ (フロント エンド) からデバイスを管理できます。Web サーバーを使用して、ヘルプ デスクの担当者など、ネットワーク クライアントが HP Web Jetadmin を使用し、クライアント コンピュータで実行されている TCP/IP Web ブラウザのデスクトップからデバイスを管理できます。

HP Web Jetadmin では TCP/IP と IPX/SPX の両方がサポートされているので、Windows の環境で、HP Web Jetadmin が実行されている Windows コンピュータから管理しているデバイスに対する TCP/IP 通信ラインを確立する必要はありません。つまり、HP Web Jetadmin を使用してデバイスの管理をするために、TCP/IP を実行する必要はありません。

図に示すとおり、HP Web Jetadmin のバックエンドは、次のように動作します。




1. Web ブラウザ (別名 : Web クライアント) を経由してデバイスのステータス情報を要求すると、Web サーバーのバック エンドから HP Web Jetadmin に対して、ステータス情報の HTTP 要求が送信されます。
2. HP Web Jetadmin により、この HTTP 要求が Simple Network Management Protocol (SNMP) 要求に変換され、適切なデバイスに転送されます。
3. このデバイスにより、ステータス情報とともに SNMP 応答が HP Web Jetadmin に送信されます。
4. HP Web Jetadmin により、ステータス情報を含んでいる HTML ページが作成され、これらの HTML ページは Web クライアントに戻されます。

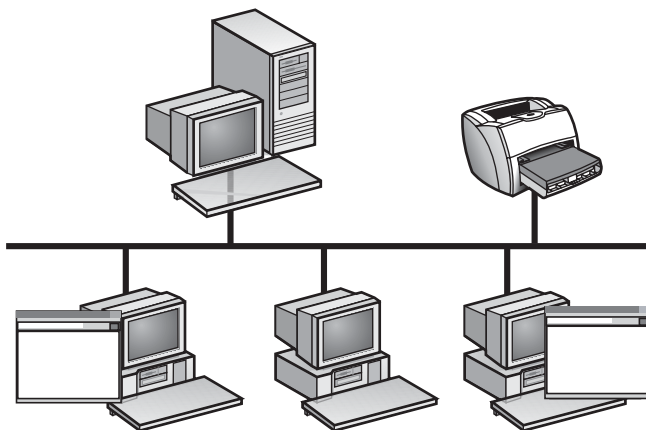
Web クライアントは TCP/IP、または TCP/IP のプロキシ サービスを使用して Web サーバーと通信します。HP Web Jetadmin を使用してプリンタを管理する必要がある場合は、プリンタに TCP/IP アドレスが設定されていると便利です。しかし、この場合、HP Web Jetadmin にアクセスしているユーザーは Novell NetWare と Windows の混在環境などで IPX/SPX を実行している場合であっても、デバイスを認識できます。

HP Web Jetadmin を使用して、HP Jetdirect プリント サーバーがどのように設定されているかに関係なく、プリント サーバーを管理できます。管理方法は次のとおりです。

- Novell 環境では、HP Jetadmin、または NDPS。
- Windows などのダイレクト モード環境では、HP Jetadmin。
- Windows 環境では、HP ネットワーク プリンタのインストール プログラム。
- TCP/IP 環境では、line printer remote (lpr)。

Web サーバーの構成

アイコン	説明
	HP Web Jetadmin ホスト コンピュータ
	Web ブラウザを実行するワークステーション
	プリンタ



HP Web Jetadmin は Web ベースなので、ネットワーク上にあるクライアント ワークステーションへの情報の配布は Web サーバー コンポーネントに依存します。

HP Web Jetadmin のマスタ コントロール プロセスはホスト コンピュータで継続的に実行され、クライアント ワークステーションの Web ブラウザから送られる着信 HTTP 要求を待ちます。Web ブラウザから HP Web Jetadmin の Web サーバーへ、テキスト ファイルや画像ファイル、ZIP ファイルの取得が要求されます。これらの要求に対して、HP Web Jetadmin の Web サーバー コンポーネントから要求元の Web ブラウザに情報、ファイル、プログラムの結果が送信されます。

HP Web Jetadmin には Web サーバー コンポーネントが統合されているので、企業イントラネットにも統合できます。インストール時に別のポートを指定しない限り、HP Web Jetadmin ではデフォルトのポート 8000 が使用され、既存の Web サーバーはすべて継続して動作することになります。

HP Web Jetadmin の Web サーバー コンポーネントは、セットアップの必要がほとんどありません。HP Web Jetadmin のデフォルトの設定をすべて使用することにし、後でオプションのデフォルト設定値を変更できます。たとえば、ポート番号を HP Web Jetadmin のデフォルトである 8000 から Web ブラウザのデフォルト HTTP ネットワーク ポートである 80 に変更できます。

インストールの要件

HP Web Jetadmin をインストールする前に、次の要件を満たしていることを確認する必要があります。

オペレーティング システムとハードウェア

ネットワークでは承認されたオペレーティング システムが実行され、HP Web Jetadmin をインストールするコンピュータは、特定のハードウェア要件を満たしている必要があります。オペレーティング システムとハードウェア要件については、Readme ファイルを参照してください。



注記 HP Web Jetadmin をインストールするコンピュータのサイズは、ネットワークのサイズ、ネットワークの分散規模、およびネットワーク上でサポートされているデバイスの数によって異なります。小規模なネットワークの場合は、任意のデスクトップに追加サービスとして HP Web Jetadmin をインストールします。大規模なネットワークの場合は、広範囲に複数のハードウェアを備えた専用マルチプロセッサ サーバーに至るまで、任意のコンピュータに HP Web Jetadmin をインストールします。

Novell NetWare プリント キュー サポート

Novell NetWare Client が実行されている Windows 版の HP Web Jetadmin を使用している場合、Novell NetWare プリント キュー サポートを使用できます。Novell NetWare Client のサポートされているバージョンの一覧は、Readme ファイルを参照してください。

サポートされている Web ブラウザ

HP Web Jetadmin にアクセスする各ワークステーションに Mozilla Firefox (Linux) または Internet Explorer (Windows) をインストールする必要があります。サポートされているブラウザのバージョンについては、Readme ファイルを参照してください。

画面解像度とカラー パレット

ブラウザが実行されているコンピュータを次のように設定することをお勧めします。

- 画面解像度 : 1024 × 768 ピクセル
- カラー パレット : 最低 256 色

HP Web Jetadmin のダウンロード


次のサイトから、HP Web Jetadmin のコピーをローカル ディレクトリにダウンロードします。

製品	URL
World Wide Web	http://www.hp.com/go/webjetadmin
HP FTP サイト	ftp://ftp.hp.com/pub/networking/software/wja

Windows へのインストール

Windows に HP Web Jetadmin をインストールするには

1. HP Web Jetadmin の EXE ファイルをダウンロードしたローカルまたはネットワークの場所に移動します。この EXE ファイルをダブルクリックします。
2. インストール画面の指示に従って操作します。
 - HP Web Jetadmin バージョン 6.0 以降からアップグレードする場合、以前の設定に関するダイアログ ボックスが表示されます。既存のインストールでのデバイス グループ、サイトマップ、HP Web Jetadmin などの設定をそのまま残すには、インストールしたプログラムが入っているディレクトリを選択します。旧バージョンの設定を残す必要がない場合は、**[新規インストール]** を選択します。
 - コンピュータ名にはデフォルト値が表示されます。デフォルト値が正しくない場合は、正しいコンピュータ名を入力してください。デフォルトのコンピュータ名が表示されない場合は、DNS ホスト名を入力してください。DNS ホスト名が存在しない場合は、コンピュータの TCP/IP アドレスを入力してください。

 **注記** Windows NT 4.x で DNS ホスト名を調べるには、**[ネットワーク コンピュータ]** をマウスの右ボタンでクリックし、**[プロパティ]**、**[プロトコル]**、**[TCP/IP プロトコル]**、**[DNS]** の順に選択します。

 - デフォルトのポート番号は **8000** です。ただし、この番号が既に使用されている場合は異なります。ポート番号の詳細については、「[Web サーバーの構成](#)」を参照してください。
 - インストール先のパスのデフォルト値は、**Program Files\HP Web Jetadmin** です。
 - プログラム フォルダのデフォルト値は **[HP Web Jetadmin]** です。
3. **[完了]** をクリックします。

Windows では、HP Web Jetadmin はサービスとして実行されます。このサービスは、インストールの終了後、およびインストールしたシステムを再起動するたびに開始されます。

Linux へのインストール

Linux 用 HP Web Jetadmin のインストール プログラムは、自己解凍型の実行可能ファイルです (SELFEX)。

旧バージョンの HP Web Jetadmin からのアップグレード

HP Web Jetadmin の旧バージョンからアップグレードするには、インストール プログラムのアップグレード オプションを使用します。インストール プログラムを実行するときに、以下のオプションを指定します。

-u <旧バージョンのディレクトリ>

ここで、<旧バージョンのディレクトリ> は、旧バージョンの HP Web Jetadmin がインストールされているディレクトリへのパスです (/opt/hpwebjet など)。

旧バージョンの HP Web Jetadmin がインストールされていて、-u <旧バージョンのディレクトリ> オプションを指定しない場合、旧バージョンはそのまま残されます。

インストール プログラムの使用



注記 HP Web Jetadmin をインストールするには、ルート ユーザーとしてログインする必要があります。

1. 次のコマンドを実行して、インストール プログラムを開始します。

./<ファイル名>.selfx

2. インストール画面の指示に従って操作します。

- プロンプトが表示されたら、**[Enter]** を押して、ソフトウェア ライセンス契約を表示します。ライセンス契約をスクロールするには、**[Enter]** を繰り返し押すか、または **[スペースバー]** を押します。インストールを継続するには、**[はい]** と入力して、ライセンス契約の条件を受け入れます。**[いいえ]** と入力すると、インストールを継続することはできません。
- HP Web Jetadmin のインストール先ディレクトリを、/opt/hpwebjet のように指定します。親ディレクトリが既に存在している場合は、インストール プログラムによってサブディレクトリが作成されます。たとえば、/opt/hpwebjet に HP Web Jetadmin をインストールするときに /opt が既に存在している場合は、hpwebjet サブディレクトリが作成されます。/opt が存在しない場合は、エラーメッセージが表示されます。
- HP Web Jetadmin を使用して要求を監視するシステム ポート番号を指定します。ポート番号のデフォルト値は 8000 です。

インストール プログラムを使用する別の方法



注記 HP Web Jetadmin をインストールするには、ルート ユーザーとしてログインする必要があります。

対話をまったくせずに、インストール プログラムを使用することができます。この場合、インストール プログラムから通常プロンプトされる情報をコマンドライン オプションとして、インストール プログラムに入力します。

インストール プログラムのすべてのコマンドライン オプションを表示するには、次のコマンドを実行して、インストール プログラムを開始します。

`./<ファイル名>.selfx -h`

コマンドラインにオプションを指定しないで実行した場合は、プロンプトが表示され、大半の情報の入力が求められます。ただし、インストールプログラムからアップグレードディレクトリの入力が求められることはありません。アップグレードディレクトリに関する情報は、コマンドラインで指定する必要があります。

構成の確認

サポートされているブラウザに次の URL を入力します。http://server.domain:port ここで、server.domain は HP Web Jetadmin のホスト コンピュータのホスト名であり、port はインストール時に指定したポート番号です。

HP Web Jetadmin の停止と開始

インストール プログラムが完了すると、HP Web Jetadmin が開始されます。ただし、一部の設定を有効にするには、HP Web Jetadmin をいったん停止し、再開する必要があります。ここでは、さまざまなオペレーティング システムで HP Web Jetadmin を停止、および開始する方法について説明します。

Windows

HP Web Jetadmin を停止するには

1. [コントロール パネル] で [サービス] をダブルクリックします。
2. リストから [HP Web Jetadmin] を選択します。
3. [停止] をクリックします。

HP Web Jetadmin を開始するには

1. [コントロール パネル] で [サービス] をダブルクリックします。
2. リストから [HP Web Jetadmin] を選択します。
3. [開始] をクリックします。

Linux



注記 ここで説明する操作を実行するには、ルート レベルのアクセスが必要です。

HP Web Jetadmin を停止するには

次のコマンドを入力します。

▲ `/etc/rc.d/init.d/hpwebjetd stop`

HP Web Jetadmin を開始するには

次のコマンドを入力します。

▲ `/etc/rc.d/init.d/hpwebjetd start`

HP Web Jetadmin の表示

クライアント ワークステーションからサポートされている Web ブラウザで HP Web Jetadmin を表示するには、次の URL のいずれかを入力します。

- `http://server.domain:port/`ここで、`server.domain` は HP Web Jetadmin のホスト コンピュータのホスト名であり、`port` はインストール時に指定したポート番号です。ポート番号のデフォルト値は 8000 です。ポート番号は HP Web Jetadmin がインストールされているディレクトリにある `url.txt` ファイルに記述されています。
- `http://ipaddress:port/`ここで、`ipaddress` は、HP Web Jetadmin がインストールされているコンピュータの IP アドレスです。

セットアップ ウィザード

インストール後に初めて HP Web Jetadmin にアクセスすると、セットアップ ウィザードが表示されます。**[一般設定] > [セットアップ ウィザード]** ページからもセットアップ ウィザードにアクセスできます。セットアップ ウィザードでは、HP Web Jetadmin の利点を最大限引き出すための機能を設定します。たとえば、サポート URL、SSL/TLS などのセキュリティ機能、HTTP ネットワーク設定、ディスカバリ方法を設定できます。



注記 ユーザーの所属機関のニーズに合わせて HP Web Jetadmin を実装するための最適な方法を決定するヒントについては、「[第 4 章 HP Web Jetadmin の設計と実装](#)」を参照してください。

- ウェルカム ページ - セットアップ ウィザードで設定できるすべての設定値がリストされます。使用しない設定値がある場合は、該当チェックボックスをクリックしてオフにします。これらの設定値は、セットアップ ウィザードの初回表示時ではなく、HP Web Jetadmin の該当ページからか、または **[一般設定] > [セットアップ ウィザード]** ページから後で設定することもできます。HP Web Jetadmin のセットアップ ウィザードを今後表示しないようにするには、**[今後このページを表示しない]** チェックボックスをオンにします。
- 1 ページ - 管理者の名前と、サポート情報が掲載されている Web ページにリンクするローカルサポート URL を設定します。特定の URL だけでなく、電子メールのアドレスも指定できます。詳細については、「[管理者情報](#)」および「[ローカル サポート URL](#)」を参照してください。
- 2 ページ - ユーザーが HP Web Jetadmin にアクセスしたときに最初に表示されるページを設定します。詳細については「[デフォルトのホーム ページ](#)」を参照してください。
- 3 ページ - ユーザーによるソフトウェアへのアクセスを許可するときに HP Web Jetadmin で使用する認証方法を設定します。HP Web Jetadmin では、プロファイルまたは Windows NT ドメイン ユーザーおよびグループに基づいてユーザーを認証できます。プロファイルにパスワードを割り当てることもできます。詳細については「[認証方法](#)」を参照してください。
- 4 ページ - HP Web Jetadmin が要求をリスンするときの HTTP ポートと、HP Web Jetadmin がインターネットにアクセスするとき使用する HTTP プロキシ設定値を設定します。HTTP プロキシ設定を指定すると、HP Jetdirect ファームウェアなどの製品のアップデートが必要な場合に、HP Web Jetadmin のインテリジェント更新機能から、HP 社の Web サイトにアクセスし、最新のソフトウェア パッケージをダウンロードできます。詳細については、「[HTTP ポート](#)」および「[HTTP プロキシ](#)」を参照してください。
- 5 ページ - HP Web Jetadmin にアクセスできるコンピュータを管理する許可リストを設定します。HP Web Jetadmin へのアクセスを、特定の IP アドレスにのみ許可したり、特定の IP アドレスに限ってアクセスを拒否したりできます。詳細については「[許可リスト](#)」を参照してください。
- 6 ページ - アラート メッセージなどの電子メール メッセージを送信するときに HP Web Jetadmin で使用する SMTP サーバーを指定します。SMTP サーバーの指定後、テストメッセージを送信して SMTP サーバが正常に機能していることを確認できます。詳細については「[SMTP \(メール\) ホスト](#)」を参照してください。
- 7 ページ - ネットワークを検索してデバイスのディスカバリおよびデバイス キャッシュへのデバイスの追加を行うときに HP Web Jetadmin で使用するネットワーク プロトコルを設定し、ディスカバリを開始します。デバイスについてデバイス キャッシュを検索したり、デバイスを設定したり、デバイスを管理したりする前にはディスカバリを実行する必要があります。詳細については「[第 14 章 ディスカバリ方法の概要](#)」を参照してください。
- 8 ページ - ディスカバリを自動的に実行する時刻をスケジュールします。詳細については「[ディスカバリのスケジューリング](#)」を参照してください。

- 9 ページ - HP Web Jetadmin の証明書管理機能について説明します。詳細については「[SSL/TLS](#)」を参照してください。
- 10 ページ - HP Web Jetadmin のホスト コンピュータと Web ブラウザ間の通信を確立するための暗号化レベルを設定します。指定した暗号化レベルが Web ブラウザでサポートされていない場合は、その Web ブラウザから HP Web Jetadmin にアクセスすることはできません。詳細については「[SSL/TLS](#)」を参照してください。
- 11 ページ - SSL/TLS セキュリティ機能を有効または無効にします。詳細については「[SSL/TLS](#)」を参照してください。

6 ユーザー インタフェース

この章では、次の項目を説明します。

- [ユーザー インタフェースの概要](#)
- [ページ レイアウト](#)
- [HP Web Jetadmin における変更](#)

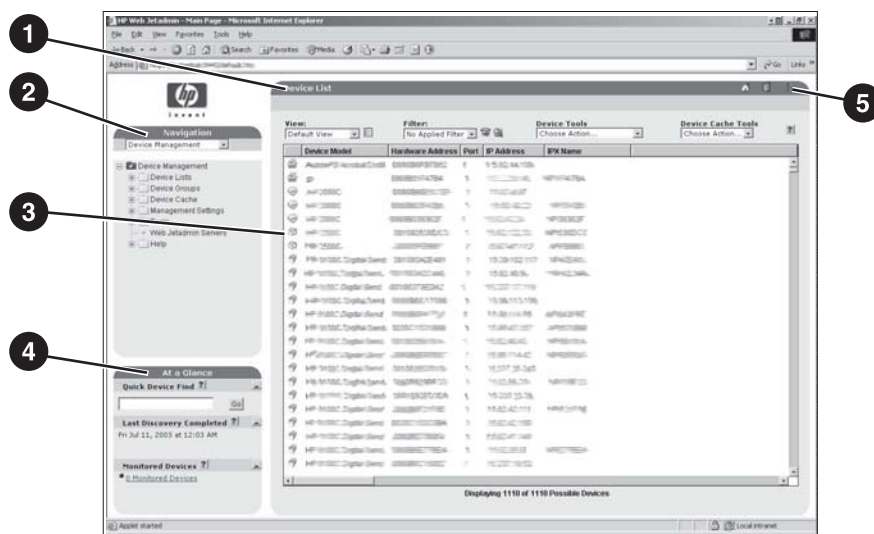
ユーザー インタフェースの概要

この章では、HP Web Jetadmin のユーザー インタフェース (UI) について説明します。また、ソフトウェアを操作する方法についても説明します。

ページ レイアウト

UI は作業をより早く完了させ、より直観的に作業手順が完了できるように設計されています。また、UI により、作業を完了させるために必要な手順の数を減らし、操作を効率化することができます。

HP Web Jetadmin ページは次の領域に分けられます。



1	コンテンツ タイトル バー
2	[ナビゲーション] 領域
3	コンテンツ領域
4	[一覧表] 領域
5	コンテキスト ヘルプ



注記 HP Web Jetadmin ソフトウェアのアップグレードが入手可能で HTTP ダウンロードを有効にしていると、[ナビゲーション] 領域の上にメッセージが表示されます。

ナビゲーション領域

[ナビゲーション] 領域には、必要なページに移動するときに使用できる展開可能なツリーが表示されます。HP Web Jetadmin の機能は、[デバイス管理]、[プリント キュー管理]、[製品の更新]、および [一般設定] の 4 つの主なオプションに分類されています。



注記 [ナビゲーション] 領域ドロップダウン リストの [プラグインと拡張機能] オプションは、Web ベース アプリケーションへのアクセスとそのアプリケーションの表示を設定する方法と、認定されたアプリケーション プラグインに HP Web Jetadmin ソフトウェアからアクセスする方法を提供します。

注記 HP Web Jetadmin のアプリケーション プラグインのいずれかをインストールすると、[ナビゲーション] ドロップダウン リストで追加のオプションが使用可能になる場合があります。

[ナビゲーション] ツリーからいずれかのオプションを選択すると、ツリーメニューが展開されます。このツリーを使用して、その機能の領域に関するすべてのページにアクセスできます。

HP Web Jetadmin マニュアルにはソフトウェア内のページへの参照が含まれています。これらの参照には、[ナビゲーション] 領域で展開可能なツリーを使用してそのページに移動する方法が記載されています。たとえば、[デバイス管理] > [デバイス リスト] > [すべてのデバイス] ページに移動するには、[デバイス管理] フォルダを展開し、[デバイス リスト] フォルダを展開して、[すべてのデバイス] をクリックします。

一覧表領域

[一覧表] 領域には次の機能が表示されます。

クイック デバイス検索

[クイック デバイス検索] セクションを使用して、特定のデバイスを検索できます。検索するには、デバイスのアドレス (IP アドレス、ハードウェア アドレス、ホスト名など) を入力します。[Go] をクリックすると、[デバイス ステータス] ページが表示されます。このオプションは、デバイスのアドレスがわかっている場合に有効です。

アドレスをセミコロンで区切って複数のデバイスを検索することもできます。[Go] をクリックすると、一時デバイス グループが表示されます。

バックグラウンド タスク

[バックグラウンド タスク] セクションには、処理済みまたは処理中の HP Web Jetadmin バックグラウンド タスクが表示されます。

監視デバイス

[監視デバイス] セクションには、アラートを監視しているデバイスの数が示されます。[監視デバイス] リンクをクリックすると、[監視デバイス] ページが表示され、監視デバイスがすべてリストされます。[監視デバイス] ページから、監視デバイスのリストにデバイスを追加したり、リストから削除したり、特定のデバイスに関するアラート設定を変更したりすることができます。

HP Web Jetadmin でデバイスのアラートが監視されている場合、このセクションにはクリティカルアラートおよび注意アラートが生成された監視デバイスの数も示されます。クリティカル アラートは、解決しなければ動作を続行できないエラーがデバイスで発生した場合に生成されます。注意アラートは、デバイスでエラーは発生しているが、ユーザーが調整しなくても動作が続行できる場合に生成されます。[クリティカル デバイス] または [注意デバイス] リンクをクリックすると、アラートを生成したデバイスがリストされた一時デバイス グループが表示されます。[デバイス ステータス] ページを表示するには、該当するデバイスを選択し、[開く] をクリックします。



注記 デバイスのアラートを監視していない場合、HP Web Jetadmin では [クリティカル デバイス] リンクや [注意デバイス] リンクは表示されません。

[一覧表] 領域の [監視デバイス] セクションを非表示にすることができます。詳細については「[監視デバイス アラート、クリティカル デバイス アラート、および注意デバイス アラート](#)」を参照してください。

コンテンツ領域

コンテンツ領域は各ページのメイン領域です。HP Web Jetadmin が情報を表示したり、ユーザーが設定を行ったり、その他のタスクを実行したりすることができる場所です。コンテンツ領域には次のセクションが含まれています。



注記 一部の HP Web Jetadmin ページのコンテンツ領域では、展開可能なツリーまたはリスト表示で、デバイスまたはデバイス グループに複数のオプションを適用したり、複数のデバイスまたはデバイス グループを選択したりできます。リストでオプションまたはデバイスの範囲を選択するには、**Shift** キーを押しながら範囲を選択します。リストで特定のオプションまたはデバイスを選択するには、**Ctrl** キーを押しながら選択するオプションまたはデバイスをクリックします。

デバイス リスト

デバイス リストはコンテンツ領域の中央に表示されます。






コンテンツ タイトル バー

コンテンツ タイトル バーには現在のページの名前が表示されます。

コンテンツ ツールバー

コンテンツ ツールバーには、次の機能が含まれています。

- コンテンツ ツールバーの上部に、他の関連ページにアクセスするときに使用できるドロップダウン リストが表示されるページがあります。たとえば、[デバイス ステータス] ページにアクセスすると、コンテンツ ツールバーのドロップダウン リストから、[デバイス設定] ページや [デバイス診断] ページなどの他のデバイス関連ページにアクセスできます。
- タスク バーの右側には、いくつかのアイコンがあります。

アイコン	説明
	リフレッシュ アイコンはデバイスの [デバイス ステータス] ページなどのページのコンテンツ ツールバーに表示されます。リフレッシュ アイコンをクリックすると、HP Web Jetadmin によりデバイスのステータスが更新されます。
	ホーム アイコンをクリックすると、HP Web Jetadmin のホーム ページが表示されます。デフォルトのホーム ページを定義する手順については、「 デフォルトのホーム ページ 」を参照してください。
	ブックマーク アイコンをクリックすると、現在のページが [お気に入り] リストに追加されます。[ナビゲーション] ドロップダウン リストから [お気に入り] を選択すると、ナビゲーション ツリーに追加したブックマークのリストが表示されます。
	ヘルプ アイコンをクリックすると、そのページのコンテキスト ヘルプが表示されます。詳細については「 統合されたコンテキスト ヘルプ 」を参照してください。
	注記 そのページで追加のヘルプ アイコンを使用できる場合があります。このヘルプ アイコンをクリックすると、そのオプションに対応するコンテキスト ヘルプが表示されます。

- プロセスによっては、完了したプロセスのパーセンテージを示す進行状況インジケータが HP Web Jetadmin のコンテンツ ツールバーに表示される場合もあります。

[コンテキスト ヘルプ]領域

HP Web Jetadmin のページ内にコンテキスト ヘルプが表示されるように設定されている場合、[コンテキスト ヘルプ] 領域には HP Web Jetadmin のコンテキスト ヘルプが表示されます。デフォルトの設定では、HP Web Jetadmin はコンテキスト ヘルプを別のブラウザ ウィンドウに表示します。詳細については「[統合されたコンテキスト ヘルプ](#)」を参照してください。

HP Web Jetadmin における変更

画面のテキスト ボックスに情報を入力したり、オプションを選択した場合は、**[適用]** をクリックする必要があります。**[適用]** をクリックしない限り、変更は有効になりません。

7 HP Web Jetadmin のカスタマイズ

この章では、次の項目を説明します。

- [カスタマイズの概要](#)
- [言語サポート](#)
- [設定可能な表示](#)
- [プロフィール](#)
- [デバイスの一時グループと固定グループ](#)
- [サポートへの直接リンク](#)



カスタマイズの概要

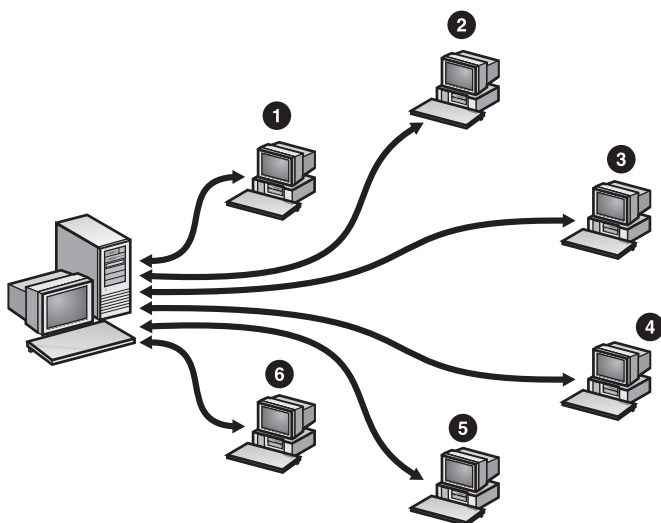
HP Web Jetadmin には、それぞれの作業環境で最適な動作をするようにソフトウェアをカスタマイズする方法が数種類用意されています。

言語サポート

HP Web Jetadmin は、実行可能形式ソフトウェアと言語パックの 2 つの要素で構成されています。各言語パックは、HP Web Jetadmin でサポートされている言語に翻訳されたユーザー インタフェース (UI) ダイアログ (文字列、ビットマップなど) で構成されています。実行可能形式ソフトウェアと翻訳された UI ダイアログが分かれていることにより、多言語環境での HP Web Jetadmin の動作は大きな効果が得られます。

ソフトウェアは 1 台のホスト コンピュータに一度だけインストールします。サポートする言語を選択し、言語パックをインストールします。それぞれの言語パックを使用することにより、1 つの実行可能形式ソフトウェアで、複数の言語で複数のブラウザ セッションに対し同時にサービスすることができます。

アイコン	説明	アイコン	説明
	HP Web Jetadmin ホスト コンピューター		ワークステーション



1	英語
2	フランス語
3	ポーランド語
4	日本語
5	スペイン語
6	韓国語

多言語の HP Web Jetadmin には次の利点があります。

- 言語を指定せずに、ソフトウェアを一度インストールするだけで済みます。つまり、設定するコンピュータは 1 台だけです。
- デバイス キャッシュは 1 つだけです。つまり、複数のデバイス キャッシュの同期をとるのに時間を割く必要はありません。
- ディスカバリを実行する HP Web Jetadmin は 1 つだけです。1 つのデバイスの検出に複数の HP Web Jetadmin で複数のディスクバリが実行されることはありません。この結果、ネットワーク トラフィックが少なくなります。
- たとえば、中国語、英語、日本語を話す従業員を抱えるオフィスがサンフランシスコにあり、企業内で複数の言語が使用されている場合、従業員はそれぞれ自分の好きな言語で作業できます。
- たとえば、英語を話す従業員がイギリスの企業に勤務しているが、ドイツに出張することが多いためドイツ語で作業したい場合も、従業員は好みの言語で作業できます。



注記 HP Web Jetadmin は 20 の言語をサポートし、常に整合性のある言語を表示しようとします。しかし、HP Web Jetadmin により管理されるデバイスがそれぞれ、異なる言語セットをサポートしている可能性があります。この結果、1 つの画面に異なる複数の言語が表示されることがあります。たとえば、**[デバイス ステータス]** ページの基本的なユーザー インタフェースがオランダ語で表示されているとします。あるデバイスでオランダ語がサポートされていない場合、このデバイス固有の情報は **[デバイス ステータス]** ページにオランダ語ではなく、英語で表示されます。

言語サポートの追加

HP Web Jetadmin のインストール後、インテリジェント更新機能を使用して言語パックを追加できます。詳細については「[言語の追加と削除](#)」を参照してください。

ブラウザでの使用言語の指定

HP Web Jetadmin のユーザーはそれぞれ、ブラウザで使用する言語に優先順位を指定できます。HP Web Jetadmin でサポートされている言語がブラウザの言語リストにない場合、ユーザーは手動で必要な言語のエントリを入力し、リストに追加できます。

言語エントリには言語コードを指定します。場合によっては、国/地域コードが必要です。たとえば、米国で使用されている英語のコードは en-US です。また、カナダで使用されているフランス語のコードは fr-CA です。内蔵されているコードは標準の ISO 言語タグです。使用する言語環境を設定し、ユーザー定義の言語コードを追加する方法の詳細については、ブラウザのオンライン ヘルプを参照してください。



注記 ブラウザのリストに言語を追加しても、この言語が HP Web Jetadmin に表示されるとは限りません。まず、HP Web Jetadmin でこの言語がサポートされている必要があります。また、この言語を表示するために必要なフォントがブラウザと同じコンピュータにインストールされている必要があります。

設定可能な表示

HP Web Jetadmin には、ネットワークにあるデバイスに関する多くの情報と、これらのデバイスを構成するための多数のオプションが含まれています。多くのデバイスで構成されている大規模なネットワークでは、HP Web Jetadmin で表示される情報量は飛躍的に増加します。表示される情報量を制限するために HP Web Jetadmin を設定する方法は次のとおりです。

- デバイス リスト - デバイスやデバイス グループのリストを表示するとき、任意の列を基準にしてリスト内の情報をソートします。詳細については「[リストのソート](#)」を参照してください。また、デバイスの情報をフィルタにかけて、特定の情報を簡単に見つけることもできます。詳細については「[リストのフィルタ](#)」を参照してください。
- カスタム表示 - HP Web Jetadmin では、デバイス リストに関する特定の情報をいくつかの方法で表示できますが、これらの表示がユーザーのニーズに適していないこともあります。必要な情報のみを表示するカスタム表示を作成し、リストを表示してカスタム表示を選択します。詳細については「[カスタム表示](#)」を参照してください。
- クイック設定 - **[デバイス設定]** ページで、デバイスの設定に通常使用するオプションで構成したクイック設定を作成できます。詳細については、**[デバイス設定]** ページのコンテキスト ヘルプを参照してください。

プロフィール

[一般設定]>[プロフィール管理] ページを使用して、作成するさまざまなプロフィールについて HP Web Jetadmin の外観と動作をカスタマイズします。すべてのプロフィールに同じ設定を適用するか、またはプロフィールごとに異なる設定を適用します。詳細については「[第 10 章 プロファイルの設定](#)」を参照してください。

デバイスの一時グループと固定グループ

デバイスの一時グループと固定グループを作成します。デバイス リストからデバイスを 1 つ以上選択して、**[開く]** をクリックすると、選択したデバイスが含まれている一時グループが作成されます。一時デバイス グループを使用すると、1 回のみの検索や作業を実行できます。HP Web Jetadmin で一時デバイス グループを保存することはできません。また、別の表示、グループ、またはデバイス フィルタを選択すると、一時デバイス グループは消去されます。

名前を指定して固定デバイス グループを作成します。定期的に複数のデバイスを管理したり、保守したりする必要がある場合は、固定デバイス グループを使用すると便利です。詳細については「[デバイス グループの作成](#)」を参照してください。

サポートへの直接リンク

HP Web Jetadmin には、テクニカル サポート、一般情報、トレーニング情報に関する Web ページへの直接リンクが用意されています。これらのリンクを使用すると、ネットワーク管理者やヘルプ デスク担当者は HP Web Jetadmin に関する情報にすばやくアクセスできます。**[ヘルプ]>[サポートとトレーニング]** ページの Web リンクにアクセスしてください。

また、サポート ページへのリンクを組織のイントラネット上に作成することも可能です。ローカル サポート リンクにより、ヘルプ デスク担当者によるネットワーク管理者への負担が大幅に低減され、サポート コストが削減され、時間を節約することができます。

詳細については「[サポート設定](#)」を参照してください。

8 HP Web Jetadmin ソフトウェアの更新

この章では、次の項目を説明します。

- [インテリジェント更新](#)
- [ソフトウェア コンポーネントのインストール](#)
- [ソフトウェア コンポーネントの削除](#)
- [言語の追加と削除](#)
- [更新の事前通知の有効化](#)
- [パッケージのアップロード](#)

インテリジェント更新

HP Web Jetadmin のインテリジェント更新機能を使用して、オプションのソフトウェア コンポーネントや、既に使用しているコンポーネントの最新バージョンをダウンロードし、インストールします。インテリジェント更新機能を使用して、HP Web Jetadmin からソフトウェア コンポーネントを削除することもできます。

HP Web Jetadmin のインテリジェント更新機能には次の利点があります。

- インストールするパッケージを手動で検索したり、ダウンロードしたりする必要はありません。
- 必要なソフトウェア コンポーネントだけをインストールします。
- 製品全体をダウンロードしてインストールしなくても、最新のサポート パッケージを HP Web Jetadmin に追加できます。

HP Web Jetadmin では、HP 社の Web サイトに接続してインストール可能なパッケージを確認できます。**[一般設定] > [HTTP (Web)]** ページでプロキシ設定が設定済みであることを確認してください。



注記 HP 社の Web サイトへの HTTP アクセスが不可能な、孤立したネットワークに HP Web Jetadmin をインストールした場合は、コンポーネントを手動でダウンロードし、インストールする必要があります。詳細については「[パッケージのアップロード](#)」を参照してください。

ソフトウェア コンポーネントのインストール

[製品の更新] > [インストール] ページを使用して、次のコンポーネントをダウンロードし、インストールします。

- 追加サポートを提供する新規パッケージ。新しいデバイスや、新しいプラットフォームでのプリント キューおよびリモート ディスカバリに必要なソフトウェア コンポーネントのサポートなどがあります。
- HP Web Jetadmin にはない機能を提供するアプリケーション プラグイン。
- HP Web Jetadmin の現在のソフトウェア コンポーネントに関する問題に対処するパッチ。



警告！ 何らかの理由でパッケージのインストールに失敗した場合、失敗したものだけではなく、ディスクにあるファイルがすべてロールされ、インストールを開始する前の状態に戻されます。部分インストールや失敗したインストールでは、定義されていない状態でソフトウェアが残されることはありません。

パッケージに HP Web Jetadmin の一部をアップグレードするファイルが含まれていて、HP Web Jetadmin サービスを再起動する必要がある場合があります。この場合は、[インストール] ページの [アクション] 列に、**[アップグレード (HP Web Jetadmin の再起動が必要)]** と表示されます。再起動はアップグレード時に自動的に行われます。

ソフトウェア コンポーネントの削除

ソフトウェア コンポーネントのサポートが必要なくなった場合は、**[製品の更新] > [削除]** ページを使用して、そのコンポーネントを HP Web Jetadmin から削除します。使用していないソフトウェア コンポーネントを削除することによって、HP Web Jetadmin をインストールしたホスト コンピュータのディスク領域が解放されます。



注意 HP Web Jetadmin では、アンインストールするパッケージに依存しているインストール済みパッケージがあるかどうかチェックされます。パッケージ間に依存関係がある場合は、アンインストールを続けることはできません。

言語の追加と削除

[製品の更新] > [言語] ページを使用して、HP Web Jetadmin に言語パックを追加します。HP Web Jetadmin では、HP 社の Web サイトから新しい言語パックが直接ダウンロードされます。

[言語] ページの **[利用可能言語]** リストには、現在インストールされていないすべての利用可能言語が表示されます。**[ターゲット言語]** リストには、インストールされているすべての言語が表示されます。

HP Web Jetadmin ユーザーがデフォルトの言語以外の言語で作業を行う必要があり、HP Web Jetadmin でその言語がサポートされている場合は、その言語パックを追加できます。

ある言語をサポートする必要がなくなった場合は、**[言語]** ページを使用して、その言語パックを HP Web Jetadmin から削除します。使用していない言語パックを削除することによって、HP Web Jetadmin をインストールしたホスト コンピュータのディスク領域が解放されます。



注記 HP 社の Web サイトへの HTTP アクセスが不可能な、孤立したネットワークに HP Web Jetadmin をインストールした場合は、コンポーネントを手動でダウンロードし、**[製品の更新] > [インストール]** ページの **[アップロード]** オプションを使用してインストールする必要があります。コンポーネントは http://www.hp.com/go/wja_components から入手できます。

更新の事前通知の有効化



注記 このオプションは、デフォルトで有効です。このオプションが有効な場合、HP Web Jetadmin は、HP Web サイトから更新通知が入ったファイルを毎日ダウンロードします。HP Web Jetadmin ソフトウェアのアップグレードが入手可能で HTTP ダウンロードを有効にしていると、**[ナビゲーション]** 領域の上にメッセージが表示されます。

注記 更新の事前通知を受け取るには、管理者プロファイルを使用して HP Web Jetadmin にログインする必要があります。また、HTTP ダウンロードを有効にする必要があります。

更新の事前通知機能を使用すると、スケジュールしたダウンロード時刻に基づいて HP Web サイトから更新通知ファイルを毎日自動的にダウンロードできます。HP Web Jetadmin は更新通知ファイルを読み取り、ファイルにリストされているパッケージと HP Web Jetadmin のホスト コンピュータにインストールされているファイルを比較します。新しい HP Web Jetadmin パッケージが公開されている場合は、利用可能なパッケージに関する情報が **[製品の更新]** > **[新着情報]** ページに表示されます。利用可能なパッケージは、**[製品の更新]** > **[インストール]** ページでダウンロードできます。

この機能の利点は、HP Web Jetadmin のホスト コンピュータで最新のバージョンおよび機能が実行されているかどうかを手動で確認する必要がないことです。確認が済んだら、新しい HP Web Jetadmin パッケージをインストールして HP Web Jetadmin の機能を拡張します。たとえば、新しいデバイスとソフトウェア機能のサポート、新しいアプリケーション、現在の HP Web Jetadmin ソフトウェア コンポーネントの問題に対処するパッチなどが更新されます。



注記 HP Web Jetadmin が、HP Web サイトからファイルをダウンロードするたびに、Web サイトへの他のアクセスと同様、Web サイトがトランザクションを記録します。ユーザー名、電子メール アドレス、住所などの身元を確認できる個人情報は、このプロセスでは収集されません。HP では、顧客の理解と製品改良の目的で、Web ログを監視します。すべての Web サイト トランザクションが、次に記載されている HP プライバシー ポリシーの対象になります。ポリシーを参照するには、<http://www.hp.com> にアクセスして、**[Privacy statement]** (プライバシー保護方針) をクリックします。

パッケージのアップロード

HP 社の Web サイトへの HTTP アクセスが不可能な、孤立したネットワークに HP Web Jetadmin をインストールした場合は、新しいまたは更新されたソフトウェア コンポーネントを手動でダウンロードする必要があります。ファイルをダウンロードしたら、**[製品の更新] > [インストール]** ページを使用して、ファイルをアップロードし、インストールします。



注記 コンポーネントは http://www.hp.com/go/wja_components から入手できます。

セクション 3

構成の設定

このセクションには、次の章があります。

[第 9 章 一般設定](#)

[第 10 章 プロファイルの設定](#)

[第 11 章 ネットワーク プロパティの設定](#)

9 一般設定

この章では、次の項目を説明します。

- [一般設定の概要](#)
- [サポート設定](#)
- [HTTP \(Web\) 設定](#)
- [SMTP \(メール\) ホスト](#)
- [同期化された HP Web Jetadmin ホスト コンピュータ](#)

一般設定の概要

次の情報は、**[一般設定]** ページで指定します。

- **[サポート設定]** ページでは、ローカル サポートおよび HP サポートの URL だけでなく管理者の名前および URL を指定できます。
- **[HTTP (Web)]** ページでは、HP Web Jetadmin がリスンするポート、HP Web Jetadmin のインターネットへのアクセス、および HP Web Jetadmin にアクセスできるコンピュータを指定します。
- **[SMTP (Mail)]** ページでは、プリンタのアラート メッセージを送信する電子メール アドレスを指定できます。
- **[Synchronize 同期化]** ページを使用すると、他にインストールされた HP Web Jetadmin がデバイス キャッシュ情報にアクセスできます。権限のある HP Web Jetadmin ホスト コンピュータのみがデバイス情報にアクセスできるように、パスワードを指定できます。

サポート設定

このセクションでは、次の項目を説明します。

- [管理者情報](#)
- [ローカル サポート URL](#)

管理者情報

管理者名はページの一番下に表示されます。ここを見れば、アドバイスが必要なときの問い合わせ先がわかります。たとえば、ユーザーがデバイス グループを更新したり作成したりできない場合、管理者名がページの下に表示されていれば、問い合わせ先がわかります。

URL には、電子メールアドレス (mailto:username@domain.co.jp など) またはサポートや情報を提供する Web ページ (http://domain.com/homepage/specific_file.htm など) を指定できます。

ローカル サポート URL

ローカル サポート URL では、ローカル イン트라ネット上の Web ページにリンクできます。ユーザーはこのページで、HP Web Jetadmin やネットワーク デバイスに関するサポート情報を確認できます。ローカル サポート リンクを作成して、次のようなタスクを実行することができます。

- 頻繁に寄せられる質問やこれらの質問に対する回答、ネットワークで一般に起こる問題やその解決策を含む、ローカル イン트라ネットのテクニカル サポート情報へのアクセス、または電子メール発信。
- オフサイト コンサルタントへの問い合わせ。問題が発生したときにすばやく問い合わせられるようになります。
- 保守計画など、サイト マップにあるデバイスに関する特別な情報の表示。
- サイト マップにある個々のデバイスに対する責任者への問い合わせ。デバイスに対して注意を払う必要がある場合に、即座に通知することができます。

[一般設定] > [サポート設定] ページでローカル サポート URL を指定すると、[ナビゲーション] 領域にある [ヘルプ] フォルダを展開して Web ページを表示できます。[ローカル サポート] をクリックすると、Web ページが別のウィンドウに表示されます。ローカル サポート リンクにより、ヘルプ デスク担当者によるネットワーク管理者への負担が大幅に低減され、サポート コストが削減され、時間を節約することができます。



注記 URL だけでなく、mailto:address@company.co.jp の形式で電子メール アドレスも指定できます。ユーザーが [ヘルプ] > [ローカル サポート] ページにアクセスすると、HP Web Jetadmin によってそのアドレス宛ての新しい電子メールが作成されます。

HTTP (Web) 設定

[一般設定] > [HTTP (Web)] ページのオプションで、HP Web Jetadmin がリスンするポート、HP Web Jetadmin のインターネットへのアクセス、および HP Web Jetadmin にアクセスできるコンピュータを制御します。

HTTP ポート

HTTP ポートは、HP Web Jetadmin で要求をリスンするポートです。たとえば、ポート 55 を指定した場合、次のいずれかの URL を使用して、HP Web Jetadmin にアクセスします。

- `http://ipaddress:55/`
- `http://hostname:55/`

HP Web Jetadmin のデフォルトポート 8000 が、同じコンピュータにある別の Web サーバーと競合する場合には、HTTP ポートを変更します。ホスト コンピュータにある Web サーバーが HP Web Jetadmin だけである場合は、HTTP ポートを 80 に変更できます。ポート 80 はデフォルトの HTTP ポートなので、HP Web Jetadmin にアクセスするときに、URL にポート番号を含める必要はありません。HP Web Jetadmin は、次のいずれかの URL を使用してアクセスします。

- `http://ipaddress/`
- `http://hostname/`

HTTP ポートを変更する場合は、変更を有効にするために HP Web Jetadmin サービスを再起動する必要があります。

HTTP プロキシ

HP Web Jetadmin で、HP Jetdirect ファームウェア、プリンタ ファームウェアのアップデート、新しいデバイスのサポート、および HP Web Jetadmin のアップデートをインターネットからダウンロードするときに使用する HTTP プロキシを設定します。

HTTP プロキシを指定しない場合、HP Web Jetadmin で HP 社の Web サイトにアクセスすることはできません。たとえば、HP Web Jetadmin のインテリジェント更新機能を使用して、ソフトウェアのアップデート、追加言語パック、デバイス サポートなどのコンポーネントをダウンロードし、インストールすることはできません。

許可リスト

HP Web Jetadmin ホスト コンピュータにアクセスできる IP アドレスとアクセスできない IP アドレスを指定した許可リストを作成します。単独の IP アドレス、または IP アドレスの範囲を指定します。セキュリティが重要な場合、IP アドレスを使用して、HP Web Jetadmin にアクセスできるユーザーを厳密に制御します。

[HP Web Jetadmin アクセスの指示] セクションでは、[HP Web Jetadmin アクセス許可] および [HP Web Jetadmin アクセス拒否] セクションで指定した IP アドレスを HP Web Jetadmin が処理す

る順番を決めます。**[HP Web Jetadmin アクセスの指示]** セクションの各オプションを、HP Web Jetadmin がどのように処理するかを次に説明します。

- **[なし - すべてのクライアントに開放]** - HP Web Jetadmin によって、すべてのコンピュータにソフトウェアへのアクセスが許可されます。**[HP Web Jetadmin アクセス許可]** または **[HP Web Jetadmin アクセス拒否]** セクションで IP アドレスを指定した場合は、HP Web Jetadmin によってこれらの設定が無視されます。すべてのコンピュータが HP Web Jetadmin にアクセスできますが、プロファイルやデバイス パスワードなど、他のすべての HP Web Jetadmin セキュリティ機能は引き続き有効です。
- **[許可した後に拒否]** - HP Web Jetadmin で、**[HP Web Jetadmin アクセス許可]** セクションの IP アドレスを処理した後に、**[HP Web Jetadmin アクセス拒否]** セクションの IP アドレスを処理します。拒否される IP アドレスは、許可される IP アドレスよりも優先順位が高くなります。**[HP Web Jetadmin アクセス拒否]** セクションで IP アドレスが指定されている場合は、同じ IP アドレスが **[HP Web Jetadmin アクセス許可]** セクションで指定されている場合でも、HP Web Jetadmin によって、そのコンピュータからソフトウェアへのアクセスが拒否されます。どちらか一方のセクションで IP アドレスが指定されていなくても、すべてのコンピュータからソフトウェアへのアクセスが許可されます。
- **[拒否した後に許可]** - HP Web Jetadmin で、**[HP Web Jetadmin アクセス拒否]** セクションの IP アドレスを処理した後に、**[HP Web Jetadmin アクセス許可]** セクションの IP アドレスを処理します。許可される IP アドレスは、拒否される IP アドレスよりも優先順位が高くなります。**[HP Web Jetadmin アクセス許可]** セクションで IP アドレスが指定されている場合は、同じ IP アドレスが **[HP Web Jetadmin アクセス拒否]** セクションで指定されている場合でも、HP Web Jetadmin によって、そのコンピュータからソフトウェアへのアクセスが許可されます。どちらか一方のセクションで IP アドレスが指定されていなくても、すべてのコンピュータからソフトウェアへのアクセスが許可されます。

SMTP (メール) ホスト

HP Web Jetadmin でプリンタからアラートが受信されると、指定した電子メール アドレスにアラート メッセージが送信されます。**[一般設定] > [SMTP (メール)]** ページのオプションでは、HP Web Jetadmin でアラート メッセージの送信に使用される SMTP メール ホストとポート番号を指定します。**[SMTP (メール)]** ページからテストの電子メール メッセージを送信して、SMTP メール ホストが正常に動作していることを確認することもできます。

同期化された HP Web Jetadmin ホスト コンピュータ

HP Web Jetadmin 同期化機能は、インストールされている複数の HP Web Jetadmin 間でデバイス キャッシュ情報を共有する方法です。複数のセカンダリ HP Web Jetadmin ホスト コンピュータから情報を収集する、プライマリ HP Web Jetadmin ホスト コンピュータを指定するように選択できます。または、プライマリ ホスト コンピュータとすべてあるいは一部のセカンダリ HP Web Jetadmin ホスト コンピュータ間で、情報の共有と収集を行うように選択できます。

プライマリ ホスト コンピュータとセカンダリ ホスト コンピュータ間で情報を共有すると、世界中に多くの拠点がある巨大なネットワークを管理しやすくなります。たとえば、それぞれの場所ではセカンダリ HP Web Jetadmin ホスト コンピュータを使用して、その場所にあるデバイスを管理できます。また、プライマリ HP Web Jetadmin ホスト コンピュータは、すべてのセカンダリ ホスト コンピュータを管理できます。プライマリ ホスト コンピュータは、世界中のすべてのネットワークのネットワーク情報を収集できます。ネットワーク管理者は、この情報を使用してネットワーク全体の監視を行うことができ、一方、セカンダリ ホスト コンピュータは、ネットワークのそれぞれの場所の毎日のタスクを監視します。HP Web Jetadmin ソフトウェアを複数インストールしてタスクを共有する機能は、企業全体のネットワーク接続されたすべてのデバイスを 1 台の HP Web Jetadmin ホスト コンピュータが管理するよりも、効果的かつ効率的に企業のネットワークおよびサーバー機能を管理します。



注記 HP Web Jetadmin ホスト コンピュータに保存されているデバイス キャッシュ情報を保護するには、各ホスト コンピュータにパスワードを割り当てます。HP Web Jetadmin サーバーが別の HP Web Jetadmin サーバーに接続すると、パスワードを確認してから情報の収集と共有が行われます。

10 プロファイルの設定

この章では、次の項目を説明します。

- [プロファイルの概要](#)
- [プロファイルのパスワード](#)
- [プロファイル許可](#)
- [HP Web Jetadmin の外観のカスタマイズ](#)
- [HP Web Jetadmin の機能のカスタマイズ](#)

プロファイルの概要

HP Web Jetadmin をインストールすると、管理者プロファイルが自動的に作成されて使用できるようになります。管理者プロファイルでは、製品に関するすべての設定を表示および設定することができます。

HP Web Jetadmin では、さまざまなユーザー クラスについて、プロファイルを追加作成します。これらのプロファイルを使用して、HP Web Jetadmin の中で特定のユーザー クラスがアクセスできる部分を制御したり、実行できるタスクを制御できます。たとえば、特定のユーザー クラスが、ステータスや設定情報を表示できても、設定を変更できないようにすることが可能です。また、ユーザーが必要としない製品機能やユーザーに見せたくない機能を隠すためにプロファイルを使用することも可能です。



注記 作成したプロファイルはいずれも削除できますが、管理者プロファイルは削除できません。

デフォルト プロファイルは、ユーザーが HP Web Jetadmin にアクセスするときに自動的に使用されるプロファイルです。初期状態では、管理者プロファイルがデフォルト プロファイルです。管理者プロファイル以外のデフォルト プロファイルを選択した場合は、HP Web Jetadmin の機能のうちデフォルトで使用可能な範囲を制御できます。

特定のユーザー クラスが実行できるタスクは変更できます。特定のユーザー クラスにアクセスを許可する必要がなくなった場合は、そのプロファイルを削除します。このクラスのユーザーは、他に該当するプロファイルがある場合、そのプロファイルを使用して HP Web Jetadmin にアクセスできます。

プロファイルのパスワード

プロファイルのパスワードによって、権限のないユーザーが、そのプロファイルで許可されるタスクを実行するのを防止できます。管理者プロファイルでは、[一般設定] > [プロファイル管理] > [認証] ページで各プロファイルにパスワードを割り当てることができます。現在使用しているプロファイルへのパスワードの割り当ては、[一般設定] > [現在のプロファイル設定] > [パスワード] ページで行うことができます。

管理者プロファイルのパスワードは、HP Web Jetadmin のインストール プロセスで割り当てられます。HP Web Jetadmin のインストール プロセスでプロンプトが表示されたときに管理者プロファイルのパスワードを入力しないと、管理者プロファイルのパスワードは空白になります。管理者プロファイルのパスワードを設定しておく、権限のないユーザーによる HP Web Jetadmin の設定の変更と、デバイス グループの管理を防止できます。権限のないユーザーによる HP Web Jetadmin へのアクセスを防ぐために、管理者プロファイルにパスワードを必ず割り当ててをお勧めします。



注記 デフォルトでは、管理者が [一般設定] > [プロファイル管理] > [認証] ページでパスワードを削除しない限り、管理者プロファイルにパスワードが必ず関連付けられています。

プロファイルのパスワードを使用する代わりに、Windows NT ドメイン ユーザーおよびグループをプロファイルに関連付けることができます。この場合、ユーザーは HP Web Jetadmin にログインするとき、Windows NT ドメイン ユーザー名とパスワードを指定します。この方法では新しいプロファイルパスワードを覚える必要がないので、ユーザーのログイン プロセスが簡略化されます。

プロフィール許可



注記 管理者プロフィールを使用して HP Web Jetadmin にアクセスすると、**[一般設定] > [プロフィール管理] > [許可]** ページだけを表示できます。HP Web Jetadmin のホストコンピュータで、ユーザー プロファイルなどの別のプロフィールも設定する必要があります。

作成した各プロフィールの **[ナビゲーション]** 領域およびコンテンツ ツールバーに表示される機能を指定します。管理者プロフィールでは、**[一般設定] > [プロフィール管理] > [許可] > [ページの無効化]** ページでこれらのオプションを指定できます。



注記 管理者プロフィールの設定を変更することはできません。

[一般設定] > [プロフィール管理] > [許可] > [デバイス編集モード] ページを使用して、そのプロフィールで HP Web Jetadmin 設定の編集、プリント キューの作成、デバイス グループの編集、およびデバイス設定オプションの編集を可能にするかどうかを指定します。

そのプロフィールで、デバイスキャッシュのすべてのデバイスの設定オプションを編集可能にしたり、特定のデバイスグループのデバイスだけを編集可能にしたりすることができます。プロフィールでデバイス設定オプションを編集可能にする場合は、特定のタイプの設定オプションにプロフィールを限定できます。

HP Web Jetadmin の外観のカスタマイズ

各プロファイルをカスタマイズして、HP Web Jetadmin の外観を制御します。すべてのプロファイルに同じ設定を適用するか、または個々のプロファイルを選択して異なる設定を適用できます。管理者プロファイルでは、**[一般設定] > [プロファイル管理] > [外観]** ページで各プロファイルのこれらの設定を変更できます。現在使用しているプロファイルの設定は、**[一般設定] > [現在のプロファイル設定] > [外観]** ページで変更できます。

統合されたコンテキスト ヘルプ

デフォルトの設定では、HP Web Jetadmin はコンテキスト ヘルプを別のブラウザ ウィンドウに表示します。**[コンテキスト ヘルプの統合]** オプションを有効にすると、HP Web Jetadmin では、コンテキスト ヘルプがソフトウェア内に表示されます。ヘルプは、コンテンツ エリアの右側に表示されます。あるページから別のページに移動すると、現在のページに合わせて、ヘルプの内容が変わります。

監視デバイス アラート、クリティカル デバイス アラート、および注意デバイス アラート

[一覧表] 領域の **[監視デバイス]** セクションには、HP Web Jetadmin でアラートを監視しているデバイスと、クリティカル アラートおよび注意アラートを生成したデバイスの数が表示されます。**[アラート更新の表示]** オプションを無効にすると、**[一覧表]** 領域の **[監視デバイス]** セクションは表示されません。

[監視デバイス] リンクをクリックすると、HP Web Jetadmin でアラートを監視するデバイスを選択できるページが表示されます。**[クリティカル デバイス]** リンクおよび **[注意デバイス]** リンクをクリックすると、クリティカル アラートまたは注意アラートを生成したすべてのデバイスを表示する一時デバイス グループが表示されます。



注記 デバイスを監視していない場合、HP Web Jetadmin に **[クリティカル デバイス]** アラートや **[注意デバイス]** アラートは表示されません。

HP Web Jetadmin の機能のカスタマイズ

各プロファイルのカスタマイズして、HP Web Jetadmin の動作を制御します。すべてのプロファイルに同じ設定を適用するか、または個々のプロファイルを選択して異なる設定を適用できます。管理者プロファイルでは、**[一般設定] > [プロファイル管理] > [デフォルト表示]** ページで各プロファイルのこれらの設定を変更できます。現在使用しているプロファイルの設定は、**[一般設定] > [現在のプロファイル設定] > [デフォルト表示]** ページで変更できます。

デフォルトの [ナビゲーション] 領域

[ナビゲーション] 領域では、HP Web Jetadmin で展開可能なツリーにフォルダを表示する方法を指定します。**[デバイス リスト]**、**[複数デバイス設定]** フォルダなど、最も一般的に使用されるフォルダのみを表示するように選択できます。または、すべての HP Web Jetadmin フォルダを表示するように選択することもできます。特定のプロファイルについて、**[ナビゲーション]** 領域に表示されるフォルダ数を制限すると、ユーザーは自分にしか適用されないタスクに集中できます。



注記 **[ナビゲーション]** 領域に表示するために特定のページを選択するには、**[一般設定] > [プロファイル管理] > [許可] > [ページの無効化]** ページに移動します。

デフォルトのデバイス リスト表示

HP Web Jetadmin で使用するデバイス リスト表示を指定します。**[デフォルト表示]** ドロップダウン リストから、HP Web Jetadmin の定義済みの表示または作成したカスタム表示を 1 つ選択します。また、HP Web Jetadmin のデバイス リストで、デバイス アイコンとステータス インジケータが自動的に表示されるかどうかも指定できます。

デフォルトのホーム ページ

ユーザーがブラウザで HP Web Jetadmin を起動するたびに、またはユーザーがコンテンツ ツールバーのホーム アイコンをクリックしたときや、ブラウザの **[更新]** または **[再読み込み]** をクリックしたときに最初に自動的に表示される HP Web Jetadmin のページを指定します。**[HP Web Jetadmin デフォルト ページ]** セクションで、使用可能なすべてのデバイスのリスト、特定の **[デバイス ステータス]** ページ、使用可能なすべてのデバイス グループのリスト、または特定のデバイス グループに属するデバイスのリストの表示を選択できます。

デフォルトのデバイス グループ表示

ユーザーがデバイス グループを表示したときに HP Web Jetadmin によって表示されるデフォルト表示を指定します。**[デフォルト デバイス グループの表示]** ドロップダウン リストから、デバイス グループをマップとして表示するか、デバイスのリストとして表示するか、サブグループのリストとして表示するかを選択します。また、HP Web Jetadmin に、デバイスまたはデバイス グループのアイコンとステータス インジケータを自動的に表示するかどうかも指定できます。

11 ネットワーク プロパティの設定

この章では、次の項目を説明します。

- [ネットワーク プロパティの概要](#)
- [一般ネットワーク設定](#)
- [SNMP 設定](#)
- [BOOTP 設定](#)
- [TFTP 設定](#)
- [Java ポーリング レート](#)

ネットワーク プロパティの概要

次の情報は、[ネットワーク設定] ページで指定します。

- **[一般ネットワーク設定]** ページでは、ネットワーク上での HP Web Jetadmin の実行方法を指定できます。
- **[SNMP]** ページでは、HP Web Jetadmin がデバイスからの応答を待つ時間、および応答がない場合にデバイスに対して ping を実行する回数を指定できます。
- **[BOOTP]** ページでは、BOOTP サーバーとして機能するように HP Web Jetadmin を有効にすることができます。各 HP Jetdirect デバイスに固有の情報を設定することもできます。
- **[TFTP]** ページでは、HP Jetdirect ファームウェアのタイムアウト値、およびタイムアウト後のデバイスの再試行回数を指定できます。
- **[ポーリング]** ページでは、HP Web Jetadmin で Java アプレットをリフレッシュする間隔を指定できます。

一般ネットワーク設定

[デバイス管理] > [管理設定] > [ネットワーク設定] > [一般ネットワーク設定] ページにある次のオプションは、ネットワーク上での HP Web Jetadmin の動作を制御します。

- **[DNS ルックアップ有効化]** オプションを使用して HP Web Jetadmin は DNS サーバーから IP ホスト名を取得できます。
- **[ARP/Route 実行有効化]** オプションにより、HP Web Jetadmin ではシステムの ARP キャッシュとルーティング テーブルを使用してローカル サブネットにある未設定のデバイスと通信するために必要なエントリを作成できます。未設定のデバイスの IP アドレスは 192.0.0.192 です。
- **[ブロードキャストを許可]** オプションを使用して、HP Web Jetadmin ではデバイスのディスカバリ、IPX ネットワークのディスカバリ、および BOOTP 設定を完了するために、ブロードキャストを送信できます。
- **[大規模サブネットにブロードキャストを許可]** オプションを使用して、HP Web Jetadmin ではブロードキャスト トラフィックをクラス B サイズ (255.255.0.0) 以上のサブネットに送信できます。

SNMP 設定

[デバイス管理] > [管理設定] > [ネットワーク設定] > [SNMP] ページのオプションでは、HP Web Jetadmin がデバイスの応答を待つ時間、および応答がない場合にデバイスに対して ping を実行する回数を指定します。

BOOTP 設定

HP Web Jetadmin は BOOTP サーバーとして機能します。**[デバイス管理] > [管理設定] > [ネットワーク設定] > [BOOTP]** ページで各 HP Jetdirect デバイス固有の情報を設定します。あるデバイスに対するエントリが HP Web Jetadmin に存在するときに、このデバイスから BOOTP 要求が受信された場合、この情報を使用して、BOOTP 要求が処理されます。

BOOTP デバイスを UNIX/Linux の標準 bootptab 形式で表示し、BOOTP テーブルからデバイス エントリを削除することもできます。

TFTP 設定

HP Web Jetadmin では、**[デバイス管理] > [管理設定] > [ネットワーク設定] > [TFTP]** ページのオプションを使用して HP Jetdirect ファームウェアが更新されます。タイムアウト値には、タイムアウトするまでに HP Web Jetadmin が待機する時間を指定します。再試行値には、タイムアウト後に HP Web Jetadmin でファームウェアが再試行される回数を指定します。

Java ポーリング レート

[デバイス管理] > [管理設定] > [ネットワーク設定] > [ポーリング] ページで、Java Status アプレットなどの Java アプレットがリフレッシュされる頻度を指定します。ポーリング レートで指定された間隔に到達すると、新しい情報を利用して、Java アプレットが更新されます。

デフォルト設定では、Java ポーリング レートは 6 秒です。デバイスのポーリング頻度を増やした場合、ネットワーク トラフィックに影響を与え、Web サーバーの負荷が増加します。特に負荷の大きいホスト コンピュータで HP Web Jetadmin を実行している場合は、デバイスのポーリングの頻度を減らす必要がある場合があります。

セクション 4 アラート

このセクションには、次の章があります。

[第 12 章 アラートの概要](#)

[第 13 章 アラートの設定と管理](#)

12 アラートの概要

この章では、次の項目を説明します。

- [アラートの概要](#)
- [SNMP トラップ](#)
- [ポーリング](#)
- [内蔵 Web サーバー \(EWS\)](#)

アラートの概要

アラートは、デバイスに問題が発生したときに送信されるメッセージです。[デバイス管理] > [アラート] ページで HP Web Jetadmin のアラートを有効にし、デフォルト値を設定できます。たとえば、プリンタからの用紙切れやトナーの残量低下によるエラーや警告によって HP Web Jetadmin を起動し、そのエラーや警告についての詳細が記述された電子メール メッセージを送信するように設定することもできます。HP Web Jetadmin アラート電子メール メッセージを使用すると、管理者は、ネットワーク デバイスで発生するイベントに関する事前設定可能でリアルタイムな警告を受信できます。管理者による問題の修正はエンド ユーザーの生産性に影響を与える前に実行できるため、管理者にとってもエンド ユーザーにとっても時間の節約になります。

一度デバイスを HP Web Jetadmin でアラートを送信するように有効化すると、HP Web Jetadmin では、次のいずれかの方法を使用して、デバイス上で発生するアラートを識別します。

- Simple Network Management Protocol (SNMP) トラップ – SNMP トラップは HP Web Jetadmin にイベントが発生したことを通知するためにデバイスから送信される信号です。HP Web Jetadmin は、デバイス上の状態を警告するトラップをリスンします。
- ポーリング – トラップまたは EWS をサポートしていないデバイスでは、HP Web Jetadmin で定期的にデバイスのポーリングを実行してステータスをチェックできます。
- 内蔵 Web サーバー (EWS) – EWS は、完全にデバイスに組み込まれているサーバーです。EWS は、デバイスの管理情報を提供します。EWS をサポートする HP デバイスは、デバイス上の状態を警告するアラート情報を HP Web Jetadmin に送信できます。

HP Web Jetadmin は、デバイスからトラップまたは EWS アラートを受信すると、そのトラップまたは EWS アラートをデバイス上で何らかの問題が発生している兆候と理解し、詳細情報を収集するためにそのデバイスに対してクエリーを実行します。デバイスのステータスが、そのデバイスに対して設定されているアラートのいずれかに一致すると、詳細な電子メール メッセージが作成され、指定されている受信者に送信されます。ポーリングのみをサポートしているデバイスに対しては、HP Web Jetadmin によって SNMP ステータス クエリーがユーザー定義された間隔でそのデバイスに送信されます。デバイスのステータス状態が、そのデバイスに対して設定されているアラートのいずれかに一致すると、電子メール メッセージが作成され、指定されている受信者に送信されます。

SNMP トラップ

SNMP トラップは、デバイス上で警告またはエラー状態が発生したときにデバイスが送信する User Datagram Protocol (UDP) パケットです。トラップでは、リアルタイムなアラートメッセージ、つまり、デバイス上でイベントが発生した直後にアラートメッセージが送信されます。また、トラップでは、デバイス上でイベントが発生したときにのみネットワークトラフィックが発生するため、ネットワークトラフィックを最小限に抑えることもできます。

トラップ サーバーのポート番号

アラートを受信するには、HP Web Jetadmin のバックグラウンドでトラップ サーバーが実行されていなければなりません。トラップ サーバーは TCP/IP ポートでメッセージをリスンします。ポート番号によって使用する TCP/IP ポートを識別します。アラートが動作せず、トラップ サーバーを実行できなかったことを表すイベント ログメッセージが表示された場合は、ポート番号を変更する必要があります。ポート番号は、**[デバイス管理] > [アラート] > [受信側設定]** ページで指定できます。



注記 ポート番号を変更する場合、HP Web Jetadmin を再起動し、監視デバイス上のアラートをリセットする必要があります。アラートをリセットするには、アラート監視ステータスを削除してから、監視するデバイスを選択します。そのデバイスのデフォルトのアラート設定が異なる場合、デバイスで監視する必要があるアラートを再設定する必要があります。

ポーリング

デバイスでトラップを有効化できない場合には、HP Web Jetadmin によってスケジュール済みの間隔でデバイスをポーリングできます。ただし、ポーリングの実行時刻は、デバイス上でイベントが発生した時刻と一致しない可能性があります。また、ポーリングでは、スケジュール済みの間隔でネットワークトラフィックが増加します。ポーリングの利点は、デバイスがネットワークに通信できない場合には不可能となるデバイスによるイベントのトラップ警告の送信とは異なり、デバイスの状態に関係なく実行できます。また、デバイスが無効になっているかどうかを判断することもできます。

ポーリングの遅延

SNMP トラップをサポートしていないデバイスのアラートを受信するには、HP Web Jetadmin で定期的にデバイスのクエリーを行う必要があります。ポーリング遅延は、HP Web Jetadmin が SNMP トラップをサポートしていないデバイスに状態を問い合わせるまでに待機する時間を表します。この数値を小さくするとフィードバックが早くなりますが、ネットワークトラフィックが増加します。ポーリング遅延は、**[デバイス管理] > [アラート] > [受信側設定]** ページで指定できます。

内蔵 Web サーバー (EWS)



注記 EWS 対応デバイスの中には、HP Web Jetadmin へのアラート送信をサポートしていないデバイスもあります。詳細については、HP Web Jetadmin ホワイトペーパーの「アラート」を参照してください。ホワイトペーパーは、http://www.hp.com/go/wja_whitepapers から入手できます。

HP Web Jetadmin へのアラート送信をサポートしている EWS 対応デバイスは、内蔵 HP Jetdirect プリント サーバーを使用してネットワークに接続されている必要があります。

HP LaserJet 4100 および HP LaserJet 9000 プリンタなど、内蔵 Web サーバーを装備した HP デバイスでは、デバイス上でイベントが発生すると受信者に直接アラートを送信できます。イベントの中には、保守点検要求やドラムの寿命の警告など、アラートの送信が EWS のみに限られているものもあります。これらのイベントは、デバイスのトラップ送信を起動しません。また、ステータス ポーリングでも検出されません。このようなイベントに対しては、デバイスは、HP Web Jetadmin によって、HP Web Jetadmin 宛てに EWS アラートを送信するように指示されています。HP Web Jetadmin は、アラート情報を使用して、アラート電子メールを作成し、指定された受信者に送信します。EWS 対応デバイスから送信されたアラートは、その他すべての HP Web Jetadmin アラートと同様に HP Web Jetadmin に表示されます。この機能によって、アラートに一貫性のある形式を与えるとともに、EWS によって生成されたアラートを HP Web Jetadmin にログとして記録できます。

13 アラートの設定と管理

この章では、次の項目を説明します。

- [HP Web Jetadmin アラートの設定](#)
- [重複アラート](#)
- [ログ ファイル](#)

HP Web Jetadmin アラートの設定

HP Web Jetadmin でアラートを設定するには、次のタスクを実行する必要があります。

1. SMTP メール サーバーを設定します。この手順は、アラートの電子メール通知をセットアップする場合にのみ必要な手順です。
2. アラートを監視するデバイスを選択します。
3. 各デバイスまたはデバイスのグループに対してアラートを選択します。
4. 通知を受信する電子メール アカウントを選択し、通知の形式を設定します。

メール サーバーの設定

電子メール通知をセットアップする場合、アラート設定の最初の手順として HP Web Jetadmin に対して SMTP 準拠のメール サーバーの位置を指定します。HP Web Jetadmin は、メール サーバーを使用して、指定した受信者に電子メール メッセージを送信します。SMTP メール サーバーは、**[一般設定] > [SMTP (メール)]** ページで指定します。



注記 入力されたメール サーバーが SMTP に準拠していない場合、エラー メッセージが表示されます。

このメール サーバーを通してテスト用の電子メール メッセージを送信することをお勧めします。**[送信先]** および **[送信元]** のアドレスが有効でない場合や電子メールの取次ぎ用に設定されていない場合には、エラー メッセージが表示されます。ポート 25 を使用した Telnet セッションで次のコマンドを使用してアドレスを検証します。

```
telnet <メール サーバー> 25 (期待される結果 : 220 xxxx)
```

```
HELO
```

```
MAIL FROM: <送信元のアドレス> (期待される結果 : 250 xxxx)
```

```
RCPT TO: <送信先のアドレス> (期待される結果 : 250 または 251 xxxx)
```

```
RSET
```

メール サーバーの中には、送信に使用されるアドレスが有効な電子メール アドレスであることを期待するサーバーもあります。HP Web Jetadmin には、センド アドレスの変更を **[デバイス管理] > [アラート] > [通知設定]** ページの **[電子メールの送信元アドレス]** テキスト ボックスで実行できるオプションが用意されています。

監視するデバイスの選択

SMTP メール サーバーの場所に移動したら、HP Web Jetadmin でアラートの監視をするデバイスを選択します。アラートは、単一デバイス、複数デバイス、またはデバイス グループに対して有効化できます。次のいずれかの方法で、デバイスのアラートを有効化します。

- 単一デバイスでは、デバイスの **[ステータス]** ページに移動し、ドロップダウン リストから **[アラート]** を選択します。**[デバイス アラート設定]** ページが表示されます。
- 複数デバイスでは、**[デバイス管理] > [アラート] > [監視デバイス]** ページに移動します。
- デバイス グループでは、**[デバイス管理] > [デバイス グループ] > [グループ名]** ページに移動し、**[デバイス グループ ツール]** ドロップダウン リストで **[アラート]** を選択します。



注記 アラートを監視するデバイスを選択すると、購読されているアラートがクリティカルまたは注意状態にあるすべてのデバイスが **[一覧表]** セクションに表示されます。クリティカルまたは注意状態にあるデバイスを開くと、ステータスを確認し、アラートの原因を判断できます。

アラートの選択



注記 アラートのカテゴリ全体を同時に選択するには、**Ctrl** または **Shift** キーを押し下げたままアラートを選択します。

デバイスまたはデバイス グループでアラートを有効化し、紙詰まりなど、ユーザーに対するダウンタイムの原因になる可能性のあるイベントまたは状態を選択します。デバイス上でイベントが発生した場合、HP Web Jetadmin がそのイベントを監視している場合には、HP Web Jetadmin によって、指定された受信者アラートが送信されます。デバイスの正確な保守スケジュールをセットアップするときに使用する情報を提供するアラートを監視することもできます。たとえば、HP Web Jetadmin はデバイスで印刷されたページの指定されたしきい値の制限に基づいて、アラート メッセージを送信できます。

[デバイス管理] > [アラート] > [デフォルト設定] ページで、HP Web Jetadmin が監視するすべてのデバイスに対してデフォルトのアラートを設定できます。このデフォルト設定は、グローバルな設定であり、すべての監視対象のデバイスに最初に適用されます。デバイス、デバイス グループ、またはグループ内の単一デバイスのアラート設定をカスタマイズするには、**[デバイス アラート設定]** ページに進みます。



注記 監視されているアラートをサポートしていないデバイスの場合、HP Web Jetadmin によって、デバイスがそのアラートをサポートしていないことがアラートの結果ページ上にレポートされます。

[デバイス アラート設定] ページで指定した設定は、**[デフォルト設定]** ページの設定より優先されます。HP Web Jetadmin でアラートを監視するすべてのデバイスのリストを表示するには、**[デバイス管理] > [アラート] > [監視デバイス]** ページに進みます。デバイスで有効なすべてのアラートが、このリストに表示されます。リストに対しデバイスを追加または削除できます。デバイスを追加すると、アラート設定は **[デフォルト設定]** ページで指定したデフォルト設定に設定されます。

通知電子メールの選択と設定

アラート通知の受信者の選択は、アラート設定手順の最後の手順です。**[デバイス アラート設定]** ページまたは **[デフォルト設定]** ページで、単一デバイスまたはデバイス グループのアラートを受信する電子メール アカウントを入力します。デバイス上で発生する可能性のある固有のアラートに対するメッセージを受信する電子メール アカウントを指定することもできます。たとえば、トナー残量低下のアラートを消耗品発注の担当者に送信したり、プリンタのエラーのアラートをヘルプ デスクに送信したりできます。また、電子メールの言語環境を設定して、HP Web Jetadmin が同じアラート情報を受信者ごとに異なる言語で送信できるようにすることも可能です。

電子メール設定

HP Web Jetadmin にはさまざまな形式の電子メール通知が用意されており、アラート電子メール メッセージにどの程度の情報を含めるかを選択できます。HP Web Jetadmin では、個別の電子メールアドレスまたは電子メール アドレスのグループに対してこれらの設定を適用できます。たとえば、同

じアラートをヘルプ デスクには **[詳細]** 形式で、技術者には **[モバイル]** 形式で送信できます。HP Web Jetadmin では、電子メール アドレスに次のアラート メッセージを送信できます。

- **モバイル** - 電子メール対応のモバイル デバイスに送信する簡単なテキスト メッセージです。このメッセージには、イベント、デバイス名、および **[デバイス ステータス]** ページを表示するための URL が含まれます。
- **簡略** - イベント、フロント パネルに表示されるメッセージ、デバイス名、**[デバイス ステータス]** ページへのリンク、問い合わせ先の担当者の名前と電子メール アドレスを含む、簡単なメッセージです。
- **詳細** - 簡略メッセージに含まれるすべての情報と詳細なデバイス情報を含む、詳細メッセージです。**[デバイス ステータス]** ページへのリンクも含まれます。これが、デフォルトの設定です。
- **カスタム** - テンプレートで選択した情報を含んでいるカスタム メッセージです。異なるアラート オプションと、オプションを電子メールに表示する順序を選択できます。テンプレートを作成、編集、および削除できます。

重複アラート

デバイスが1つの問題で複数のアラートを送信する場合があります。たとえば、紙詰まりが何日も解消されないと、HP Web Jetadmin によって複数のアラート メッセージが送信される場合があります。**[デバイス管理] > [アラート] > [グローバル設定]** ページでは、HP Web Jetadmin によって同じ問題に対するアラートが再送信される前に待機する時間を、日数、時間数、分数で指定できます。また、**[グローバル設定]** ページで、最初のアラートを無視するように選択することもできます。特定のデバイスについて設定を変更するには、**[デバイス アラート設定]** ページにアクセスします。このオプションのデフォルト設定を変更するには、**[デフォルト設定]** ページにアクセスします。

ログ ファイル

HP Web Jetadmin では、受信するアラートがすべてログに記録されます。ログ ファイルを使用して、デバイスの問題に一定の規則がないか、また、デバイスに予防措置的な保守が必要ないかを判断できます。**[デバイス管理] > [アラート] > [グローバル設定]** ページにある **[アラート ログ ファイルの表示]** オプションを使用して、ログ ファイルを表示できます。



注記 ログ ファイルは、監視対象として選択したアラートが発生した場合にのみ使用できます。

ログ ファイルの確認と変更はテキスト エディタを使用します。また、ログ ファイルは企業管理システムまたはコール チケットシステムに送信することもできます。ファイル名は hpaltlog.txt で、HP Web Jetadmin のホスト コンピュータの次のサブディレクトリに保存されています。

<ドライブ>:\Program Files\HP Web Jetadmin\doc\plugins\hpjalerts\modules\notification

セクション 5 ディスカバリ

このセクションには、次の章があります。

[第 14 章 ディスカバリ方法の概要](#)

[第 15 章 ディスカバリ方法の設定](#)

[第 16 章 ディスカバリの管理](#)

14 ディスカバリ方法の概要

この章では、次の項目を説明します。

- [ディスカバリ方法の概要](#)
- [サードパーティのデバイスの検出](#)
- [ディスカバリ方法](#)
- [ディスカバリのトラフィック](#)
- [ディスカバリ方針の計画](#)

ディスカバリ方法の概要

HP 以外のデバイス管理ツールを使用する場合は、それぞれのデバイスのアドレスとその他の情報をツールのキャッシュに手動で追加する必要があります。HP Web Jetadmin の場合は、ディスカバリという機能を使用してネットワーク上に接続されたデバイスを検索し、その結果をリストに表示して、実行中のコンピュータ上のデバイス キャッシュにデバイスを追加します。この場合は、デバイス キャッシュを検索して、IP アドレス、機能、モデル、ステータスなどの特定の条件に一致するデバイスを検出し、それらを設定できます。デバイス キャッシュの検索は、ディスカバリの実行より時間が大幅に短縮でき、ネットワークのトラフィックが増加することはありません。

HP Web Jetadmin はデバイスを自動的に検出できます。HP Web Jetadmin のディスカバリ機能には次の利点があります。

- デバイスの検索とデバイス設定情報のキャッシュへの追加を手動で行う必要がありません。
- ネットワークのパフォーマンスに悪影響が及ばないよう、他のネットワーク トラフィックが最少であると予想される間隔と時点を指定してディスカバリが自動実行されるようにスケジュールできます。
- ディスカバリは、異なる時刻にネットワーク上のさまざまな位置で実行するようにスケジュールできます。たとえば、世界各地に複数のオフィスを持つ企業では、各オフィスでのディスカバリの実行をそれぞれのタイム ゾーンに応じて最も都合の良い時刻にスケジュールできます。
- ディスカバリの実行時にユーザーが立ち会う必要がありません。
- ユーザーとヘルプ デスク担当者が各自のワークステーションから離れなくても、特定のデバイスや特定の機能のデバイスをすばやく検索することができます。

HP Web Jetadmin をインストールした後に、初期ディスカバリを実行しデバイス情報のキャッシュを構築します。デバイス キャッシュが構築されると、ディスカバリを実行して次の実行時管理タスクに使用することができます。

- 新しいデバイスがネットワークに接続されると、ただちに検出できます。
- いつでもディスカバリを実行して、新しいデバイスや更新されている既存デバイスを検索することができます。
- ディスカバリを実行すると、HP Web Jetadmin のホスト コンピュータに資格証明情報が保存されていない SNMPv3 対応デバイスを検出できます。SNMPv3 対応デバイスの資格証明情報が HP Web Jetadmin のホスト コンピュータに保存されている場合、HP Web Jetadmin によってデバイスを検出できます。

HP Web Jetadmin には、デバイスの検出方法が 2 種類あります。1 つめは、HP Web Jetadmin からクエリーをデバイスに送信してその応答をリスンする方法です。2 つめは、ネットワーク上に存在することを示すためにデバイスが送信する信号を HP Web Jetadmin で監視する方法です。

HP Web Jetadmin はネットワーク上のデバイスを検出するだけでなく、他の HP Web Jetadmin ホスト コンピュータも検出できます。通常は、ネットワーク上のどのコンピュータが HP Web Jetadmin にアクセスできるかをネットワーク管理者が決めます。ただし、ネットワーク管理者はローカルまたはリモート ネットワークをチェックして、すべての HP Web Jetadmin ホスト コンピュータが必要であり安全であることを確認する必要がある場合があります。HP Web Jetadmin は、IP アドレス範囲によってネットワークを検索するか、すべての有効なワークステーションおよびサーバーに一般的な SNMP 要求を送信することにより、他のホスト コンピュータを検出できます。HP Web Jetadmin は、検出したすべてのホスト コンピュータを結果ページに記録します。

HP Web Jetadmin では、業界標準の SNMP クエリーを使用して、デバイスを認識し、デバイスに関する情報を収集します。次に、新規デバイスや更新デバイスに関する情報をデバイス キャッシュに追加します。ユーザーとヘルプ デスク担当者には次の利点があります。

- 検出されたデバイスのプリント キューを作成し、ネットワーク上で利用可能にすることができます。
- ユーザーとヘルプ デスク担当者は、デバイス キャッシュを検索して、ステータスや特定の機能などの指定条件に一致するデバイスを検出できます。
- デバイス キャッシュの情報をエクスポートして、ネットワーク資産の目録を作成できます。

サードパーティのデバイスの検出

HP Web Jetadmin では、HP 以外のプリント サーバー デバイスを使用する HP 以外のプリンタも検出できます。Hewlett-Packard 社は、サードパーティ製デバイスをサポートすることにより、ネットワーク管理者が期待する単一ソリューションのコンセプトをさらに進めるネットワーク プリンタ管理を提供します。1つのソフトウェア インタフェースで、すべての主要プリンタ ベンダーのプリンタを検出し管理できます。

HP Web Jetadmin では、プリンタとプリント サーバーからの情報の収集に SNMP クエリーが使用されます。HP Web Jetadmin でサードパーティ製プリンタおよび HP 以外のプリント サーバーを検出する場合は、デバイスが次の条件に一致している必要があります。

- プリンタが標準プリンタ MIB (RFC 1759) に準拠している。
- プrint サーバー デバイスが MIB II (RFC 1213) に準拠している。
- 標準プリンタ MIB クエリーをプリンタに送信し、その応答を HP Web Jetadmin に戻すためのリレー機能がプリント サーバー デバイスにある。

MIB (Management Information Base) は、デバイスに関するクエリーに使用できるタイプを定義するオブジェクトセットです。標準プリンタ MIB は RFC (Request for Comments) 1759 に定義されたオブジェクトセットです。サードパーティ製デバイスの場合、HP Web Jetadmin では標準プリンタ MIB クエリーを使用してデバイスのステータスに関する情報を取得します。したがって、HP Web Jetadmin でプリンタを検出するには、プリンタが標準プリンタ MIB に定義されたクエリーに応答可能である必要があります。

MIB II は RFC 1213 に定義されたオブジェクトのセットで、標準プリンタ MIB に明示的に引用されています。HP Web Jetadmin で HP 以外のプリント サーバー デバイスを検出するには、デバイスが MIB II に定義されたクエリーに応答可能である必要があります。通常、HP Web Jetadmin では、次の MIB II クエリーを送信してプリント サーバー デバイスに関する情報を取得します。

- MAC アドレス
- IP アドレス
- ホスト名
- システムの説明

HP 外付けプリント サーバー デバイスでは独自の周辺装置管理言語 (PML) を使用して HP プリンタとの通信を行います。サードパーティ製の外付けプリント サーバー デバイスでも、標準プリンタ MIB クエリーをプリンタに送信して応答を受信するには、同様の方法を使用する必要があります。

プリント サーバー デバイスが MIB II に準拠し、プリンタが標準プリンタ MIB に準拠している場合でも、HP Web Jetadmin でプリンタを検出できない場合があります。これは、HP Web Jetadmin 要求パケットに対する応答にプリント サーバー情報だけが含まれている場合に発生することがあります。HP Web Jetadmin がプリンタ詳細を受信しない場合は、ディスクバリエーションを保証するプリント サーバーデバイスの応答に組み込まれる情報が不十分なため、デバイスを検出できません。

HP Web Jetadmin によってサードパーティ製のデバイスが検出されると、デバイス情報の一部を表示できます。HP Web Jetadmin に表示されるデバイス情報は、名前やステータスなど、デバイスが応答可能な標準プリンタ MIB オブジェクト クエリーに基づいています。詳細については「[サードパーティ ベンダー製品のサポート](#)」を参照してください。

ディスカバリ方法

次に、HP Web Jetadmin のディスカバリ方法について簡単に説明します。各方法の詳細については、「[第 15 章 ディスカバリ方法の設定](#)」を参照してください。

- [ローカル ブロードキャスト - IP および IPX ブロードキャスト ディスカバリ](#)。一般的な SNMP 要求がローカル サブネットまたはリモート TCP/IP ネットワーク上にある有効なすべてのデバイスに送信されます。
- [ローカル ブロードキャスト - IPX サービス クエリー ディスカバリ](#)。一般的なサービス クエリー (GSQ) 要求がローカル サブネットまたはリモート TCP/IP ネットワーク上にある有効なすべてのデバイスに送信されます。
- [マルチキャスト/SLP ディスカバリ](#)。1 つの SNMP 要求が HP 専用のマルチキャストアドレスを使用して送信されます。この要求には、HP マルチキャストが有効なデバイスしか応答できません。ディスカバリ方法をローカル サブネットに限定したり、リモート サブネットでルーターを 15 台まで設定したりすることができます。
- [ARP テーブル ディスカバリ](#)では ARP テーブル リストを使用してデバイスを検索します。ディスカバリは、ネットワーク全体の検索、ローカル サブネットと外側 1 ホップ分の検索、あるいは HP Web Jetadmin がインストールされたローカル サブネットのみの検索を設定することができます。
- [指定アドレス ディスカバリ](#)。作成したホスト ファイルに記載されたデバイスがすべて検索されます。
- [IP 範囲ディスカバリ](#)。一定の IP アドレスの範囲内に位置するデバイスが検索されます。
- [リモート ディスカバリ エージェント \(RDA\) ディスカバリ](#)。HP Web Jetadmin でリモート TCP/IP ネットワークの HP Jetdirect プリント サーバーを検出して設定するときを使用されるプロキシ サービスです。
- [NetWare バインダリ ディスカバリ](#)。Novell NetWare サーバーにクエリーを行い、SAP ブロードキャストをサーバーに送信した HP Jetdirect デバイスに関する情報が記載されたエントリをそのバインダリ内で検索します。
- [NetWare ファイル サーバー ログイン ディスカバリ](#)。HP Web Jetadmin がログオンしたすべての NetWare ファイル サーバーでプリント キューのサービスを行うように設定された HP Jetdirect プリント サーバーを検索します。このディスカバリ方法では、SAP ブロードキャストが無効化された HP Jetdirect プリント サーバーを検索できます。
- [新しいデバイスをリスン ディスカバリ](#)。ネットワークに新しいデバイスがあるかどうかを継続的に監視します。これは、デバイスを検出するまでトラフィックが発生しない受動的な方法です。
- [他にインストールされている HP Web Jetadmin のディスカバリ](#) は、他の HP Web Jetadmin ホスト コンピュータのネットワークを検索します。

ディスカバリ完了までの所要時間は、ネットワーク環境や有効なディスカバリ方法によって異なります。ディスカバリは通常、オフ時間に実行されるため、問題になりません。作業時間にディスカバリを実行する場合は、[\[一覧表\] 領域の \[バックグラウンド タスク\]](#) セクションでディスカバリのステータスを確認できます。

HP Web Jetadmin をインストールすると、デフォルトで次のディスカバリ方法が有効になります。

- IP ブロードキャスト ディスカバリ
- IPX ブロードキャスト ディスカバリ
- 新しいデバイスをリスン ディスカバリ

これらのデフォルトのディスカバリ方法は、大規模なネットワークよりも多くのディスカバリ トラフィックを処理できる小規模なネットワークに合わせて最適化されています。使用しているネットワークのネットワーク トラフィックとディスカバリ精度のバランスをより最適化する必要がある場合は、別のディスカバリ方法を有効にしてください。

ディスカバリのトラフィック

HP Web Jetadmin のディスカバリ機能によって、各デバイスのアドレス情報を管理ツールのキャッシュに手動で入力する必要はなくなりますが、この自動化のトレードオフにより、一定量のネットワークトラフィックが発生します。ネットワークトラフィックのレベルと継続期間、その頻度、発生時刻を直接制御することができます。

すべてのネットワークに 2 種類のネットワークトラフィックが発生します。これらを区別することが重要です。

- 一般トラフィックはブロードキャストトラフィックともいい、デバイスのすべてにアドレスされ、処理が求められます。一般トラフィックは比較的短いものですが、高レベルのネットワークトラフィックが発生します。大規模ネットワークの場合は、多数の装置が同時に応答し、その一部が Ethernet の衝突やバッファのオーバーフローを発生させ、応答の一部が失われるため、一般トラフィックの問合せ結果の精度が損なわれます。
- 宛先指定トラフィックは、指定したデバイスに送信され、応答もこれらのデバイスに限られます。宛先指定トラフィックの場合、時間は比較的長くかかりますが、過剰なネットワークトラフィックの発生はありません。通常、宛先指定トラフィックでは、応答が同時に送信されることがなく、受信の失敗が少ないため、より確実性の高い結果が得られます。これは、ブロードキャストではなく宛先指定通信であるため、応答に Ethernet の衝突が影響する場合でも、応答が送信されます。

ディスカバリ方針の計画

ユーザーが使用する環境に最適なディスカバリ方法を決定するには、ネットワークの構成とディスカバリの実行に必要なものを正確に理解する必要があります。次にディスカバリ方針の計画時に考慮すべき問題を説明します。

- **初期デバイス ディスカバリを実行するか、または既存デバイス キャッシュを更新するか。** 実行時のデバイス キャッシュを保守するディスカバリをスケジュールするときは、デバイス キャッシュを構築するために最初に有効化したディスカバリ方法を変更します。たとえば、初期ディスカバリとして ARP テーブル ディスカバリなどの低速で詳細なディスカバリ方法を有効化した場合、実行時のディスカバリには高速の方法を選択できます。
- **HP Web Jetadmin に移行する HP Jetadmin ディスカバリ ファイルがあるか。** HP Jetadmin ディスカバリ ファイル (jetset.ini) を HP Web Jetadmin にインポートできます。この処理では、HP Jetadmin のディスカバリ ファイルを HP Web Jetadmin の形式に変換し、HP Web Jetadmin ディスカバリに使用するホスト ファイルに追加します。指定アドレス ディスカバリでは、ホスト ファイルに記載されたすべてのデバイスが検索され、HP Web Jetadmin のデバイス キャッシュに追加されます。
- **ディスカバリ時に作成されたデバイス キャッシュの使用方法。** たとえば、CIO にはネットワーク上の全資産に関する情報が必要です。一方、ヘルプ デスクの担当者はサポート対象デバイス、一定の機能だけをサポートするデバイス、保守作業を要するデバイスに関する情報だけが必要になります。
- **ネットワークに通常発生するトラフィックの種類と、いつ発生するか。** ネットワークのトラフィック パターンを理解しておく、そのネットワークで許容されるディスカバリ トラフィックの種類を特定する際に役立ちます。
- **ディスカバリ トラフィックがその他のネットワーク トラフィックに及ぼす影響を最小限に抑えられるのはいつか。** ディスカバリ トラフィックの影響を最小限に抑えるため、他のネットワーク使用が最小の時点でディスカバリをスケジュールします。
- **定期的にネットワーク プリンタの電源が切られるか。** ディスカバリでは電源が切れたデバイスを検出できないため、検出対象のデバイスの電源がオンの時間にディスカバリが実行されるようにスケジュールします。HP Web Jetadmin では、パワーセーブ モードになっているデバイスも検出されます。
- **TCP/IP または IPX/SPX プロトコルで設定されたデバイスのディスカバリは必要か。** TCP/IP と IPX/SPX ディスカバリのどちらを使用するかによって結果が異なる場合があります。この理由の 1 つとして、IPX/SPX にしか応答できない旧型の HP Jetdirect プリント サーバーがネットワークに存在することが考えられます。その他の理由としては、片方のプロトコルにルーターのフィルタリングが設定されていることも考えられます。トポロジ上の問題の影響がそれぞれのプロトコルに異なる形で現れている場合もあります。
- **デバイスの配置が単一サブネットか、複数のルーター間か。** HP Web Jetadmin では、大規模なネットワークに分散しているデバイスの検出に時間がかかります。また、一部のディスカバリ方法では検出が 1 つのサブネットに限定され、広範囲のディスカバリには適しません。たとえば、ローカル ブロードキャスト ディスカバリでは、HP Web Jetadmin がインストールされたサブネットのデバイスしか検出できません。これはリモート サブネット上のデバイスの検出には適しません。
- **ディスカバリ対象のデバイスのタイプ。** 1 つの IP アドレスと IP アドレス範囲のどちらを対象にしたディスカバリか。スタティック IP アドレスで設定されたデバイスや SAP ブロードキャストが無効のデバイスを検出する必要があるか。デバイスがマルチキャスト ブロードキャストをサポートしているか。このようにディスカバリ方法は、デバイスの検索に使用する条件や検索対象のデバイス タイプによって異なります。

- **ディスカバリ対象のデバイスの数。** ディスカバリ対象のデバイスが多数の場合は、すべてのデバイスが同時に応答し、衝突やバッファのオーバーフローが発生することがあるため、ローカルブロードキャスト ディスカバリでは不正確になる可能性があります。
- **ネットワークにインストールされた HP Web Jetadmin の数。** 各サブネットですべて HP Web Jetadmin のコピーを実行している場合、検索する領域が小さくなるためディスカバリの所要時間が短縮されます。また、複数のサブネットを検索する機能の有無によってディスカバリ方法を制限する必要があります。
- **HP Web Jetadmin のホスト コンピュータに資格証明情報が保存されていない SNMP 対応デバイスを検出する必要がありますか。** 一部のディスカバリでは、HP Web Jetadmin との通信に SNMPv1 を使用します。セキュリティ要求が高まるにつれて、より新しいデバイスでは SNMPv3 を使用した通信設定が行われるようになっていきます。HP Web Jetadmin を有効化すると、SNMPv3 および SNMPv1 対応デバイスとの通信および検出ができます。IP ブロードキャスト、IP 範囲、および指定アドレス ディスカバリ方式は、SNMPv3 が有効なディスカバリをサポートしています。SNMPv3 対応デバイスが検出され、そのデバイスに資格証明情報がない場合、そのデバイスの IP アドレスが **[デバイス管理] > [ツール] > [管理されていない SNMPv3 デバイス]** ページに表示されます。HP Web Jetadmin を使用して SNMPv3 対応デバイスを管理するには、デバイス資格証明を指定する必要があります。

これらの設問に対する回答を考慮して、環境に最適なディスカバリ方法やその組み合わせを決定します。一般的に、ネットワークの生産性とディスカバリ結果の精度のバランスを最適にするには、複数のディスカバリ方法を使用する必要があります。



注記 複数のディスカバリ方法を使用する場合、それぞれのディスカバリは完全に独立しています。たとえば、IP ブロードキャスト ディスカバリと ARP テーブル ディスカバリを実行した場合、IP ブロードキャスト ディスカバリが既に検出したデバイスも ARP テーブル ディスカバリで検出され、それがデバイス キャッシュに追加されます。

次のガイドラインは、使用するネットワークに適したディスカバリ方法を選択する際に使用してください。

目標	ディスカバリ方針
他のネットワーク トラフィックに対する影響を最小限に抑えます。	オフ時間にユーザーのネットワーク環境に応じた間隔で HP Web Jetadmin が定期的にスケジュールされたディスカバリを実行するようにセットアップします。
ローカルネットワーク上に TCP/IP で設定されたデバイスの最も詳細なディスカバリを実行します。	ローカル ブロードキャスト ディスカバリと ARP テーブル ディスカバリの組み合わせを使用します。
ローカルおよびリモート ネットワーク上のデバイスの最も詳細なディスカバリを実行します。	次のディスカバリ方法を 1 つ以上使用します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 指定アドレス ディスカバリ (TCP/IP または IPX/SPX) ● IP 範囲ディスカバリ (TCP/IP) ● ARP テーブル ディスカバリ (TCP/IP)
企業ネットワークまたは HP Web Jetadmin がインストールされたホスト コンピュータから 1 ホップ離れたすべてのリモート ネットワーク上にある TCP/IP デバイスの一般的なディスカバリを実行します。	ARP テーブル ディスカバリを使用します。
ローカルまたはリモート ネットワーク上の一定のアドレス範囲の TCP/IP デバイスを検索します。	ローカルまたはリモート ネットワーク上の指定アドレスまたは IP 範囲ディスカバリを使用します。

目標	ディスカバリ方針
IPX/SPX プロトコルで設定されたデバイスだけを検出します。	<p>次のディスカバリ方法を 1 つ以上使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ローカル ブロードキャスト ディスカバリのいずれか 指定アドレス ディスカバリ NetWare バインダリ ディスカバリ
新しい TCP/IP デバイスまたは IPX/SPX デバイスがローカル ネットワークに追加されたときに検出します。	<p>次のディスカバリ方法を 1 つ以上使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> IP または IPX ブロードキャスト ディスカバリ 指定アドレス ディスカバリ (TCP/IP または IPX/SPX) NetWare バインダリ ディスカバリ (IPX/SPX) 新しいデバイスをリスン ディスカバリ
比較的静的なネットワーク環境で新しいデバイスを検出します。	<p>初期ディスカバリを実行し、新しいデバイスをリスン以外のディスカバリ方法をすべて無効化します。</p>
非常にすばやくディスカバリを実行します。	<p>次のディスカバリ方法を 1 つ以上使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ローカル ブロードキャスト ディスカバリのいずれか マルチキャスト/SLP ディスカバリ
ネットワーク トラフィックに短いバーストが発生しますが、同時に高スパイクのアクティビティを生成します。	<p>次のディスカバリ方法を 1 つ以上使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ローカル ブロードキャスト ディスカバリのいずれか マルチキャスト/SLP ディスカバリ
ネットワークに低レベルで長期にわたるディスカバリ トラフィックを発生させます。	<p>次のディスカバリ方法を 1 つ以上使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定アドレス ディスカバリ ARP テーブル ディスカバリ 新しいデバイスをリスン ディスカバリ
ローカル サブネットのデバイスだけを検出します。	<p>ローカル ブロードキャスト ディスカバリのいずれかを使用します。</p>
複数のサブネットのデバイスを検出します。	<p>次のディスカバリ方法を 1 つ以上使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> IP 範囲ディスカバリ ARP テーブル ディスカバリ マルチキャスト/SLP ディスカバリ NetWare バインダリ ディスカバリ
ネットワークのディスカバリ範囲を限定します。	<p>次のディスカバリ方法を 1 つ以上使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> IP 範囲ディスカバリ ARP テーブル ディスカバリ マルチキャスト/SLP ディスカバリ NetWare バインダリ ディスカバリ

15 ディスカバリ方法の設定








この章では、次の項目を説明します。

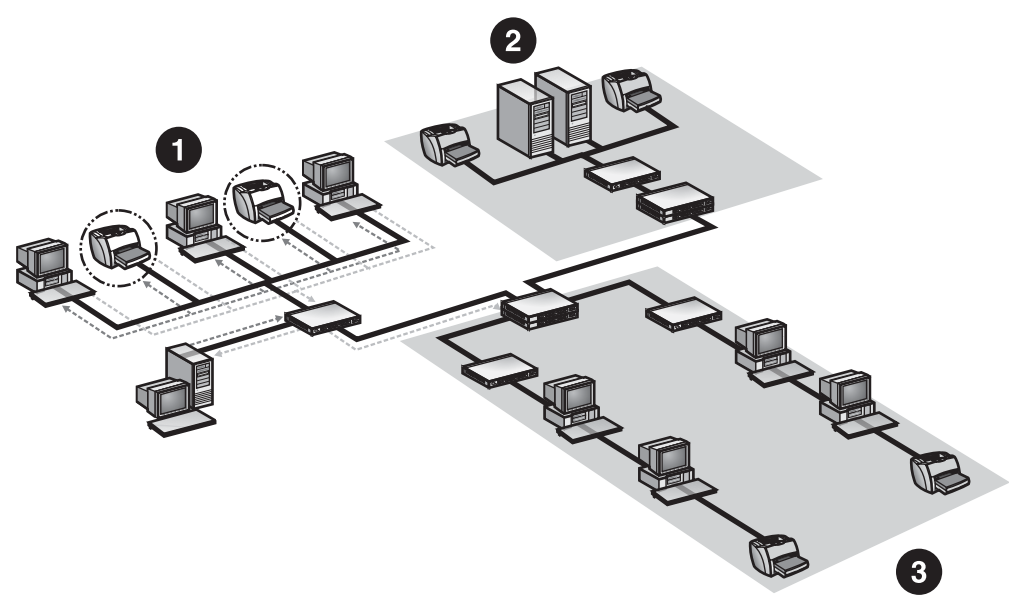
- [HP Web Jetadmin ディスカバリの概要](#)
- [ローカル ブロードキャスト – IP および IPX ブロードキャスト ディスカバリ](#)
- [ローカル ブロードキャスト – IPX サービス クエリー ディスカバリ](#)
- [マルチキャスト/SLP ディスカバリ](#)
- [ARP テーブル ディスカバリ](#)
- [指定アドレス ディスカバリ](#)
- [IP 範囲ディスカバリ](#)
- [リモート ディスカバリ エージェント \(RDA\) ディスカバリ](#)
- [NetWare バインダリ ディスカバリ](#)
- [NetWare ファイル サーバー ログイン ディスカバリ](#)
- [新しいデバイスをリスン ディスカバリ](#)
- [他にインストールされている HP Web Jetadmin のディスカバリ](#)

HP Web Jetadmin ディスカバリの概要

この章では、HP Web Jetadmin のディスカバリ方法について説明します。

ローカル ブロードキャスト – IP および IPX ブロードキャスト ディスカバリ

アイコン	説明	アイコン	説明
	HP Web Jetadmin ホスト コンピュータ		プリンタ
	検出されたデバイス		サーバー
	ワークステーション		ハブ
	ルーター		



1	サブネット A
2	サブネット B
3	サブネット C

IP および IPX ブロードキャスト ディスカバリの際は、HP Web Jetadmin から一般 SNMP 要求がローカル サブネットやリモート TCP/IP ネットワーク上のすべての有効デバイスに送信されます。HP Web Jetadmin はサポート対象デバイスからの応答をリスンします。応答したサポート対象デバイスのいずれかがデバイス キャッシュに記載されていない場合やデバイス情報が正しくない場合、HP Web Jetadmin はデバイス情報を含むデバイス キャッシュを更新します。

デフォルトでは、インストールされたプロトコル全体 (TCP/IP または IPX/SPX) にブロードキャストが発生します。IP および IPX ブロードキャスト ディスカバリがプロトコルのいずれかで実行されるように設定したり、完全に無効化したりできます。ただし、IPX/SPX は Windows 環境でのみサポートされます。



注記 IP および IPX ブロードキャスト ディスカバリ方法はデフォルトで有効になっています。

IP および IPX ブロードキャスト ディスカバリは非常に高速ですが、すべてのデバイスが同時に応答するためネットワーク トラフィックに高スパイクが発生します。また、同時に多数の応答が送信されるので、応答の一部に衝突が発生して HP Web Jetadmin まで到達しなかったり、バッファのオーバーフローが発生する可能性があります。この衝突やバッファのオーバーフローは情報の正確さに悪影響を及ぼします。



注記 IPX ブロードキャスト ディスカバリ方法は、Windows 環境で HP Web Jetadmin を実行中のホスト コンピュータに IPX/SPX がインストールされている場合にのみ使用できます。

IP および IPX ブロードキャスト ディスカバリの使用に関する推奨事項








IP および IPX ブロードキャスト ディスカバリは、次の状況で *使用* してください。

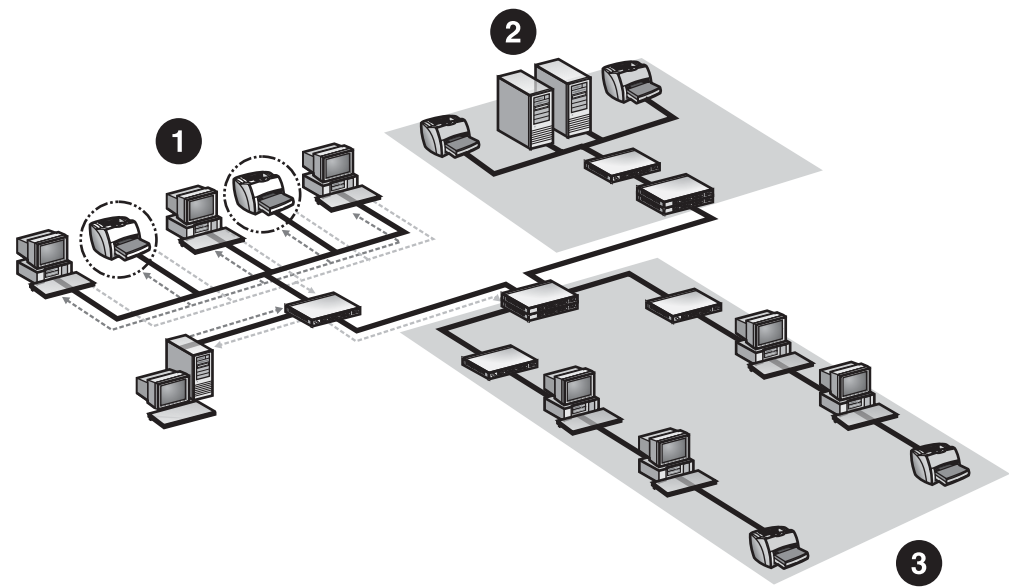
- 高速検索が必要な場合
- 比較的デバイスが少ない小規模のネットワークを検索する場合
- ディスカバリがネットワーク アクティビティに悪影響を及ぼさない時間に実行するようにスケジュールする場合
- 1つのサブネットだけを検索する場合
- 未設定のデバイスを検索する必要がある場合

IP および IPX ブロードキャスト ディスカバリは、次の状況では *使用しない* ください。

- 各ブロードキャスト ドメインに多数のデバイスがあり、応答の衝突の可能性が高い大規模ネットワークを検索する場合。
- 非常に正確なディスカバリが必要な場合。HP Web Jetadmin では、衝突のために一部の応答を受信できないことがあります。
- スイッチ環境で実行し、スイッチがブロードキャストをうまく処理できない場合。IP および IPX ブロードキャスト ディスカバリを夜間に実行するようにスケジュールし、それ以外の場合は使用しないでください。

ローカル ブロードキャスト – IPX サービス クエリー ディスカバリ

アイコン	説明	アイコン	説明
	HP Web Jetadmin ホスト コンピュータ		プリンタ
	検出されたデバイス		サーバー
	ワークステーション		ハブ
	ルーター		



1	サブネット A
2	サブネット B
3	サブネット C

IPX サービス クエリー ディスカバリの際は、HP Web Jetadmin から一般サービス クエリー (GSQ) 要求がローカル サブネットやリモート IPX/SPX ネットワーク上のすべての有効デバイスに送信されます。HP Web Jetadmin はサポート対象デバイスからの応答をリスンします。応答したサポート対象デバイスのいずれかがデバイス キャッシュに記載されていない場合やデバイス情報が正しくない場

合、HP Web Jetadmin はデバイス情報を含むデバイス キャッシュを更新します。SAP ブロードキャストが有効な場合は、ルーターもリモート デバイスに関する情報を応答できる必要があります。



注記 IPX サービス クエリー ディスカバリ方法はデフォルトで有効になっています。

IPX サービス クエリー ディスカバリは非常に高速ですが、すべてのデバイスが同時に応答するためネットワーク トラフィックに高スパイクが発生します。また、同時に多数の応答が送信されるので、応答の一部に衝突が発生して HP Web Jetadmin まで到達しなかったり、バッファのオーバーフローが発生する可能性があります。この衝突やバッファのオーバーフローは情報の正確さに悪影響を及ぼします。



注記 IPX サービス クエリー ディスカバリ方法は、Windows 環境で HP Web Jetadmin を実行中のホスト コンピュータに IPX/SPX がインストールされている場合にのみ使用できます。

IPX サービス クエリー ディスカバリの使用に関する推奨事項

IPX サービス クエリー ディスカバリは、次の状況で *使用* してください。

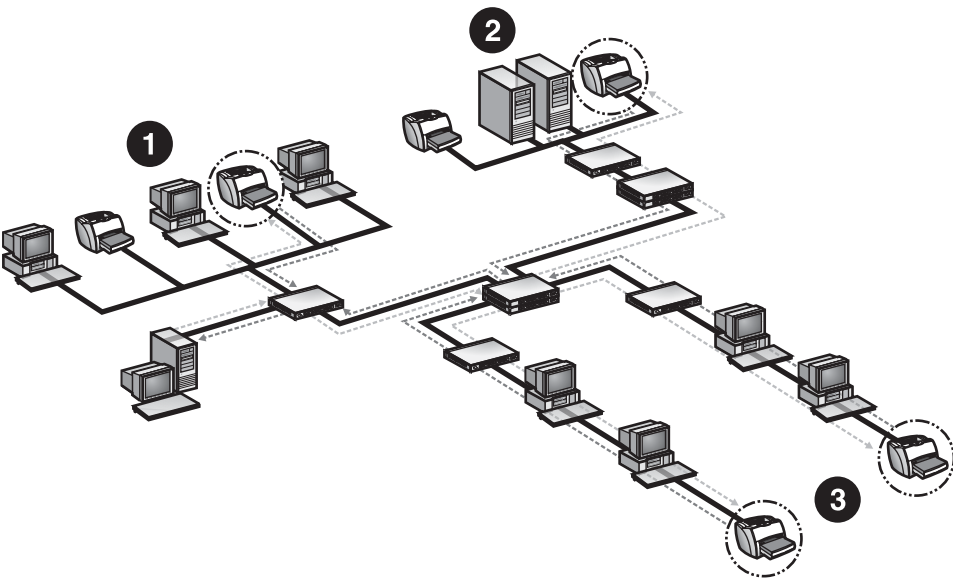
- 高速検索が必要な場合
- 比較的デバイスが少ない小規模のネットワークを検索する場合
- ディスカバリがネットワーク アクティビティに悪影響を及ぼさない時間に実行するようにスケジュールする場合
- 1つのサブネットだけを検索する場合
- 未設定のデバイスを検索する必要がある場合

IPX サービス クエリー ディスカバリは、次の状況では *使用しない* ください。

- 各ブロードキャスト ドメインに多数のデバイスがあり、応答の衝突の可能性が高い大規模ネットワークを検索する場合。
- 非常に正確なディスカバリが必要な場合。HP Web Jetadmin では、衝突のために一部の応答を受信できないことがあります。
- スイッチ環境で実行し、スイッチがブロードキャストをうまく処理できない場合。IPX サービス クエリー ディスカバリを夜間に実行するようにスケジュールし、それ以外の場合は使用しないでください。


マルチキャスト/SLP ディスカバリ

アイコン	説明	アイコン	説明
	HP Web Jetadmin ホスト コンピューター		プリンタ
	検出されたデバイス		サーバー
	ワークステーション		ハブ
	ルーター		



1	サブネット A
2	サブネット B
3	サブネット C

マルチキャスト/SLP ディスカバリの際は、HP Web Jetadmin から 1 つの SNMP 要求が HP 専用のマルチキャスト アドレスを使用して送信されます。この要求には、HP マルチキャストが有効なデバイスしか応答できません。デバイスが応答すると、HP Web Jetadmin から別の SNMP 要求がデバイスに送信されて詳細情報が収集され、デバイス情報を含むデバイス キャッシュが更新されます。ディスカバリをローカル サブネットに限定したり、リモート サブネットでルーターを 15 台まで設定したりできます。

 **注記** マルチキャスト/SLP ディスカバリ方法はデフォルトで無効になっています。

マルチキャスト/SLP ディスカバリは、特定のデバイスだけを検索する点を除き、ローカル ブロードキャスト ディスカバリと同じです。したがって、それほどネットワーク トラフィックを発生させず、デバイスの応答を逃す可能性も少なくなります。ただし、マルチキャスト/SLP ディスカバリでは、HP マルチキャスト有効デバイスしか検出できません。



注記 マルチキャスト/SLP ディスカバリ方法を使用するには、バージョン x.06.00 以降の HP Jetdirect のファームウェアが必要です。

マルチキャスト/SLP ディスカバリの使用に関する推奨事項








マルチキャスト/SLP ディスカバリは、次の状況で *使用* してください。

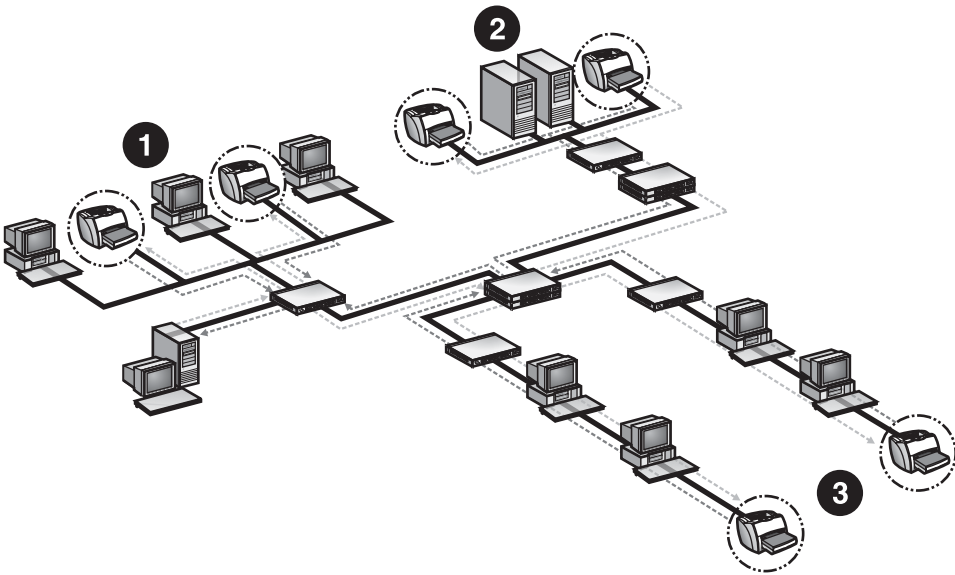
- マルチキャスト ブロードキャストに対応したデバイスだけを検出する場合
- サポート対象デバイスが比較的少ない小規模のネットワークを検索する場合
- 他のネットワーク アクティビティが低い時間帯にディスカバリをスケジュールする場合
- 複数のサブネットを検索する場合

マルチキャスト/SLP ディスカバリは、次の状況では *使用しない* ください。

- 対応したデバイスが多く、応答の衝突の可能性が高い大規模ネットワークを検索する場合。
- スイッチ環境で実行し、スイッチがブロードキャストをうまく処理できない場合。マルチキャスト/SLP ディスカバリを夜間に実行するようにスケジュールし、それ以外の場合は使用しないでください。
- ネットワークにマルチキャスト ブロードキャストに対応していない旧デバイスが多数ある場合。

ARP テーブル ディスカバリ

アイコン	説明	アイコン	説明
	HP Web Jetadmin ホスト コンピューター		プリンタ
	検出されたデバイス		サーバー
	ワークステーション		ハブ
	ルーター		



1	サブネット A
2	サブネット B
3	サブネット C

ARP テーブル ディスカバリ方法は、HP 管理ツールに固有の機能です。IP 対応デバイスのそれぞれが ARP (Address Resolution Protocol) テーブルを管理します。このテーブルでは、ネットワークを介して通信を行うすべてのデバイスの IP アドレスが MAC (Media Access control) アドレスに割り当てられます。IP アドレスが MAC アドレスで解決されないと、その IP アドレスと通信できません。

ARP テーブル ディスカバリの際は、まず、情報を収集するコンピュータで管理されている ARP テーブルに記載された各デバイスに HP Web Jetadmin から SNMP 要求が送信されます。次に HP Web Jetadmin は、各デバイスの ARP テーブルを検索して、これらの ARP テーブルに記載された各デバイスに SNMP 要求を送信します。HP Web Jetadmin では、それ以上検出できるデバイスがなくなるまで、検出したすべてのデバイスが管理する ARP テーブルの検索を続行します。



注記 ARP テーブル ディスカバリ方法はデフォルトで無効になっています。

ARP テーブル ディスカバリでは、ネットワーク全体の検索 (無制限)、ローカル サブネットと外側 1 ホップ分の検索、またはローカル サブネットのみの検索を設定することができます。ディスカバリレベルによってディスカバリの範囲が設定され、それによってディスカバリの期間や発生するネットワーク トラフィックの量が決まります。たとえば、世界最大級の専用イントラネットを持つ Hewlett-Packard の環境では、次のような統計が記録されています。

- ローカル サブネットのみの検索には、約 10 分かかります。
- ローカル サブネットと外側 1 ホップ分の検索には、約 20 分かかります。



注記 これらの数値は、比較のためにここに記すものであり、パフォーマンスを保証するものではありません。

ARP テーブル ディスカバリでは、低レベルで長期にわたるネットワーク トラフィックが発生します。ARP テーブル ディスカバリは、応答が同時に送信されることがないためローカル ブロードキャスト ディスカバリよりも精度が高くなります。

ARP テーブル ディスカバリ方法でデバイスを検出するには、既知のアドレスのリストが必要です。通常、ARP テーブル ディスカバリでは、SNMP ブロードキャストを使用して、親リストと呼ばれる、検出するデバイスの初期リストを決定します。独自の親リストのアドレスを指定すると、このブロードキャストを回避できます。親リストのアドレスは、SNMP エージェントである必要があります。ルーターやゲートウェイは前回の通信でネットワーク上のほとんどのデバイスを認識しているため、親リストのアドレスとして最適です。




ARP テーブル ディスカバリの使用に関する推奨事項

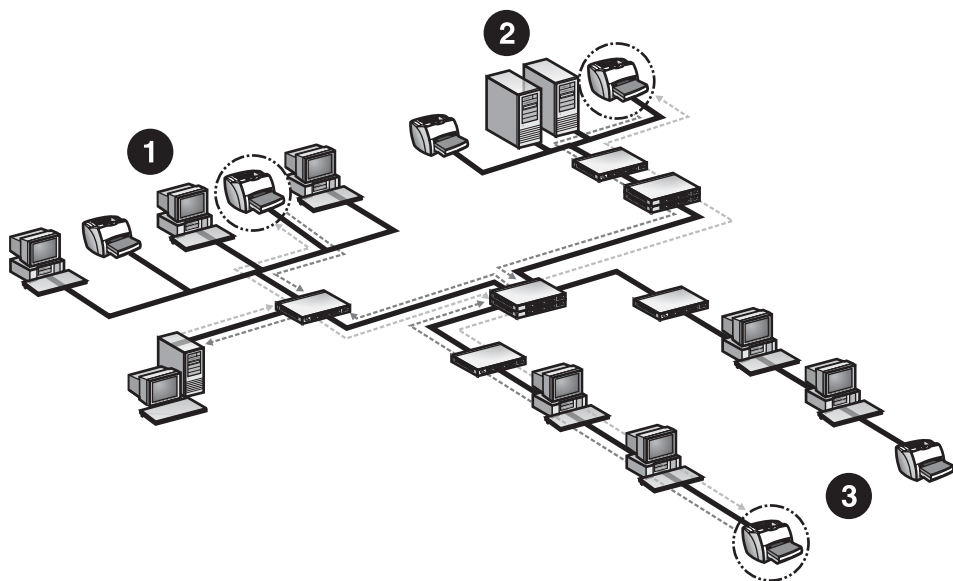
ARP テーブル ディスカバリは、次の状況で使用してください。

- ネットワークに高レベルのトラフィックを発生させたくない場合
- 非常に正確なディスカバリが必要な場合
- ネットワークのディスカバリ範囲を限定する場合
- 時間帯および期間にかかわらずディスカバリをスケジュールする場合

大規模のネットワークで高速のディスカバリを必要とする場合、ARP テーブル ディスカバリは使用しないでください。

指定アドレス ディスカバリ

アイコン	説明	アイコン	説明
	HP Web Jetadmin ホスト コンピュータ		プリンタ
	検出されたデバイス		サーバー
	ワークステーション		ハブ
	ルーター		



1	サブネット A
2	サブネット B
3	サブネット C

指定アドレス ディスカバリの際に、HP Web Jetadmin はホスト ファイルに定義されたデバイスを検索します。HP Web Jetadmin からホスト ファイルの各デバイスに宛先指定 SNMP 要求が送信されます。HP Web Jetadmin にホスト ファイルをアップロードすることも、既存のホスト ファイルを検索することもできます。



注記 指定アドレス ディスカバリ方法はデフォルトで無効になっています。

デバイスがリモート サブネットにある場合でも、HP Web Jetadmin と、HP Web Jetadmin ホスト ファイルに記載された各デバイスとの対話が直接行われるため、指定アドレス ディスカバリではネット

ワーク トラフィックがほとんど発生しません。ただし、これにはホスト ファイルが必要で、ない場合にはテキスト ファイルとして保存可能なアプリケーションを使用して作成します。さらに、ホスト ファイルのアドレスが正確でないと、指定アドレス ディスカバリの結果が正確になりません。ホスト ファイルにデバイスを記載しなければ、HP Web Jetadmin で検出できません。指定アドレス ディスカバリでは、ホスト ファイルに記載した IP アドレスを対象とする範囲しか検索できません。

ホスト ファイルの作成

ホスト ファイルを作成するときは、ファイルに任意の名前を付け、そのファイルを任意のディレクトリに配置します。新しいホスト ファイルをアップロードすると、HP Web Jetadmin はデータをインポートし、新しいホスト ファイルのコピーが hosts.txt というファイルに保存されます。新しい hosts.txt ファイルは、HP Web Jetadmin のインストール ディレクトリのサブディレクトリ %doc に配置されます。

ホスト ファイル内の各行が 1 つのデバイスを表し、改行で区切ります。エントリは、IP アドレス、IP ホスト名、IPX アドレス、またはハードウェア アドレスをスペースで区切って組み合わせます。

ホスト ファイルへのエントリは、エディタを使用して手動で追加するか、または **[デバイス管理] > [ディスカバリ] > [指定アドレス]** ページに直接追加します。ホスト ファイル エントリにコメントを追加するときは、シャープ記号 (#) を入力してからコメントを入力します。

指定アドレス ディスカバリの使用に関する推奨事項

指定アドレス ディスカバリは、次の状況で *使用* してください。

- ホスト ファイルが既に存在する場合
- ネットワークに接続されたデバイス数が正確に把握できている場合
- ネットワーク トラフィック量をできるだけ抑える場合
- 複数のリモート サブネットでデバイスを検索する場合

指定アドレス ディスカバリは、次の状況では *使用しない* ください。

- ホスト ファイルが存在しない場合
- ネットワークに接続されたデバイス数が把握できていない場合
- 最初と最後のアドレスだけを指定した範囲でデバイスを検索する場合








HP Jetadmin ディスカバリ ファイルのインポート

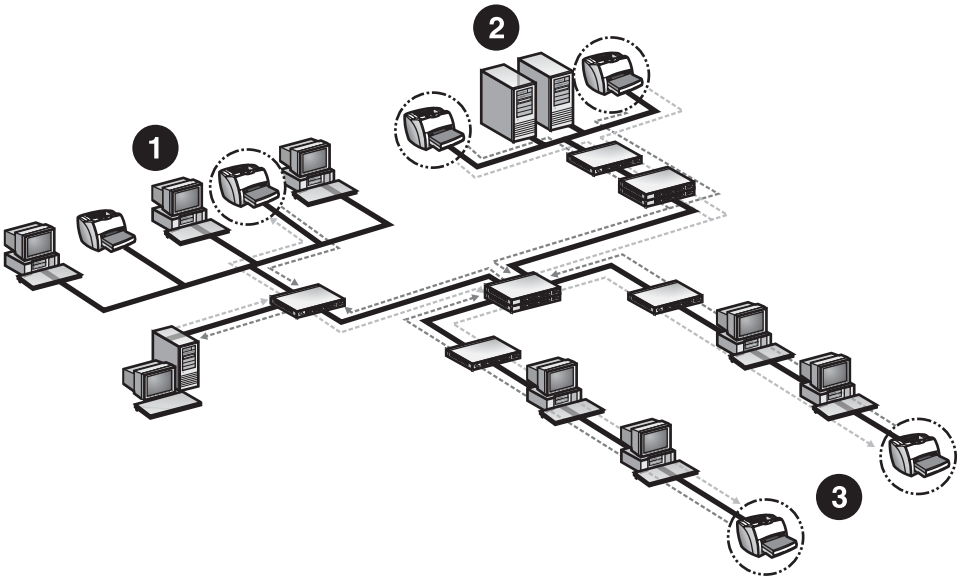
HP Jetadmin ディスカバリ ファイル (jetset.ini) を HP Web Jetadmin にインポートします。このプロセスでは、HP Jetadmin ディスカバリ ファイルを HP Web Jetadmin 形式に変換し、それを HP Web Jetadmin ディスカバリに使用する hosts.txt ファイルに追加します。これにより、HP Jetadmin で使用されているファイルベースのディスカバリ方法との後方互換性が確保されます。

HP Jetadmin データベースからの移行

HP Jetadmin のレポート生成機能では、詳細なデバイス データベースが作成されます。HP Jetadmin でデータベースを作成したら、そのデータベースを HP Web Jetadmin にアップロードします。HP Web Jetadmin では、HP Jetadmin のデータベースが hosts.txt ファイルに追加されます。このプロセスを使用して、HP Jetadmin から HP Web Jetadmin に簡単に移行できます。

IP 範囲ディスカバリ

アイコン	説明	アイコン	説明
	HP Web Jetadmin ホスト コンピューター		プリンタ
	検出されたデバイス		サーバー
	ワークステーション		ハブ
	ルーター		



1	サブネット A
2	サブネット B
3	サブネット C

IP 範囲ディスカバリでは、一定の IP アドレス範囲内のデバイスだけが検索されます。IP ホスト名は有効ではありません。IP 範囲ディスカバリの際は、HP Web Jetadmin から宛先指定 SNMP 要求のバーストがその範囲内の各 IP アドレスに送信されます。



注記 IP 範囲ディスカバリ方法はデフォルトで無効になっています。

IP 範囲ディスカバリは非常に正確で詳細なディスカバリです。HP Web Jetadmin で、ローカルまたはリモート サブネット上のデバイスを検索し、ネットワーク上のディスカバリ範囲を限定することもできます。ただし、IP 範囲ディスカバリでは基本的に各 IP アドレス (使用されていない IP アドレス

も含む) をチェックしてデバイスがその場所にあるかどうかを調べるので、大規模ネットワークでは通信速度が非常に低下する場合があります。さらに、IP 範囲ディスカバリには時間がかかるため、ネットワーク監視ソフトウェアによっては、ディスカバリ処理を、誰かがネットワークにアクセスしようとしているのではないかと誤認識してしまう可能性があります。このディスカバリを実行する場合には、IP またはネットワーク管理者に相談してください。



注記 DHCP/WINS 環境で IP 範囲ディスカバリを使用する場合は、HP Jetdirect プリント サーバーの予約をお勧めします。これによって、無期限の IP アドレスが割り当てられます。

IP 範囲ディスカバリの使用に関する推奨事項






IP 範囲ディスカバリは、次の状況で *使用* してください。

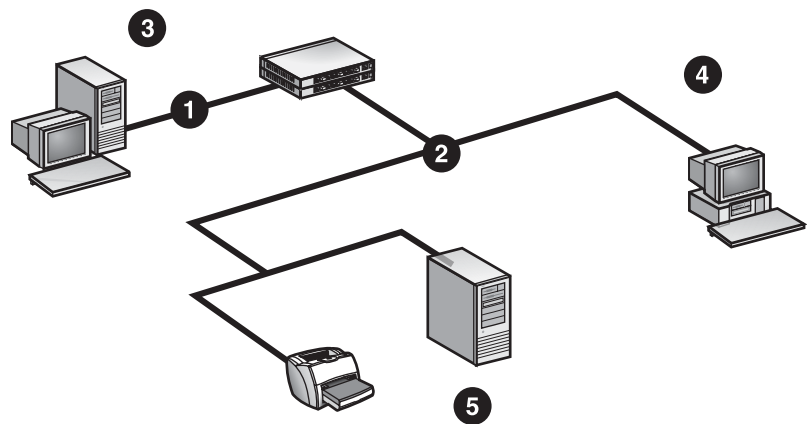
- 非常に詳細なディスカバリが必要な場合
- ローカルおよびリモート サブネットでデバイスを検索する必要がある場合
- 異なるスケジュールで特定の IP 範囲に対してディスカバリを実行する必要がある場合
- IP アドレス範囲全体の検索が必要な場合
- ネットワークのディスカバリ範囲を限定する場合

IP 範囲ディスカバリは、次の状況では *使用しない* ください。

- 高速ディスカバリが必要な場合。IP 範囲ディスカバリでは、すべての IP アドレスを個別にチェックします。IP 範囲に未使用のアドレスが多数ある場合、HP Web Jetadmin では、これらの未使用のアドレスをチェックします。この処理には長い時間がかかります。ただし、ネットワーク管理者が IP アドレッシング スキームおよびサブネットについて熟知している場合には、このディスカバリの実行の速度が上がる場合もあります。
- 権限のないユーザーを監視するセキュリティ ツールを使用している場合で、ネットワーク管理のチームに HP Web Jetadmin ディスカバリのアクティビティについて通知していない場合。HP Web Jetadmin によって実行されたクエリーなど SNMP サブネット クエリーは、監視エージェントによって疑わしいアクティビティとしてセキュリティ チームに報告される可能性があります。

リモート ディスカバリ エージェント (RDA) ディスカバリ

アイコン	説明	アイコン	説明
	HP Web Jetadmin ホスト コンピューター		ワークステーション
	プリンタ		ルーター
	サーバー		



1	サブネット A
2	サブネット B
3	HP Web Jetadmin ホスト コンピュータが実行されている PC または Linux ワークステーション
4	RDA プロキシ サービスがインストールされた PC
5	IP アドレスが未設定 (192.0.0.192) の HP Jetdirect プリント サーバー

リモート ディスカバリ エージェント (RDA) ディスカバリ方法は、HP Web Jetadmin でリモート TCP/IP ネットワークの HP Jetdirect プリント サーバーを検出して設定する場合に使用されるプロキシ サービスです。RDA ディスカバリの準備として、HP Web Jetadmin では、小さなソフトウェアがリモート ネットワーク上のホスト コンピュータに送信されます。その後、リモート ホスト コンピュータ上でのディスカバリ方法を設定し、詳細オプションを設定し、ディスカバリをスケジュールすることができます。HP Web Jetadmin では、次のディスカバリ時に、リモート ネットワークの RDA ディスカバリから情報が取得されます。

特定のリモート ネットワーク上の HP Jetdirect プリント サーバーで IP アドレスを設定する場合は、HP Web Jetadmin がリモート RDA サーバーに接続し、実際の IP 設定を実行するように指示します。

HP Web Jetadmin では、リモート TCP/IP ネットワーク上にある未設定の HP Jetdirect プリント サーバーを設定することはできません。ただし、RDA ディスカバリが、未設定の HP Jetdirect プリント サーバーと同じサブネットにある場合は、HP Web Jetadmin で、RDA プロキシ サービスにコマンドを送信して、HP Jetdirect プリント サーバーを設定することができます。



注記 RDA ディスカバリ方法はデフォルトで無効になっています。

RDA ディスカバリ方法を使用して、ネットワーク トラフィックを管理しながら、ネットワーク上のデバイスに関するより完全な情報を取得することができます。RDA ディスカバリは、HP Web Jetadmin をインストールしたホスト コンピュータからではなく、各サブネットで行われるため、特定のサブネット上のディスカバリ トラフィックは、その他のサブネット上のディスカバリ トラフィックと競合しません。したがって、各サブネットでのディスカバリでは、衝突やバッファのオーバーフローを発生することなく、デバイス応答を取得する可能性が高くなります。HP Web Jetadmin で各サブネットから収集される情報は、より完全なものになります。

RDA ディスカバリの使用に関する推奨事項


HP Jetdirect プリント サーバーが IP サブネット ルーターを介して HP Web Jetadmin に接続され、IP アドレスが未設定 (192.0.0.192) の場合に、RDA ディスカバリを使用してください。

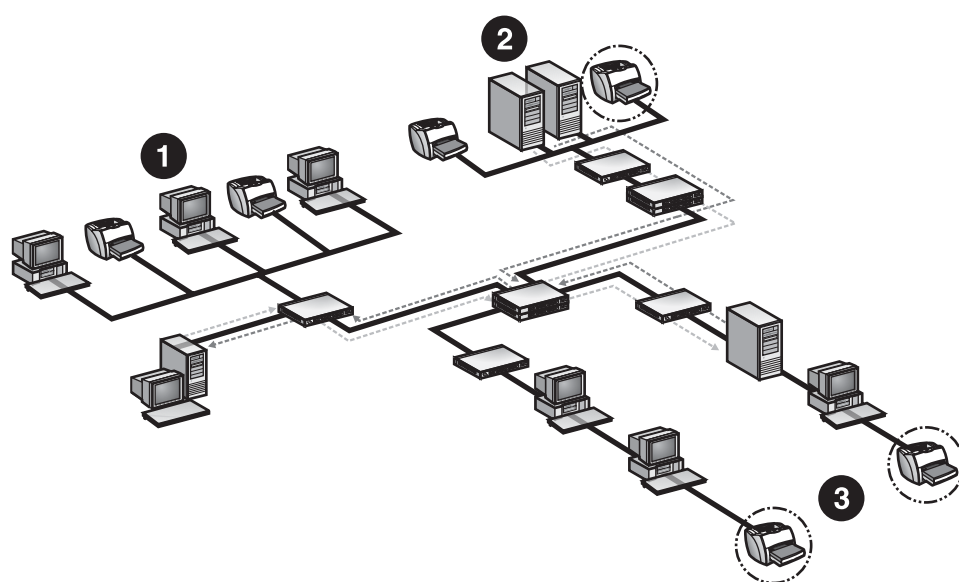
RDA ディスカバリは、サブネットがクラス B 以上の場合 (サブネットあたり 65000 ノードを超える場合)、使用しないでください。



注記 IPX パケットのルーティングを行っている場合、RDA ディスカバリは機能しますが、必要はありません。

NetWare バインダリ ディスカバリ

アイコン	説明	アイコン	説明
	HP Web Jetadmin ホスト コンピューター		プリンタ
	検出されたデバイス		サーバー
	ワークステーション		ハブ
	ルーター		



1	サブネット A
2	サブネット B
3	サブネット C

デフォルトでは、HP Jetdirect プリント サーバーが Service Advertising Protocol (SAP) ブロードキャストを 60 秒ごとに送信し、その存在を IPX/SPX ネットワーク環境のサーバーに知らせます。Novell NetWare サーバーはこのブロードキャストを受信し、デバイスから送信された情報をバインダリというダイナミック データベースに保存します。バインダリは Novell NetWare4.x および 5.x などの Novell NetWare のすべてのバージョンに存在します。

NetWare バインダリ ディスカバリの際には、HP Web Jetadmin が NetWare サーバーにクエリーを送信し、そのバインダリで、SAP ブロードキャストをサーバーに送信した HP Jetdirect デバイスに関する情報が記載されたエントリがあるかどうかを検索します。HP Web Jetadmin は、デバイス情報を含むデバイス キャッシュを追加または更新します。



注記 NetWare バインダリ ディスカバリ方法はデフォルトで無効になっています。

NetWare バインダリ ディスカバリは、ルーターが HP Jetdirect プリント サーバーからの SAP ブロードキャストのフィルタ処理を行うように設定されているネットワーク環境で特に便利です。デフォルトでは、NetWare バインダリ ディスカバリですべての NetWare サーバーにクエリーを行います。サーバーが多数ある場合やリモート位置にサーバーがある場合は、拡張検索に時間がかかったり、情報が重複して収集されたりします。サーバーを指定してクエリーを行ったほうが効率的です。



注記 NetWare バインダリ ディスカバリ方法は、IPX/SPX (NW リンク) プロトコルと Novell NetWare Client がインストールされていないと使用できません。したがって HP Web Jetadmin を Windows にインストールする必要があります。




NetWare バインダリ ディスカバリの使用に関する推奨事項

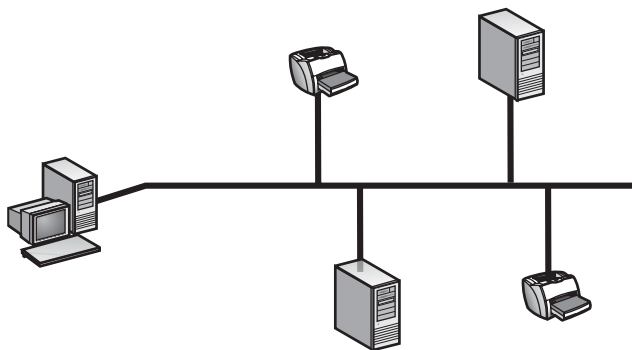
NetWare バインダリ ディスカバリは、次の状況で *使用* してください。

- ルーターが SAP ブロードキャストをフィルタするように設定されたネットワーク上で新しいデバイスを検出する場合
- IP アドレスが HP Jetdirect プリント サーバーに割り当てられていない Novell NetWare 環境でデバイスを検出する必要がある場合

HP Jetdirect プリント サーバー で SAP ブロードキャストが無効化されている環境でデバイスを検出する必要があるときは、NetWare バインダリ ディスカバリを *使用しない* てください。

NetWare ファイル サーバー ログイン ディスカバリ

アイコン	説明
	Novell NetWare Client がインストールされた Windows NT で実行されている HP Web Jetadmin ホスト コンピュータ
	プリンタ
	サーバー



NetWare ファイル サーバー ログイン ディスカバリでは、HP Web Jetadmin にログオンしたすべてのファイル サーバーのキューのサービスを行うように設定された HP Jetdirect プリント サーバーを検索します。このディスカバリ方法では、SAP ブロードキャストが無効になっている HP Jetdirect プリント サーバーを検索できます。

HP Web Jetadmin からファイル サーバーにログインして HP Jetdirect プリント サーバーのログインのスキャンを実行できるようにするため、ファイル サーバーにはログイン資格証明が必要です。複数のファイル サーバーにログイン資格証明を指定すると、HP Web Jetadmin により、各ファイル サーバーの接続テーブルがスキャンされ、検出されたデバイスのキャッシュに HP Jetdirect プリント サーバーが追加されます。



注記 NetWare ファイル サーバー ログイン ディスカバリ方法はデフォルトで無効になっています。

NetWare ファイル サーバー ログイン ディスカバリは高速で、低レベルのネットワーク トラフィックを発生します。ただし、未設定の HP Jetdirect プリント サーバーやリモート プリンタ モード用に設定されたデバイスを検出できません。

NetWare ファイル サーバー ログイン ディスカバリの使用に関する推奨事項



NetWare ファイル サーバー ログイン ディスカバリは、次の状況で *使用* してください。

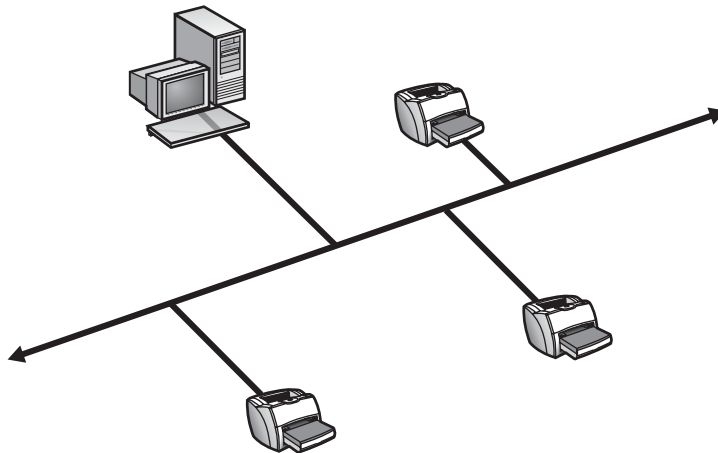
- HP Jetdirect プリント サーバーを Novell NetWare 用に設定し、プリント サーバーが QServer モードで動作している場合
- HP Jetdirect プリント サーバーの IPX ブロードキャスト SAP を無効にした場合

NetWare ファイル サーバー ログイン ディスカバリは、次の状況では *使用しない* ください。

- HP Jetdirect プリント サーバーをリモート プリンタ モード用に設定した場合
- インストール直後の HP Jetdirect プリント サーバーを検出しようとしている場合、または Novell NetWare 用に設定されたことのない HP Jetdirect プリント サーバーを検出しようとしている場合

新しいデバイスをリスン ディスカバリ

アイコン	説明	アイコン	説明
	HP Web Jetadmin ホスト コンピュータ		プリンタ



新しいデバイスをリスン ディスカバリ方法は、ネットワークに新しいデバイスがあるかどうかを継続的に監視する受動的な形式のディスカバリです。特に、HP Web Jetadmin では次の信号をリスンします。

- デバイスがネットワークに接続され、設定を必要とする場合に生成される BOOTP 要求。
- デバイスがアクセス可能であることをネットワークに通知する Service Advertising Protocol (SAP) ブロードキャスト。HP Web Jetadmin は、Microsoft IPX/SPX プロトコル スタックがインストールされた Windows コンピュータで実行されている場合にのみ SAP ブロードキャストをリスンします。
- TCP/IP ベースのマルチキャスト パケットによって送信される HP Jetdirect プリント サーバーによる、未承諾のサービス通知である Service Location Protocol (SLP) ブロードキャスト。

HP Web Jetadmin がデバイスからこれらの信号のいずれかを検出すると、サービスが使用するポートを排他的に使用して SNMP 要求をそのデバイスに送信し、詳細情報を収集して、そのデバイスをデバイス キャッシュに追加します。



注記 新しいデバイスをリスン ディスカバリ方法はデフォルトで有効になっています。

新しいデバイスをリスン ディスカバリは、通常発生するネットワーク トラフィックを利用するため最も割り込みの少ない形式です。このディスカバリは、より強力なディスカバリ方法の補完を目的としています。ただし、結果の信頼性は他のディスカバリ方法ほど高くありません。新しいデバイスを初めてオンにしたときに HP Web Jetadmin が実行中である場合は、ほとんどの未設定デバイスを検出することができます。このメカニズムの場合、HP Web Jetadmin ではスタティック IP アドレスで設定されたデバイスや SAP ブロードキャストが無効のデバイスを検出できません。ネットワーク環境が比較的スタティックな場合は、初期ディスカバリを実行してから、新しいデバイスをリスン以外のディスカバリ方法をすべて無効にすることができます。



注記 新しいデバイスをリスン ディスカバリ方法は、BOOTP サーバーも兼ねるコンピュータで HP Web Jetadmin が実行されている場合は機能しません。**[新しいデバイスをリスン - SAP]** オプションは、HP Web Jetadmin が実行されているホスト コンピュータに IPX/SPX がセットアップされている場合にのみ、**[デバイス管理] > [ディスカバリ] > [プロパティ]** ページで使用できます。

新しいデバイスをリスン ディスカバリの使用に関する推奨事項








新しいデバイスをリスン ディスカバリは、次の状況で**使用**してください。

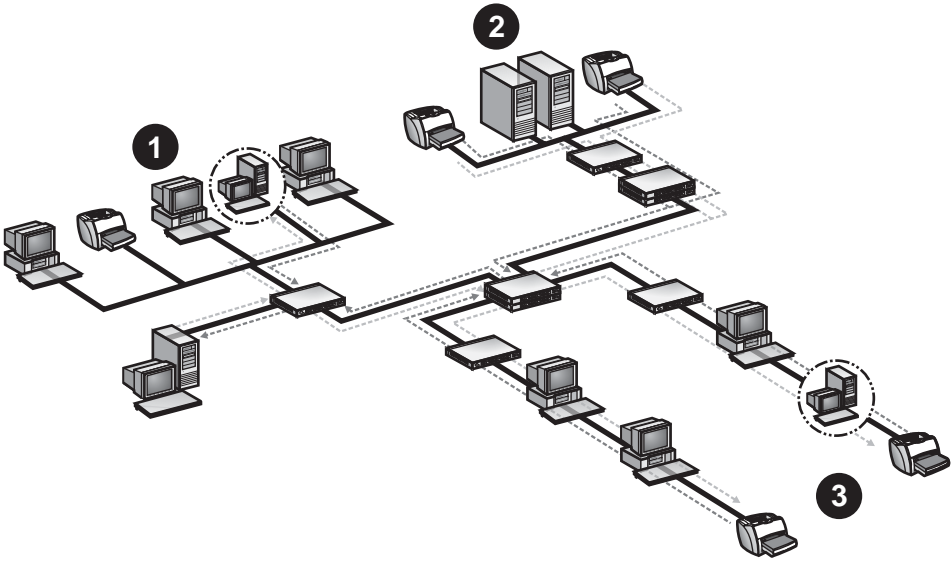
- 新しいデバイスがネットワークに接続されたとき、必ずデバイス キャッシュを更新する場合
- ネットワーク トラフィックを発生させず割り込みのないディスカバリが必要な場合
- 既にネットワークでデバイスの検索に使用しているトラフィックを利用する場合

新しいデバイスをリスン ディスカバリは、次の状況では**使用しない**ください。

- HP Web Jetadmin を常時実行しない場合
- BOOTP 要求、SAP ブロードキャスト、SLP ブロードキャストを送信しない新規デバイスを検索する必要がある場合
- BOOTP サーバーも兼ねるコンピュータで HP Web Jetadmin を実行する場合

他にインストールされている HP Web Jetadmin のディスカバリ

アイコン	説明	アイコン	説明
	HP Web Jetadmin ホスト コンピューター		プリンタ
	検出された HP Web Jetadmin ホスト コンピュータ		サーバー
	ワークステーション		ハブ
	ルーター		



1	サブネット A
2	サブネット B
3	サブネット C

他にインストールされている HP Web Jetadmin のディスカバリでは、HP Web Jetadmin は次のディスカバリ方法のいずれかまたは両方を実行します。



注記 2つのディスカバリ方法を同時に実行できます。

- ローカルまたはリモート ネットワーク上のすべての有効なワークステーションおよびサーバーに一般的な SNMP 要求を送信します。
- ローカルまたはリモート ネットワークで IP アドレス範囲を検索します。

HP Web Jetadmin はネットワーク上のワークステーションおよびサーバーからの応答をリスンします。ディスカバリが終了したら、**[デバイス管理] > [ツール] > [Web Jetadmin サーバー]** ページにアクセスして、その他の HP Web Jetadmin ホスト コンピュータ (サーバー) のリストを表示します。このリストには、IP ホスト名、IP アドレス、HP Web Jetadmin のバージョン、およびすべての HP Web Jetadmin ホスト コンピュータのオペレーティング システムが表示されます。ネットワーク管理者は、ネットワーク上のすべての HP Web Jetadmin ホスト コンピュータが必要で安全であることを確認できます。



注記 HP Web Jetadmin ホスト コンピュータ間では情報を共有できます。詳細については「[同期化された HP Web Jetadmin ホスト コンピュータ](#)」を参照してください。

ネットワークでの一般的な SNMP 要求の送信はすばやく行われますが、すべてのワークステーションおよびサーバーが同時に応答するので、ネットワーク トラフィックが非常に多くなります。また、同時に多数の応答が送信されるので、応答の一部に衝突が発生して HP Web Jetadmin まで到達しなかったり、バッファのオーバーフローが発生する可能性があります。この衝突やバッファのオーバーフローは情報の正確さに悪影響を及ぼします。

IP アドレス範囲の検索は非常に正確で詳細です。HP Web Jetadmin で、ローカルまたはリモート サブネット上のワークステーションやサーバーを検索したり、ネットワーク上のディスカバリ範囲を限定したりすることもできます。ただし、IP 範囲ディスカバリでは基本的に各 IP アドレスをチェックしてワークステーションまたはサーバーが HP Web Jetadmin ホスト コンピュータであるかどうかを調べるので、大規模ネットワークでは通信速度が非常に低下する場合があります。さらに、IP 範囲ディスカバリには時間がかかるため、ネットワーク監視ソフトウェアによってはディスカバリ処理を、権限のないユーザーがネットワークにアクセスしようとしているのではないかと誤認識する可能性があります。



注記 他にインストールされている HP Web Jetadmin のディスカバリ方法はデフォルトで無効になっています。

他にインストールされている HP Web Jetadmin の SNMP IP ブロードキャスト ディスカバリの使用に関する推奨事項

SNMP IP ブロードキャスト ディスカバリは、次の状況で *使用* してください。

- 高速検索が必要な場合
- ワークステーションおよびサーバーが比較的少ない、小規模のネットワークを検索する場合
- ディスカバリがネットワーク アクティビティに悪影響を及ぼさない時間に実行するようにスケジュールする場合
- 1つのサブネットだけを検索する場合

SNMP IP ブロードキャスト ディスカバリは、次の状況では**使用しない**でください。

- 各ブロードキャスト ドメインに多数のワークステーションおよびサーバーがあり、応答の衝突の可能性が高い大規模ネットワークを検索する場合。
- 非常に正確なディスカバリが必要な場合。HP Web Jetadmin では、衝突のために一部の応答を受信できないことがあります。
- スイッチ環境で実行し、スイッチがブロードキャストをうまく処理できない場合。SNMP IP ブロードキャスト ディスカバリを夜間の実行するようにスケジュールし、それ以外の場合は**使用しない**でください。

他にインストールされている HP Web Jetadmin の IP 範囲ディスカバリの使用に関する推奨事項

IP 範囲ディスカバリは、次の状況で**使用して**ください。

- 非常に詳細なディスカバリが必要な場合
- ローカルおよびリモート サブネットでワークステーションおよびサーバーを検出する場合
- IP アドレス範囲全体の検索が必要な場合
- ネットワークのディスカバリ範囲を限定する場合

IP 範囲ディスカバリは、次の状況では**使用しない**でください。

- 高速ディスカバリが必要な場合。IP 範囲ディスカバリでは、一部の IP アドレスは同時にチェックしますが、すべての IP アドレスを個別にチェックする必要があります。
- 権限のないユーザーを監視するセキュリティツールを使用している場合。

16 ディスカバリの管理

この章では、次の項目を説明します。

- [詳細ディスカバリ オプション](#)
- [バックグラウンド ディスカバリの起動](#)
- [ディスカバリのスケジューリング](#)

詳細ディスカバリ オプション

多くのディスカバリ方法に影響を与える、ネットワーク通信タイムアウト値、SNMP コミュニティ名、事前設定キャッシュ レベルなどの複数の追加オプションがあります。

ネットワーク通信タイムアウト

HP Web Jetadmin のすべてのディスカバリ方法では、検出した各デバイスにクエリーが送信されます。HP Web Jetadmin では、検出したデバイスからの応答を 1 秒間待ちます。ネットワークが大規模な場合は、すべてのデバイスを常に正確に検索するため、タイムアウト値を大きくする場合もあります。タイムアウト値の推奨範囲は 1 ～ 10 秒です。

コミュニティ名

HP Web Jetadmin の多くのディスカバリ方法では SNMP を使用します。SNMP エージェントにはコミュニティ名が関連付けられています。コミュニティ名による共有をしないデバイスがある場合、またはデフォルトのコミュニティ名を変更した場合は、それに適合するように HP Web Jetadmin のコミュニティ名を変更する必要があります。

コミュニティ名を変更する場合、その理由として最も多いのは、修正可能な設定コミュニティ名をサポートする新しい HP Jetdirect プリント サーバーを追加した場合です。HP Web Jetadmin 以外のソフトウェア アプリケーションを使用してコミュニティ名を変更し、HP Web Jetadmin で変更を自動検出するには、HP Web Jetadmin のコミュニティ名を変更する必要があります。



注記 通常、設定コミュニティ名は使用されません。

事前設定キャッシュ レベル

HP Web Jetadmin では、HP Web Jetadmin をインストールしたホスト コンピュータに、デバイス クエリーからの情報が保存されます。したがって、デバイスを表示するとき、HP Web Jetadmin では、デバイスにクエリーが送信されず、ホスト コンピュータから情報が取得されます。クエリー時に HP Web Jetadmin が収集する情報量が多いほど、HP Web Jetadmin でデバイス情報の表示にかかる時間が短くなります。

[事前設定キャッシュ レベル] オプションを使用して、デバイスを表示ときに HP Web Jetadmin が収集する情報量を制御できます。デバイスのクエリー時に HP Web Jetadmin が収集する情報のレベルを次に示します。

- **[なし]** — デバイスを表示するとき、HP Web Jetadmin からデバイスにクエリーが送信されて情報が取得されます。
- **[すべて]** — **[デバイス ステータス]** ページのリフレッシュ アイコンをクリックすると、HP Web Jetadmin からデバイスにクエリーが送信され、HP Web Jetadmin で表示できるすべての情報が取得されます。
- **[低]、[中]、[高]** — デバイスを表示するとき、HP Web Jetadmin からデバイスにクエリーが送信され、さまざまなレベルの情報が取得されます。たとえば、**[低]** オプションを選択した場合、HP Web Jetadmin からホスト コンピュータ上の最低限の情報についてクエリーが送信されます。**[高]** オプションを選択した場合、HP Web Jetadmin から、消耗品のステータスなど、ホスト コンピュータ上の詳細情報についてクエリーが送信されます。

バックグラウンド ディスカバリの起動

ネットワーク上のデバイスのキャッシュをリフレッシュする場合、バックグラウンドでディスカバリを開始することができます。ディスカバリを実行する前に、**[デバイス管理] > [ディスカバリ] > [プロパティ]** ページで、使用するディスカバリ方法を指定する必要があります。ディスカバリ方法を指定したら、**[プロパティ]** ページからディスカバリを開始します。



注記 ディスカバリの進行中は、**[プロパティ]** ページの **[開始]** が **[停止]** に変わります。

ディスカバリのスケジューリング

実行するディスカバリ方法の有効化と設定が終了すると、ディスカバリの自動実行をスケジュールできます。ディスカバリは、毎日実行するようにも、1年に1回実行するようにもスケジュールできます。ネットワークのパフォーマンスとデバイス キャッシュ精度に悪影響が及ばないよう、夜間など、ディスカバリ トラフィックが最小であると予想される時点にディスカバリが実行されるようにスケジュールします。ディスカバリの実行時にユーザーが立ち会う必要がありません。

また、ディスカバリ スケジュールを編集することによって、複数のディスカバリを個別に実行するようにスケジュールすることもできます。ドロップダウン リストに表示されるスケジュールごとに、実行するディスカバリ方法およびディスカバリ方法設定を決定できます。たとえば、HP Web Jetadmin で午前中は特定の範囲の IP アドレスを検索し、午後は別の範囲の IP アドレスを検索する場合、午前中のスケジュールを選択し、**[IP 範囲]** ディスカバリ方法を選択します。さらに、**[IP 範囲]** の横の矢印リンクをクリックして、HP Web Jetadmin に表示されるページの IP 範囲を指定します。午後のスケジュールについても、このプロセスを繰り返します。午前中にスケジュールされたディスカバリでは、HP Web Jetadmin によって、午前中に指定された IP アドレスに対するディスカバリが実行されます。午後にスケジュールされたディスカバリでは、HP Web Jetadmin によって、午後に指定された IP アドレスに対するディスカバリが実行されます。



注記 Hewlett-Packard 社では、できる限りオフ時間にディスカバリを実行するようにお勧めします。ただし、デバイスの電源投入時にディスカバリを実行するようにスケジュールする必要があります。HP Web Jetadmin では、パワーセーブ モードになっているデバイスも検出されます。

ディスカバリをスケジュールする前に、**[デバイス管理] > [ディスカバリ] > [プロパティ]** ページで、使用するディスカバリ方法を指定する必要があります。ディスカバリ方法を指定したら、**[デバイス管理] > [ディスカバリ] > [スケジュール]** ページで、スケジュールを指定します。

セクション 6

プリント キュー

このセクションには、次の章があります。

[第 17 章 プリント キューの管理](#)

[第 18 章 Novell プリント キューの管理](#)

17 プリント キューの管理

この章では、次の項目を説明します。

- [プリント キューの管理](#)
- [印刷環境の計画](#)
- [プリント キューの作成](#)
- [プリント キューの削除](#)
- [ソフトウェアのインストール](#)
- [ソフトウェアの削除](#)

プリント キューの管理

プリンタ管理の主な目標は、簡単に使用できる印刷サービスをユーザーに効率的に提供することです。プリント キューは、印刷環境を構築する際に使用できる、最も重要な構成ブロックです。

プリント キューは、ホスト コンピュータ上で、プリンタが利用可能になるまでプリント ジョブを保有する中央のリソースです。通常は、複数のクライアントが、中央のプリント キューにプリント ジョブを送信します。プリント キューが常駐するホスト コンピュータ上で実行中のソフトウェアがプリンタを監視します。プリンタが利用可能になると、このソフトウェアから、プリント キュー内の次のプリント ジョブがプリンタに送信されます。Windows ホスト コンピュータでは、このソフトウェアは HP Standard TCP/IP Port Monitor です。Linux ホスト コンピュータでは、LPD (Line Printer Daemon) です。

HP Web Jetadmin を使用することによって、イントラネットにアクセスできる任意の場所からリモートでプリント キューを作成できます。ユーザーがプリント キューを作成する必要はありません。HP Web Jetadmin はプリント キュー作成機能を提供する唯一の Web ベース管理ツールです。



注記 HP Web Jetadmin は、標準プリンタ MIB に準拠し、HP Jetdirect プリント サーバーを使用して接続されていないサードパーティ製プリンタをサポートしますが、プリント キューを作成するには、サードパーティ製ツールを使用する必要があります。説明と必要条件については、プリンタの製造元のマニュアルを参照してください。

プリント キュー作成機能を使用して、以下のタスクを実行することもできます。

- 特定のホスト コンピュータ上でのプリント キューの作成
- プリント キューを処理するプリンタの割り当て
- プリント キューとプリント ジョブを管理するソフトウェアのホスト コンピュータへのインストール
- ネットワーク プリンタと論理ポート名を関連付けるポートの作成
- プリンタの IP アドレスの設定 (IP アドレスが割り当てられていない場合)
- ホスト コンピュータへのプリンタ ドライバのインストール (必要な場合)



注記 Windows および UNIX/Linux でのプリント キューの作成方法はほとんど同じです。これらの違いについては、プリント キューの説明で明確にします。

注記 小規模なネットワーク環境でプリント キューを作成する場合は、小規模で、低価格のコンピュータをホスト コンピュータとして使用できます。ネットワークが拡大したら、大規模なサーバー クラスのホスト コンピュータにアップグレードし、さらに処理能力を高めることができます。

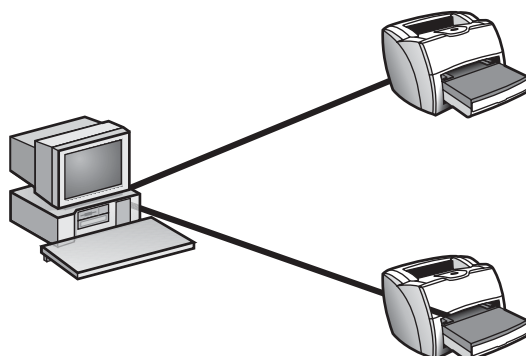
印刷環境の計画

プリント キューを実装するときは、ネットワークを拡大するときにプリント キューが新しいプリンタに簡単に対応できるように、最初に計画を立てることが非常に重要です。プリント キューを体系的に設定すると、プリント ジョブをどのプリンタに送るかがホスト コンピュータで管理されます。体系的に設定しないと、エンド ユーザーは利用可能なプリンタを探すために、複数のプリンタを試すことになります。

ここでは、印刷環境のいくつかのセットアップ方法について説明します。

直接印刷

アイコン	説明	アイコン	説明
	ワークステーション		プリンタ



セットアップの最も簡単な印刷環境は直接印刷です。直接印刷では、クライアント コンピュータがプリンタに直接接続されます。ネットワーク プリンタに直接印刷をセットアップするには、クライアント コンピュータに新しい TCP/IP ポートを作成する必要があります。詳細については、クライアント コンピュータで実行されているオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。1 台のプリンタにはクライアント コンピュータを何台でも接続できます。

小規模な環境では、直接印刷が効果的な解決策になります。ただし、直接印刷には以下の短所もあります。

- プリント ジョブを作成するためのソフトウェア (プリンタ ドライバ、印刷フィルタ、またはモデル スクリプト) を、各クライアント コンピュータにインストールする必要があります。新しいソフトウェアを入手すると、クライアント コンピュータごとにインストールする必要があります。プリンタに出力するクライアント コンピュータの数が多い場合、各クライアント コンピュータでソフトウェアを更新するのは時間がかかります。
- プリンタ上のプリント ジョブの量を管理することが困難です。プリンタでプリント ジョブを処理しきれなくなり、新しいプリンタをネットワークに追加するときは、一部のクライアント コンピュータで、それぞれのコンピュータの出力先を新しいプリンタに手動で変更する必要があります。

共有印刷

直接印刷環境の短所は、共有印刷環境でプリント サービスを一元化することによって克服できます。共有印刷では、多くのクライアントが中央のプリント キューにプリント ジョブを送ります。

共有印刷環境には、以下の長所があります。




- プリント ジョブを作成するためのソフトウェア (プリンタ ドライバ、印刷フィルタ、またはモデル スクリプト) を、プリント キューが常駐しているホスト コンピュータにインストールできます。新しいソフトウェアを入手したとき、ホスト コンピュータにインストールするだけで済みます。
- プリント サービスが一元化されるため、プリンタ上のプリント ジョブの量を簡単に管理できます。新しいプリンタをネットワークに追加するときは、プリント キューの出力先を新しいプリンタに変更するだけです。各クライアント コンピュータの出力先を手動で変更する必要はありません。

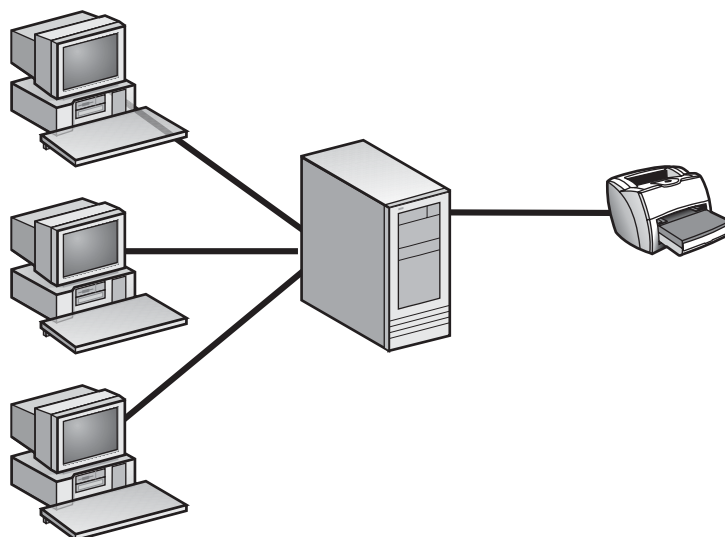
共有印刷環境は複数の方法でセットアップできます。ここでは、いくつかの共有印刷環境について説明し、ネットワークの拡大に対応できるプリント キューの計画の立て方を示します。



注記 小規模なネットワーク環境でプリント キューを作成する場合は、小規模で、低価格のコンピュータをホスト コンピュータとして使用します。ネットワークが拡大したら、大規模なサーバー クラスのホスト コンピュータにアップグレードし、さらに処理能力を高めることができます。




1 つのプリント キュー

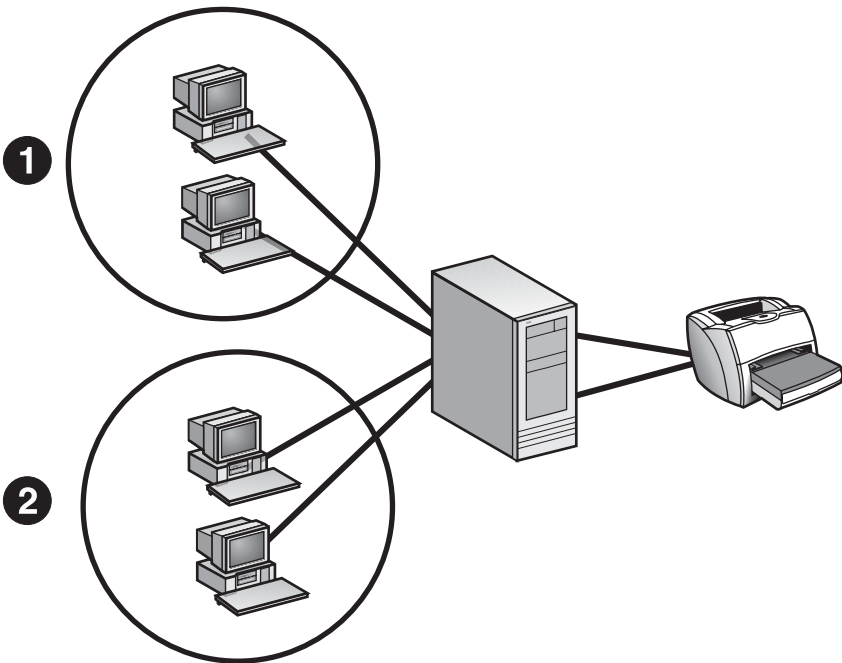
アイコン	説明	アイコン	説明
	キュー 1 のあるホスト コンピュータ		プリンタ
	ワークステーション		



1つの方法として、1つのプリント キューを作成し、ネットワーク上のすべてのクライアントがこのプリント キューにジョブを送信するようにします。この共有印刷環境には、複数のクライアント、ホスト コンピュータ上に 1つのプリント キュー、1 台のプリンタがあります。クライアントはすべてのプリント ジョブを同じプリント キューに送信します。プリント ジョブはプリント キューに保存され、プリンタが利用可能になったときに送信されます。

複数のプリント キュー

アイコン	説明	アイコン	説明
	キュー 1 およびキュー 2 のあるホスト コンピュータ		ワークステーション
	プリンタ		






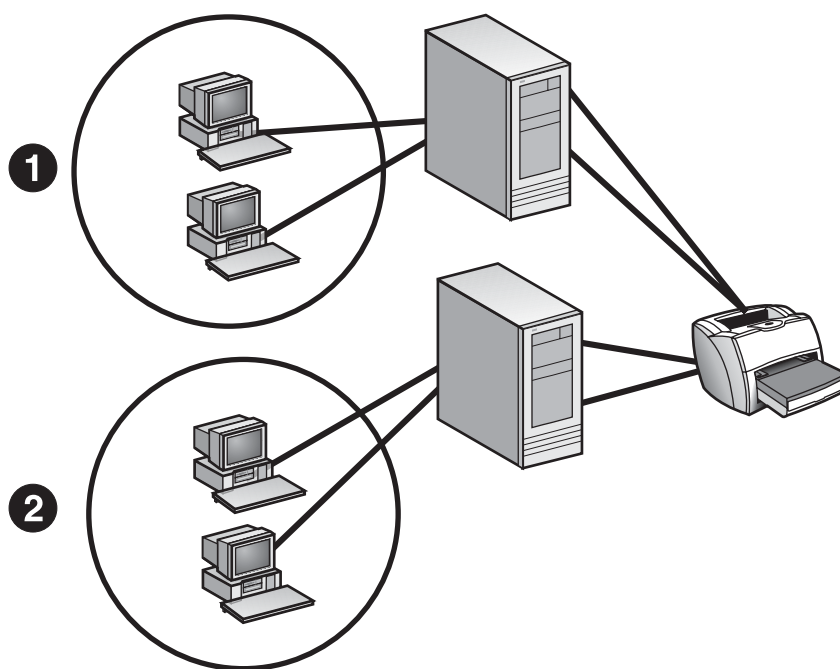
1	ワークステーションのグループ 1
2	ワークステーションのグループ 2

より柔軟な方法として、クライアント グループごとに 1つのプリント キューを作成できます。たとえば、クライアントを部署ごとにグループ化できます。各プリント キュー内のプリント ジョブが同じプリンタに送信されるように最初に設定できます。

ネットワークが拡大し、クライアント数が増加したら、プリンタを追加して、プリント ジョブの増加に対応しなければならない場合があります。以前にクライアントをグループ化し、グループごとに別個のプリント キューをホスト コンピュータ上に作成してあるので、新しいプリンタを追加する作業は比較的簡単です。必要な作業は、プリント キューの出力先を新しいプリンタに変更することです。クライアント コンピュータで変更を行う必要はありません。

複数のホスト コンピュータ

アイコン	説明	アイコン	説明
	キュー 1 およびキュー 2 のあるホスト コンピュータ		ワークステーション
	プリンタ		



1	ワークステーションのグループ 1
2	ワークステーションのグループ 2

大規模なネットワークで、大量のプリント キュー、クライアント、プリンタを管理する必要がある場合、複数のホスト コンピュータを使用する必要がある場合もあります。各ホスト コンピュータで、複数のクライアントとプリンタにサービスを実行する複数のプリント キューが使用できます。HP Web Jetadmin を使用すると、プリント キューを作成するホスト コンピュータや新しいプリント キューを関連付けるプリンタを指定できます。



注記 HP Web Jetadmin では、ホスト コンピュータにプリント キュー管理ソフトウェアがインストールされていない場合、そのソフトウェアをそのホスト コンピュータに送信します。

プリント キューの作成

印刷環境の計画を立てたら、HP Web Jetadmin を使用してプリント キューを作成します。

HP Web Jetadmin は混在環境での動作に非常に適しています。HP Web Jetadmin を対応 Linux コンピュータで実行している場合、他の任意の対応 UNIX/Linux プラットフォーム上にプリント キューを作成できます。HP Web Jetadmin を Windows コンピュータで実行している場合、他の任意の対応 Windows コンピュータ、および NetWare 環境上にプリント キューを作成できます。ここでは、Windows および UNIX/Linux のプリント キューの作成について説明します。NetWare 環境でのプリント キューの作成については、「[第 18 章 Novell プリント キューの管理](#)」を参照してください。

プリント キューは以下の項目で構成されます。

- プリント キューを処理するプリンタおよびプリント キューを格納するコンピュータ
- プリント キューを管理するソフトウェア。プリント キューを作成するオペレーティング システムごとにソフトウェアが必要です。プリント キューの作成プロセス中に、HP Web Jetadmin によって、オペレーティング システム用の適切なソフトウェアがホスト コンピュータに自動的にインストールされます (インストールされていない場合)。
- ユーザーがプリント ジョブを作成するために必要なソフトウェア。Windows クライアントではプリンタ ドライバを使用してプリント ジョブが作成されます。Linux クライアントでは印刷フィルタが使用されます。
- プリント キューの名前。Windows では共有名とポート名も必要です。Linux ホスト コンピュータにあるプリント キューの場合、クラス名を指定し、プリント キューをデフォルトとして指定することもできます。

ここでは、これらの項目について詳しく説明します。

プリンタとホスト コンピュータの選択

プリント キューを作成するには、最初に、新しいプリント キューで使用するプリンタと、プリント キューを格納するホスト コンピュータを指定します。操作できるプリンタ モデルは一度に 1 つだけです。そのプリンタ モデルの中でプリンタを何台でも選択できます。Windows、Linux、およびプリント サーバー機器などプリント キューを格納できるその他のデバイスに、同じプリンタのプリント キューを作成します。

プリント キューを管理するソフトウェアのインストール

この時点で、HP Web Jetadmin によって各ホスト コンピュータがチェックされ、オペレーティング システムに適したソフトウェアがインストールされていることが確認されます。適切なソフトウェアがインストールされていない場合は、HP Web Jetadmin によって自動的にインストールされます。多くの異なるホスト コンピュータ上に初めてプリント キューを作成する場合、このプロセスが完了するまでにしばらく時間がかかる場合もあります。このプロセスを効率化するために、ホスト コンピュータに適切なソフトウェアをインストールしてから、プリント キューの作成を開始します。詳細については、「[ソフトウェアのインストール](#)」を参照してください。

プリント ジョブを作成するソフトウェアの指定

プリント キューを作成する 2 番目の手順として、ユーザーがプリント ジョブを作成するために必要な、オペレーティング システム固有のソフトウェアを指定します。

Windows プリンタ ドライバ

Windows システムの場合、ホスト コンピュータがプリンタとの通信に使用するプリンタ ドライバを指定する必要があります。

デフォルトでは、プリント キューを作成すると、すべての Windows ユーザーが共有プリンタを利用できるようになります。HP Web Jetadmin のポイント アンド プリント機能により、共有プリンタにアクセスする任意の Windows クライアント コンピュータにプリンタ ドライバが自動的にダウンロードされます。ただし、すべてのプリンタ ドライバでポイント アンド プリント機能がサポートされるわけではありません。一部のプリンタ ドライバでは、新しいバージョンでのみポイント アンド プリントがサポートされています。たとえば、HP 2000C 用のプリンタ ドライバの場合、バージョン 1.0 では、ポイント アンド プリントがサポートされていませんが、バージョン 2.0 ではサポートされています。

Linux の印刷フィルタ

Linux システムの場合、HP Web Jetadmin によって /etc/printcap ファイル内にエントリが作成され、Linux 印刷システムに正しいディレクトリが追加されます。HP Web Jetadmin for Linux では、Red Hat 印刷フィルタが使用されます。ほとんどの場合、デフォルトの Red Hat インストールに印刷フィルタが既に組み込まれています。もしインストールに組み込まれていない場合は、rhs-printfilters RPM を使用してインストールします。SuSE Linux システムの場合、HP Web Jetadmin によってこれらの印刷フィルタが自動的にインストールされます。

プリント キュー名、共有名、およびポート名の指定

プリント キューを作成する 3 番目の手順として、プリント キューを識別するための名前を指定します。Windows ホスト コンピュータの場合、共有名、キュー名、およびポート名を指定する必要があります。Linux ホスト コンピュータの場合、キュー名を指定する必要があります。



注記 Linux ホスト コンピュータでは、プリント キューをクラスに割り当て、そのクラスに名前を割り当てることもできます。この場合、ユーザーがプリント ジョブをクラスに送信すると、ホスト コンピュータによってそのプリント ジョブがクラス内のいずれかのプリント キューに転送されます。そのプリント キューをデフォルトとして指定することもできます。

HP Web Jetadmin では、これらの名前のデフォルト値が指定されます。デフォルトをそのまま使用するか、または独自の名前を割り当てます。独自の名前を割り当てる場合は、ネットワークが拡大したときに継続的に使用できるように、それぞれの名前の規則を作成することをお勧めします。この際の考慮事項をいくつか次に示します。

- IP アドレスをポート名として使用する場合は、IP アドレスが DHCP 環境では変わる可能性があることに留意します。
- 9 文字以上の共有名を割り当てる場合、一部の MS-DOS ワークステーションでは、それらのプリント キューにアクセスできない可能性があります。

プリント キューの確認

プリント キューを作成する最後の手順として、プリント キューが正しく設定されていることを確認します。

プロセスの最後に、HP Web Jetadmin の **[結果]** ページに **[テスト ページ印刷]** ボタンが表示されます。**[テスト ページ印刷]** をクリックすると、HP Web Jetadmin によってテスト ページがプリンタに送信されます。テスト ページが印刷されると、プリント キューが正しく設定されていることがわかります。

プリント キューの削除

[プリント キュー管理] > [プリント キュー] > [キューの削除] ページを使用して、ホスト コンピュータからプリント キューを削除します。プリント キューを削除すると、クライアントはプリント ジョブをそのプリント キューに送信できなくなります。そのプリント キューを現在使用しているすべてのクライアントの出力先を別のプリント キューに変更する必要があります。

ソフトウェアのインストール

プリント キューの作成をサポートするには、プリント キューが常駐するホスト コンピュータに HP Web Jetadmin によってソフトウェアがリモートでインストールされる必要があります。インストールは、プリント キュー作成プロセスで自動的に行われます。多くの異なるホスト コンピュータ上に初めてプリント キューを作成する場合、このプロセスが完了するまでにしばらく時間がかかる場合もあります。このプロセスを効率化するために、**[プリント キュー管理] > [プリント サーバー ソフトウェア管理] > [ソフトウェアのインストール]** ページを使用して、プリント キューの作成を開始する前にソフトウェアをインストールします。



注記 Windows ホスト コンピュータにソフトウェアをインストールするには、管理者権限が必要です。Linux ホスト コンピュータにソフトウェアをインストールするには、root 権限が必要です。

HP Web Jetadmin には、HP Web Jetadmin をインストールしたオペレーティング システム用のプリント キュー作成ソフトウェアが常に含まれています。たとえば、HP Web Jetadmin を Windows コンピュータにインストールすると、Windows 上でプリント キューを作成するために必要なソフトウェアが自動的にインストールされます。他のプラットフォームでプリント キューを作成する場合は、追加のソフトウェアのインストールが必要です。この追加ソフトウェアは、HP Web Jetadmin のインテリジェント更新機能を使用して、HP の Web サイトからダウンロードし、インストールできます。また、インテリジェント更新機能は、プリント キュー作成ソフトウェアの最新バージョンのダウンロードとインストールにも使用できます。詳細については「[インテリジェント更新](#)」を参照してください。

ソフトウェアの削除

[プリント キュー管理] > [プリント サーバー ソフトウェア管理] > [ソフトウェアの削除] ページを使用して、プリント キュー作成ソフトウェアをインストール先のホスト コンピュータから削除します。

Windows または Linux のホスト コンピュータからソフトウェアを削除しても、そのホスト コンピュータ上のプリント キューは継続して機能します。

18 Novell プリント キューの管理

この章では、次の項目を説明します。

- [Novell プリント キューの概要](#)
- [バインダリおよび NetWare Directory Services の接続](#)
- [Novell の設定の必要条件](#)
- [NDS コンテキスト](#)
- [NDS ツリー名](#)
- [NetWare のプリント サーバーとプリンタ オブジェクト](#)

Novell プリント キューの概要

HP Web Jetadmin を Novell NetWare 環境で使用して、バインダリまたは NDS のプリント キューを設定する予定がある場合には、Novell NetWare Client がインストールされていることを確認します。Microsoft の NetWare クライアントとは互換性がありません。Novell NetWare Client がインストールされていない場合、HP Web Jetadmin を使用して NetWare プリンタを設定しようとすると、エラーメッセージが表示されます。HP Web Jetadmin がサポートする Novell NetWare Client のバージョンの一覧は、Readme ファイルを参照してください。

バインダリおよび NetWare Directory Services の接続

Novell NetWare キューベース プリント サービスに設定できる接続には 2 種類あります。バインダリ接続と NetWare Directory Services (NDS) 接続です。バインダリ接続と NDS 接続は両方とも NetWare 4.x、5.x、または 6.x 環境で設定できます。

NDS では、バインダリ接続に必要な重複した管理は必要ありません。NetWare 4.x、5.x、または 6.x 環境では、同じ NDS ツリーで定義されたすべてのファイル サーバー間で共有および分散されている 1 つのデータベースにユーザーとリソースが保存されます。つまり、1 回のネットワーク ログインでリソースにアクセスできます。リソース アクセスとセキュリティを一度設定して、それを同じツリーに属しているすべてのファイル サーバーに適用できます。

HP Jetdirect プリント サーバーでは最大 16 の同時接続がサポートされていますが、一度に 1 つの NDS ツリーでのみ NDS プリント サービスが提供されます。ただし、別の NDS ツリーにある他のファイル サーバーへのバインダリ接続は保持できます。HP Jetdirect プリント サーバーは、最大 16 のファイル サーバーの合計 64 個のキューに対応できます。

NDS の命名規則は、バインダリ サービスに比べるとかなり幅広いものです。NDS の名前の長さは最大 64 文字で、特殊文字を使用できます。バインダリ オブジェクトの名前の長さは最大 47 文字で、特殊文字を使用できません。

バインダリと NDS の接続の設定プロセスは非常に似ています。HP Web Jetadmin を使用した NDS プリント サービスの設定に精通している場合、バインダリ プリント サービスは簡単に設定できます。

Novell の設定の必要条件

HP Web Jetadmin を使用して、Novell プリント サービスをサポートする HP Jetdirect プリント サーバーを設定します。この環境で HP Web Jetadmin を稼働させるには、Windows サーバーまたはワークステーションが必要です。これは、IPX/SPX プロトコルと最新の Novell NetWare Client ソフトウェアがインストールされた Windows コンピュータで HP Web Jetadmin を稼働していることを前提とします。HP Web Jetadmin によって、HP Jetdirect プリント サーバーの NDS 設定時に、必要な NetWare プリント オブジェクトが作成されます。



注記 Novell NetWare Client の代わりに Microsoft Client Service for NetWare、ゲートウェイ、およびクライアント サービスを使用しても機能しません。Novell NetWare Client はプリントキューの作成に必要ですが、HP Jetadmin または NDPS を使用して設定した HP Jetdirect プリント サーバーの管理に HP Web Jetadmin を使用しているだけであれば、Novell NetWare Client は必要ありません。

バイナリと NDS のどちらを設定する場合も、以下の情報が必要です。

- NDS ツリー名
- NetWare ユーザー名とパスワード
- NetWare ユーザー コンテキスト
- 認証ファイル サーバー
- プリント サーバー名
- プリント サーバー コンテキスト
- プリント キュー名 (既存または新規のプリント キュー)
- プリント キューを配置できるファイル サーバー ボリューム



注記 正しい情報を指定することが大変重要です。Novell 環境に複数のツリーがあり、ドロップダウン リストから NDS ツリーを選択した場合、正しいツリーを選択していることを確認してください。

NetWare ユーザーが NetWare 4.x、5.x、または 6.x 環境で NetWare プリント オブジェクトを作成するには、適切な NetWare NDS 権限のあるアカウントを持っている必要があります。NDS 設定のこのユーザー アカウントのコンテキストを把握している必要もあります。

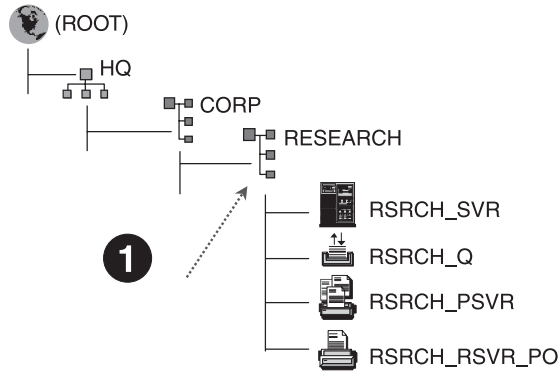
NDS 設定時にプリント サーバー名を割り当てます。NetWare の命名基準に従った任意の名前を使用することもできます。指定したコンテキストに対して必ず固有の名前を割り当ててください。2 つの NDS オブジェクトが同じコンテキストで同じ名前を持つことはできません。オブジェクトのタイプが異なる場合も同様です。

NDS 設定時にプリント サーバーのコンテキストを選択します。このコンテキストで、プリント サーバーとプリンタ オブジェクトを作成します。NDS 設定の開始時に指定する NetWare アカウントには、プリント サーバー コンテキストに対する NDS 作成権限が必要です。

NDS 設定時には既存のプリント キューを使用するか、または新規のプリント キューを作成します。HP Web Jetadmin を使用して新規のプリント キューを作成する場合は、プリント キューを作成するコンテキストを指定できます。

また、キュー ボリュームとして使用するファイル サーバー ボリューム名を指定する必要があります。デフォルトのボリュームは SYS ですが、任意の NetWare ボリュームを指定できます。プリント ジョブは、このボリュームにスプールされます。

NDS コンテキスト



1 | プリント サーバー コンテキストは .Research.Corp.Hq (または .OU=Research.OU=Corp.O=Hq) です。

NetWare プリント サーバー オブジェクトのコンテキストは、NDS ツリー内のプリント サーバー オブジェクトがある場所です。プリント サーバー オブジェクトが常駐するコンテナは、リストの最初に表示され、そのコンテナからツリーのルートまでのコンテナが順番に続きます。コンテナ名は、ピリオドで区切られています。たとえば、Research.Corp.Hq は、プリント サーバー オブジェクトがコンテナ Research にあり、Research はコンテナ Corp の下にあり、Corp はコンテナ Hq の下にあることを意味します。このコンテキストを、以下の方法のいずれかでリストに表示します。

- Research.Corp.Hq
- .Research.Corp.Hq
- .OU=Research.OU=Corp.O=Hq

NDS ツリー名

NetWare NDS の設定では、ドロップダウン リストから正しい NDS ツリー名を選択します。NDS が SAP ブロードキャストによってツリー名を通知するため、HP Web Jetadmin がツリー名を見つけることができます。

NetWare のプリント サーバーとプリンタ オブジェクト

NDS コンテキストは、オブジェクトを作成する場所です。プリント サーバー オブジェクト名は、HP Web Jetadmin で指定した名前と同じです。別のユーティリティによってプリンタ オブジェクトがプリント サーバー オブジェクトに割り当てられていない場合、プリンタ オブジェクト名は、プリント サーバー名に下線と PO という文字が付きます。HP デフォルトの <プリント サーバー名>_PO 以外のプリンタ オブジェクト名も可能です。HP Web Jetadmin を使用して、プリント キュー オブジェクトを作成したり、既存のプリント キューを使用したりすることができます。また、HP Web Jetadmin を使用して不要になったプリント キュー オブジェクトを削除することもできます。

バインダリはフラットファイル データベースであるため、コンテキストという概念は存在しません。さらに、プリント サーバー オブジェクトはバインダリ設定時に作成され、プリント キューはバインダリのプリント サーバーのプロパティです。HP Web Jetadmin を使用して、プリント キュー オブジェクトを作成したり、既存のプリント キューを使用したりすることができます。また、HP Web Jetadmin を使用してプリント キュー オブジェクトを削除することもできます。

セクション 7

セキュリティの概要

このセクションには、次の章があります。

[第 19 章 ネットワーク セキュリティ](#)

[第 20 章 プロファイル セキュリティ](#)

[第 21 章 デバイス セキュリティ](#)

19 ネットワーク セキュリティ

この章では、次の項目を説明します。

- [ネットワーク セキュリティの概要](#)
- [HTTP と HTTPS](#)
- [許可リスト](#)
- [SSL/TLS](#)

ネットワーク セキュリティの概要

HP Web Jetadmin サーバーには、物理的な保護とパスワードによる保護が必要です。また、権限のないインターネットユーザーが、HP Web Jetadmin を含むイントラネット内の Web サーバーを参照することを防ぐために、第 1 段階のセキュリティとしてファイアウォールを使用します。次のセクションでは、ネットワークを保護するための HP Web Jetadmin の追加機能について説明します。

HTTP と HTTPS

デフォルトの設定では、HP Web Jetadmin では HTTPS が使用されます。デフォルトの HTTPS ポート番号は 8443 です。HTTPS では、インターネットまたはイントラネットを通じたデータ送信のセキュリティを確保するために、SSL/TLS プロトコルが強制されます。SSL/TLS プロトコルの強制を選択しない場合、HTTP または HTTPS のいずれも使用できます。ただし、SSL/TLS プロトコルが強制されている場合は、HTTPS のみが使用できます。



注記 SSL/TLS プロトコルが有効で、ユーザーが HTTP ポート番号を Web ブラウザのアドレス バーに入力した場合、HP Web Jetadmin URL は自動的に HTTPS のポート番号に変更されます。

HTTP は HTTPS より安全性が低い一方、HTTPS を使用した HP Web Jetadmin へのアクセスが実行できないユーザーに対して使用できる利点があります。HP Web Jetadmin は、デフォルトの設定では、HTTP ポート 8000 を通信に使用します。HP Web Jetadmin を開くには、Web ブラウザが HTTP ポート 8000 を指定する必要があります。これによって、HP Web Jetadmin と同じポートを使用するホストコンピュータの他の Web サービスとの競合を防ぐことができます。



注記 HTTPS ポート番号は HTTP Web アドレスとして使用しないでください。たとえば、Web ブラウザのアドレス バーで「http://サーバー名:HTTPS ポート番号」と入力しても、ページは読み込まれません。

デフォルトの HTTP ポート番号を変更する場合は、**[一般設定] > [HTTP (Web)]** ページにアクセスします。ポート番号を 80 に変更すると、HP Web Jetadmin がデフォルトの Web サービスとなり、そのサーバーにアクセスしているすべてのユーザーはポート番号を指定しなくてもそのページにアクセスできます。この設定は、そのサーバーによってポート 80 を通じて配布されるそれ以外の Web コンテンツよりも優先されます。

許可リスト

HP Web Jetadmin にアクセス可能な IP アドレスを定義する許可リストを作成します。すべての IP アドレスのアクセスを拒否した後、いくつかの IP アドレスを選択して HP Web Jetadmin へのアクセスを許可するか、またはすべての IP アドレスの HP Web Jetadmin へのアクセスを許可した後、選択したいくつかの IP アドレスのアクセスを拒否します。

[一般設定] > [HTTP (Web)] ページの次のセクションで許可リストを定義します。

- **[HP Web Jetadmin アクセスの指示] - [HP Web Jetadmin アクセス許可]** および **[HP Web Jetadmin アクセス拒否]** セクションで指定した IP アドレスが HP Web Jetadmin で処理される順番を指定します。
- **[HP Web Jetadmin アクセス許可]** - HP Web Jetadmin にアクセスできる IP アドレスを指定します。
- **[HP Web Jetadmin アクセス拒否]** - HP Web Jetadmin にアクセスできない IP アドレスを指定します。

詳細については「[許可リスト](#)」を参照してください。



注記 HP Web Jetadmin のホスト コンピュータへのアクセスは拒否できません。

SSL/TLS

HP Web Jetadmin は Web ベースのアプリケーションです。したがって、HP Web Jetadmin のホスト コンピュータと Web ブラウザ (クライアント) で情報のやり取りをする際に、HP Web Jetadmin とのすべての通信を傍受される可能性があります。HP Web Jetadmin では、この危険を軽減するために、Secure Sockets Layer/Transport Layer Security (SSL/TLS) プロトコルをデフォルトで使用しています。SSL/TLS を指定すると、HP Web Jetadmin のホスト コンピュータと Web ブラウザ間のすべての通信が HTTPS で暗号化されて送信されます。



注記 HTTPS 方式では HTTP ポート番号を使用しないでください。たとえば、Web ブラウザのアドレス バーで「https://server name:HTTP port number」を入力しても、ページは読み込まれません。

Web ブラウザが SSL/TLS を使用して HP Web Jetadmin のホスト コンピュータに接続する場合、HP Web Jetadmin はデフォルトの HTTPS ポート 8443 を使用します。このポートは変更できます。Web ブラウザのデフォルト ポートは 443 です。Web ブラウザがポート番号を指定しなくても HTTPS 接続を許可する場合は、ポートを 443 に設定します。

HP Web Jetadmin で使用する暗号化レベルを指定します。指定した暗号化レベルが Web ブラウザでサポートされていない場合、Web ブラウザは HP Web Jetadmin に接続できません。HP Web Jetadmin では、以下の暗号化レベルをサポートしています。

- **低 (DES-56 ビット、RC4-40 ビット)** - この暗号化レベルでは、簡単な暗号化を行います。環境によって、簡単な暗号化が必要な場合もあります。たとえば、Internet Explorer の一部のバージョンは、中および高の暗号化レベルに必要な 128 ビット暗号化に対応していません。
- **中 (RC4-128 ビット)** - この暗号化レベルでは、128 ビット暗号化を行います。この暗号化レベルを指定する場合、HP Web Jetadmin にアクセスする Web ブラウザは 128 ビット暗号化をサポートしている必要があります。
- **高 (3DES-168 ビットのみ)** - この暗号化レベルでは、最も安全な 168 ビット暗号化を行います。ただし、この暗号化レベルを指定すると、HP Web Jetadmin のホスト コンピュータ、ネットワーク、および Web ブラウザへの負荷が増加し、処理速度が低下します。

SSL/TLS の暗号化プロセスでは証明書が使用されます。Web ブラウザは、HP Web Jetadmin の証明書を使用して HP Web Jetadmin のホスト コンピュータの ID を認証します。

HP Web Jetadmin では、証明機関 (CA) が作成して署名した証明書を使用できます。CA 署名証明書は、ユーザーが適切なホスト コンピュータを使用していることを再確認するためのものです。ホスト コンピュータの IP アドレス、名前、または有効期間が CA 署名証明書と一致しない場合は、情報が証明書と異なることをユーザーに示す警告が Web ブラウザに表示されます。

HP Web Jetadmin では、自己署名証明書も作成できます。自己署名証明書には、CA 署名証明書と同じ暗号化レベルがあります。ただし、自己署名証明書は証明書の所有者を認証しません。Web ブラウザでは自己署名証明書は信頼されません。ルート CA によって署名された証明書のみ信頼されます。ホスト コンピュータの IP アドレス、名前、または有効期間が自己署名証明書と一致しない場合は、既知の CA が署名した証明書ではなく、入力した情報を確認できないことを示す警告が Web ブラウザに表示されます。

20 プロファイル セキュリティ

この章では、次の項目を説明します。

- [プロファイル セキュリティの概要](#)
- [認証方法](#)
- [プロファイル設定](#)

プロフィール セキュリティの概要

プロフィールは、権限のないユーザーによる HP Web Jetadmin へのアクセスを防ぐためのセキュリティ形態です。プロフィールを使用して、ユーザーの各クラスが使用可能な HP Web Jetadmin 機能を制御できます。

HP Web Jetadmin には、デフォルトで管理者プロフィールが用意されています。管理者プロフィールは HP Web Jetadmin へのフル アクセスが可能です。管理者プロフィールにログインしている場合は、すべての HP Web Jetadmin の設定を表示および設定できます。HP Web Jetadmin のインストール プロセスでは、権限のないアクセスを防ぐためにパスワードが割り当てられます。詳細については「[プロフィールのパスワード](#)」を参照してください。

管理者プロフィールの他に、ユーザーの各クラスのプロフィールをいくつでも作成できます。たとえば、アラートにアクセスできるが、HP Web Jetadmin の設定は変更できないサポート プロフィールを作成することもできます。

認証方法

HP Web Jetadmin では、以下のいずれかの方法で、ログインするユーザーを認証します。

- プロファイルおよびパスワード - プロファイルを作成し、パスワードを割り当てます。ユーザーがログインする際にプロファイル パスワードの入力を求められます。
- Windows NT ドメイン ユーザーおよびグループ - Windows NT ドメイン ユーザーおよびグループをプロファイルに関連付けます。ユーザーがログインする際に Windows NT ドメイン ユーザー名とパスワードの入力を求められます。複数の Windows NT ドメイン ユーザーまたはグループを各プロファイルに関連付けることができます。ただし、各 Windows NT ドメイン ユーザーまたはグループを関連付けることができるプロファイルは 1 つのみです。

Windows NT ドメイン認証方法によって、以下のタスクが簡略化されます。

- ユーザー アカウント管理 - ユーザーごとにプロファイルを保持したり、プロファイル パスワードを管理したりする必要はありません。
- ユーザーのログイン手順 - ユーザーが新しいプロファイル パスワードを覚える必要はありません。ユーザーは Windows NT ドメイン ユーザー名とパスワードを使用して HP Web Jetadmin にログインできます。

HP Web Jetadmin はユーザーの資格証明を保存し、ユーザーがリモート認証を要求したときにその情報を他のコンピュータに渡すことができます。たとえば、ユーザーが Windows NT ホスト コンピュータ上でプリント キューを作成する場合、HP Web Jetadmin は ユーザーがログイン時に入力した Windows NT ドメイン情報を利用してユーザーを認証しようとします。

プロファイル設定



注記 管理者プロファイルを使用して HP Web Jetadmin にアクセスすると、**[一般設定] > [プロファイル管理] > [許可]** ページだけを表示できます。HP Web Jetadmin のホストコンピュータで、ユーザー プロファイルなどの別のプロファイルも設定する必要があります。

[一般設定] > [プロファイル管理] > [許可] > [デバイス編集モード] ページを使用して、以下のプロファイル編集機能を指定できます。

- **[プリント キュー作成可能]** - このオプションでは、プロファイルでプリント キューを作成できるかどうかを指定します。
- **[デバイス グループ編集可能]** - このオプションでは、プロファイルで既存のデバイス グループを変更し、デバイス グループを新規作成できるかどうかを指定します。
- **[デバイス設定可能]** - このオプションでは、プロファイルでデバイス設定オプションを変更できるかどうかを指定します。プロファイルに、デバイス キャッシュのすべてのデバイスの設定オプションの編集を許可することも、特定のデバイス グループのデバイスの編集だけを許可することも可能です。デバイス設定オプションの編集をプロファイルに許可する場合は、デバイスオプションやアクセサリ オプションなど、特定のタイプの設定オプションに制限することができます。



注記 管理者プロファイルの編集機能は無効にできません。

編集機能の組み合わせを有効または無効にすることによって、特定のユーザー クラスのニーズに合わせてプロファイルをカスタマイズできます。たとえば、デバイス グループおよびデバイスは編集できるが、HP Web Jetadmin の設定の編集やプリント キューの作成はできないヘルプ デスク プロファイルを作成できます。

さらに、**[一般設定] > [プロファイル管理] > [許可] > [ページの無効化]** ページを使用して、プロファイルの **[ナビゲーション]** 領域とコンテンツ ツールバーに表示する機能を指定できます。**[ページの無効化]** ページのオプションを使用すると、編集機能より高度な制御が可能です。

プロファイルの詳細については、「[第 10 章 プロファイルの設定](#)」を参照してください。

21 デバイス セキュリティ

この章では、次の項目を説明します。

- [デバイス セキュリティの概要](#)
- [デバイス パスワード](#)
- [設定コミュニティ名](#)
- [SNMP](#)
- [未使用のプロトコル](#)
- [管理者パスワード](#)
- [プリンタのコントロール パネル](#)
- [デバイスの内蔵 Web サーバー](#)
- [アクセス コントロール リスト](#)
- [デバイスのネットワーク セキュリティ](#)
- [デバイスのストレージ管理](#)
- [資格証明ストレージ](#)

デバイス セキュリティの概要

HP Web Jetadmin には、不法アクセスからそれ自体を保護する方法はいくつか用意されていますが、個人ユーザーが Web から HP Web Jetadmin をダウンロードし、それを使用してデバイスのインストールと設定を行うのを防ぐことが課題となります。ユーザーは、以下のようなさまざまなユーティリティを使用してデバイスにアクセスし、設定できます。

- HP Web Jetadmin
- HP ネットワーク プリンタのインストール ウィザード
- Telnet
- 内蔵 Web サーバー
- SNMP ユーティリティ
- HP Printer Gateway for NDPS

これらのユーティリティがすべて利用可能な場合、権限のないユーザーによるデバイスへのアクセスを防ぐ最も効果的な方法は、デバイス レベルでセキュリティを設定することです。HP Web Jetadmin には、これらのユーティリティに対応するためにデバイス上で有効にできるセキュリティ方法がいくつか用意されています。



注記 Hewlett-Packard 社では、パフォーマンスおよびセキュリティの問題に対処するために、HP Jetdirect ファームウェアの定期的な改訂や強化を行っています。最大限のセキュリティを確立するには、常に HP Jetdirect ファームウェアを最新のリリースに更新してください。HP Web Jetadmin のインテリジェント更新機能を使用して、HP Jetdirect ファームウェアを更新できます。

デバイス パスワード

HP Web Jetadmin では、デフォルトでデバイスにパスワードが割り当てられないので、それらを割り当てる必要があります。複数デバイス設定機能を使用して、一度に複数のデバイスにパスワードを割り当てることができます。パスワードを割り当てると、ユーザーは、デバイスの設定オプションに行った変更の内容を保存する前に、パスワードの入力を求められます。

特定のデバイスに対するルーチンの保守や管理タスクを委任する場合、パスワードを割り当てることで、権限を持つユーザーはネットワーク全体のセキュリティとは関係なくデバイスにアクセスできるようになります。たとえば、各部署や建物にいる特定のユーザーに、そこにあるデバイスを監督する権限を与えます。このユーザーは、システム管理者の支援なしに、デバイス グループ内のデバイスのステータスをチェックしたり、新しいデバイスを追加したり、既存のデバイスを変更したりすることができます。その他の権限は、システム管理者が保持しています。



注記 HP Web Jetadmin 製品チームは、デバイス セキュリティの管理を大幅に簡略化する努力を続けています。デバイス パスワードは、ここ数年 HP Web Jetadmin のセキュリティ機能セットの一部になっていますが、このソフトウェアの今後のリリースでは廃止される予定です。デバイス セキュリティを有効にするために、SNMPv3 などの他のセキュリティ機能は継続してサポートされます。HP Web Jetadmin とデバイス セキュリティの詳細については、<http://www.hp.com/go/webjetadmin> をご覧ください。

設定コミュニティ名

設定コミュニティ名という補助的なセキュリティ オプションを利用できます。デバイスの設定コミュニティ名により、デバイスが HP Web Jetadmin の未許可コピーを承認するのを防いだり、権限のないユーザーが SNMP ユーティリティを使用してデバイスの設定オプションを変更するのを防いだりすることができます。

デバイスの設定コミュニティ名を知っているユーザーだけが、SNMP ユーティリティを使用してデバイスの設定オプションを変更できます。SNMP ユーティリティを使用してデバイスの設定オプションを変更しようとする場合、変更を有効にするにはデバイスの設定コミュニティ名を入力する必要があります。



注記 設定コミュニティ名を使用するには、バージョン x.06.00 以降の HP Jetdirect ファームウェアが必要です。

SNMP

HP Web Jetadmin とデバイス間のすべての通信が、SNMPv1 プロトコルを使用してネットワーク全体に送信されます。HP Web Jetadmin を使用して SNMPv3 対応のデバイスを設定する場合、次のいずれかの方法で HP Web Jetadmin によるそのデバイスの設定が可能です。

- SNMPv1 を読み取り専用、SNMPv3 を読み取り/書き込みに設定します。したがって、デバイスは SNMPv1 または SNMPv3 プロトコルを使用しているデバイスのステータスなどの情報の要求にのみ応答できます。さらに、デバイスは SNMPv3 プロトコルを使用した、設定オプションを変更する設定要求のみを受け取ることができます。
- SNMPv1 をアクセスなしに、SNMPv3 を読み取り/書き込みに設定します。したがって、デバイスは情報表示または情報変更の SNMPv3 要求のみに応答できます。HP Web Jetadmin が SNMPv3 プロトコルを使用してデバイスに設定要求を送信する場合、これらの要求を受信して応答するにはデバイスが SNMPv3 対応である必要があります。

SNMPv1 が使用された場合、HP Web Jetadmin とデバイス間の通信のデータ部分は、クリア テキスト形式で送信され、情報は暗号化されません。パスワードを設定するため、またはデバイスを認証するために、デバイスのパスワードが HP Web Jetadmin からデバイスに送信されるとき、情報がネットワークの外で傍受される可能性があります。SNMPv3 プロトコルは、HP Web Jetadmin とデバイス間で送信される情報を暗号化します。

未使用のプロトコル

ほとんどのネットワークでは、一部のプロトコルしか使用しません。たとえば、AppleTalk および DLC プロトコルは、HP Jetdirect プリント サーバーではデフォルト設定で有効になっていますが、多くのネットワークでは使用されていません。未使用のプロトコルは、権限のないユーザーがデバイスにアクセスして設定するときに使用される可能性があります。

権限のないユーザーによるデバイスへのアクセスを防ぐために、使用していないプロトコルは無効にしてください。未使用のプロトコルを無効にすると、ネットワーク トラフィックを最小限に抑えることもできます。プロトコルを無効にすると、そのプロトコルでは一切のアクティビティが許可されません。無効にしたプロトコルを使用する印刷および管理アプリケーションは正常に機能しなくなります。

[デバイス設定] ページの **[ネットワーク]** カテゴリで、デバイスの未使用のプロトコルを無効にします。複数のデバイス設定機能を使用すると、一度に複数のデバイスに対して未使用のプロトコルを無効にすることもできます。

管理者パスワード

権限のないユーザーによるデバイスの設定オプションの変更を防ぐには、HP Web Jetadmin を使用して以下の項目にパスワードを割り当てます。

- HP Jetdirect デバイス
- HP Jetdirect 内蔵 Web サーバー
- デバイスの内蔵 Web サーバー

HP Jetdirect デバイス パスワードは HP Jetdirect デバイスに保存されます。HP Web Jetadmin、HP プリンタのインストール ウィザード、HP Jetdirect 内蔵 Web サーバーなどのユーティリティを使用してデバイスの設定オプションを変更する場合は、HP Jetdirect デバイス パスワードを指定する必要があります。ただし、それ以外の SNMP ユーティリティでは、HP Jetdirect デバイス パスワードを確認できないため、そのままデバイスの設定オプションを変更できます。

HP Jetdirect 内蔵 Web サーバーにパスワードを割り当てます。このパスワードはデバイスに保存されます。ユーザーが HP Jetdirect 内蔵 Web サーバーを参照する場合、デバイスの設定オプションの変更を有効にする前に、デバイスによってこのパスワードが確認されます。ユーザーがパスワードを知らない場合は、HP Jetdirect 内蔵 Web サーバーでデバイス情報を表示できますが、デバイスの設定オプションを変更することはできません。

デバイスの内蔵 Web サーバーのパスワードを使用すると、権限のないユーザーがデバイスを直接参照し、デバイスの内蔵 Web サーバーにアクセスすることは可能ですが、デバイスの設定オプションは変更できません。デバイスの内蔵 Web サーバーのパスワードは、HP Jetdirect デバイス パスワードや HP Jetdirect 内蔵 Web サーバーのパスワードとは別に設定します。



注記 プリンタのファームウェア バージョンが 22.xx の場合、これら 3 つのパスワードの同期をとります。1 つのパスワードを変更すると、ファームウェアによって他の 2 つのパスワードが変更されます。

プリンタのコントロール パネル

HP Web Jetadmin を使用して、プリンタのコントロール パネルをリモートでロックできます。これにより、権限のないユーザーがプリンタのコントロール パネルからプリンタ設定オプションを直接変更することを防止できます。ユーザーはコントロール パネルに設定内容を表示できますが、プリンタの設定オプションは変更できません。コントロール パネルのロック機能を装備した一般的なプリンタでは、低、中、または高のアクセス レベルを定義することもできます。それぞれのアクセス レベルの定義はプリンタによって異なります。

デバイスの内蔵 Web サーバー

HP Web Jetadmin には、デバイスの内蔵 Web サーバーへのリンクが用意されています。内蔵 Web サーバーは、権限のないユーザーによるデバイスへのアクセスと、デバイスの設定オプションの変更を防ぐ追加のセキュリティ対策として機能します。パスワードをデバイスの内蔵 Web サーバーに割り当てると、権限のないユーザーがデバイスを直接参照したり、デバイスの内蔵 Web サーバーにアクセスしたりするのを防止できます。このパスワードはデバイスに保存されます。

アクセス コントロール リスト

HP Web Jetadmin には、アクセス コントロール リスト (ACL) と呼ばれるセキュリティの追加オプションが用意されています。ACL を使用すると、デバイスにアクセスできるネットワークの IP アドレスを指定できます。リストは、最大 10 のエントリをサポートします。リストが空の場合、システムはアクセス可能です。

ACL は、管理だけでなく出力にも影響を与えます。HP Web Jetadmin は通常、デバイス管理時に TCP パケットを使用します。HP TCP/IP Standard Port Monitor などのポート モニタは通常、TCP パケットを使用してプリント ジョブを送信します。これらのユーティリティが ACL がない場合は、デバイスを設定したり、デバイスに出力したりすることはできません。

デフォルトでは、HTTP 接続を使用したホスト システム (Web ブラウザや IPP 接続など) は、ACL エントリがない場合でもアクセスが許可されます。これによって、プロキシ サーバーまたはネットワーク アドレス変換装置が使用されているときにホストがデバイスにアクセスできます。ただし、HTTP ホストによるフィルタなしのアクセスは、デバイスの **[デバイス ネットワーク設定]** ページにある **[Web サーバー (HTTP) アクセスを許可]** チェック ボックスをオフにすることで無効化できます。



注意 使用するシステムがリストに適切に指定されていなかったり、HTTP を通じたアクセスが無効化されていたりすると、デバイスとの通信ができなくなる場合があります。デバイスと通信ができなくなった場合は、ネットワーク設定を工場出荷時のデフォルト値に戻す必要がある場合があります。

デバイスのネットワーク セキュリティ

HP Web Jetadmin では、権限のないユーザーによるデバイスへの出力を防ぐ追加セキュリティ対策として以下の方法が用意されています。

- HP TCP/IP Standard Port Monitor
- HP Jetdirect Port
- Microsoft Standard Port Monitor
- lpd (Line printer daemon)
- FTP (File Transfer Protocol)
- IPP (Internet Printing Protocol)

さまざまなネットワーク設定ツール、出力方式、デバイスがサポートしているその他の機能を有効化または無効化できます。各デバイスによって異なる機能がサポートされているため、リストされる項目はそれぞれ異なります。たとえば、Telnet または内蔵 Web サーバー (EWS) などのネットワーク設定ツールの有効化または無効化ができるデバイスもあります。Telnet および内蔵 Web サーバーでは、いずれも、プリント サーバー設定や管理 Web ページへのアクセスが追加で用意されています。

また、FTP、lpd (TCP/IP 用のライン プリンタ スプール サービス)、IPP、またはポート 9100 (ダイレクト モード印刷) を使用して印刷サービスを有効化または無効化できる場合もあります。Service Location Protocol (SLP) など、特定のクライアント アプリケーションがデバイスを検出し、識別するために使用するその他の機能が設定できる場合もあります。

また、mDNS および IPv4 マルチキャストを有効化したり、無効化したりできます。mDNS は、通常の場合、従来型の DNS サーバーが使用されていない小規模ネットワークで、(UDP ポート 5353 による) IP アドレスと名前解決のために使用されます。IPv4 マルチキャストが有効になっている場合、プリント サーバーによる IP バージョン 4 マルチキャスト パケットの送受信ができます。

不正デバイス アクセスへのさらに高度なセキュリティ対策として、HP Web Jetadmin を使用して、デバイス設定用またはデバイスへの印刷用の追加サービスを無効化することもできます。次のリストには、ユーザーが有効化および無効化できるサービスの例が示されています。

- SLP (Service Location Protocol) 設定
- Telnet 設定

次のリストには、ユーザーが有効化および無効化できる出力方法の例が示されています。

- TCP ポート 9100
- FTP (File Transfer Protocol)
- lpd (Line printer daemon)
- IPP (Internet Printing Protocol)

デバイスのストレージ管理



注記 デバイスが次の機能をサポートしていない場合は、ストレージ管理オプションは表示されません。

デバイスのハード ディスクまたはその他の消去可能なストレージ デバイスに保存されている情報に権限のないユーザーがアクセスできないようにするために、次の HP Web Jetadmin 機能を使用できます。

- ファイル システムの外部アクセス：この機能を使用して、デバイスまたはデバイス グループのハード ディスク ドライブ上のファイル システムへのアクセスを管理できます。
- 安全ストレージ消去モード：この機能では、安全なストレージの消去操作、および着信したプリント ジョブ用にハード ディスク ドライブに使用可能な領域を作るためにプリンタが自動的に実行する消去操作の処理を決定します。
- 安全なストレージ消去：この機能により、安全ストレージ消去モード設定に基づいて、デバイスのハード ディスク ドライブまたはその他の消去可能なストレージ デバイスが消去されます。

ストレージ管理機能を使用するには、**[設定]** ページでデバイスまたはデバイス グループにあるファイル システムのパスワードを設定する必要があります。パスワードを簡単に管理するには、すべてのデバイスに同じファイル システムのパスワードを設定することをお勧めします。

ファイル システムの外部アクセス

このファイル システムへの外部アクセス オプションを使用すると、さまざまなプリンタ通信言語による、デバイスのハードドライブのファイル システムへのアクセスを管理できます。このオプションにより、デバイスのファイル システムは権限のないデータの読み書きから保護されます。たとえば、プリンタ通信言語を無効にすると、そのプリンタ通信言語はデバイスのハード ドライブにあるファイル システムのデータを読み書きできません。

HP Web Jetadmin が有効または無効にできるプリンタ通信言語は次のとおりです。



注記 デフォルトでは、すべてのプリンタ通信言語が有効です。

- ネットワーク ファイル システム (NFS)
- PostScript (PS)
- 周辺装置管理言語 (PML)
- プリンタ ジョブ言語 (PJM)

プリンタ通信言語がデバイスで無効であっても、デバイスはプリンタ通信言語から要求および情報を受信できます。たとえば、プリンタに PML 要求を送信してプリント ジョブのメディア サイズを設定できます。ただし、PML プリンタ通信言語はハード ディスク ドライブのデータを読み書きする要求を送信できません。

この機能には、デバイスの **[設定]** ページまたは **[複数デバイス設定]** ページからアクセスできます。

安全ストレージ消去モード

安全ストレージ消去モードでは、安全なストレージの消去操作、および着信したプリント ジョブ用にハード ディスク ドライブに使用可能な領域を作るためにプリンタが自動的に実行する消去操作の処理を決定します。消去操作は、デバイスのハード ディスク ドライブに使用可能領域を追加し、権限

のないユーザーがデバイスのハード ディスク ドライブまたはその他の消去可能なストレージ デバイスの機密情報にアクセスできないように設計されています。



注記 安全なストレージ消去操作および自動プリンタ ファイル消去操作では、同じ安全ストレージ消去モードを使用します。

サポートされている安全ストレージ消去モードは次のとおりです。

- **[安全でない高速消去]**：このモードでは、終了したプリント ジョブの参照などの、操作へのファイル システムの参照を消去します。参照を消去すると、ハード ディスク ドライブの領域を使用できるようになります。これは最高速の消去モードであり、デフォルトのモードです。
- **[安全高速消去]**：このモードでは操作へのファイル システムの参照を消去し、ハード ディスク ドライブに保存されているデータを隠すための 1 つのマスキング レイヤを提供します。このモードは **[安全でない高速消去]** よりも時間はかかりますが、安全性は向上します。
- **[安全フォーマット消去]**：このモードでは操作へのファイル システムの参照を消去し、ハード ディスク ドライブに保存されているデータを隠すための複数のマスキング レイヤを提供します。このモードでは、モードの実行時にデバイスの処理に大きな影響を与える可能性があります。

この機能には、デバイスの **[設定]** ページまたは **[複数デバイス設定]** ページからアクセスできます。

安全なストレージ消去

安全なストレージ消去機能により、デバイスのハード ディスク ドライブまたはその他の消去可能なストレージ デバイスが消去され、権限のないユーザーが機密情報にアクセスできないようになります。ハード ディスク ドライブと消去可能ストレージ デバイスの両方の内容を同時に消去できます。ディスク消去のレベルは安全ストレージ消去モードに基づきます。

デバイスの種類にもよりますが、HP Web Jetadmin は、この安全ストレージ消去機能の進行状況を詳しく示すステータス ページを表示します。このステータス ページへのリンクは、**[バックグラウンドタスク]** セクションに表示されます。



注記 複数のデバイスの場合は、この機能によりすべての使用可能なハード ディスク ドライブが消去されます。

デバイスのハード ディスク ドライブの内容を消去するのに、時間がかかる場合があります。ハード ディスク ドライブを消去している間は、デバイスの MIB 上のファイル システムにアクセスすることはできません。ただし、HP Web Jetadmin を使用することによって、デバイスを選択してデータを削除する際にデバイスの MIB のファイル システム以外のセクションや他のデバイスにアクセスできます。

この機能には、デバイスの **[ステータス]** ページからアクセスできます。

資格証明ストレージ

資格証明ストレージ機能を使用すると、HP Web Jetadmin は HP Web Jetadmin ホスト コンピュータ 上にあるすべてのデバイス資格証明情報を保存することができます。この機能を使用すると、ネットワーク管理者は、セキュリティを損なうことなく、必要なときにいつでもデバイスを設定することができます。資格証明ストレージ機能を使用することで、HP Web Jetadmin は自動設定やバッチ デバイス グループ設定などの設定操作を処理すると同時に、資格証明ストレージからデバイス資格証明を取得することができます。

ユーザーによってデバイスの設定が試みられると、HP Web Jetadmin は、デバイス情報を表示または変更しようとしているユーザーのプロファイルでそのような操作を実行する権限があるかどうかを検証します。プロファイルに適切な権限がない場合は、HP Web Jetadmin は、HP Web Jetadmin ホスト コンピュータ上に保存されている資格証明を使用して設定操作を実行します。HP Web Jetadmin ホスト コンピュータに適切な資格証明が保存されていないためにこの操作が失敗すると、HP Web Jetadmin は、その失敗を結果ページにログ記録し、次のデバイス上でプロセスを再開します。すべてのデバイスが設定されたか、操作に失敗すると、HP Web Jetadmin によって結果ページが表示されます。デバイスの設定操作に失敗した場合、結果ページにリンクが表示されます。この結果ページでは、HP Web Jetadmin ホスト コンピュータに資格証明情報を追加できます。

HP Web Jetadmin ホスト コンピュータに保存できる資格証明タイプの例は次のとおりです。

- デバイスのパスワード
- ファイル システム パスワード
- 内蔵 Web サーバー パスワード
- コミュニティ名
- SNMPv3



注記 HP Web Jetadmin ホスト コンピュータ上に資格証明情報がまだ保存されていない SNMPv3 対応デバイスを検出するには、**[デバイス管理] > [ディスカバリ] > [プロパティ]** ページに進みます。**[SNMPv3 対応デバイスの検出]** チェック ボックスをオンにして、IP ブロードキャスト、IP 範囲、指定アドレス ディスカバリのいずれかを実行します。その後、**[デバイス管理] > [ツール] > [管理されていない SNMPv3 デバイス]** ページに進みます。このページには、検出された SNMPv3 対応デバイスの IP アドレスが表示され、デバイスまたはデバイスのグループに対して資格証明情報の指定ができます。

セクション 8 デバイス

このセクションには、次の章があります。

[第 22 章 デバイスについて](#)

[第 23 章 デバイスの検索](#)

[第 24 章 デバイス リストの管理](#)

[第 25 章 デバイスとデバイス キャッシュの管理](#)

[第 26 章 複数デバイスの設定](#)

[第 27 章 ファームウェアの更新](#)

22 デバイスについて

この章では、次の項目を説明します。

- [デバイスの概要](#)
- [Java アプレットおよび JavaScript](#)
- [内蔵および統合 Web サーバー](#)
- [デバイス アラート](#)
- [内蔵 Web サーバー ページ](#)

デバイスの概要

HP Web Jetadmin を使用して、以下を含む各種多様のネットワーク デバイスを管理し、問題を解決できます。

- 100 モデルを超える HP プリンタ、デジタル センダ、およびプロジェクタ
- HP Jetdirect により接続されたパラレルベースのプリンタ
- 標準プリンタ MIB に準拠するサードパーティ製のプリンタ
- 内蔵 Web サーバーのあるプリンタ

レガシー サポート

HP Web Jetadmin は、HP LaserJet II から最新の HP LaserJet 9000 まで、現在の HP LaserJet プリンタ ファミリーの機能をサポートしています。HP Web Jetadmin を使用して広範囲の HP プリンタを設定し管理することができます。ヘルプ デスクの担当者は、HP Web Jetadmin を使用してエンドユーザーのためにプリンタのステータスと統計を調べることができます。HP Web Jetadmin では、プリンタ機能のサポートに Java アプレット、JavaScript、および Simple Network Management Protocol (SNMP) が使用されます。

HP Web Jetadmin による旧タイプのプリンタのサポート機能は制限されます。たとえば、オンライン、オフライン、用紙切れなどのプリンタのステータス情報のみを表示できます。

TCP/IP および IPX/SPX プロトコル サポート

HP Web Jetadmin は、TCP/IP および IPX/SPX プロトコルをサポートします。つまり、ハードウェアの更新を行わなくても各種のデバイスをサポートします。



注記 IPX/SPX プロトコルを使用するには、HP Web Jetadmin が Windows 上で稼働している必要があります。

HP Jetdirect プリント サーバーは、いくつかの一般的なネットワーク オペレーティング システムをサポートしていますが、これらのオペレーティング システムでは、別のプロトコル スタックが必要な場合があります。Hewlett-Packard 社では、これらのプロトコルのサポートを HP Web Jetadmin に組み込むことによって現在の資産を引き続き活用できるようにしています。外付け HP Jetdirect プリント サーバーで接続されたサードパーティ製デバイスについては、表示されるステータス情報が限られています。

サードパーティ ベンダー製品のサポート

HP Web Jetadmin は、RFC (Request for Comments) 1759 によって定義された標準プリンタ MIB 準拠のすべてのプリンタをサポートします。したがって、1 つのツールで混在環境の各種ブランドおよびモデルのネットワーク デバイスを管理できます。標準プリンタ MIB を現在サポートしているメーカーには、Hewlett-Packard、Lexmark、IBM、Xerox、Tektronix、および Kyocera があります。

HP Web Jetadmin はデバイスに SNMP クエリーを送信し、デバイスの標準プリンタ MIB オブジェクトの情報を読み取り、その情報を表示します。標準プリンタ MIB に保存されている情報は、ベンダやデバイス モデルによって異なります。したがって、HP Web Jetadmin が表示できる情報の一部は、サードパーティ製デバイスには使用できないこともあります。ただし、HP Web Jetadmin がデバイスに関する詳細を検出および表示できるサードパーティ製プラグインを提供しているサードパーティ メーカーもあります。サードパーティ製デバイスのプラグインに関する詳細は、デバイスのベンダにお問い合わせください。

HP Web Jetadmin では、デバイスのプラグインが開発されているかどうかに関係なく、検出したデバイスごとに制限された機能の設定をサポートします。デバイスが HP Web Jetadmin の SNMP クエリーに응答しない場合、HP Web Jetadmin に情報は表示されません。次のリストは、HP Web Jetadmin に表示できる情報と HP Web Jetadmin がデバイスに送信する一般的な MIB オブジェクトのクエリーを示します。



注記 次の情報のほとんどが **[デバイス ステータス]** ページ、**[デバイス診断]** ページ、および **[すべてのデバイス]** ページの列として、表示されます。

- デバイス イメージ - HP Web Jetadmin に、**[デバイス ステータス]** ページのデバイス タイプに一致するデバイスのイメージが表示されます。デバイスが HP Web Jetadmin に十分な情報を送信しない場合、HP Web Jetadmin には一般的な HP LaserJet デバイスのイメージが表示されます。
- モデル名 - デバイスがホスト リソース MIB の hrDeviceDescr オブジェクトに응答すると、デバイス モデル名が表示されます。
- デバイス ステータス - デバイスがホスト リソース MIB の hrDeviceStatus オブジェクト、hrPrinterStatus オブジェクト、および hrPrinterDetectedErrorState オブジェクトに응答すると、デバイスの現在の状態が表示されます。
- フロント パネル表示 - デバイスが prtConsoleDisplayBufferText オブジェクトの標準プリンタ MIB クエリーに응答すると、デバイスのコントロール パネルの現在のメッセージが表示されます。
- シリアル番号 - デバイスが MIB-II の sysDescr オブジェクトに응答したり、ホスト リソース MIB 内の hrDeviceDescr オブジェクトに응答したりすると、デバイスの一意の製造識別子が表示されます。シリアル番号は、通常、テスト ページに記載されているか、デバイスの外面に印されています。
- ページ カウント - デバイスが標準プリンタ MIB の prtMarkerLifeCount オブジェクトをサポートしている場合は、ページ カウント値が表示されます。ベンダがデバイス用のプラグインを開発している場合、ファックス、コピー、スキャン、およびカラーのページ カウントが表示されることがあります。
- IP アドレス - デバイスがさまざまな MIB-II オブジェクトに응答すると、デバイスの IP アドレスとその他の IP 関連の設定が表示されます。
- IP ホスト名 - デバイスが sysName MIB-II オブジェクトに응答すると、システム名とも呼ばれる IP ホスト名が表示されます。この名前は、WINS や DNS などの名前サーバーに登録できる場合があります。登録は、デバイス設定によって異なります。
- IPX 名 - デバイスがさまざまな MIB-II オブジェクトに응答すると、IPX 名とその他の IPX 関連の設定が表示されます。
- システム連絡先 - デバイスが sysContact MIB-II オブジェクトに응答すると、システム連絡先が表示されます。
- デバイスの説明 - デバイスが sysLocation MIB-II オブジェクトに응答すると、説明が表示されます。
- 機能 - 情報がデバイスによってサポートされている場合は、インストール済み言語、トレイ、アクセサリなどのデバイス機能が **[デバイス ステータス]** ページに表示されます。
- トナーの残量レベル - デバイスが prtMarkerSuppliesLevel オブジェクトおよび prtMarkerSuppliesMaxCapacity MIB オブジェクトに응答すると、カートリッジ内に残っているトナーまたはインクのおよその量が表示されます。

- 給紙トレイの残量レベル - デバイスが prtInputCurrentLevel オブジェクトおよび prtInputMaxCapacity MIB オブジェクトに応答すると、入力トレイに残っている用紙のおよその枚数が表示されます。
- アラート - アラートタイプを定義し、アラートの生成にトラップまたはポーリングを使用するかどうかを決めるためのプラグインをベンダが開発している場合があります。ただし、デバイスにベンダ定義のプラグインがない場合は、アラートはポーリングを経由して使用可能です。HP Web Jetadmin が監視できるアラートには、次のようなものがあります。
 - トナー残量低下
 - トナー切れ
 - 用紙残量少
 - 用紙切れ
 - 用紙切れ
 - オフライン
 - 介入が必要
 - カバーが開いている
- 設定 - サードパーティのベンダが、デバイス設定機能を持つプラグインを提供している場合は、設定オプションのみが表示されます。ベンダは、HP Web Jetadmin が設定できる設定オプションを定義します。ただし、サードパーティ製デバイスが HP Jetdirect EX デバイスを介してネットワークに接続されている場合は、HP Jetdirect デバイスの設定は可能です。そうでなければ、オブジェクトがデバイスによってサポートされている場合は、次のアイテムを使用できます。
 - 連絡先情報 (sysContact オブジェクト)
 - 説明 (sysLocation オブジェクト)
 - コントロールパネルの言語 (prtConsoleLocalization オブジェクト)
 - 用紙の向き (prtInterpreterDefaultOrientation オブジェクト)
 - システム名 (sysName オブジェクト)
 - コントロールパネル アクセス (prtConsoleDisable オブジェクト)



注記 プリントキューの作成とファームウェアアップグレードは、HP デバイス用に用意されています。

HP Web Jetadmin にも、内蔵 Web サーバーの URL へのリンクがあり、内蔵 Web サーバーによってデバイスをサポートします。

Java アプレットおよび JavaScript



HP Web Jetadmin は Java 対応で、Java プログラミング言語の強力な機能を利用できます。HP Web Jetadmin の Java アプレットは、新しいプリンタ機能を利用し、ユーザー インタフェースからのよりインタラクティブな応答を可能にします。

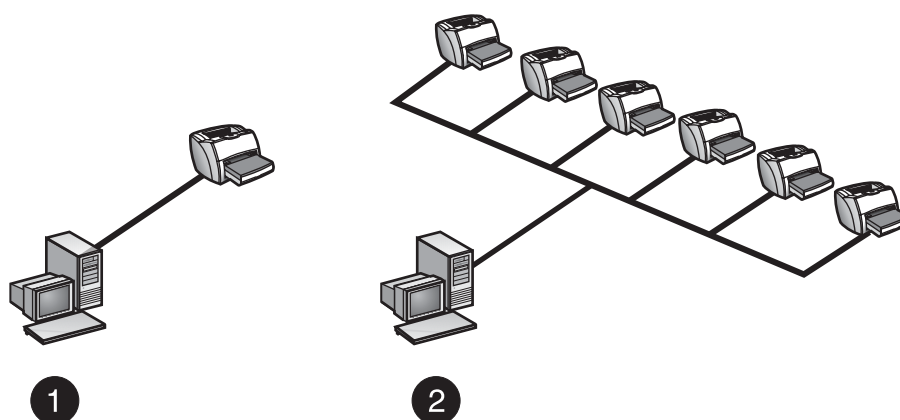
Java はプラットフォームに依存しないので、HP Web Jetadmin の Java アプレット機能は動作環境に関係なく使用できます。また、Java アプレットはブラウザで実行されるので、Java アプレットを実行するために特別なソフトウェアは必要ありません。

ただし、Java は速度に限界があります。Java が必要ない場合、HP Web Jetadmin は JavaScript というスクリプト言語を使用します。JavaScript の実行速度は Java よりも速く、CGI (Common Gateway Interface) では提供されない機能が追加されています。JavaScript によってアニメーションの多い活気のあるユーザー インタフェースを作成でき、Web フォームの **[登録]** ボタンなどの少ない、すっきりした Web ページを作成できます。

[デバイス ステータス] ページに表示されるグラフィック イメージは、実際にはデバイスのステータスを示す Java アプレットです。ステータスが変わると、Java Status アプレットによって、ページ全体を更新することなくグラフィック イメージが更新されます。**[デバイス管理] > [管理設定] > [ネットワーク設定] > [ポーリング]** ページで Java Status アプレットがデバイスをポーリングする頻度を指定します。デフォルト設定では、Java ポーリング レートは 6 秒です。デバイスのポーリング頻度を増やした場合、ネットワーク トラフィックに影響を与え、Web サーバーの負荷が増加します。特に負荷の大きいホスト コンピュータで HP Web Jetadmin を稼動している場合は、デバイスのポーリングの頻度を減らす必要がある場合もあります。

内蔵および統合 Web サーバー

アイコン	説明	アイコン	説明
	HP Web Jetadmin ホスト コンピューター		プリンタ



1	内蔵 Web サーバー
2	統合 Web サーバー

HP Web Jetadmin は、独自の統合 Web サーバーとして機能するため、内蔵 Web サーバーによるデバイスの管理と統合 Web サーバーによるデバイスの管理の違いを理解する必要があります。どちらの方法にも特定の環境に適した利点があります。

内蔵 Web サーバーの使用

内蔵 Web サーバーは、印刷デバイス内に完全に組み込まれています。ハードウェアや製造元のソフトウェアを追加する必要がありません。Web ブラウザを使用して HP Jetdirect デバイスの内蔵 Web サーバーにアクセスすることにより、ネットワーク ユーザーは最新のネットワーク プリンタ ステータスの取得、簡単な障害回復操作の実行、デバイスの設定変更、HP のオンラインカスタマ サポートへのアクセスなどを行うことができます。

内蔵 Web サーバーを使用して、次に示すようなタスクを実行できます。

- 1 つのデバイスまたは小さいネットワーク上で限定された数のデバイスを管理する。
- 内蔵 Web サーバーを含むデバイスごとに個別に管理する。

統合 Web サーバー管理ツールの使用

小規模のネットワーク環境での機能の範囲にかかわらず、内蔵 Web サーバーでは統合ソリューションを提供しません。同時に複数のデバイスのステータスを監視することはできません。デバイスのステータスにアクセスするには、個々のデバイスの IP アドレスを入力する必要があります。内蔵

Web サーバーでは、追加のソフトウェアをインストールしない限り、複数のデバイスの管理に役立つサイト マップ機能やトポロジ表示を利用できません。

一方、HP Web Jetadmin は統合 Web サーバーです。HP Web Jetadmin は独立したコンピュータ上で稼動し、高い管理能力を提供します。管理能力は、管理するネットワーク デバイス数が増加するほど重要になります。

一般的に、HP Web Jetadmin などの統合 Web サーバー管理ツールは特に以下のタスクを実行する場合に便利です。




- ネットワーク全体のすべてのデバイスの表示
- ネットワーク上のデバイスの自動検出
- 複数のデバイスに対するオプションの設定
- 1 つのデバイス グループに属するすべてのデバイスに対するオプションの設定
- プリント キューの作成
- 標準プリンタ MIB に準拠するプリンタの管理
- 内蔵 Web サーバーのないレガシー デバイスの管理

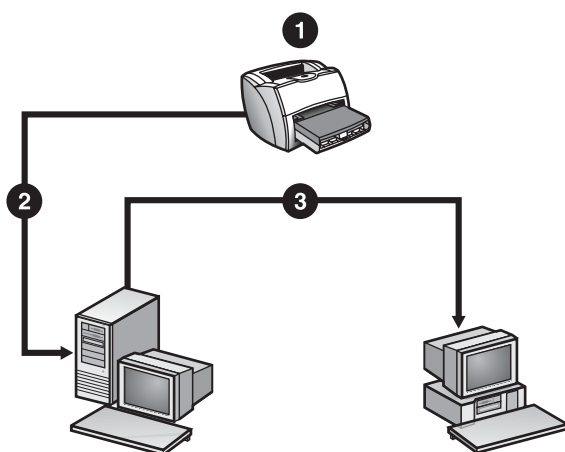
小規模の組織でいくつかのプリンタを管理する場合は、内蔵 Web サーバーが最も適切なソリューションとなる可能性があります。ネットワークの拡大と共に、デバイスの個別管理に時間がかかるようになり、より統合された管理ソリューションが必要になります。ここで、HP Web Jetadmin をインストールすることで、確実にレガシー デバイスをサポートでき、内蔵 Web サーバーに対する初期投資を維持できます。HP Web Jetadmin では、内蔵 Web サーバーと通信して、複数のデバイスとデバイス グループの管理に役立つ包括的な情報が 1 つのフレームワークに表示されます。

HP Jetdirect プリント サーバーも、次のいずれかのオプションを使用して HP Web Jetadmin と通信できます。

- **[リダイレクト URL]** - HP Jetdirect 600N series EIO や HP Jetdirect 300X など、ファームウェアのバージョンが x.07.03 以前のレガシー HP Jetdirect プリント サーバーの一部には、HP Web Jetadmin の URL で設定すると内蔵 Web サーバーと同様の動作を行う Web リダイレクタ機能があります。Web ブラウザで HP Jetdirect プリント サーバーの IP アドレスを入力すると、HP Jetdirect プリント サーバーがその要求を HP Web Jetadmin にリダイレクトし、プリンタのプロパティが表示されます。このオプションを使用した場合、表示される情報はすべて HP Web Jetadmin からの情報です。
- **[統合化 URL]** - このオプションは HP Jetdirect 170X や HP Jetdirect 500X など、内蔵 Web サーバーを持つ HP Jetdirect プリント サーバーで使用できます。このオプションは、ファームウェアを更新した HP Jetdirect 600N series EIO と HP Jetdirect 300X プリント サーバーでも使用できます。統合化 URL を設定すると、内蔵 Web サーバーが提供する情報に HP Web Jetadmin からの情報が追加されます。内蔵 Web サーバーで表示される情報は、Web サーバー自体の情報と HP Web Jetadmin の情報を組み合わせたものになります。具体的には、内蔵 Web サーバーの **[ステータス]** ページには、HP Web Jetadmin からのステータス情報が表示され、内蔵 Web サーバーの **[設定]** ページは、HP Web Jetadmin の **[デバイス設定]** ページと同一になります。

デバイス アラート

アイコン	説明	アイコン	説明
	HP Web Jetadmin ホスト コンピュータ		ワークステーション
	プリンタ		



1	プリンタの用紙切れ
2	アラートがプリンタから HP Web Jetadmin ホスト コンピュータに送信されます。
3	アラートは、HP Web Jetadmin ホスト コンピュータから電子メール配布リストに送信されます。

HP Web Jetadmin では、標準 SNMP トラップや内蔵 Web サーバーのアラート通知などのさまざまなタイプのアラートを、HP Jetdirect プリント サーバーから電子メール アドレスに、またはその他の通知先に経路指定できます。



注記 HP Web Jetadmin にその他の通知方法を指定する方法の詳細については、Web サイト (<http://www.hp.com>) の説明に従って HP カスタマ ケア テクニカル センタにお問い合わせください。[Contact HP] (HP に連絡) をクリックします。

SNMP トラップは、HP Jetdirect アラートともいいます。プリンタと HP Jetdirect プリント サーバーとの通信方法が異なる場合でも、プリント サーバーが HP Web Jetadmin に送信するトラップは、標準プリンタ MIB に準拠し HP Jetdirect により接続されたすべてのプリンタに対して同一です。

HP Jetdirect アラート機能を使用するには、バージョン x.06.00 以降の HP Jetdirect ファームウェアが必要です。さらに、デバイスの標準プリンタ MIB オブジェクトが HP Jetdirect アラートをサポートしている必要があります。プリンタと HP Jetdirect プリント サーバーがこの条件を満たさない場合でも、HP Web Jetadmin はそのポーリング方法を使用してアラートをサポートできます。

HP Jetdirect アラート機能を使用して、ネットワーク プリンタの問題を積極的に監視して解決できます。問題の通知を速やかに受け取ることで、エンド ユーザーに影響を与える前に訂正できます。これは、管理者にとってもユーザーにとっても時間の節約になります。

HP Jetdirect のアラームを設定するには、まず HP Web Jetadmin のアラーム機能を有効にし、デフォルト設定を指定する必要があります。HP Jetdirect アラート機能を有効にした後は、監視するデバイスを決定し、各デバイスに送信するアラートを設定し、HP Web Jetadmin からのアラート メッセージの送信先として電子メール アドレスを指定するか、またはその他の通知方法を設定する必要があります。たとえば、1 つのデバイスに対するいくつかのアラート メッセージを 1 つの電子メール アドレスに送信したり、同じデバイスに対する他のアラート メッセージを別の電子メール アドレスに送信することもできます。

電子メール アラート メッセージには、以下の情報が含まれます。

- デバイスの説明
- エラー状態
- フロント パネル メッセージ
- HP Web Jetadmin にアクセスできる URL
- アラートの日付

アラートが生成されたデバイスの **[デバイス ステータス]** ページを表示するには、アラート メッセージの下部にあるリンクをクリックします。アラート メッセージの形式と内容は、HP Web Jetadmin をインストールしたディレクトリにある hpaltmsg.txt ファイルに基づいています。



注記 使用する通知方法によって、出力および設定プロセスが異なる場合があります。

HP Web Jetadmin は、送信したすべてのアラート メッセージのログを記録します。このログ ファイルは、1 MB より大きくなることはありません。ファイルのサイズが 1 MB になると、HP Web Jetadmin によって古いメッセージの削除が開始されます。**[デバイス管理] > [ツール] > [ログの表示]** ページからアラートのログを表示できます。

内蔵 Web サーバー ページ

一部のデバイスには、プロパティの表示およびデバイスの属性の設定を行うことができる内蔵 Web サーバー ページがあります。内蔵 Web サーバー ページでのみ設定できるオプションがあるデバイスもあります。デバイスの内蔵 Web サーバー ページにアクセスするには、デバイスの **[デバイス ステータス]** ページにアクセスし、コンテンツ ツールバーのドロップダウン リストから **[デバイスの Web ページ]** を選択します。HP Web Jetadmin には、各ブラウザ ウィンドウにデバイスの内蔵 Web サーバー ページが表示されます。

デバイスの内蔵 Web サーバーを表示して実行できる操作の詳細については、内蔵 Web サーバー ページを表示するブラウザ ウィンドウのヘルプを参照してください。

23 デバイスの検索

この章では、次の項目を説明します。

- [デバイス検索の概要](#)
- [クイック検索](#)
- [デバイス リスト検索](#)

デバイス検索の概要

HP Web Jetadmin は、ディスカバリを実行し、検出されたデバイスの情報をデバイス キャッシュに保存します。ディスカバリが完了すると、デバイス キャッシュを検索して特定のデバイスや特定の機能を持つデバイスを見つけることができます。デバイス キャッシュにないデバイスをネットワーク上で直接探すこともできます。つまり、ディスカバリの実行を待たずに、新しいデバイスで作業を開始できます。

ステータスなどのダイナミックな情報が必要な場合は、HP Web Jetadmin によって各デバイスにポーリングする必要があります。この検索では、情報を入手するために必要なディスカバリによって、ネットワーク トラフィックが増加します。検索に予想以上に時間がかかる場合は、詳細情報について、HP Web Jetadmin がデバイスにポーリングを行っている可能性があります。

クイック検索

[一覧表] 領域の **[クイック デバイス検索]** オプションを使用して特定のデバイスを検索します。このタイプの検索は、どのページが表示されていても使用できます。以下の情報を使用して、特定のデバイスを検索します。

- IP ホスト名 (hpb12345 など)
- IP アドレス (15.62.62.62 など)
- IPX アドレス (12345678.1234567890AB など)
- ハードウェア アドレス (1234567890AB など)

HP Web Jetadmin はデバイス キャッシュを検索します。HP Web Jetadmin がデバイスを検出すると、**[デバイス ステータス]** ページが表示されます。デバイス キャッシュでデバイスが検出されない場合は、ネットワークを検索します。

特定のデバイスをクイック検索するには

1. **[一覧表]** 領域で、**[クイック デバイス検索]** テキスト ボックスにデバイスのアドレスを入力します。



注記 複数のデバイスを検索するには、デバイスのアドレスをセミコロンで区切ります。

2. **[Go]** をクリックします。

デバイス リスト検索

[すべてのデバイス] ページやデバイス グループ内のデバイスのリストなどのデバイス リストを表示すると、特定のデバイスについてリストを検索できます。デバイス リストの任意の列に表示されるテキストの全部または一部の文字列を検索します。HP Web Jetadmin では検索条件に一致するデバイスを強調表示します。

検索結果は累積されます。たとえば、2 台のデバイスを検出する必要があり、それぞれのデバイスの IP アドレスがわかっているとします。最初の IP アドレスを検索します。HP Web Jetadmin でデバイス リスト内の該当するデバイスが強調表示されます。次に、2 番目の IP アドレスを検索します。HP Web Jetadmin で、最初のデバイスが強調表示されたまま、デバイス リスト内の該当するデバイスが強調表示されます。

デバイス リストを検索するには

1. デバイス リストを表示します。
2. コンテント ツールバーの **[検索/選択]** ツールをクリックします。
3. 表示されたダイアログ ボックスに、検索するデバイスの情報を入力します。
4. **[OK]** をクリックします。

24 デバイス リストの管理

この章では、次の項目を説明します。

- [デバイス管理の概要](#)
- [デバイス リスト表示](#)
- [カスタム表示](#)
- [リストのフィルタ](#)
- [リストのソート](#)
- [デバイス リストのエクスポート](#)
- [デバイス リストの印刷](#)

デバイス管理の概要

デバイス キャッシュ内のすべてのデバイスのリスト、またはデバイス グループ内のすべてのデバイスのリストを表示します。デバイス リストを表示すると、以下のタスクを実行できます。

- 表示の変更。表示ごとに、表示される情報の列が異なります。
- 列のいずれかを基準にしたデバイスのソート。特定のデバイスを見つけやすくします。
- デバイス リストに各デバイスのアイコンを表示
- ステータス インジケータの表示
- **[デバイス ステータス]** ページの表示
- デバイスの一時グループと固定グループの作成
- 現在のデバイス リストへの新規デバイスの追加
- ネットワークに存在しないがデバイス キャッシュに残っているデバイスの削除
- 特定のデバイスの情報またはデバイス リスト全体のリフレッシュ
- 現在のデバイスのリストの印刷
- デバイスの現在のリストをファイルにエクスポート。このファイルは、情報をソートしたり、レポートを生成したりするためにアプリケーションで開くことができます。
- **[フィルタ ツール]** を使用して、リストに表示されるデバイスを限定



注記 **[デバイス モデル]** 列が空白の場合、そのデバイスのモデル名は HP Web Jetadmin で認識できません。**[デバイス モデル]** 列に **[不明 (接続解除)]** と表示される場合は、HP Jetdirect プリント サーバーにプリンタが接続されていません。

デバイス リスト表示

HP Web Jetadmin には、デバイス リストの表示がいくつかあります。各表示には、デバイスに関するいろいろな情報が表示されます。HP Web Jetadmin の定義済み表示は以下のとおりです。

- **[デフォルト表示]** は、デバイスのモデル、ハードウェア アドレス、ポート番号、IP アドレス、IP ホスト名、および IPX 名を表示します。
- **[ステータスの表示]** は、デバイスのモデル、ハードウェア アドレス、ポート番号、デバイスの説明、ステータスの説明、ステータス レベルを表示します。
- **[詳細表示]** は、デバイスのモデル、ハードウェア アドレス、ポート番号、デバイスの説明、システム連絡先を表示します。
- **[アセットの表示]** は、デバイスのモデル、ハードウェア アドレス、ポート番号、デバイスの説明、システム連絡先、アセット番号、シリアル番号を表示します。
- **[Jetdirect の表示]** は、ハードウェア アドレス、ポート番号、HP Jetdirect モデル、HP Jetdirect ファームウェア リビジョン、システム連絡先、デバイスのモデルを表示します。
- **[ページ カウントの表示]** は、デバイスのモデル、IP アドレス、ポート番号、開始日、中間ページ カウント、合計ページ カウントを表示します。中間ページ カウントは、ページ カウントがゼロに設定された後に、プリンタが処理したページ数です。合計ページ カウントは、プリンタのテスト ページに表示されるページ カウントと同じです。一部のプリンタでは **[ページ カウントの表示]** はサポートされていません。表示されている開始時刻は、ホスト コンピュータの時計から取得しています。HP Web Jetadmin が実行されているホスト コンピュータと、Web ブラウザが実行されているクライアントは、異なるタイム ゾーンを使用している可能性があることに注意してください。
- **[エクスポート表示]** には、キャッシュに保存された情報の列のほとんどが表示されますが、必ずしもすべてではありません。この表示は、デバイス キャッシュからカンマ区切り値 (CSV) ファイルにデバイス情報をエクスポートする場合に便利です。

カスタム表示

HP Web Jetadmin の定義済みの表示の他に、必要な情報のみを表示するカスタム表示を作成できます。カスタム表示は、**[デバイス管理] > [管理設定] > [表示]** ページで作成します。カスタム表示を作成すると、その表示が **[表示]** ドロップダウンリストに表示されます。カスタム表示はどのようなリストにも適用できます。

一部のデバイス情報はデバイス キャッシュに保存されません。この情報を表示するには、HP Web Jetadmin はすべてのデバイスにポーリングを行う必要があります。これによって、ネットワーク トラフィックが増加することがあります。表示を作成するときに、デバイス キャッシュに保存されていないデバイス情報を含めた場合、このネットワーク トラフィックの増加によって、システムのパフォーマンスが低下することがあります。

カスタム表示は、レポートの生成にも使用します。たとえば、ページの使用状況に関するレポートを生成する場合は、**[中間ページ カウント]** 列と **[合計ページ カウント]** 列を表示に追加します。表示を作成したら、**[すべてのデバイス]** ページでその表示を選択し、その表示の情報をカンマ区切り値 (CSV) ファイルにエクスポートします。次に、サードパーティ製データベース レポート アプリケーションを使用して、CSV ファイル内の情報から、ページ使用状況に関するレポートを生成できます。

リストのフィルタ

多数のデバイスで構成されている大規模ネットワークの場合や、多数のデバイス グループを作成した場合、リストはとても長くなります。**[フィルタ ツール]**を使用してリストに表示される項目の数を減らすと、特定の項目を見つけやすくなります。**[フィルタ ツール]**にアクセスするには、デバイス リストを表示して、**[フィルタ]** アイコンをクリックします。

1 つのリストに複数のフィルタを指定します。フィルタ結果は累積されます。たとえば、リストをフィルタして、HP LaserJet 8000 プリンタのみを表示できます。次に、そのリストをフィルタして、IP ホスト名が NP で始まるプリンタのみを表示できます。

[詳細設定] ボタンを使用すると、フィルタ条件を詳細に定義するためのオプションのドロップダウン リストが表示されます。このオプションには、**[等しい]** や **[以上]** などがあります。たとえば、リストをフィルタし、1 分間に 17 ページ以上印刷するプリンタのみを表示できます。

リストをフィルタした後、フィルタを現在のブラウザ セッションに対してのみ保存するか、または永続的に保存することができます。保存したフィルタは、デバイスまたはグループのどのリストにも適用できます。

リストのソート

デバイス、デバイス グループ、サブグループ、またはデバイス グループ内のデバイスのリストをソートできます。リストをソートするには、ソートの基準にする列見出しをクリックします。リストは昇順でソートされます。降順でソートするには、列見出しを再びクリックします。

デバイス リストのエクスポート

デバイス リストを表示する任意のページから、カンマ区切り値 (CSV) ファイルにデバイス情報をエクスポートできます。デバイス リスト全体をエクスポートしたり、デバイス リストをフィルタして特定のデバイスの情報のみをエクスポートしたりすることができます。エクスポートする情報が含まれている表示を選択します。

デバイス情報をエクスポートすると、表計算ソフトウェアやサードパーティ製データベース レポート アプリケーションなどでそのファイルを開いたり、異なる項目を基準にして情報をソートしたり、レポートを作成したりすることができます。



注記 HP Web Jetadmin がエクスポートした情報を保存するローカル ディスクに対してアクセス権を持っている必要があります。

デバイス リストの印刷

デバイス リストを表示する任意のページから、デバイス情報を印刷します。この機能は【デバイス ツール】ドロップダウン リストにあります。デバイス リスト全体を印刷したり、デバイス リストをフィルタして特定のデバイスの情報のみを印刷したりすることができます。印刷する情報が含まれている表示を選択します。



注記 これは、ブラウザの【ファイル】メニューの【印刷】コマンドとは異なります。

25 デバイスとデバイス キャッシュの管理

この章では、次の項目を説明します。

- [デバイス キャッシュの概要](#)
- [ステータス ページ](#)
- [設定ページ](#)
- [プリント キューの作成](#)
- [診断情報](#)
- [プリント ジョブ ページ](#)
- [デバイス キャッシュの管理](#)
- [Device Application Manager](#)
- [デバイス テスト ページ](#)
- [デバイス リセット](#)
- [ログの表示](#)

デバイス キャッシュの概要

この章では次のデバイス関連の情報について説明します。

- **[デバイス ステータス]** ページの説明。このページにはサポートされる各デバイスの機能およびデバイスのステータスが表示されます。
- **[デバイス 設定]** ページの説明。このページには選択したデバイスに使用できる設定オプションが表示されます。
- **[キューの作成]** オプションの説明。このオプションは、プリント キューを作成するホスト コンピュータと、新しいプリント キューに関連付けるデバイスを指定するのに使用されます。
- **[デバイス 診断]** ページの説明。このページにはデバイスに関する詳細な情報が表示されます。この情報は、離れた場所からデバイスの問題を診断するために使用します。
- **[デバイス プリント ジョブ]** ページの説明。このページには、デバイスが処理したすべてのジョブのリストが表示されます。
- デバイス キャッシュの管理に使用する HP Web Jetadmin の機能の説明。
- Device Application Manager の説明。Device Application Manager は、個々のプリンタ上のデバイス アプリケーション、一時デバイス グループ内のプリンタ、またはデバイス グループ内のプリンタの管理に使用します。
- 内蔵 Web サーバー (EWS) の設定方法の説明。
- **[デバイス テスト ページ]** ページの説明。このページは、デバイスのテスト ページを印刷したり、ファイルを HP Web Jetadmin にアップロードし、デバイスに送信して印刷したりするのに使用されます。
- **[デバイス リセット]** ページの説明。このページには、デバイスのさまざまなリセット オプションが表示されます。
- **[ログの表示]** ページの説明。HP Web Jetadmin が管理するデバイスに対して行われたすべての操作の履歴が表示されます。



注記 また、デバイスのアラートとデバイスのハード ディスク ドライブまたはその他の消去可能なストレージ デバイスを管理することもできます。デバイス アラートの管理に関する詳細については、「[第 12 章 アラートの概要](#)」を参照してください。デバイスのハード ディスク ドライブまたはその他の消去可能なストレージ デバイスの管理に関する詳細については、「[デバイスのストレージ管理](#)」を参照してください。

ステータス ページ

HP Web Jetadmin では、サポートするデバイスごとに **[デバイス ステータス]** ページが表示されます。**[デバイス ステータス]** ページには、ワークステーションのある場所からデバイスを管理するために使用できる情報が表示されます。

特にヘルプ デスクの担当者は、**[デバイス ステータス]** ページを使用して各デバイスで使用できる機能とデバイスのステータスを調べることができます。たとえば、ユーザーからプリンタが作動しないという問い合わせがあった場合、ヘルプ デスク担当者は正確に問題を特定し、保守の依頼先を調べることができます。プリンタがオフラインである場合は、ヘルプ デスク担当者は自分のワークステーションからプリンタをオンラインに復帰させることができます。問題を直ちに解決できない場合、ヘルプ デスク担当者は特定のプリント ジョブに必要な機能を備えた社内の別のプリンタを使用するようにユーザーに指示できます。

[デバイス ステータス] ページには、デバイスに関する以下の情報が表示されます。



注記 デバイスの機能セット、デバイスの MIB に保存された情報、およびデバイスのファームウェア リビジョンによって、HP Web Jetadmin に表示される情報は異なります。

ステータス

このセクションには、デバイスのグラフィック イメージと、デバイスのステータスを示す停止信号型アイコンが表示されます。プリンタによっては、現在のプリンタ コントロール パネル メッセージと、プリンタのオンラインとオフラインをリモートで切り替えるためのアイコンも表示されます。

Java Status アプレットによって、デバイスのグラフィック イメージは定期的に現在のステータスに更新されます。ステータスが変わると、情報がすぐにわかるように、アプレットによって現在の状態と必要な処置が正確に表示されます。たとえば、プリンタの上部が開いている場合、**[デバイス ステータス]** ページに上部が開いたプリンタのグラフィックが表示されます。

デバイス情報

このセクションには、デバイスのモデル名、IP ホスト名、IP アドレス、IPX 名 (Windows システムの場合のみ)、ハードウェア アドレス、説明、およびシステム連絡先が表示されます。また、デバイスの機能のリストも表示されます。

HP Instant Support

HP Instant Support リンクは、デバイスの HP Instant Support Web サイトに接続します。ユーザーがリンクをクリックすると、HP Instant Support Web ページが表示されます。



注記 リンクをクリックすると、デバイスは自動的に HP Instant Support Web サイトに情報を送信して新しい Web ブラウザを開き、ユーザーは既存の問題を解決したり、デバイスの最適な使用方法に関する情報やヒントを取得したりできます。

注記 デバイスが HP Instant Support をサポートしていない場合は、リンクは表示されません。

トナー ゲージ

トナー ゲージは、プリンタのカートリッジ内のトナーまたはインクの残量を正確にパーセントで示します。トナー ゲージは、この機能をサポートする HP プリンタにのみ表示されます。また、HP 以外の標準プリンタ MIB 準拠のプリンタに対しても、トナー ゲージが表示される場合があります。

HP Web Jetadmin は、トナーとインクの残量を正確に測定する唯一のプリンタ管理ツールです。トナーゲージを使用して、プリンタのトナーまたはインクカートリッジの残量を離れた場所から監視します。この機能によって、カートリッジを事前に注文したり、取り換えたりすることができ、プリンタのダウンタイムを短縮してユーザーの生産性に対する影響を抑えることができます。

グループメンバシップ

このセクションは、デバイスがデバイスグループに属しているかどうかを示します。1つのデバイスが属するデバイスグループの数に制限はありません。また、デバイスが属するどのデバイスグループからもデバイスを削除できます。

設定ページ

HP Web Jetadmin では、サポートするデバイスごとに **[デバイス設定]** ページが表示されます。**[デバイス設定]** ページには、選択したデバイスに使用できるデバイス設定オプションが表示されます。HP Web Jetadmin を使用して、各デバイスをリモートで設定します。これにより、実際の場所でデバイスを設定するための時間が節約されます。この機能は、組織が複数のビルや場所にわたっている場合に特に便利です。



注記 複数のデバイスの設定については、「[第 26 章 複数デバイスの設定](#)」を参照してください。

[設定カテゴリ] セクションでさまざまなオプションを選択して、ページに表示される設定オプションのタイプを選択します。HP Web Jetadmin には、デバイスがサポートする設定オプションのみが表示されます。HP Web Jetadmin に表示される設定オプションのさまざまなカテゴリの例は次のとおりです。

- **[クイック設定]** - このカテゴリには、最も頻繁に使用する設定オプションが表示されます。**[クイック設定の編集]** ボタンをクリックして、このページに表示する設定オプションを選択します。
- **[デバイス]** - このカテゴリはデフォルトのカテゴリであり、デバイスの設定オプションが表示されます。



注記 **[デバイス管理] > [ツール] > [カスタム設定] > [ラベル]** ページで、カスタム設定オプションを作成します。

- **[ネットワーク]** - このカテゴリには、デバイスのネットワーク オプションが表示されます。IP アドレスやシステム名の設定など、ネットワーク オプションを指定します。
- **[セキュリティ]** - このカテゴリには、デバイスで設定するセキュリティ オプションが表示されます。デバイスのコントロール パネルへのアクセスや、パスワードに基づいたデバイスへのアクセスなど、デバイスのセキュリティ オプションを指定します。
- **[メディア管理]** - このカテゴリには、デバイスで有効または無効にできる用紙のタイプが表示されます。
- **[トレイ管理]** - このカテゴリには、デバイスの給紙トレイ指定が表示されます。用紙のサイズおよびタイプを給紙トレイに指定し、各トレイに入っている用紙の量を表示します。
- **[ワイヤレス]** - このカテゴリには、ネットワークにワイヤレス接続できるデバイスの設定オプションが表示されます。
- **[ファイル システム]** - このカテゴリには、デバイスのファイル システム仕様を設定するための設定オプションが表示されます。
- **[内蔵 Web サーバー]** - このカテゴリには、デバイスの内蔵 Web サーバーに関連する設定を行うための設定オプションが表示されます。「[内蔵 Web サーバーの設定](#)」を参照。
- **[大容量排紙モード]** - このカテゴリには、デバイスが排紙を指示する大容量排紙アクセサリを指定するための設定オプションが表示されます。
- **[リモート コントロール パネル]** - このカテゴリには、コントロール パネルのリモート パーシオンが表示されます。この機能をサポートしているデバイスは、HP LaserJet 5Si、4000、4050、4100、5000、5100、8000、8100、8150、HP Mopier 240 および 320、HP Color LaserJet 4500 および 4550 のみです。

内蔵 Web サーバーの設定

デバイスまたはデバイス グループの設定ページで内蔵 Web サーバー設定を行い、個々のプリンタまたはデバイス グループ内のプリンタの内蔵 Web サーバー パラメータを管理できます。デバイス グループのプリンタのパラメータ設定を管理することで、時間を節約し、各プリンタを個別に変更した場合に発生する可能性のあるエラーを防止できます。



注記 内蔵 Web サーバーを設定するには、HP Jetdirect 610n 以降がプリンタにインストールされている必要があります。

内蔵 Web サーバーを設定すると、次の作業を行うことができます。

- 内蔵 Web サーバーが設定情報を取得する URL を指定します。
- チェック ボックスを選択して、内蔵 Web サーバーのさまざまな機能をオンまたはオフにします。
- 内蔵 Web サーバーのパスワードを指定します。
- プリンタから電子メール メッセージを送受信するための電子メール設定を指定します。次の情報を使用して、電子メール設定を行います。
 - Internet Protocol (IP) アドレスは、TCP/IP ネットワークに接続されたデバイスのアドレスです。各デバイスが固有の IP アドレスを持っている必要があります。
 - Simple Mail Transfer Protocol (SMTP) サーバーは、SMTP メッセージをインターネット全体の電子メール サーバーに転送します。プリンタは電子メール サーバーを使用して電子メール通知を送信します。
 - ドメイン名は、Embedded Web Server Configuration Manager からの電子メール メッセージの送信先 (mycompany.co.jp など) を示します。通常、ドメイン名は IP アドレスで解決されます。ただし、すべてのデバイスがドメイン名を IP アドレスで解決できるわけではないため、ドメイン名と IP アドレスの両方が必要です。
 - Post Office Protocol 3 (POP3) は、インターネットで一般的に使用されている標準電子メールです。POP3 には、ユーザーがログオンしてメッセージをダウンロードするまで着信電子メールを保持しておくメッセージ保存機能があります。プリンタはこの電子メール サーバーを使用して着信電子メール メッセージを検索します。
- 内蔵 Web サーバーが Web ページを表示するときに使用する言語を指定します。たとえば、会社で使用している主要言語が英語でない場合は、サポートされている別の言語で Web ページを表示するように選択できます。
- 他の Web サイトへのリンクを指定します。この機能は Web サイトをブラウズするときに便利です。
- 時刻要求のためにプリンタが接続するネットワーク上のコンピュータを指定します。HP プリンタには内部クロックがないため、ネットワーク上の別のコンピュータに接続して、正確な時刻を要求する必要があります。



注記 パラメータを設定すると、[デバイス] セクションの下 [ツールボックス] にリストされているすべてのプリンタが影響を受けます。

デジタル送信設定

デジタル送信機能があるデバイスでは、スキャンした文書をデジタル画像に変換できます。その後、デジタル画像を添付文書として電子メール アドレスに直接送信することによって、文書を共有、保存、編集できます。

HP Web Jetadmin を使用して、1 つ以上のデバイスのデジタル送信設定をリモートで設定します。これにより、実際の場所でデバイスを設定するための時間が節約されます。単一デバイスの場合は、選択したデバイスがサポートする設定オプションのみが表示されます。複数デバイスの場合は、すべての設定オプションが表示されますが、個々のデバイスに関連するオプションだけが設定を保存したときに適用されます。

HP Web Jetadmin に表示される設定とオプションの例は次のとおりです。

- **[一般設定]** - これらの設定を使用して、管理者情報を指定します。デジタル送信デバイスに問題がある場合は、管理者に連絡する必要があります。
- **[電子メール設定]** - これらの設定を使用して、デジタル送信デバイスを電子メール サーバーに接続する方法と電子メールを作成および送信する方法を制御します。
- **[アドレス指定の設定]** - これらの設定を使用して、デジタル送信デバイスを LDAP サーバーに接続して、電子メール アドレス情報を検索する方法を制御します。
- **[アドレス ブック]** - このオプションを使用して、デジタル送信デバイスにアドレス ブックをインポートし、デバイスから電子メールを送信するときに電子メール アドレスの検索テーブルを指定できます。
- **[ログ]** - これらのオプションを使用して、単一デバイスのログ ファイルを表示できます。ログには、デジタル送信ジョブの情報とデバイスに関するエラー イベントが記録されます。
- **[環境設定]** - これらの設定を使用して、スキャナの設定およびタイムアウトの環境設定を制御します。タイムアウト設定では、ユーザーがコンソールで変更を行った後、保存された設定に戻るまでデジタル送信デバイスが待機する時間を指定します。

デバイス設定を保存およびロードしてデバイス設定のセットを作成し、新しいデバイスに適用したり、古いデバイスに再適用したりすることができます。**[設定をファイルに保存する]** オプションを使用して、他のデバイスに利用できるよう、現在選択されている設定をファイルに保存します。**[ファイルから設定をロードする]** オプションを使用して、以前に保存した設定をファイルからロードします。

FAX 設定

ファックス モデム内蔵のデジタル送信デバイスは、スキャンした文書をファックスとしてファックス番号に送信できます。FAX 設定では、デジタル送信デバイスがファックスを送信および受信する方法を制御します。

HP Web Jetadmin に表示される設定とオプションの例は次のとおりです。

- **[一般]** - これらの設定を使用して、モデムと呼び出し音のボリューム、ファックス イメージの上部にオーバーレイ ヘッダーを追加するかどうか、ファックス デバイスが JBIG 圧縮または ECM (エラー訂正モード) を使用するかどうかなどのファックスの詳細設定を指定します。
- **[モデム設定]** - これらの設定を使用すると、ユーザーはファックス対応のデジタル送信デバイスから、ファックスを直接送受信できます。

- **[送信]** - これらの設定を使用して、デジタル送信デバイスからのファックスの送信方法を設定します。ここでの設定によって、ファックス発信の際のデバイスからのダイヤル方法や、ファックス受信側の応答がない場合の動作が制御されます。
- **[受信]** - これらの設定を使用して、デジタル送信デバイスでファックスを印刷、配信するビン、ファックスをフォーマット化して印刷する方法、ファックス デバイスで着信呼び出しに応答するまでの呼び出し回数、別のファックス対応マシンにファックス文書を転送するかどうかを指定します。

プリント キューの作成

プリント キューは、ホスト コンピュータ上で、プリンタが利用可能になるまでプリント ジョブを保持する中心的なリソースです。**[キューの作成]** オプションを使用して、プリント キューを作成するホスト コンピュータと、新しいプリント キューに関連付けるデバイスを指定します。



注記 操作できるデバイス モデルは一度に 1 つだけですが、そのデバイス モデルの中でデバイスを何台でも選択できます。

Windows、HP-UX、Solaris、Linux、およびその他のサポート済みホスト タイプに、同じデバイスのプリント キューを作成します。複数のホスト タイプに同じデバイスのプリント キューを作成するには、各ホスト タイプでキュー作成プロセスを繰り返す必要があります。



注記 HP Web Jetadmin によって、プリント キュー管理ソフトウェアがインストールされていないプリント キュー ホスト コンピュータにソフトウェアが送られます。

診断情報

デバイスのコントロール パネルまたはテスト ページから問題を解決するための十分な情報が得られない場合、または離れた場所から問題を調査しなければならない場合は、**[デバイス診断]** ページで詳細な診断情報を入手できます。

[デバイス診断] ページには、以下のカテゴリの診断情報が表示されます。



注記 特定の HP Jetdirect プリント サーバーがサポートするプロトコルは異なることがあるため、表示されるカテゴリはインタフェース カードによって異なる場合があります。

- **[デバイス]** - このセクションには、デバイス、消耗品のステータス、自動言語切り替え、およびサポートされているプリンタ言語に関する一般情報が表示されます。
- **[Jetdirect]** - このセクションには、HP Jetdirect ファームウェアの一般情報、このデバイスが処理したネットワーク パケットの詳細情報、およびこのデバイスが処理した送受信 SNMP パケットの数が表示されます。
- **[TCP/IP]** - このセクションには、デバイスの TCP/IP 設定と各種プロトコルに関する一般情報が表示されます。
- **[NetWare]** - このセクションには、デバイスの NetWare 接続に関する情報が表示されます。デバイスが NetWare バインダリまたは NetWare NDS に対して設定されている場合、HP Jetdirect プリント サーバーにログインできます。このページに戻ると、HP Web Jetadmin の **[NetWare]** セクションにプリント キュー情報が表示されます。
- **[使用量メーター]** - このセクションには、トナー有効範囲、ページ計、使用量に関する情報が表示されます。このセクションは、プリンタでこの機能を使用できる場合にのみ表示されます。
- **[メディア情報テーブル]** - これらのテーブルには、デバイス給紙トレイの使用状況やカラーまたはモノクロの印刷ジョブ数など、メディアの使用状況に関する情報が表示されます。このセクションは、プリンタでこの機能を使用できる場合にのみ表示されます。
- **[プリンタ有効範囲の履歴]** - このテーブルには、過去のトナー有効範囲の使用状況に関する情報が表示されます。このセクションは、プリンタでこの機能を使用できる場合にのみ表示されます。

IPX/SPX ピアツーピア、EtherTalk、および Data Link Control/Logical Link Control (DLC/LLC) に対しては、接続ステータスの診断情報も表示されます。この情報は、これらの製品がサポートされていて接続されているかどうかを示します。

診断情報を使用して、資産の計画と管理を行います。たとえば、デバイスにハイ エンジン ページ カウントや多数の紙づまりなどの問題が表示された場合、デバイスに予防措置的な保守が必要な可能性があります。

プリント ジョブ ページ

[デバイス プリント ジョブ] ページには、デバイスが処理したすべてのジョブのリストが表示されます。プリント ジョブの履歴を使用して、デバイスの問題を解決します。たとえば、デバイスにジョブを送信したが、そのジョブが印刷されず、プリント ジョブ履歴のリストにも記載されていない場合は、ジョブがプリンタに到達しなかったことがわかります。

表示される情報の量は、ジョブの印刷に使用されたオペレーティング システムによって異なります。プリンタ ドライバまたはモニタから渡されない情報があると、その列は空白になります。

デバイス キャッシュの管理

このセクションには、デバイスのクリア、エージング、および確認に関する情報が含まれています。

デバイス キャッシュのクリア

ディスクバリの初回実行時に、HP Web Jetadmin によりネットワーク上にあるサポート デバイスがすべて検索され、それに関する情報が HP Web Jetadmin のホスト コンピュータに保存されるデバイス キャッシュに追加されます。その後は常にディスクバリの実行時やデバイスの検索時に、HP Web Jetadmin により新しい情報や更新情報がデバイス キャッシュに追加されますが、古くなった情報の削除は行われません。ネットワークからデバイスを削除した後も、デバイス キャッシュにはそのデバイスの表示が残ります。時間の経過とともに、デバイス キャッシュ内に古い情報が散乱するようになります。

デバイス キャッシュの内容全体をクリアするには、**[デバイス管理] > [デバイス キャッシュ] > [デバイス キャッシュのリセット]** ページを使用します。デバイス キャッシュをクリアしたら、ディスクバリを実行して新しいデバイス キャッシュを作成します。この新しいデバイス キャッシュにはネットワーク環境とサポート デバイスの現在の情報だけが記載されます。



注記 デバイス キャッシュをクリアした後は、ディスクバリを実行してできる限り早期に新しいデバイス キャッシュを作成することが重要です。デバイス キャッシュが利用できないと、**[クイック デバイス検索]** などが機能しません。

デバイス キャッシュ エントリのエージング

デバイス キャッシュ エントリのエージングにより、次のディスクバリ時の拡張更新に使用するデバイス キャッシュを作成することができます。HP Web Jetadmin によって、デバイス キャッシュのすべてのデータにフラグが表示され、古いことを示します。ディスクバリの次回実行時に、HP Web Jetadmin によって、更新ステータス、プロパティ、その他の情報が格納される新しいデバイス キャッシュが作成されます。

デバイス キャッシュ エントリをエージングするには、**[デバイス管理] > [デバイス キャッシュ] > [デバイス キャッシュのリセット]** ページを使用します。

デバイスの確認

HP Web Jetadmin によってネットワーク上で新しいデバイスが検出されると、**[デバイス管理] > [デバイス リスト] > [新しいデバイス]** ページに表示されるリストにそのデバイスが追加されます。ディスクバリの実行時に、HP Web Jetadmin では以前に検出された新しいデバイスがこのリストから削除されません。**[新しいデバイス]** ページからデバイスを削除するには、**[デバイス キャッシュ ツール]** ドロップダウン リストから **[デバイスの確認]** を選択してデバイスを確認します。

この機能を使用して、ネットワークの新規デバイスのみが **[新しいデバイス]** ページに表示されるようにすることができます。たとえば、各月の初めにディスクバリをスケジュールした場合は、新たに検出されたデバイスを表示して、リストにあるすべてのデバイスを確認できます。翌月の初めにディスクバリを実行すると、**[新しいデバイス]** ページにリストされたすべてのデバイスが前回のディスクバリ以降にネットワークに追加されています。



注記 **[新しいデバイス]** ページをリセットして、以前に確認されたすべてのデバイスを含めるには、**[デバイス管理] > [デバイス キャッシュ] > [デバイス キャッシュのリセット]** ページで確認済みデバイスのリストをクリアします。

Device Application Manager

個々のデバイスまたはデバイス グループ内のデバイス上のデバイス アプリケーションを管理するには、**[Device Application Manager]** ページにアクセスします。デバイス アプリケーションは、デバイス内蔵の仮想マシン上で動作する小さいアプリケーションで、機能をデバイスに追加する役目を持ちます。内蔵マシンは、アプリケーションやサービスを実行するための環境を提供します。デバイス グループのデバイス アプリケーションを管理することによって、時間を節約し、各デバイスを個別に変更した場合に発生する可能性のあるエラーを防止できます。



注記 Device Application Manager を使用するには、HP Jetdirect 610n 以降がデバイスにインストールされている必要があります。

デバイス グループ内の 1 台のデバイスに限ってデバイス アプリケーションを管理する場合があります。たとえば、デバイス グループ内のデバイスをリセットしたり、設定を変更したりする場合は、デバイスを直接ブラウズして、**[Device Application Manager]** ページを使用し、デバイス グループ全体を変更する代わりに、そのデバイスにデバイス アプリケーションをインストールできます。

Device Application Manager では、次の作業を行います。

- 個々のデバイスまたはデバイス グループ内のデバイスにインストールされているデバイス アプリケーションを表示します。
- HP Web Jetadmin ホスト コンピュータ上で Device Application Manager によって実行されたすべてのトランザクションの履歴を表示します。ただし、手動で削除されたデバイス アプリケーションはアクティビティ ログに表示されません。
- 新しいデバイス アプリケーションをインストールします。
- デバイス アプリケーションを削除します。

Device Application Manager の処理は、完了するまでに長時間かかる場合があります。待っている間に、HP Web Jetadmin または他のアプリケーションで他の作業を行うことができます。Device Application Manager の処理が完了したら、**[アクティビティ ログ]** ページから Device Application Manager ジョブを取得できます。

次のいずれかの方法で **[アプリケーション マネージャ]** ページにアクセスします。

- デバイスの **[デバイス ステータス]** ページで、コンテンツ ツールバーのドロップダウン リストから **[Application Manager]** を選択します。このオプションは、Device Application Manager の機能をサポートするデバイスにのみ表示されます。
- **[デバイス管理] > [デバイス リスト] > [すべてのデバイス]** ページで、リストからデバイスを選択します。**[デバイス ツール]** ドロップダウン リストから **[Application Manager]** を選択します。
- **[デバイス管理] > [デバイス グループ] > [グループ名]** ページで、リストからデバイスを選択します。**[デバイス ツール]** ドロップダウン リストから **[Application Manager]** を選択します。

アクティビティ ログの表示

[アクティビティ ログ] ページには、HP Web Jetadmin ホスト コンピュータ上で Device Application Manager によって実行されたすべてのジョブの履歴が表示されます。アクティビティ ログは HP Web Jetadmin のホスト コンピュータのジョブを管理する共有リソースです。デバイス アプリケーションのインストールなどのタスクを実行する前に、必ずアクティビティ ログを確認してください。実行したタスクは、HP Web Jetadmin のホスト コンピュータのすべての Device Application Manager ユーザーに影響を及ぼします。



注記 手動で削除されたジョブは **[アクティビティ ログ]** ページに表示されません。

アクティビティ ログはサーバーをベースにしているため、各ユーザーが行っている作業を知ることで潜在的な競合を解決できます。たとえば、別のユーザーがインストールしたデバイス アプリケーションを削除すると、各トランザクションが記録されます。

各ジョブについて、次の情報が表示されます。

- **[ジョブ ID]** - ジョブの固有の識別子が表示されます。**[ジョブ ID]** カラムのリンクをクリックして、特定のジョブにアクセスします。
- **[説明]** - ジョブの簡単な説明が表示されます。
- **[所有者]** - ジョブを開始したアプリケーション プラグインの名前が表示されます。ほとんどの場合、これは Device Application Manager です。ただし、Device Application Manager は他の HP Web Jetadmin アプリケーション プラグインにもサービスを提供しているため、これらのアプリケーション プラグインがこのセクションに表示される場合があります。
- **[デバイス]** - ジョブ用に選択したデバイスの数が表示されます。
- **[状態]** - ジョブの状態が表示されます。ジョブの状態は次のいずれかです。



注記 Device Application Manager の処理は、完了するまでに長時間かかる場合があります。待っている間に、HP Web Jetadmin または他のアプリケーションで他の作業を行うことができます。Device Application Manager の処理が完了したら、**[アクティビティ ログ]** ページから Device Application Manager ジョブを取得できます。

- **[中止]** - HP Web Jetadmin または Device Application Manager がシャットダウンされたとき、ジョブは完了していませんでした。
- **[保留中]** - ジョブは作成され、実行キューに入れられています。サーバー リソースが利用可能になるまで、ジョブは待機中です。
- **[実行中]** - ジョブは実行中です。



注記 **[保留中]** または **[実行中]** 状態のジョブは、ジョブのチェック ボックスをオンにし、**[停止]** をクリックしてキャンセルします。

- **[キャンセルしています]** - ジョブをキャンセルしています。ジョブが **[保留中]** または **[実行中]** 状態のときに、ユーザーが **[アクティビティ ログ]** ページの **[停止]** をクリックしました。
- **[印字可]** - ジョブは 2 段階で処理されます。ジョブが **[印字可]** 状態のときは、処理の第 1 段階が完了しています。ジョブが **[完了]** 状態になるまで、処理は続行されています。
- **[完了]** - ジョブの処理が完了しました。



注記 **[完了]** または **[印字可]** 状態のジョブは、ジョブのチェック ボックスをオンにし、**[削除]** をクリックして削除します。

デバイスごとのデバイス アプリケーションの表示

[リスト] ページには、選択したデバイス、その IP アドレスとステータス、およびそのデバイスにインストールされているすべてのデバイス アプリケーションのリストが表示されます。



注記 [ジョブの状態] が [完了] になるまで、[リフレッシュ] をクリックします。ジョブが完了するまで、時間がかかる場合があります。ジョブが [完了] 状態になると、[リフレッシュ] は表示されません。

[リスト] ページには次の情報が表示されます。

- [ジョブ ID] - ジョブの固有の識別子が表示されます。
- [ジョブの状態] - デバイス アプリケーションと Device Application Manager の関係を示します。ジョブの状態は次のいずれかです。
 - [未インストール] - デバイスでデバイス アプリケーションのインストールがサポートされていますが、デバイス アプリケーションは現在インストールされていません。
 - [サポートされていません] - デバイスでデバイス アプリケーションのインストールがサポートされていないか、またはサポートされている内蔵 Web サーバーがデバイスにありません。
 - [接続されていません] - デバイスが接続されていません。
 - [保留中] - ジョブは作成され、実行キューに入れられています。サーバー リソースが利用可能になるまで、ジョブは待機中です。
 - [実行中] - ジョブは実行中です。
 - [キャンセルしています] - ジョブをキャンセルしています。ジョブが [保留中] または [実行中] 状態のときに、ユーザーが [アクティビティ ログ] ページの [停止] をクリックしました。
 - [完了] - ジョブの処理が完了しました。
- [デバイス カウント] - そのジョブ用のデバイスの数が表示されます。数字のリンクをクリックすると、各デバイスのモデル名および IP アドレスがリストされたウィンドウが表示されます。

デバイス アプリケーションのインストール

[インストール] ページには、個々のデバイスまたはデバイス グループ内のデバイスにインストールできるすべてのデバイス アプリケーションのリストが表示されます。このページに表示されるアプリケーションは、すべて HP Web Jetadmin ホスト コンピュータ上にあります。HP Web Jetadmin に新しいデバイス アプリケーションや更新されたデバイス アプリケーションをアップロードする場合は、[デバイス アプリケーションのアップロード] 機能を使用します。目的のデバイス アプリケーションがこのページに表示されたら、デバイスまたはデバイス グループにデバイス アプリケーションの新しいバージョンまたは更新されたバージョンを選択およびインストールすることができます。



注記 一部のデバイスでは、デバイス アプリケーションをインストールする前にパスワードを要求される場合があります。パスワードが必要なためにデバイス アプリケーションをインストールできない場合は、デバイスまたはデバイス グループの [設定] ページでデバイスのパスワードを設定します。

各デバイスの正確なデバイス アプリケーション バージョンがわかる必要はありません。HP Web Jetadmin がデバイス アプリケーションをインストールする場合、Device Application Manager が、HP Web Jetadmin ホスト コンピュータの正確なデバイス アプリケーション バージョンを自動的に検出し、該当するアプリケーションをデバイスにインストールします。たとえば、10 台のデバイスを更新する場合、Device Application Manager は各デバイスの正確なバージョンを検出して、各デバイスに該当するバージョンをインストールします。



注記 デバイス アプリケーションに、HP Web Jetadmin ホスト コンピュータにアップロードされていない依存アプリケーションがある場合は、アプリケーションはデバイスにインストールされません。たとえば、デバイス アプリケーション "A" が別のデバイス アプリケーション "B" を参照していて、"B" が HP Web Jetadmin ホスト コンピュータ上にない場合は、"A" はインストールされません。

[インストール] ページには次の情報が表示されます。

- **[ジョブ ID]** - ジョブの固有の識別子が表示されます。
- **[ジョブの状態]** - デバイス アプリケーションと Device Application Manager の関係を示します。
- **[デバイス カウント]** - そのジョブ用のデバイスの数が表示されます。数字のリンクをクリックすると、各デバイスのモデル名および IP アドレスがリストされたウィンドウが表示されます。

インストール結果の表示

[インストール結果] ページには、個々のデバイスまたはデバイス グループ内のデバイスに対するインストール プロセスの結果が表示されます。このページを使用して、Device Application Manager によって個々のデバイスまたはデバイス グループ内のデバイスにデバイス アプリケーションが正常にインストールされたことを確認します。このページをもう一度表示する必要がある場合は、**[アクティビティ ログ]** ページの **[ジョブ ID]** カラムにあるリンクをクリックします。

インストールの完了後、次のいずれかの結果が各デバイスのセクションの下に表示されます。

- **[インストール済み]**
- **[未インストール]**
- **[許可されていません]**



注記 結果が **[許可されていません]** の場合は、HP Web Jetadmin の **[デバイス設定]** ページで **[コマンドのロードと実行]** チェック ボックスがオフになっています。

- **[認証が必要です]**
- **[ローダーなし]**



注記 結果が **[ローダーなし]** の場合は、ローダー ページが見つからないか、内蔵 Web サーバーが無効です。

デバイス アプリケーションの削除

[削除] ページには、デバイスにインストールされているデバイス アプリケーションのリストが表示されます。**[削除]** ページを使用して、個々のデバイスまたはデバイス グループ内のデバイスからデバイス アプリケーションを削除します。



注記 システム デバイス アプリケーションは削除することができません。影付きチェック ボックスは選択できません。

[削除] ページには次の情報が表示されます。

- **[ジョブ ID]** - ジョブの固有の識別子が表示されます。
- **[ジョブの状態]** - デバイス アプリケーションと Device Application Manager の関係を示します。
- **[デバイス カウント]** - そのジョブ用のデバイスの数が表示されます。数字のリンクをクリックすると、各デバイスのモデル名および IP アドレスがリストされたウィンドウが表示されます。

デバイス アプリケーションの削除結果の表示

[削除結果] ページには、デバイス グループ内の選択したデバイスに対する削除プロセスの結果が表示されます。Device Application Manager によってデバイス グループ内の個々のデバイスからデバイス アプリケーションが正常に削除されたことを確認します。このページをもう一度表示する必要がある場合は、**[アクティビティ ログ]** ページの **[ジョブ ID]** カラムにあるリンクをクリックします。

デバイス テスト ページ

[**デバイス テスト ページ**] から、デバイスのテスト ページを印刷できます。HP Web Jetadmin では、デバイスまたは HP Jetdirect 外付けプリント サーバーに SNMP 要求を送信し、設定 ページなどのテスト ページを印刷します。この方法でテスト ページを印刷することは、デバイスのコントロール パネルから設定 ページを印刷することや、HP Jetdirect 外付けプリント サーバーで [**テスト**] を押すことと同じです。ただし、テスト ページをリモートで印刷すると、実際にデバイスのある場所まで行く時間を節約できます。たとえば、複数の建物に分かれている場所でデバイスを管理する場合、テスト ページをリモートで起動し、離れた場所にいるユーザーにテスト ページを確認してもらうことができます。

また、[**デバイス テスト ページ**] にファイルをアップロードし、デバイスに送信して印刷することもできます。これは、デバイスが特定の問題を印刷または解決できるかどうかをテストするための別の方法です。たとえば、ユーザーからあるファイル タイプの印刷における問題が報告された場合、その特定のファイルまたはファイル タイプをアップロードし、デバイスに送信して印刷できます。

デバイス リセット

[デバイス リセット] ページで、デバイスをリモートでリセットできます。デバイスをリモートでリセットすると、デバイスがある場所まで行く時間を節約できます。これは、組織が複数の建物や場所に分散している場合に特に便利です。

デバイス リセットのオプションは次のとおりです。

- **[プリンタ電源再投入]** - このオプションは、デバイスを再起動し、デバイスのすべての設定を再初期化します。このオプションは、PostScript エラーやメモリ オーバーラン エラーなど一部のエラーをクリアするときに役立ちます。
- **[プリンタの工場設定デフォルト値へのリセット]** - このオプションを使用すると、デバイスの設定を工場設定のデフォルト値に戻すことができます。設定を変更した後、デフォルト設定からやり直す場合は、デバイスを工場出荷時のデフォルトに戻します。

ログの表示

この **[デバイス管理] > [ツール] > [ログの表示]** ページには、HP Web Jetadmin が HP Web Jetadmin ホスト コンピュータで実行したすべての操作の履歴が表示されます。このページには、次の情報が表示されます。

- HP Web Jetadmin が行った操作の種類
- 操作のステータス
- 操作の結果

このページの情報を利用して、操作が完全に、および正常に実行されたかどうかを確認してください。操作が失敗した場合は、**[ログの表示]** ページのリンクをクリックして、操作の詳細な結果を表示してください。結果ページには、問題を解決し操作を正常に処理するときに役立つトラブルシューティング情報が表示されます。

26 複数デバイスの設定

この章では、次の項目を説明します。

- [複数デバイスの設定](#)
- [デバイス グループのパッチ設定](#)
- [インポート ファイルの設定](#)

複数デバイスの設定

複数デバイス設定機能を使用して、いくつかのデバイスを選択し、選択したすべてのデバイスに対するオプションを一括して変更します。たとえば、いくつかのデバイスに同じパスワードを割り当てることができます。複数デバイスの設定機能は、**[デバイス管理] > [ツール] > [複数デバイス設定]** ページで使用できます。この機能は、HP Jetdirect プリント サーバーを介して接続されたプリンタでのみ使用できます。

ネットワークのパフォーマンスに悪影響が及ばないよう、他のネットワーク トラフィックが最少であると予想される間隔と時点を指定して複数デバイス設定が自動実行されるようにスケジュールできます。デバイスが設定操作中に HP Web Jetadmin に応答しない場合、そのデバイスは HP Web Jetadmin によって失敗した設定操作のリストに追加されます。HP Web Jetadmin が、**[デバイス管理] > [管理設定] > [デバイス設定]** ページのリスト上にあるデバイスの設定を試みる回数および頻度を指定できます。HP Web Jetadmin は、リスト上にある各デバイスが指定された設定再試行回数に達するか、すべてのデバイスが正常に設定されるまで設定を試みます。

デバイスは、TCP/IP アドレスがあるか、または IPX/SPX および TCP/IP 設定が行われていれば、ローカル サブネット上にあってもリモート サブネット上にあっても構いません。HP Web Jetadmin は、SNMP コマンドを使用してオプションを設定します。

選択したデバイスの設定するオプションは、すべて同一になります。つまり、デバイスごとに同じ情報を繰り返し入力するのではなく、数分間で情報を一度入力したらすべてのデバイスに適用されます。また、HP Jetdirect プリント サーバーでネットワークに接続された複数のプリンタに対して、同じ情報が正しく確実に入力されます。



注記 **[デバイス管理] > [ツール] > [カスタム設定] > [ラベル]** ページで、カスタム設定オプションを作成します。

以下に、複数のデバイスに設定できるオプションの一部を示します。

- サブネット マスク
- デフォルトのゲートウェイ
- システム連絡先
- デバイスのパスワード
- フロント コントロール パネルのロック
- 説明
- 大容量排紙モード
- HP Jetdirect のアラート通知
- 統合化 URL (内蔵 Web サーバーの場合)
- IPX SAP ブロードキャスト インターバル
- プロトコル
- 設定コミュニティ名 (セキュリティ オプション)
- 中間ページ カウント
- ステータス ページ言語

選択したデバイスのいずれかが特定のオプションをサポートしない場合も、このオプションは HP Web Jetadmin に表示されます。たとえば、HP LaserJet 5Si プリンタの大容量排紙アクセサリを備えたものと備えていないものを選択すると、HP Web Jetadmin の **[複数デバイス設定]** ページに **[大容量排紙モード]** オプションが表示されます。

複数デバイス設定機能を使用して、デバイス グループに IP アドレスの範囲を割り当てます。HP Web Jetadmin は、デバイスがリストに表示される順番で IP アドレスを割り当てます。特定のデバイスにどのアドレスを割り当てるかを詳細に制御したい場合は、各デバイスの **[デバイス設定]** ページを使用して IP アドレスを割り当てます。



注記 HP Web Jetadmin を使用して、標準プリンタ MIB に準拠しているサードパーティ製デバイスの一部の設定を指定することができます。ベンダから、HP Web Jetadmin を使用して追加設定を行うためのアプリケーション プラグインが提供されていることがあります。詳細については「[サードパーティ ベンダー製品のサポート](#)」を参照してください。

複数デバイス設定機能を使用して設定できるオプションのうち IPX SAP ブロードキャスト インターバルとプロトコル スタックの 2 つについては、さらに詳しく説明する必要があります。

IPX SAP ブロードキャスト インターバル

デフォルトの設定では、HP Jetdirect プリント サーバーは、SAP (Service Advertising Protocol) ブロードキャストを 60 秒ごとに送信します。これは、一部の Novell NetWare 環境で、HP Jetdirect プリント サーバー サービスを探すために必要です。NDPS (Novell 分散プリント サービス) を使用する Novell ネットワークまたは SAP ブロードキャストを必要としないその他のネットワークでは、HP Jetdirect の SAP ブロードキャストを無効にします。

NDPS に組み込まれた HP Printer Gateway には、HP Web Jetadmin が HP Jetdirect プリント サーバーをネットワーク上に検出した後に SAP ブロードキャストを無効にするオプションがあります。HP Printer Gateway をアンインストールすると、他のオプションによって SAP ブロードキャストが有効になります。SAP ブロードキャストが無効になっている HP Jetdirect プリント サーバーを検出するには、HP Web Jetadmin のディスカバリ方法を特別に設定する必要があります。IPX SAP ブロードキャスト インターバルをゼロに設定すると、SAP ブロードキャストが無効になります。

プロトコル スタック

複数デバイス設定機能を使用して、HP Jetdirect プリント サーバーが使用するプロトコルの有効/無効を切り替えます。HP Jetdirect プリント サーバーが使用していないプロトコルを無効にする場合もあります。たとえば、AppleTalk および DLC プロトコルは、HP Jetdirect プリント サーバーではデフォルト設定で有効になっていますが、多くのネットワークでは使用されていません。未使用のプロトコルをそのままにしても弊害はありませんが、無効にすることで以下のような利点が考えられます。

- ネットワーク パフォーマンスが多少向上します。
- 各ユーザーが直接接続するのではなく、集中的にプリント サービスにアクセスすることになるため、セキュリティおよび制御の手段が追加されます。たとえば、Macintosh ユーザーは、プリンタとの直接 AppleTalk 接続をセットアップできませんが、TCP/IP または IPX/SPX を使用して集中的なプリント サービスにアクセスできます。

デバイス グループのバッチ設定

デバイス グループのバッチ設定機能を使用して、1 つのデバイス グループのすべてのデバイスのオプションを一括して設定します。たとえば、すべてのデバイスの担当者の名前を一括して変更できます。デバイス グループのバッチ設定機能によって、デバイスごとに選択してオプションを入力する必要がなくなり、時間を節約し、入力ミスを減らすことができます。

[複数デバイス設定] ページで **[デバイス モデル サブセット]** ドロップダウン リストがデバイス リストの上に表示されます。表示される設定オプションは、ドロップダウン リストから選択するものによって異なります。たとえば、**[リストの全デバイス モデル]** を選択すると、すべてのデバイスに共通するオプションのみが表示されます。特定のモデルを選択すると、そのモデルに設定できるすべてのオプションが表示されます。

選択したデバイスのいずれかが特定のオプションをサポートしない場合も、このオプションは HP Web Jetadmin に表示されます。たとえば、HP LaserJet 5Si プリンタの大容量排紙アクセサリを備えたものと備えていないものを選択すると、HP Web Jetadmin の **[複数デバイス設定]** ページに **[大容量排紙モード]** オプションが表示されます。



注記 HP Web Jetadmin を使用して、標準プリンタ MIB に準拠しているサードパーティ製デバイスの一部の設定を指定することができます。ベンダから、HP Web Jetadmin を使用して追加設定を行うためのアプリケーション プラグインが提供されていることがあります。詳細については「[サードパーティ ベンダー製品のサポート](#)」を参照してください。

インポート ファイルの設定

CSV (カンマ区切り値) ファイルを HP Web Jetadmin にインポートして、HP Web Jetadmin で検出されたデバイスのデバイス情報を設定できます。CSV ファイルをインポートすると、デバイスの基本デバイス情報を手動で入力する必要はありません。

また、HP Web Jetadmin に表示されるカスタム デバイス情報もインポートできます。たとえば、建物内のデバイスの場所について説明したデバイス リストの列を作成することができます。



注記 CSV ファイルからカスタム情報をインポートする前に、**[デバイス管理] > [ツール] > [カスタム設定] > [ラベル]** ページでカスタム ラベルを作成します。カスタム ラベルは、CSV ファイルのカスタム見出しと一致している必要があります。

注記 CSV ファイルを作成するには、テキスト エディタまたはスプレッドシート ドキュメントに情報を入力し、サードパーティ製プログラムを使用してドキュメントを作成するか、または **[デバイス管理] > [デバイス キャッシュ] > [パラメータのエクスポート]** ページで HP Web Jetadmin からファイルをエクスポートします。

CSV ファイルの最初の列には、次のいずれかの識別情報が含まれている必要があります。

- ハードウェア アドレス
- IP アドレス
- IP ホスト名

CSV ファイルの 2 番目の列には、ポート番号が含まれている必要があります。CSV ファイルのポート番号列の見出しは、**Port** である必要があります。

また、ハードウェア アドレス、ポート、場所などのヘッダー行が含まれている必要があります。その他にこのファイルには、1 つ以上のデータ行も含まれている必要があります。データ値は、ヘッダー行の見出しに直接対応していなければなりません。たとえば、"0001E636B7C1,1,Building 2" という値はそれぞれハードウェア アドレス、ポート、場所に対応しています。

HP Web Jetadmin は、**[デバイス管理] > [デバイス リスト] > [すべてのデバイス]** ページのデバイス リストで、CSV ファイル内のハードウェア アドレスとポート番号に一致するデバイスを検索します。HP Web Jetadmin でデバイスが検出されると、CSV ファイルで指定されている値がデバイスに転送されます。値が CSV ファイルにない場合、デバイスの設定は変更されません。

HP Web Jetadmin に CSV ファイルをインポートすることによって検出済みデバイスに割り当てることができる値のリストは次のとおりです。

- アセット番号 - 組織の会計システムに基づいてデバイスを識別します。
- 説明 - デバイスがある場所や機能など、デバイスについての説明です。
- システム連絡先 - デバイスの所有者や管理責任者の名前です。
- システム名 - HP Jetdirect プリント サーバーのシステム名 (ホスト名) を指定します。
- IPX 名 - IPX/SPX 環境で稼働しているプリンタの名前を指定します。
- ローカル管理アドレス (LAA) - このオプションを使用して、トークン リングを使用する HP Jetdirect プリント サーバーのメディア アクセス コントロール (MAC) アドレスを指定します。ローカル管理アドレスは、トークン リングを使用する HP Jetdirect プリント サーバーでのみサポートされます。デバイスの読み取り専用メモリには、ネットワーク デバイスのメーカー

によって MAC アドレスがあらかじめ設定されています。ほとんどのトークン リング ネットワーク デバイスの MAC アドレスは変更することができます。



注意 潜在的な問題を回避するため、未使用のアドレスを設定してください。

- デフォルトのコピー部数 - このオプションは、各プリント ジョブで印刷されるデフォルトのコピー部数を指定します。
- デフォルトの部数 - このオプションは、各コピー ジョブで印刷されるデフォルトのコピー部数を指定します。
- TCP アイドル タイムアウト - このオプションは、トラフィックがなくなってから、TCP/IP 接続が切れるまでの時間を指定します。
- キュー サーバー ジョブ ポーリング間隔 - このオプションは、HP Jetdirect プリント サーバーが、Novell のプリント キューにある印刷可能なジョブをチェックする間隔を指定します。
- ジョブ タイムアウト - このオプションは、ジョブの正常な終了が検出されなかった場合に、プリント サーバー カードが、現在のネットワーク プロトコルから別のネットワーク プロトコルに切り替わる前に経過する最大休止時間 (秒数) を表す値を指定します。指定できる最小時間は、ゼロ (0) 秒です。指定できる最大時間は、3600 秒です。
- 設定コミュニティ名 - このオプションは、デバイスのパスワードとは異なる設定コミュニティ名を指定します。設定コミュニティ名によって、権限のないユーザーが SNMP ユーティリティを使用してデバイス設定にアクセスしたり変更したりするのを防止できます。
- アクセス コントロール リスト - このオプションは、デバイスにアクセスできるネットワークの IP アドレスを指定します。リストは、最大 10 のエントリをサポートします。リストが空の場合は、システムはアクセス可能です。

CSV ファイル形式の例は次のとおりです。



注記 値にカンマがある場合は、値を引用符で囲みます。デバイスの設定を変更しない場合は、ファイルにカンマを入力し、値は入力しないでください。

ハードウェア アドレス,ポート,IPX 名,アセット番号,説明,システム連絡先,システム名
0001E636B7C1,1,Color,J127," Location:Building 2, lower" ,Administrator,System A
0001D877B7C2,1,,," Location:Building 2, lower" ,,System A



注記 CSV ファイルの 1 行の最大文字数は 256 文字です。

27 ファームウェアの更新

この章では、次の項目を説明します。

- [ファームウェア更新の概要](#)
- [ファームウェアのダウンロード](#)
- [ファームウェアの更新](#)

ファームウェア更新の概要

HP Web Jetadmin ファームウェアの更新機能を使用すると、ネットワークを介して HP Jetdirect プリント サーバーとデバイスを新機能に更新できます。ファームウェアの更新では、ハードウェアを変更しないで、利用可能な新機能を追加できます。現在の投資を無駄にせずに、進歩しているテクノロジーの最新のツールや機能を利用することができます。



注記 ファームウェアの更新がサポートされていない場合、HP Web Jetadmin にデバイス ファームウェアを更新するオプションは表示されません。

ネットワークを介してファームウェアをアップグレードする機能は、HP Download Manager と呼ばれる別のユーティリティから利用可能です。ただし、これを利用するには、オペレーティング システムごとに別のユーティリティをロードする必要があります。HP Web Jetadmin の統合ファームウェア ダウンローダによって、Web サイト上で最新のファームウェア リビジョンを検索し、あらゆるプラットフォームでファームウェアを更新できるので、プロセスが簡素化されます。HP Web Jetadmin からファームウェア ダウンローダにアクセスするため、別のユーティリティを実行する必要がありません。一度に 1 台のデバイスまたは複数のデバイスを更新することができます。



注記 HP Web Jetadmin ではサードパーティ製ファームウェアの更新をサポートしていません。

ファームウェアのダウンロード

ファームウェア イメージ ファイルは、HP Jetdirect プリント サーバーまたはデバイスのファームウェアを更新する前に、HP Web Jetadmin ホスト コンピュータにダウンロードする必要があります。新しいファームウェア イメージ ファイルにアクセスする方法は次のとおりです。

- HP Web Jetadmin を使用して、HP Web サイトから HP Web Jetadmin ホスト コンピュータにファームウェアを自動的にダウンロードする。
- HP Web サイトから HP Web Jetadmin ホスト コンピュータにファームウェアを手動でダウンロードする。

ファームウェアの自動ダウンロード

HP Jetdirect プリント サーバーまたはデバイスのファームウェアより新しいファームウェア バージョンが HP Web Jetadmin ホスト コンピュータにない場合、HP Web Jetadmin は HP Web サイトに接続して最新のバージョンをダウンロードできます。HP Web Jetadmin は、このリストと既にホスト コンピュータ上にあるファームウェア リビジョンを比較します。既にホスト コンピュータにあるファイルにはアスタリスク (*) が付けられます。これによって、新しいイメージを簡単に確認できます。

Web からファームウェアをダウンロードする前に、次の必要条件が満たされていることを確認します。

- HP Web Jetadmin が稼働しているコンピュータからインターネットにアクセスできる必要があります。
- **[一般設定] > [HTTP (Web)]** ページで以下の設定を指定する必要があります。
 - **[HTTP ダウンロード使用可能]** チェック ボックスをオンにします。
 - HTTP プロキシ サーバーを使用して、HP の Web サイトにアクセスしている場合、HTTP プロキシ サーバーの URL とポート番号を指定します。
 - プロキシ認証を使用する場合は、ユーザー名とパスワードを指定します。

ファームウェアの手動ダウンロード

HP Web サイトからファームウェアを自動的にダウンロードしない場合は、ファームウェア イメージ ファイルを手動でダウンロードできます。HP Jetdirect ファームウェア イメージは、HP Web サイト (http://www.hp.com/go/webjetadmin_firmware) にあります。HP Jetdirect ファームウェア ファイルには、*.dld のファイル拡張子が付いています。デバイス ファームウェア イメージは、特定のデバイス モデルのサポート ページにあります。通常、*.rfu のファイル拡張子が付いています。

次の HP Web Jetadmin ディレクトリのいずれかにファームウェア ファイルをコピーします。

- HP Jetdirect プリント サーバーのファームウェア ファイルの場合は、<ドライブ>:\Program Files\HP WebJetadmin\doc\plugins\hpjwja\firmware\jetdirect にファイルをコピーします。
- デバイス ファームウェア ファイルの場合は、<ドライブ>:\Program Files\HP WebJetadmin\doc\plugins\hpjwja\firmware\printer にファイルをコピーします。

ファイルが正しいディレクトリにコピーされると、HP Web Jetadmin はファイルを HP Jetdirect プリント サーバーまたはデバイス ファームウェア イメージ ファイルとして認識します。その後、HP Web Jetadmin を使用して、デバイス、デバイスのグループ、または HP Jetdirect プリント サーバーのファームウェアを更新できます。

ファームウェアの更新

HP Web Jetadmin ホスト コンピュータでは、ローカル ディレクトリを検索して、該当する HP Jetdirect プリント サーバーまたはデバイスの最新のファームウェア リビジョンを検出します。ファームウェア更新ファイルには、対応する HP Jetdirect プリント サーバーまたはデバイスと、含まれているリビジョンに関する情報が記載されています。HP Web Jetadmin は、この情報を自動的に評価します。新しいファームウェア ファイルを使用するのに、その他の設定は必要ありません。

新しいファームウェア イメージ ファイルが検出されたら、HP Web Jetadmin を使用して、プリント サーバー、デバイス、またはデバイスのグループを更新できます。デバイスが通常使用されない時間帯にファームウェア更新が実行されるようにスケジュールすることもできます。または、デバイス ファームウェアをすぐに更新できます。デバイスがバッチ ファームウェア更新操作中に HP Web Jetadmin に応答しない場合、そのデバイスは HP Web Jetadmin によって、失敗したファームウェア更新のリストに追加されます。HP Web Jetadmin が **[デバイス管理] > [管理設定] > [ネットワーク設定] > [ファームウェア アップグレード]** ページのリスト上にあるデバイスの更新を試行する回数と頻度を指定できます。HP Web Jetadmin は、リスト上にある各デバイスが指定された更新再試行回数に達するか、すべてのデバイスが正常に更新されるまで更新を試みます。

次のセクションには、HP Jetdirect プリント サーバーと HP Web Jetadmin が更新できるデバイスのファームウェア更新に関する詳細が記載されています。

HP Jetdirect ファームウェア



注記 ダウンロードした HP Jetdirect ファームウェアでデバイスを更新するときは、デバイスにデフォルト設定で割り当てられた IP アドレス (192.0.0.192) 以外の IP アドレスが指定されている必要があります。

ファームウェアの更新によって、問題が修正され、以下のような新しい機能が追加されます。

- DHCP サポート
- NDS (Novell Directory Services) サポート
- Direct Mode 印刷
- LPD (line printer daemon) サポート
- マルチキャスト/SLP サポート
- マルチプロトコル切り替え

ファームウェア ダウンローダは、TFTP (Trivial File Transfer Protocol) を使用してファームウェア イメージを HP Jetdirect デバイスに送信します。このプロセスは、完全にフォールト トレラントです。電源異常やネットワーク接続の切断によってファームウェアの更新プロセスが中断された場合、ファームウェア ダウンローダを再実行して、ダウンロードを再び開始できます。各イメージ ファイルには、ショート スタックとフル ファームウェア コード イメージの 2 つのコード セットが含まれているので、更新は正常に再開されます。各コード セットには、イメージのダウンロードを完了するために必要なユーティリティがあります。ファームウェアの更新の第 1 段階は、ショート スタックのダウンロードです。ショート スタックの妥当性が検査されると、HP Jetdirect プリント サーバーはフル ファームウェア イメージをダウンロードしてファームウェアのアップグレードを続行します。フル ファームウェア イメージの妥当性が検査されると、HP Jetdirect プリント サーバーは再起動され、新しいフル イメージを実行します。フル イメージのダウンロード中にアップグレード処理に失敗した場合、HP Jetdirect は電源投入後にショート スタックを実行します。つまり、フラッシュ メモリには常に適切な OS があるため、ファームウェア ダウンローダはダウンロードに失敗しても復旧できます。

デバイス ファームウェアの更新

デバイスでは、一連の機能を制御するファームウェアが実行されます。たとえば、デバイス ファームウェアは、ページの書式設定やコントロール パネルに表示される情報を制御します。デバイス ファームウェアを更新することで、最新機能を利用できます。

HP Web Jetadmin はデバイスのクエリーを行い、ファームウェア イメージ ファイルがデバイスと互換性があるかどうかを確認します。ファームウェア イメージ ファイルがデバイスに正常に送信されたことを示す結果ページが表示されます。HP Web Jetadmin からファームウェア イメージ ファイルが送信された後、ファームウェア イメージ ファイルがデバイスによって自動的に処理されます。



注意 デバイスの電源を切る、プラグを抜く、ネットワークから切断する、HP Web Jetadmin がインストールされているホスト コンピュータをシャットダウンするなど、ファームウェアのダウンロード プロセスを中断する操作は一切行わないでください。HP Jetdirect プリント サーバーを損傷する可能性があります。



注記 プリンタがファームウェア イメージ ファイルを処理した後、プリンタは一時的にシャットダウンします。

セクション 9 デバイス グループ

このセクションには、次の章があります。

[第 28 章 デバイス グループの管理](#)

[第 29 章 サイト マップの管理](#)

28 デバイス グループの管理

この章では、次の項目を説明します。

- [デバイス グループの概要](#)
- [デバイス グループの作成](#)
- [デバイス グループのセキュリティ](#)
- [デバイス グループの保守](#)
- [デバイス グループの自動グループ化](#)
- [デバイス グループの自動設定](#)
- [デバイス グループ用の自動アラート設定](#)
- [サブグループ](#)
- [デバイス グループのステータスのリフレッシュ](#)

デバイス グループの概要

デバイス グループは、特定の目的で分類されたプリンタやスキャナ、その他のネットワーク デバイスで構成されます。たとえば、同じ機能をサポートするデバイスや、同じ予防措置的な保守スケジュールが必要なデバイスをグループにすることができます。1 台のデバイスが複数のデバイス グループに属することができます。

デバイス グループによって、大規模ネットワークの運用の複雑さが軽減され、デバイスを見つけやすくなり、ステータスの確認、問題の解決、予防措置的な保守およびその他の管理タスクの実行が簡単になります。

デバイス グループの作成

デバイスは論理的にグループ分けします。たとえば、1 つのワークグループ領域のすべてのプリンタをグループにしたり、カラー プリンタ、モノクロ プリンタ、およびスキャナを 1 台ずつまとめてグループにすることができます。

デバイス グループの【プロパティ】ページで、システム管理者やデバイス グループの所有者は、以下の情報をデバイス グループに割り当てることができます。

- 権限のないユーザーによるデバイス グループの変更や削除を防止するパスワード
- リストでデバイス グループを速やかに検索できるようにする名前と説明
- デバイス グループのデバイスを担当する担当者の名前
- ローカル イン트라ネット上にある、管理者が作成した問い合わせ先情報やサポート情報を提供するページなど、詳細情報を得るためにユーザーがアクセスする URL
- マップ上でデバイス グループを速やかに識別するのに役立つアイコン

デバイス グループのセキュリティ

デバイス グループの [プロパティ] ページで、デバイス グループにパスワードを割り当てます。デバイス グループパスワードによって、権限のないユーザーによるデバイス グループの変更や削除を防止できます。デフォルトでは、パスワードはデバイス グループに割り当てられていません。デバイス グループを開くときに必要なパスワードを指定して、デバイス グループのセキュリティを強化することもできます。たとえば、建物のある領域にあるすべてのデバイスのデバイス グループを作成し、パスワードを割り当てることができます。その後、特定の担当者をこれらのデバイスの責任者に割り当てることができます。その担当者のみが、管理者の支援を受けずに、デバイス グループを使用してデバイス グループのデバイスのステータスを確認したり、新しいデバイスを追加したり、既存のデバイスを更新したりすることができます。

パスワードを設定すると、ユーザーがデバイス グループを変更しようとしたときに、HP Web Jetadmin からパスワードの入力を求められます。デバイス グループのパスワードを削除すると、ユーザーがデバイス グループを変更しようとしても HP Web Jetadmin からパスワードの入力を求められません。



注記 デバイス グループにパスワードが指定されている場合は、管理者プロファイルを除くすべてのプロファイルについてパスワードの入力が求められます。

デバイス グループの保守

デバイス グループを作成すると、管理者またはデバイス グループの所有者は次のタスクを実行できるようになります。

- デバイス グループにデバイスを追加する。
- デバイス グループに属さなくなったデバイスを削除する。
- デバイス グループを HP Web Jetadmin から永続的に削除する。

デバイスの追加および削除を行うには、デバイス グループの **[デバイス]** ページを使用します。デバイス グループを削除するには、**[デバイス管理] > [デバイス グループ]** ページを使用します。

デバイス グループの自動グループ化

自動グループ機能を使用すると、HP Web Jetadmin では、新しく検出されたデバイスが特定の条件を満たす場合に、自動的にデバイス グループに追加されます。この機能は、新しいデバイスを適切なデバイス グループに手動で追加する必要がないので時間の節約になります。自動グループ化機能を使用して、デバイス グループをすばやく整理することもできます。デバイス グループのフィルタを作成または変更したり、デバイス グループに属さないデバイスが追加されると、デバイス グループを整理する必要があります。

HP Web Jetadmin では、複数のフィルタを評価してデバイスをデバイス グループに含めるかどうかを判断する場合、**[および]** 演算子を使用して指定したフィルタが、**[または]** 演算子を使用して指定したフィルタよりも優先されます。サブグループの場合、プライマリ デバイス グループまたはサブグループに指定されたすべての条件が継承されるので、常に最初の条件に **[および]** 演算子が付けられます。たとえば、モデル名に「color」という文字列が付くすべてのデバイスをプライマリ デバイス グループに含め、モデル名に「laser」という文字列が付くすべてのデバイスをサブグループに含めるように指定すると、モデル名に「color」と「laser」が付くすべてのデバイスがサブグループに含まれるようになります。



注記 HP Web Jetadmin ではブール論理を使用してフィルタを評価します。

自動グループ機能にアクセスするには、**[デバイス管理] > [デバイス グループ]** ページに移動し、デバイス グループを選択します。**[デバイス グループ ツール]** ドロップダウン リストから **[自動グループ]** を選択します。

デバイス グループの自動設定

自動設定機能を使用すると、自動グループ機能を使用してグループ化されているデバイスを HP Web Jetadmin で自動的に設定できます。この機能では、**[デバイス管理] > [ツール] > [複数デバイス設定]** ページで、保存されている設定ファイルを使用します。この機能により、自動的にグループ化されたデバイスを手動で設定する必要がなくなるため、時間が節約されます。たとえば、**[複数デバイス設定]** ページで設定をファイルに保存することによって、デバイス自動グループの設定をすべて指定できます。その後、保存した設定を **[自動グループ]** ページのデバイス自動グループに適用できます。



注記 設定ファイルを変更すると、自動グループに追加されるすべてのデバイスは、更新された設定に基づいて設定されます。設定を更新する前に自動グループにあったデバイスでは、元の設定ファイルの設定が維持されます。

自動設定機能にアクセスするには、**[デバイス管理] > [デバイス グループ]** ページに移動し、デバイス グループを選択します。**[デバイス グループ ツール]** ドロップダウン リストから **[自動グループ]** を選択します。

デバイス グループ用の自動アラート設定

アラート自動設定機能を使用すると、HP Web Jetadmin では、新しく検出された、またはデバイス グループに追加されたデバイスに対して自動的にアラート設定を割り当てることができます。デフォルトのアラート グローバル設定を使用することも、デバイス グループに合わせてアラート設定を調整することもできます。この機能を使用すると、新しく追加または検出されたデバイスのアラート設定を手動で追加する必要がないので時間の節約になります。



注記 デバイス グループのアラート設定を変更する場合、そのデバイス グループに追加されるすべてのデバイスのアラート設定は、更新されたアラート設定に基づいて行われます。アラート設定更新以前にデバイス グループにあったデバイスは、以前のアラート設定が維持されます。ネットワークに未接続であったデバイスが再検出された場合、そのデバイスは更新されたアラート設定を受信します。

サブグループ

サブグループは別のデバイス グループに属しているデバイス グループです。サブグループを使用すると、各デバイスを手動で追加しなくても、既存のデバイス グループに含まれるデバイスを別のデバイス グループにすばやく追加できます。サブグループを別のデバイスに追加するには、サブグループの **[プロパティ]** ページを使用します。

サブグループを使用して、大きいグループがそれより小さいグループを含み、その小さいグループがさらに小さいグループを含むように階層的にデバイスをグループ分けします。たとえば、会社が複数のサイトに分かれている場合、1 つのサイトにあるすべてのデバイスをサイト 1 というデバイス グループとして定義します。サイト 1 内で階ごとに、その階のすべてのデバイスを含むサブグループを定義します。1 階、2 階、3 階などのサブグループができます。これらのサブグループ内で、各部署にあるすべてのデバイスを含むさらに小さいサブグループを定義できます。財務、技術、販売などのサブグループができます。

デバイス グループのステータスのリフレッシュ

デバイス グループまたはサブグループのデバイスのステータスは、定期的に変わります。デバイス グループのステータスには、その中のすべてのサブグループとデバイスのステータスが反映されます。たとえば、サブグループの少なくとも 1 台のデバイスにクリティカル エラーがある場合、サブグループはクリティカル エラーを示します。そのサブグループが属するデバイス グループもクリティカル エラーを示します。

デバイス グループのステータスを表示するには、デバイス グループの **[デバイス]** ページを表示し、コンテンツ ツールバーのリフレッシュ アイコンをクリックします。



注記 ブラウザの **[更新]** ボタンをクリックしてもデバイス グループは更新されず、HP Web Jetadmin のホームページが再読み込みされます。

29 サイト マップの管理

この章では、次の項目を説明します。

- [サイト マップの概要](#)
- [マップの作成](#)
- [マップのアップロード](#)
- [デバイス グループへのマップの割り当て](#)
- [マップの保守](#)
- [マップの表示](#)
- [マップのネスト](#)

サイト マップの概要

サイト マップは、デバイスの位置とそのステータスを視覚的に表現したものです。マップには、個々のデバイスとデバイス グループを示すアイコンを組み込むことができます。アイコンをクリックすると、デバイスの [デバイス ステータス] ページやデバイス グループのデバイスのリストが表示されます。

マップには、URL のアイコンを組み込み、ユーザーがクリックして特別な情報を表示したり、オフサイト コンサルタントに質問を送信したり、デバイスの担当者に連絡できるサポート リンクを提供したりすることもできます。たとえば、URL を <mailto:name@company.co.jp> などのデバイスの保守担当者の電子メール アドレスにすることもできます。

サイト マップは、会社の規模が大きい場合や、工場、営業所など複数のサイトにあるデバイスを管理する場合に特に役立ちます。離れた同じ場所から、以前の管理ツールよりも効率的に、広い範囲に分散されたデバイスを見つけ出し、問題を解決できます。

サイト マップは強力な機能ですが、実装を決定する前にその使用法と保守方法を計画することが重要です。サイト マップには、他の HP Web Jetadmin 機能よりも多くのメモリが必要です。コンピュータのメモリ使用状況を確認して、さらにメモリが必要かどうかを判断してください。

マップの作成

基礎となるマップ イメージは、GIF 形式のファイルを保存できる任意のグラフィック プログラムで作成したり、スキャンして読み込むこともできます。マップを作成したら、HP Web Jetadmin にアップロードし、マップをデバイス グループに割り当て、個々のデバイス、デバイス グループ、または URL を表すアイコンをマップに追加します。デバイスを移動した場合は、マップ上の新しい場所にアイコンを移動します。

サイトのオンライン マップまたはイメージがない場合は、いくつかの選択肢があります。自社の IT スタッフまたはネットワークに詳しい他の従業員と共にマップを作成するか、またはマップを開発するコンサルタントに依頼します。サイト マップの価値が、その作成にかかる時間と費用に見合うかどうかを慎重に検討してください。たとえば、大規模な組織、複数のサイトに分かれている組織、およびヘルプ デスク業務を外部に委託している組織では、サイト マップを使用すると大きな利益を得られる可能性があります。マップを作成した後、更新が必要な回数と頻度によって、管理者またはコンサルタントが保守を担当します。たとえば、デバイスを新しい場所に移動したときには、新しいデバイス グループを作成するか、サポート リンクを更新します。

マップのアップロード

デバイス グループにマップを割り当てるには、グラフィック パッケージで作成したマップをアップロードして GIF ファイルとして保存しておく必要があります。マップをアップロードするには、デバイス グループの **[マップ]** ページを使用します。



注記 マップ ファイルのアップロードに問題がある場合は、ブラウザにファイルのアップロードの機能があることを確認します。機能がある場合、ブラウザでプロキシ サーバーを無効にし、マップ ファイルのアップロードを再び試みます。

デバイス グループへのマップの割り当て

マップを HP Web Jetadmin にアップロードしたら、デバイス グループの **[マップ]** ページで、そのマップをデバイス グループに割り当てることができます。

デフォルトでは、サイト マップを割り当てたデバイス グループを誰かが表示すると HP Web Jetadmin にサイト マップが表示されます。デバイス グループのサイト マップが使用できない場合は、HP Web Jetadmin にデバイス グループ内のデバイスのリストが表示されます。

マップの保守

デバイス グループにマップを割り当てると、デバイス グループの **[マップ]** ページで、以下のタスクを実行できます。

- 個々のデバイスまたはデバイス グループのアイコンをマップに追加します。ユーザーは、そのアイコンをクリックして、**[デバイス ステータス]** ページや デバイス グループのデバイスのリストを表示できます。
- URL のアイコンを追加すると、ユーザーがクリックして特定の情報を表示したり、オフサイト コンサルタントに質問を送信したり、デバイスの担当者に連絡したりすることができるサポート リンクを提供できます。たとえば、マップされた領域の保守担当者の電子メール アドレスを含む URL (<mailto:name@company.co.jp> など) を追加することもできます。
- デバイスを新しい場所に移動した場合は、マップ上のそのデバイスのアイコンを新しい場所に移動します。
- デバイスを使用しなくなった場合は、マップからそのデバイスのアイコンを削除します。

マップの表示

サイト マップのアイコンは、デバイスまたはデバイス グループのステータスを示すようにカラー コーディングされているため、マップを見ただけですぐにどのデバイスまたはデバイス グループに注意が必要か、どれが最もクリティカルかがわかります。

- ボーダーなし - デバイスがオンラインで印字可です。デバイス グループの場合は、そのすべてのデバイスが印字可です。
- 赤色 - プリンタは停止し、復旧するにはユーザーの操作が必要です。デバイス グループの場合は、プリンタのうち少なくとも 1 台が停止しています。
- 黄色 - プリンタがトナーの残量低下などのエラー状態にありますが、印刷は可能です。デバイス グループの場合は、プリンタのうち少なくとも 1 台がエラー状態です。



注記 保護されたコンピュータで保守されている URL のアイコンをクリックすると、URL を表示する前に HP Web Jetadmin からユーザー名とパスワードの入力を求められることがあります。

マップのネスト

サブグループはマップを相互にネストするときに使用します。ネストされたサブグループ内を移動して、特定のデバイスの場所を表示できます。たとえば、複数の建物を示すサイトマップを作成できます。建物のデバイス グループを開くと、HP Web Jetadmin に建物内の階が表示されます。階のデバイス グループを開くと、その階の部署が表示されます。部署のデバイス グループを開くと、その部署の各デバイスの場所を示す見取り図が表示されます。

次の手順は、建物、階、および部署のサブグループを作成し、これらのマップをネストする方法を示します。

1. ビル 1 というデバイス グループを定義します。それにマップを割り当てますが、デバイスは追加しません。
2. 階ごとにデバイス グループを定義します。1 階、2 階、3 階などのサブグループができます。マップをそれぞれのグループに割り当てますが、デバイスは追加しません。
3. 部署ごとにデバイス グループを定義します。財務、技術、販売などのサブグループができます。マップをそれぞれのグループに割り当てますが、デバイスは追加しません。
4. 1 階、2 階、3 階をサブグループとしてビル 1 に追加します。ビル 1 のマップで、1 階、2 階、3 階デバイス グループのアイコンを追加します。
5. 1 階のすべての部署のデバイス グループをサブグループとして 1 階に追加します。1 階のマップで、部署サブグループのアイコンを追加します。
6. 2 階のすべての部署のデバイス グループをサブグループとして 2 階に追加します。2 階のマップで、部署サブグループのアイコンを追加します。
7. 3 階のすべての部署のデバイス グループをサブグループとして 3 階に追加します。3 階のマップで、部署サブグループのアイコンを追加します。

ビル 1 の 2 階にある販売部の詳細マップを表示するには、ビル 1 のマップを表示し、2 階のアイコン、販売のアイコンの順番にクリックします。

セクション 10

付録

このセクションには、次の付録があります。

[付録 A トラブルシューティング](#)

[付録 B 頻繁に寄せられる質問](#)

A トラブルシューティング

この付録では、次の項目を説明します。


- [インストール](#)
- [Windows プリンタ ドライバ](#)
- [オペレーティング システム](#)
- [Web ブラウザ](#)
- [セキュリティ](#)
- [HP Jetdirect プリント サーバーのセキュリティ](#)
- [SMTP メール ホスト](#)
- [HTTP 設定](#)
- [ディスカバリ方法](#)
- [プリント キュー](#)
- [NDS の設定](#)
- [デバイス](#)
- [サイト マップ](#)

インストール

問題	解決方法
HP Web Jetadmin が正常にインストールされない。	<ul style="list-style-type: none">● 管理者権限があることを確認してください。● HP Web Jetadmin のホスト コンピュータのディスクには、少なくとも 100 MB の空き領域があることを確認してください。
ブラウザから HP Web Jetadmin にアクセスしたときに、プロキシ サーバーにブラウザが見つからなかったというエラーメッセージが出力された。	<p>HP Web Jetadmin をインストールしたコンピュータでプロキシ サーバーを使用しないようにブラウザをセットアップします。</p> <p>Internet Explorer の場合、プロキシ サーバーは [インターネット オプション] の [接続] タブと [詳細設定] タブで設定します。</p> <p>Firefox の場合は、[ツール]、[オプション] の順にクリックします。[一般] をクリックします。[接続] セクションで、[接続の設定] をクリックします。</p>
Web ブラウザの URL を入力しても HP Web Jetadmin が開始しない。	<ul style="list-style-type: none">● ポート番号を含めて URL が正しいことを確認します。● サポート対象の Web ブラウザを使用していることを確認します。● HP Web Jetadmin がアクセスを許可するように設定されていることを確認します。● HP Web Jetadmin サービスが実行中であることを確認します。サービスが実行中でない場合は再起動します。HP Web Jetadmin が実行中の場合はシステムを再起動します。● HP Web Jetadmin をインストールしたコンピュータでプロキシ サーバーを使用しないようにブラウザをセットアップします。詳細については、このセクションの前述の問題を参照してください。● HP Web Jetadmin のホスト コンピュータから HP Web Jetadmin を起動し、その後、リモート コンピュータから HP Web Jetadmin を起動します。ホスト コンピュータから HP Web Jetadmin を起動できるにもかかわらず、リモート コンピュータから HP Web Jetadmin を起動できない場合、ブラウザと HP Web Jetadmin ホスト コンピュータ間の通信を阻害するネットワーク上の問題が発生している可能性があります。

問題	解決方法
HP Web Jetadmin のパフォーマンスが非常に遅い。	<ul style="list-style-type: none"> ● HP Web Jetadmin は CPU に大量の処理を要求します。より高速なプロセッサの PC を使用してください。また、サーバーの RAM (ランダム アクセス メモリ) の容量も HP Web Jetadmin の速度に多少影響を与えます。コンピュータの RAM 容量の拡張が必要な場合があります。512 MB 以上の RAM の使用をお勧めします。 ● HP Web Jetadmin を既存の Web サーバーや他のネットワーク サービスと同じコンピュータで実行している場合は、別のコンピュータで HP Web Jetadmin を実行してみてください。 ● フロント エンド (ブラウザ) と HP Web Jetadmin のバック エンド (サーバー) を同じコンピュータで実行している場合は、ブラウザを別のコンピュータで実行してみてください。 ● プロキシ サーバーを介して HP Web Jetadmin にアクセスすると、ソフトウェアの実行速度が低下する可能性があります。パフォーマンスを向上させるには、HP Web Jetadmin をインストールしたコンピュータでプロキシサーバーを使用しないようにブラウザをセットアップします。詳細については、このセクションの前述の問題を参照してください。
HP Web Jetadmin の起動に IP アドレスは使用できるが、ホスト名は使用できない。	これは名前競合解決の問題です。同じサブネットにある Windows 95 および Windows NT のコンピュータでは、追加のサービスを実行しなくてもホスト名 (コンピュータ名) を解決することができます。HP Web Jetadmin がインストールされているコンピュータとこれらのコンピュータのサブネットが異なる場合は、IP アドレスとホスト名の解決に Microsoft Windows Internet Name Service (WINS) または Domain Name Services (DNS) が必要になります。Windows 95 または Windows NT 以外のクライアントの場合は、ルーティングが関わるかどうかに関係なく、DNS を使用してホスト名を解決する必要があります。

Windows プリンタ ドライバ

問題	解決方法
HP Jetdirect に接続したプリンタで、送信したジョブの印刷が行われない。	<p>GDI プリンタやホストベース プリンタなどの一部の HP プリンタは、Windows 環境専用に設計されています。コンピュータにある GDI プリンタ ドライバでは印刷対象の情報をプリンタに送信する前に解釈してフォーマット化します。この結果、GDI プリンタでは完全にフォーマット化されたデータストリームの受信を待ち受けています。GDI 以外のプリンタの場合は、PCL または PostScript データを待ち受け、受信後に解釈およびフォーマット化が行われます。GDI 以外のプリンタがフォーマット化されたデータストリームを受信した場合、印刷データが破損していると思われ、破棄されます。</p> <p>HP Jetdirect EX プリント サーバーは GDI プリンタとの互換性がありません。GDI プリンタはネットワークに対応していないため、GDI プリンタを HP Jetdirect プリント サーバーではなくホストまたはポートに接続する必要があります。</p> <div>注記 HP Jetdirect は、データ ストリームの形式に関係なくデータを受け付けます。</div> <p>HP GDI プリンタの場合は HP Jetdirect プリント サーバーを使用しないでください。</p> <p>また、HP Jetdirect プリント サーバーを他のベンダーの GDI プリンタと併用しないでください。</p>

オペレーティング システム

問題	解決方法
HP Web Jetadmin が Linux で正常にインストールされない。	<ul style="list-style-type: none">ルート ユーザーとしてログオンしていることを確認します。所有権だけでなくディレクトリの許可もチェックします。該当するボリュームのディスク領域をチェックします。オペレーティング システムがサポートされていることを確認してください。HP Web Jetadmin は、特定のカーネルバージョンおよび Linux ライブラリでのみ動作します。詳細については、HP Web Jetadmin Readme ファイルを参照してください。
プリント キューを作成するときに Windows NT のドメイン許可の問題が発生する。	プリント キューの作成時には、ローカル グループに直接リストするか、その他のドメインやローカル グループから参照してリストするかして、リモート ホスト上でローカルな管理者メンバシップのある資格証明が提供される必要があります。最初のキューを作成したら、リモート ホスト上でパワー ユーザー メンバシップのある資格証明が提供される必要があります。

Web ブラウザ

問題	解決方法
HP Web Jetadmin の暗号化レベルを 【高】 に設定すると、HP Web Jetadmin にアクセスできなくなる。	<p>ご使用のブラウザで 128 ビットの暗号方式をサポートしていない可能性があります。128 ビットの暗号方式は、すべての国/地域でサポートされているとは限りません。高レベルの暗号化パッケージをダウンロードし、ブラウザにインストールする必要があります。</p> <p>ご使用のブラウザで、適切な SSL バージョンが有効になっていない可能性があります。次のいずれかの手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none">● Internet Explorer の場合は、【ツール】 メニューの 【インターネット オプション】 をクリックします。【詳細設定】 タブをクリックします。【セキュリティ】 セクションで、【SSL 2.0 を使用する】、【SSL 3.0 を使用する】、および 【TLS 1.0 を使用する】 オプションが選択されていることを確認します。● Firefox の場合は、【ツール】、【オプション】 の順にクリックします。【詳細】 をクリックします。【セキュリティ】 セクションで、【SSL 2.0 を使用する】、【SSL 3.0 を使用する】、および 【TLS 1.0 を使用する】 オプションが選択されていることを確認します。

セキュリティ

問題	解決方法
HP Web Jetadmin にアクセスできる IP アドレスの定義が間違っている。	HP Web Jetadmin では、インストールされているコンピュータの IP アドレスへのアクセスを拒否できません。HP Web Jetadmin がインストールされているコンピュータのブラウザを使用して、 [一般設定] > [HTTP (Web)] ページにアクセスして、正しい IP アドレスを指定します。


HP Jetdirect プリント サーバーのセキュリティ

HP Jetdirect プリント サーバーのセキュリティの詳細については、HP の Web サイトにある文書 bpj05999 を参照してください。

SMTP メール ホスト

問題	解決方法
HP Web Jetadmin アラートの SMTP メール ホストの設定時に SMTP メール ホストが確認できなかったというエラーメッセージが出力された。	指定したメール ホストが SMTP メール ホストであることを確認します。確認するには、Telnet を使用してホストの適切なポートに接続します。接続が正常に行われ、最初の 3 文字が 220 であれば、そのコンピュータは SMTP ホストです。接続に失敗した場合、ホストで SMTP サーバーが実行されていないことになります。

HTTP 設定

問題	解決方法
HTTP ポート番号を変更した後、ユーザーが HP Web Jetadmin にアクセスできない。	HP Web Jetadmin の URL に HTTP または HTTPS ポート番号が表示されます。HP Web Jetadmin ユーザーに HP Web Jetadmin URL が変更されたことを通知します。
	 注記 HTTP ポート番号の設定は、 [一般設定] > [HTTP (Web)] ページにあります。HTTPS ポート番号の設定の場合は、 [一般設定] > [セキュリティ] > [SSL/TLS] ページに進み、 [SSL/TLS ポートの変更] をクリックします。

ディスカバリ方法

このセクションでは、次の項目を説明します。

- [ディスカバリの一般的な問題](#)
- [ローカル ブロードキャスト ディスカバリ](#)
- [マルチキャスト/SLP ディスカバリ](#)
- [ARP テーブル ディスカバリ](#)
- [指定アドレス ディスカバリ](#)
- [IP 範囲ディスカバリ](#)
- [リモート ディスカバリ エージェント \(RDA\) ディスカバリ](#)
- [NetWare バインダリ ディスカバリ](#)
- [NetWare ファイル サーバー ログイン ディスカバリ](#)
- [新しいデバイスをリスン ディスカバリ](#)

ディスカバリの一般的な問題

問題	解決方法
HP Web Jetadmin でネットワーク上で認識できるプリンタが検出できなかった。	<ul style="list-style-type: none">● プリンタがオンになっていることを確認します。いずれかのブロードキャスト ディスカバリ方法を実行した場合は、指定アドレス ディスカバリを実行してプリンタの IP アドレスを検索してみます。● クイック デバイス検索機能を使用してデバイスを検出します。● それでも HP Web Jetadmin でプリンタが検出されない場合は、プリンタにネットワーク通信の問題がある可能性があります。プリンタまたは外付け HP Jetdirect プリント サーバーの設定 (セルフ テスト) ページを出力し、プロトコル ステータス、I/O ステータス、ネットワーク統計を確認します。

ローカル ブロードキャスト ディスカバリ


問題	解決方法
HP Web Jetadmin でネットワーク上の一部のデバイスが検出できなかった。	<p>SNMP では要求や応答の配信が保証されません。SNMP はコネクションレス型のプロトコルです。ネットワークがビジーの場合やノード数が多い場合、HP Web Jetadmin で一部のデバイスが検出されない場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none">● ネットワークのトラフィック量が少ないときにディスカバリを実行してください。● IP 範囲ディスカバリなど、別のディスカバリ方法を実行します。IP サブネットに相当する IP 範囲を検索するには、このディスカバリ方法を設定してください。

問題	解決方法
(TCP/IP のみ) HP Web Jetadmin で、リモート サブネットにあるデバイスが検出されなかった。ルーターによってブロードキャスト パケットが転送されていない可能性がある。	デバイスが同じサブネット上にあることを確認します。同じサブネット上にある場合は、IP 範囲、指定アドレスまたは ARP テーブルや RDA のディスカバリを実行してリモート デバイスを検索します。
(TCP/IP のみ) 重複アドレスやサブネット マスクの不良など IP アドレス設定上の問題がある可能性がある。	<ul style="list-style-type: none"> ● アドレス設定が適正であることを確認します。 ● IP アドレスが重複していないことを確認します。IP アドレスが重複しているデバイスは、ネットワーク上で通信できません。 ● ping と Telnet を使用して、IP アドレス、デフォルト ゲートウェイ、サブネット マスクなどの IP パラメータをテストし、設定します。
(IPX/SPX のみ) ルーターがブロードキャスト トラフィックをフィルタしているため、HP Web Jetadmin リモート デバイスが見つからなかった。	ルーターのフィルタを変更し、NetWare バインダリまたは RDA ディスカバリを実行するか、あるいは各ネットワーク セグメントに HP Web Jetadmin のコピーをインストールします。
(IPX/SPX のみ) ルーターによってネットワーク間で IPX/SPX が転送されていない。IPX/SPX はローカルのみ。	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワーク リンクに IPX/SPX をインストールするか、または各ネットワーク セグメントに HP Web Jetadmin のコピーをインストールします。 ● IP ブロードキャスト ディスカバリまたは IP 範囲 ディスカバリを実行します。
(IPX/SPX のみ) SAP ブロードキャストのフィルタ処理が適切でない。	ルーターのフィルタを変更し、NetWare バインダリ ディスカバリを実行するか、各ネットワーク セグメントに HP Web Jetadmin のコピーをインストールします。
(IPX/SPX のみ) ルーターがブロードキャスト トラフィックをフィルタしているか、ネットワーク間のリンクが IPX/SPX ではないか、あるいは SAP ブロードキャストがフィルタされていることが原因で、リモート サブネットに存在する可能性があるデバイスを HP Web Jetadmin から検索できなかった。	指定アドレスまたは RDA ディスカバリを実行して、リモート IPX アドレスを追加し、HP Web Jetadmin でデバイスが検出できるようにします。

マルチキャスト/SLP ディスカバリ

問題	解決方法
HP Web Jetadmin でネットワーク上の一部のデバイスが検出できなかった。	デバイスがマルチキャスト ブロードキャストをサポートしていることを確認します。サポートしていない場合は、別のディスカバリ方法で試行してください。ネットワークの適切なディスカバリ方法を選択するためのガイドラインについては、「 ディスカバリ方針の計画 」を参照してください。
HP Web Jetadmin でリモート サブネット上のデバイスを検出できなかった。	適切なルーター ホップ数に合わせてディスカバリが設定されていることを確認します。デフォルト値は 4 です。

ARP テーブル ディスカバリ

問題	解決方法
HP Web Jetadmin では新しくインストールされたデバイスが検出できなかった。	<ul style="list-style-type: none">● IP 範囲ディスカバリを実行して、指定のアドレスを探るか、またはクイック デバイス検索機能を使用して個別のデバイスを検索します。● RDA ディスカバリを使用して、IP アドレスで設定されていないデバイスを検出します。
最近接続を切断したデバイスがまだデバイス キャッシュの表示に残っている。	<ul style="list-style-type: none">● デバイス キャッシュをクリアして、新規にディスカバリを実行します。● デバイスを選択し、[デバイス キャッシュ ツール] ドロップダウン リストから [デバイスの削除] を選択してデバイスを削除します。
HP Web Jetadmin で、NetWare または IPX のみのプリンタが検出されなかった。	<p>ARP テーブル ディスカバリは、IP プリントに依存します。IP が有効でないプリンタは、ARP テーブルまたはデバイス キャッシュに含まれません。</p> <p>IPX ブロードキャスト ディスカバリなど、無効なデバイスを検索するディスカバリ方法を使用します。</p> <div>注記 IPX ブロードキャスト ディスカバリを使用するには、HP Web Jetadmin ホスト コンピュータにプロトコルをインストールします。IPX または Netware ネットワーク上のデバイスでは、IP プロトコルが無効になる場合があります。HP Web Jetadmin ホスト コンピュータに IPX/SPX プロトコルがインストールされていること、また、デバイスを検出するためにネットワークでこのプロトコルが使用できることも確認します。</div>

指定アドレス ディスカバリ

問題	解決方法
hosts.txt ファイルに不正なアドレスが記載されている可能性がある。	アドレスが適正であることを確認します。

IP 範囲ディスカバリ

問題	解決方法
デバイスが検出されない。	ディスカバリで設定された IP 範囲が、スキャンしているネットワークを正確に反映していることを確認してください。
IP 範囲ディスカバリが非常に遅い。	IP 範囲ディスカバリが、使用されていない多くの IP アドレスをスキャンするように設定されている可能性があります。この設定が行われていると、検出するためにある程度の時間が費やされます。IP 範囲に、IP ネットワークの有効な領域やセグメントのみが反映されていることを確認します。

リモート ディスカバリ エージェント (RDA) ディスカバリ

問題	解決方法
リモート システムに RDA がインストールされていない。	<ul style="list-style-type: none">● RDA のインストール時に指定したユーザー証明に、リモート システムの管理者権限があることを確認します。● RDA をインストールするノードで、ADMIN\$ 共有が有効であることを確認します。● ネットワークにインストールされている HP Web Jetadmin ソフトウェアのうち、アクティブにインストールされているコピーは HP Web Jetadmin ホスト コンピュータにインストールされているコピー以外にないことを確認します。他にインストールされている HP Web Jetadmin ディスカバリを使用し、権限がないかまたは必要のない HP Web Jetadmin のコピーを探します。
HP Web Jetadmin で、RDA をインストールしたサブネット上のデバイスが検出されなかった。	<ul style="list-style-type: none">● リモートサブネットのシステムで RDA が実行されていることを確認します。Windows で確認するには、[スタート]、[コントロール パネル]、[サービス]の順に選択します。Linux で確認するには、次のようなコマンドを使用します。 <pre>ps -aux grep "rda"</pre>● プリンタが IP を使用して通信できることを確認します。RDA は IP のみのディスカバリ方法です。● ディスカバリ中に、RDA が実行されているノードの電源が入っていることを確認します。

NetWare バインダリ ディスカバリ

問題	解決方法
HP Web Jetadmin でネットワーク上の一部のデバイスが検出できなかった。	<ul style="list-style-type: none">● NetWare バインダリ ディスカバリが、未検出のデバイスがインストールされているサブネット上の NetWare サーバーにクエリーを行っていることを確認します。● HP Jetdirect プリント サーバーで SAP ブロードキャストが無効でないことを確認します。無効の場合は、別のディスカバリ方法で試行してください。ネットワークの適切なディスカバリ方法を選択するためのガイドラインについては、「ディスカバリ方針の計画」を参照してください。

NetWare ファイル サーバー ログイン ディスカバリ

問題	解決方法
新しい NetWare ファイル サーバーを [選択ファイル サーバー] に追加できない。	指定した証明に、NetWare ファイル サーバーで管理者と同等の権限があることを確認します。
HP Web Jetadmin で、NDPS または IP のみのプリンタが検出されなかった。	NetWare ファイル サーバー ログイン ディスカバリは、HP Jetdirect プリント サーバーの、NetWare ファイル サーバーへのキュー サーバー ログインに依存します。別のディスカバリ方法を実行します。ネットワークの適切なディスカバリ方法を選択するためのガイドラインについては、「 ディスカバリ方針の計画 」を参照してください。

新しいデバイスをリスン ディスカバリ

問題	解決方法
HP Web Jetadmin でリモート サブネット上のデバイスを検出できなかった。	ルーターから、BOOTP、SLP、または SAP のパケットが転送されていない可能性があります。別のディスカバリ方法を実行します。ネットワークの適切なディスカバリ方法を選択するためのガイドラインについては、「 ディスカバリ方針の計画 」を参照してください。
HP Web Jetadmin で、既にインストールされ設定されているデバイスが検出されなかった。	インストールおよび設定済みのデバイスでは、初期の BOOTP、SLP、または SAP のパケットが生成されません。新しいデバイスをリスン ディスカバリと同時に別のディスカバリ方法を実行します。ネットワークの適切なディスカバリ方法を選択するためのガイドラインについては、「 ディスカバリ方針の計画 」を参照してください。

問題	解決方法
Linux プラットフォーム上で、HP Web Jetadmin が BOOTP ポートでリスンできない。	<ul style="list-style-type: none"> ● HP Web Jetadmin が Linux プラットフォームへのルート アクセスで実行されていることを確認します。 ● HP Web Jetadmin で、有効な BOOTP サーバーである Linux システムの BOOTP ポートを監視できない可能性があります。システムの設定を確認し、必要な場合は別のディスカバリ メカニズムを実行します。ネットワークの適切なディスカバリ方法を選択するためのガイドラインについては、「ディスカバリ方針の計画」を参照してください。
BOOTP プロセスが開始されていないため、HP Web Jetadmin では BOOTP 要求のリスンによってデバイスを検出できなかった。	<p>この問題は、同一ホスト コンピュータ上で HP Web Jetadmin をインストールした後に BOOTP プロセスを開始しようとしたときに発生します。デフォルトで有効な、新しいデバイスをリスン ディスカバリ機能が、ホスト コンピュータ上の BOOTP プロセスの有効化を妨げることがあります。</p> <p>BOOTP プロセスを有効化する前に HP Web Jetadmin をインストールすると、HP Web Jetadmin は BOOTP ポート (ポート 67) にバインドされます。BOOTP を開始しようとすると、BOOTP ポートが使用できなくなり、プロセスを開始できません。この問題は以下のいずれかの回避方法で解決します。</p> <p>回避方法 1 : HP Web Jetadmin と同じホスト コンピュータに BOOTP サービスを実装する場合は、確実にこのサービスを開始してから HP Web Jetadmin をインストールまたは起動するようにしてください。これで HP Web Jetadmin の BOOTP ポートへのバインドを防止できます。</p> <p>回避方法 2 : 既に HP Web Jetadmin をインストールしてある場合は、BOOTP プロセスを有効化し起動時に開始されるようにします。ホスト コンピュータを再起動します。BOOTP プロセスの優先順位は HP Web Jetadmin より高いので、BOOTP プロセスは HP Web Jetadmin の前に開始され、BOOTP ポートにバインドされます。</p> <p>何らかの理由でホスト コンピュータを再起動できない場合は、手動で停止してから、以下の順序で各プロセスを再起動します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. BOOTP プロセスを停止します。 2. HP Web Jetadmin プロセスを停止します。 3. BOOTP プロセスを再起動します。 4. HP Web Jetadmin プロセスを再起動します。
	<div data-bbox="879 1505 933 1556"></div> <p>注記 HP Web Jetadmin では、BOOTP プロセスの実行中に BOOTP 方式を使用して新しいデバイスを検出できません。将来の BOOTP の競合を回避するには、HP Web Jetadmin の新しいデバイスをリスン ディスカバリ方法を無効にしてから、HP Web Jetadmin を再起動し、いずれかの回避方法を実行します。</p>

プリント キュー

問題	解決方法
Linux マシンでプリント キューを作成できない。	<p>プリント キューを作成する HP Jetdirect プリント サーバーで Rexec サービスを有効にします。Rexec サービスを有効にするには、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none">1. /etc/inetd.conf ファイルに以下の行があること、またコメントで無効化されていないことを確認します。 exec stream tcp nowait root /usr/sbin/tcpd in.rexecd2. /etc/pam.d/rexec ファイルから以下の行をコメントで無効に (または削除) します。 auth required /lib/security/pam_securetty.so3. inetd サービスを再開します。 /etc/rc.d/init.d/inet stop /etc/rc.d/init.d/inet start
HP Web Jetadmin Standard TCP/IP Port Monitor を使用すると、プリント ジョブはプリント キューから送信されるが何も印刷されない。	<ul style="list-style-type: none">● 【プリンタのプロパティ】 フォルダでポートの名称をチェックします。TCP/IP アドレスではなくホスト名である場合は、nslookup ホスト名コマンドを入力します。対応する TCP/IP アドレスがあることを示す応答が返されます。その後、ホスト名のピングを行います。ピングを実行できなかった場合やエラーが発生した場合は、ポートを削除して、HP Jetdirect プリント サーバーの TCP/IP アドレスを使用してプリント キューを作成し直します。● PostScript プリンタ ドライバでエラーが発生しても、PostScript エラー メッセージが印刷されないこともあります。汎用プリンタ ドライバを使用してテスト ページを印刷します。● HP Jetdirect の 【設定】 ページに重複する TCP/IP アドレスがないことを確認します。● HP Jetdirect の 【設定】 ページのアイドル タイムアウト インターバルを確認します。

問題	解決方法
Novell NetWare クライアントがインストールされているサーバーで Windows のプリント キューを作成しているときに [その他のドライバ] をクリックしたが、プリンタ ドライバのリストが変わらなかった。	<p>他のシステムのプリンタ ドライバが列挙されるようにするには、プリント キューを作成している HP Jetdirect プリントサーバーでプリント プロバイダを並べ替えます。プリント プロバイダを並べ替えるには、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. HP Web Jetadmin がインストールされているホストコンピュータで、[ネットワーク コンピュータのプロパティ] を開きます。 2. [サービス] タブをクリックします。 3. [ネットワーク アクセスの順序] をクリックします。 4. [プリント プロバイダ] セクションで、[LanMan Print Services] が先頭に表示されるように順序を並べ替えます。
HP-UX システムでプリント キューを作成するときにオペレーティングシステムがサポートされていないというメッセージが出力される。	<p>プリント キューを作成するコンピュータで、<code>uname -a</code> コマンドを入力します。オペレーティング システムは HP-UX 11.x である必要があります。</p> <p>コマンド プロンプトで、<code>ll /bin</code> と入力します。このコマンドでは、次のようなメッセージが返されます。</p> <pre>lr-xr-xr-t 1 root sys 8 Dec 20 15:26 /bin -> /usr/bin</pre> <p>ほとんどの場合、<code>/bin</code> は <code>/usr/bin</code> ディレクトリへのシンボリック リンクです。HP-UX 11.x のデフォルトのインストールではこのリンクが組み込まれています。<code>/bin</code> が存在しない場合や <code>/usr/bin</code> ディレクトリにリンクしていない場合、HP Web Jetadmin でオペレーティング システムを確認できなくなります。</p>

NDS の設定

問題	解決方法
NetWare プリント オブジェクトを作成できない。	Novell NetWare 環境でプリント サービスを設定する場合は、プリント オブジェクトを作成するコンテナに対する NDS 作成権限が必要です。NetWare 管理者ユーティリティを使用して、指定ユーザーに適切な NDS 権限があるかどうかを調べます。
Novell 設定で HP Jetdirect プリント サーバーをセットアップした後に、HP Jetdirect プリント サーバーでプリント キューに到達したプリント ジョブのサービスが行われない。	NetWare 接続の詳細については、 [デバイス診断] ページを参照してください。HP Web Jetadmin には、HP Jetdirect プリント サーバー名を解決できないなどの接続に関する問題を示す情報が表示されます。HP Jetdirect プリント サーバーのテスト ページの Novell のステータス セクションにも NDS エラーがすべて表示されます。

デバイス

問題	解決方法
HP Web Jetadmin にネットワーク上のデバイスに使用できる情報の一部が表示されない。	<p>HP Web Jetadmin で [デバイス ステータス] ページに表示される情報は次の要素によって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none">● デバイスの機能セット● デバイスの標準プリンタ MIB がサポートする情報 (サードパーティのデバイスの場合は重要)● デバイスのファームウェア リビジョン <p>表示する情報をデバイス機能セットがサポートしているかどうかを確認します。機能セットがサポートしていない場合は、ファームウェアの更新を試行します。</p> <p>サードパーティ製のデバイスの場合は、サードパーティ製のデバイス プラグインがあるかどうかをベンダにお問い合わせください。サードパーティ製のデバイス プラグインを使用して、HP Web Jetadmin に機能を追加します。詳細については「サードパーティ ベンダー製品のサポート」を参照してください。</p>
HP Web Jetadmin の旧バージョンを使用して HP Jetdirect プリント サーバーを管理しているときに、HP Web Jetadmin ホスト コンピュータでワトソン博士のエラーが生成される。	HP Web Jetadmin を最新バージョンに更新します。

問題	解決方法
<p>設定コミュニティ名の設定後に HP Jetdirect プリント サーバーの設定オプションを変更しようとする、設定コミュニティ名が無効であるというエラー メッセージが出力される。設定コミュニティ名を入力すると、設定コミュニティ名が無効であることを示すエラー メッセージが別に出力される。</p>	<p>設定コミュニティ名が数字で終わっていないことを確認します。設定コミュニティ名が数字で終わっている場合は、数字で終わらない名称に変更します。HP Jetdirect プリント サーバーの設定オプションを再度変更してください。</p>
<p>HP Web サイトから HP Jetdirect ファームウェアをダウンロードするときに、ダウンロードできなかったことを示すエラー メッセージが出力された。</p>	<p>[一般設定] > [HTTP (Web)] ページで、[HTTP ダウンロード 使用可能] チェック ボックスがオンになっていることを確認します。</p> <p>LAN にプロキシ サーバーがある場合は、プロキシ サーバーの設定が適正であることを確認します。プロキシ サーバーの設定をブラウザの設定と一致させます。</p> <p>この設定が正しい場合は、次の回避方法を実行することができます。</p>
	<div data-bbox="853 667 909 724" data-label="Image"></div> <p>注記 次の回避方法では、HP Jetdirect インストール ファイル システムにアクセスする必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ブラウザで、http://www.hp.com/go/wja_firmware にアクセスします。 2. [Self extracting file with all firmware images] (すべてのファームウェア イメージを含んでいる自己解凍型ファイル) リンクをクリックします。手順に従って、HP Web Jetadmin にファームウェア イメージの完全なセットをロードします。 <p>または</p> <p>[How to download the HP Jetdirect individual firmware image files] (HP Jetdirect の個々のファームウェア イメージ ファイルをダウンロードする方法) リンクをクリックします。手順に従って、HP Web Jetadmin にファームウェア イメージの完全なセットをロードします。</p> <p>回避方法を実行してもファームウェア リビジョンをダウンロードできない場合は、ネットワークにファイアウォールなどの問題があり、解決する必要があります。ファイル全体が正しい HP Web Jetadmin ディレクトリに保存されていることを確認します。firmware.glf ファイルで適正なファイル サイズを探します。</p>

サイト マップ

問題	解決方法
サイト マップのアップロード後に、HP Web Jetadmin のパフォーマンスが非常に遅くなった。	HP Web Jetadmin は CPU に大量の処理を要求します。より高速なプロセッサの PC を使用してください。また、サーバーの RAM (ランダム アクセス メモリ) の容量も HP Web Jetadmin の速度に多少影響を与えます。コンピュータの RAM 容量の拡張が必要な場合があります。512 MB 以上の RAM の使用をお勧めします。

B 頻繁に寄せられる質問



この付録では、次の項目を説明します。

- 頻繁に寄せられる質問


頻繁に寄せられる質問


質問	回答
ホワイトペーパーとは何ですか、ホワイトペーパーはどこにありますか。	ホワイトペーパーとは、アラート、セキュリティ情報など、HP Web Jetadmin 機能についての補足情報です。ホワイトペーパーは、 http://www.hp.com/go/wja_whitepapers から入手できます。定期的に、既存のホワイトペーパーが更新され、新しいホワイトペーパーが追加されています。
HP Web Jetadmin のトレーニングはできますか。	はい。 http://www.hp.com/go/webjetadmin にアクセスしてください。左側の列に表示されている HP Web Jetadmin トレーニング リンクをクリックします。
オンライン ヘルプは利用できますか。	<p>HP Web Jetadmin のヘルプが拡張されました。このヘルプでは、ハイパーテキスト形式の索引が用意されており、ヘルプトピックや HP Web Jetadmin の用語集をブラウズできます。HP Web Jetadmin からヘルプにアクセスするには、[ナビゲーション] ドロップダウン リストから [デバイス管理] を選択します。[ヘルプ] フォルダを展開し、[HP Web Jetadmin] をクリックします。</p> <p>ヘルプは PDF 形式でダウンロードできるため、ヘルプテキスト全体を印刷することもできます。PDF をダウンロードするには、http://www.hp.com/go/webjetadmin_software にアクセスし、self-help resources セクションまでスクロールして、[manuals] リンクをクリックします。</p> <p>HP Web Jetadmin のコンテキスト ヘルプも拡張されました。ページ、トピック、タスク、またはオプションに関する[内容説明]、[効果]、および[方法]の一覧を表示するには、ヘルプアイコン(青いクエスチョンマーク)をクリックします。</p>
HP Web Jetadmin に関するフィードバックはどのような方法で送ることができますか。	<p>HP Web Jetadmin では、[フィードバック] ページを利用できます。このページは、ユーザーがフィードバックを HP に直接報告できるようにするために用意されています。この[フィードバック] ページは、追跡調査や折り返し電話が必要なカスタマ エスカレーション問題には利用できません。カスタマ サポートが必要な問題が発生した場合は、次の Web サイトで説明されている方法に従って HP カスタマ ケア テクニカル センタにお問い合わせください。</p> <p>http://www.hp.com。[Contact HP] (HP に連絡) をクリックします。</p> <p>[フィードバック] ページにアクセスするには、[デバイス管理] フォルダを展開し、[ヘルプ] フォルダを展開し、[HP Web Jetadmin] フォルダを展開して、[フィードバック] をクリックします。</p>
HP Web Jetadmin のパフォーマンスが非常に遅いのはなぜですか。	HP Web Jetadmin は CPU に大量の処理を要求します。より高速なプロセッサの PC を使用してください。また、サーバーの RAM (ランダム アクセス メモリ) の容量も HP Web Jetadmin の速度に多少影響を与えます。コンピュータの RAM 容量の拡張が必要な場合があります。512 MB 以上の RAM の使用をお勧めします。
Microsoft Java 仮想マシン (JVM) はサポートされていますか。	いいえ。Microsoft では、現在 JVM をサポートしていないので、HP Web Jetadmin では JVM をサポートしていません。HP Web Jetadmin では、Sun の Java 実行環境 (JRE) 1.5.1 を使用します。Sun の JRE は、 http://www.java.com から入手できます。



質問	回答
サポートされている Internet Explorer のバージョンはいくつですか。	Windows クライアントからブラウズする場合は、Microsoft Internet Explorer 6.0 に限ってサポートされています。Netscape はサポートされていません。
Linux クライアントからブラウズする場合、どんなブラウザがサポートされますか。	Linux クライアントからブラウズする場合は、Firefox 1.5 に限ってサポートされています。Netscape はサポートされていません。
HP Web Jetadmin で使用する Apache Web サーバーのバージョンはいくつですか。	HP Web Jetadmin では、Apache Web サーバー 2.0.54 を使用します。このバージョンは、セキュリティに関連する問題や、それ以外のさまざまな問題が修正されています。
HP Web Jetadmin および Windows Server 2003 で NTLM が使用できないのはどうしてですか。	<p>Windows Server 2003 を使用する場合、Internet Explorer の「中」というセキュリティ設定は、前のバージョンの Windows の「中」レベルのセキュリティとは異なります。Windows Server 2003 の Internet Explorer で NTLM を使用するには、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Internet Explorer を開きます。 2. [ツール]、[インターネット オプション] の順にクリックします。 3. [セキュリティ] タブをクリックします。 4. [レベルのカスタマイズ] をクリックします。 5. [ユーザー認証] の下で、[現在のユーザー名とパスワードで自動的にログオンする] を選択します。 6. [OK] をクリックします。 7. [はい] をクリックします。 8. [OK] をクリックします。
Windows Server 2003 を使用している場合、HP Web Jetadmin のログオン資格証明用の NTLM 認証プロンプトをどのように無効化するのですか。	<p>ログオン資格証明のプロンプトを無効化するには、次のタスクを実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [スタート]、[設定]、[コントロール パネル] の順にクリックします。 2. [Windows コンポーネントの追加/削除] をクリックします。 3. プログラムの追加と削除ウィザードで、[Internet Explorer セキュリティ強化の構成] モジュールを削除します。
MS Active Directory ドメインにおいて、HP Web Jetadmin 7.8 NT ドメイン認証機能は Kerberos でサポートされていますか。	はい。
HP Web Jetadmin が IP ブロードキャストまたはマルチキャスト/SLP ディスカバリでデバイスを検索できないのはなぜですか。	HP Web Jetadmin 7.5 以降には、Microsoft のインターネット接続ファイアウォールの有効化による影響に対処する更新が実装されています。HP Web Jetadmin 7.5 以前のバージョンでの IP ブロードキャスト ディスカバリは、Microsoft のファイアウォール機能が有効になっているとデバイスを検索できません。Microsoft ではファイアウォール機能を有効にすることを推奨しており、今後のオペレーティングシステム リリースでは、デフォルトでファイアウォール機能を有効にする予定です。

質問	回答
	<p>HP Web Jetadmin の前のバージョン (バージョン 7.5 以前) では、ブロードキャスト ディスカバリや、ランダムなポートからのホストの応答にランダムなポート ソースを使用していました。ランダムなポートへの応答に失敗するのは、ブロードキャストへの応答など、Microsoft インターネット接続ファイアウォールがすべてのブロードキャストトラフィックをブロックすることが原因です。</p> <p>IP ブロードキャスト、マルチキャスト/SLP などのブロードキャスト ディスカバリを簡略化するため、HP Web Jetadmin は、よく知られているスタティックなポートからソースを得るように変更されました。IP ブロードキャストの場合、HP Web Jetadmin は周知の SNMP ポートを使用し、ブロードキャストへの応答用のポート番号 161 でリسنします。IP ブロードキャスト ディスカバリが必要で Microsoft Internet Connection Firewall がインストールされている場合は、ファイアウォールの設定からポート番号 161 のブロックを解除します。HP Web Jetadmin 7.6 では、ブロードキャスト ディスカバリに次のポートを使用します。</p> <p>IP ブロードキャスト : HP Web Jetadmin サーバーで UDP ポート 161 を開きます。</p> <p>マルチキャスト/SLP : HP Web Jetadmin サーバーで UDP ポート 427 を開きます。</p> <p>他にインストールされている HP Web Jetadmin HP Web Jetadmin サーバーで UDP ポート 8000 を開きます。</p> <p>BOOTP : HP Web Jetadmin サーバーで UDP ポート 67 を開きます。</p> <div>  <div> 注記 ポート有効化の詳細については、Internet Connection Firewall についての Microsoft のヘルプを参照してください。 </div> </div>
<p>サービス パック 3 以降がインストールされているのに、[HP Web Jetadmin 7.0 では Windows NT 4.0 サービス パック 3 以降が必要です。] というエラー メッセージが表示されて HP Web Jetadmin のインストールに失敗するのはなぜですか。</p>	<p>一般的な原因として、サービス パックがリリース候補またはホットフィックスであることが考えられます。インストールされているサービス パックを調べるには、regedit または regedit32 を使用してレジストリ内の次のキーを確認します。</p> <div>  <div> 注意 レジストリを変更しないでください。 </div> </div> <pre>¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft ¥Windows NT¥Current Version¥CSDVersion</pre> <p>このレジストリ キーの値は [Service Pack x] の形式になっており、[x] はサービス パックのバージョン番号を示します。この値に [Service Pack 4, RC 1.2] のような RC 番号が含まれていると、HP Web Jetadmin のインストールは失敗します。Microsoft から最新のサービス パックをダウンロードしてインストールするか、インストール済みサービス パックのリリース版を再インストールしてください。詳細については、Microsoft アーティクル Q222507 を参照してください。</p>
<p>英語以外のバージョンの HP Web Jetadmin を使用しているのに、一部のページで英語が表示されるのはなぜですか。</p>	<p>HP Web Jetadmin は常に整合性のある言語を表示しようとしています。しかし、HP Web Jetadmin により管理されるデバイスが、それぞれ異なる言語セットをサポートしている場合があります。この結果、1 つのページに異なる複数の言語が表示されることがあります。</p>

質問	回答
	<p>たとえば、HP Web Jetadmin では [デバイス ステータス] ページの基本的なユーザー インタフェースがオランダ語で表示されているとします。あるデバイスでオランダ語がサポートされていない場合、このデバイス固有の情報は [デバイス ステータス] ページにオランダ語ではなく、英語で表示されず。</p> <p>また、次の場合にも英語が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● デバイスの内蔵 Web ページを表示した場合 ● Windows NT 4.0 または Windows 2000 のコンピュータから、Windows コンピュータで使用されている言語をサポートしていない HP-UX、Linux、または Solaris のコンピュータ上にプリント キューを作成した場合
<p>セキュリティで保護されたプロキシ サーバーのセットアップの場合、どのようにして Web サイトから HP Jetdirect ファームウェア イメージをダウンロードすればよいでしょうか。</p>	<p>HP Web Jetadmin では、ベーシック プロキシ認証がサポートされています。しかし、Web アクセスに追加の認証が必要な場合は、次の Web サイトからファームウェア イメージを手動でダウンロードできます。</p> <p>http://www.hp.com/go/wja_firmware</p> <p>ファームウェア イメージをダウンロードしたら、インテリジェント更新機能を使用して、ファイルのアップロードおよびインストールを行うことができます。</p>
<p>HP Web Jetadmin のデバイス リストからデバイスを削除するには、どうすればよいでしょうか。</p>	<p>デバイス リストから削除するデバイスを選択し、[デバイスの削除] をクリックします。</p> <div data-bbox="853 997 917 1060"> </div> <p>注記 複数のデバイスを選択するには、Shift または Ctrl キーを使用します。</p>
<p>HP Web Jetadmin にはリモート コントロール パネル機能がありますか。</p>	<p>はい。プリンタのコントロール パネルが HP Web Jetadmin 内に表示されるだけでなく、コントロール パネル上のすべてのボタンが HP Web Jetadmin 内で機能します。</p> <p>リモート コントロール パネル機能にアクセスするには、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. デバイス リストで、デバイスをダブルクリックします。 2. [デバイス ステータス] ページで、コンテンツ ツールバー上のドロップダウン リストから [設定] を選択します。 3. [デバイス設定] ページで、[設定カテゴリ] セクションの [リモート コントロール パネル] をクリックします。 <div data-bbox="853 1480 917 1543"> </div> <p>注記 この機能をサポートしているデバイスは、HP LaserJet 5Si、4000、4050、4100、5000、5100、8000、8100、8150、HP Mopier 240 および 320、HP Color LaserJet 4500 および 4550 のみです。</p>
<p>リモート ディスカバリ エージェント (RDA) 機能とは何ですか。</p>	<p>HP Web Jetadmin は RDA を使用して、リモートの TCP/IP ネットワーク上にある未設定の HP デバイス (IP アドレス 192.0.0.192) を検出します。HP Web Jetadmin では、1 つのソフトウェアがリモート ネットワーク上のホストコンピュータに送信されます。この RDA ソフトウェアはサービス (Windows) またはプロセス (Linux) として動作し、未設定のデバイスを検出して、そのデバイス情報を HP Web Jetadmin に渡します。</p>

質問	回答
	<p>リモート ネットワーク上の RDA は、HP Web Jetadmin を使用して設定できます。また、リモート ネットワーク上で実行するディスクバリ方法を指定し、リモート ネットワーク上で RDA ディスカバリの実行をスケジュールできます。</p>
<p>HP Web Jetadmin でデバイス リストを表示するときに、情報の列を並べ替えたり変更したりすることができますか。</p>	<p>はい。デバイス リストを表示した後、コンテンツ ツールバーの [表示] ツールをクリックします。[デバイス リスト - 表示の編集] ページを使用して、情報の列の表示/非表示を切り替えたり、列の順序を変更したりすることができます。このカスタム表示を常時設定として保存できます。</p>
<p>Windows NT 4.0、Windows 2000、および Windows XP の場合、HP Web Jetadmin ではどのバージョンの Novell NetWare Client がサポートされていますか。</p>	<p>HP Web Jetadmin では、Novell NetWare Client 4.9 のみがサポートされています。</p> <p>HP Web Jetadmin では、Windows 2000 に付属の Novell NetWare Client 4.51 はサポートされていません。</p> <p>HP Web Jetadmin では、Microsoft Client Service for NetWare はサポートされていません。</p>
<p>Novell NetWare Client がインストールされているコンピュータで Windows のプリント キューを作成するときに、[その他のドライバ] をクリックしてもプリンタ ドライバのリストが変わらないのはなぜですか。</p>	<p>他のシステムのプリンタ ドライバが列挙されるようにするには、プリント キューを作成しているコンピュータでプリント プロバイダの順序を変更する必要があります。Windows NT 4.0 でプリント プロバイダの順序を変更するには、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. HP Web Jetadmin がインストールされているホストコンピュータで、[ネットワーク コンピュータのプロパティ] を開きます。 2. [サービス] タブをクリックします。 3. [ネットワーク アクセスの順序] をクリックします。 4. [プリント プロバイダ] セクションで、[LanMan Print Services] が先頭に表示されるように順序を並べ替えます。
<p>UNIX または Linux システムで BOOTP または DHCP プロセスが開始されないのはなぜですか。</p>	<p>HP Web Jetadmin では、HP Jetdirect デバイスがブロードキャストする BOOTP または DHCP パケットをリスンすることによって、ネットワークに接続された新しいデバイスを検出できます。このディスクバリ方法はデフォルトで有効になっており、ホスト コンピュータ上での BOOTP または DHCP プロセスの有効化を妨げることがあります。</p> <p>BOOTP または DHCP プロセスを有効化する前に HP Web Jetadmin をインストールすると、HP Web Jetadmin は BOOTP ポート (ポート 67) にバインドされます。BOOTP または DHCP を開始しようとする、BOOTP ポートが使用できなくなり、プロセスを開始できません。</p> <p>回避方法 1 - HP Web Jetadmin と同じホスト コンピュータに BOOTP または DHCP サービスを実装する場合は、確実に BOOTP または DHCP サービスを開始してから HP Web Jetadmin をインストールまたは起動するようにしてください。これで HP Web Jetadmin の BOOTP ポートへのバインドを防止できます。</p> <p>回避方法 2 - 既に HP Web Jetadmin をインストールしてある場合は、BOOTP または DHCP プロセスを有効化し起動時に開始されるようにします。ホスト コンピュータを再起動します。BOOTP および DHCP プロセスの優先順位は HP Web Jetadmin より高いので、BOOTP または DHCP プロセスは</p>
<p> 注記 この問題は、同じホスト コンピュータに HP Web Jetadmin をインストールした後に BOOTP または DHCP プロセスを開始しようとした場合にのみ発生します。</p>	

質問	回答
	<p>HP Web Jetadmin の前に開始され、BOOTP ポートにバインドされます。</p> <p>回避方法 3 - 何らかの理由でホスト コンピュータを再起動できない場合は、手動で停止してから、以下の順序で各プロセスを再起動します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. BOOTP または DHCP プロセスを停止します。 2. HP Web Jetadmin プロセスを停止します。 3. BOOTP または DHCP プロセスを再起動します。 4. HP Web Jetadmin プロセスを再起動します。 <hr/> <p> 注記 HP Web Jetadmin では、BOOTP または DHCP プロセスの実行中に BOOTP 方式を使用して新しいデバイスを検出できません。今後、BOOTP および DHCP の競合が発生しないようにするには、次の手順を実行します。</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> 1. HP Web Jetadmin をブラウズします。 2. ナビゲーション領域で、[デバイス管理] フォルダを展開し、[ディスカバリ] フォルダを展開して、[プロパティ] をクリックします。 3. [新しいデバイスをリスン - BOOTP] チェック ボックスをオフにします。 4. [適用] をクリックします。 5. HP Web Jetadmin サービスを再起動します。 <p>この手順が完了した後、上記の回避方法をまだ実行していない場合は、いずれかの回避方法を実行する必要があります。</p>
<p>Red Hat Linux にはどのようにプリンタをインストールすればいいのでしょうか。</p>	<p>HP Print Server Manager ソフトウェアを Red Hat Linux プリント サーバーで使用する場合は、各プリント サーバーで Rexec サービスを有効にする必要があります。Rexec サービスを有効にするには、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. inetd があるシステムでは、/etc/inetd.conf ファイルに次の行があることと、その行がコメントで無効になっていないことを確認します。 <p>xinetd があるシステムでは、次のコマンドを実行します。</p> <pre>/sbin/chkconfig rexec on</pre> <pre>exec stream tcp nowait root /usr/sbin/tcpd in.rexecd</pre> <ol style="list-style-type: none"> 2. /etc/pam.d/rexec ファイルから以下の行をコメントで無効に(または削除)します。 <pre>auth required /lib/security/pam_securetty.so</pre> <ol style="list-style-type: none"> 3. Rexec サービスを再開します。 <p>inetd があるシステムでは、次のコマンドを実行します。</p> <pre>/etc/rc.d/init.d/inet stop</pre>


質問	回答
	<pre>/etc/rc.d/init.d/inet start</pre> <p>xinetd があるシステムでは、次のコマンドを実行します。</p> <pre>/etc/rc.d/init.d/xinetd stop</pre> <pre>/etc/rc.d/init.d/xinetd start</pre>
Gnome ワークステーションに対してプリント キューを作成したり、リモート ディスカバリ エージェント (RDA) サービスをプッシュしたりすると、ワークステーションにログインしてプロセスを完了できなくなるのはなぜですか。	<p>inetd、rsh、および rsh-server パッケージは、Red Hat Linux でデフォルトで行われる Gnome ワークステーションのインストール時にはインストールされません。プリント キューを作成したり、RDA サービスをプッシュしたりするには、これらのパッケージを手動でインストールする必要があります。</p>
	<div>  <p>注記 通常、Linux でプリント キューを作成するには rsh-server パッケージが必要です。</p> </div>
Fedora Core 2 の使用時、プリント キューを作成できなくなることがあるのはどうしてですか。	<p>Fedora Core 2 クライアントにプリント キューを送ると、HP Web Jetadmin が [Failure, no details] (失敗しました。詳細は不明) というメッセージを表示することがあります。通常、このメッセージは Common Unix Printing System (CUPS) コンポーネントのバージョンが古いことを示しています。HP 社は、Fedora の Web サイトから CUPS コンポーネントを cups-1.1.20-11.1、cups-devel-1.1.20-11.1、および cups-libs-1.1.20-11.1 に更新することをお勧めします。</p>
[インポート設定ファイル] 機能を使用する際に必要なファイル形式は何ですか。	<p>この機能には、コンマ区切り値 (CSV) ファイル形式が必要です。詳細については「インポート ファイルの設定」を参照してください。</p>
HP Web Jetadmin でサポートされている言語は何ですか。それらを有効にするにはどうしたらいいのでしょうか。	<p>HP Web Jetadmin では、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、英語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ハンガリー語、イタリア語、日本語、韓国語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、簡体字中国語、スペイン語、スウェーデン語、ロシア語、繁体字中国語、およびトルコ語がサポートされています。</p> <p>これらの言語パックは HP の Web サイトから入手できます。インテリジェント更新機能を使用し、これらの言語のいずれかまたはすべてをダウンロードしてインストールするには、次の手順を実行します。</p>
	<div>  <p>注記 インテリジェント更新機能を使用するには、[一般設定] > [HTTP (Web)] ページでプロキシ設定を指定する必要があります。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 1. [ナビゲーション] 領域で [製品の更新] フォルダを展開します。 2. [言語] をクリックします。 3. 適切な言語を選択し、[インストール] をクリックします。 4. [次へ] をクリックします。 5. 更新するパッケージのリストに問題がない場合は、[次へ] をクリックします。[インストール結果] ページに、選択した言語が正常にインストールされたかどうかが表示されます。

質問	回答
HP Web Jetadmin では、Windows NT Terminal Server 環境がサポートされていますか。	HP Web Jetadmin は Windows ターミナル サービスを介して共有アプリケーションとして使用することはできませんが、ターミナル サービスがインストールされている Windows 2000 サーバー上で機能します。HP Web Jetadmin は、Windows NT Terminal Server ではテストされておらず、サポートされていません。
Apple PC を使用して HP Web Jetadmin をブラウズできますか。	いいえ。
HP Web Jetadmin アラート メッセージの件名行の UTF-8 エンコードを無効にするには、どうすればよいでしょうか。	<p>UTF-8 は、16 ビット Unicode 文字を 8 ビット電子メール システムでの伝送に適した ASCII 文字に変換する方式です。HP Web Jetadmin のデフォルトでは、このエンコードが有効になっています。エンコードが行われないようにこの機能を無効にするには、hpjalerts.ini ファイルの globals セクションの下に次のエントリを追加します。</p> <p>Enable UTF8Subject=true</p> <p>Windows の場合、hpjalerts.ini ファイルのパスは次のとおりです。</p> <p>¥Program Files¥HP Web Jetadmin¥doc¥plugins¥hpjalerts</p> <p>Linux の場合、hpjalerts.ini ファイルのパスは次のとおりです。</p> <p>/opt/hpwebjet/doc/plugins/hpjalerts</p>
Internet Explorer のオートコンプリート機能がパスワードに対して動作しないのはなぜですか。	HP Web Jetadmin のパスワードは、クライアント コンピュータから HP Web Jetadmin のホスト コンピュータにネットワークを介して伝送する前に、暗号化する必要があります。このため、パスワードに対するオートコンプリート機能の互換性がなくなり、HP Web Jetadmin では動作しません。
HP Web Jetadmin にはコマンドライン インストール オプションがありますか。	<p>はい。次のコマンドを実行します。</p> <p>setup <オプション></p> <p><オプション> には、次のパラメータを指定できます。</p> <p>-h - 使用法の説明を表示します。</p> <p>NONE - GUI インタフェースを使用した新規インストールを開始します。</p> <p>-r - GUI を使用したアンインストールを開始します。</p> <p>サイレントインストールまたはアンインストール</p> <p><オプション> には、次のパラメータを指定できます。</p> <p>-s - GUI インタフェースを使用しない新規インストールを開始します。競合が発生すると、インストールは失敗します。</p> <p>-s -r - 標準サイレント アンインストールを開始します。</p> <p>-s -r all - 完全サイレント アンインストールを開始します。競合が発生すると、アンインストールは失敗します。</p> <p>サイレントインストールのみ</p> <p><オプション> には、次のパラメータを指定できます。</p> <p>-d <ディレクトリ> - <ディレクトリ> パラメータで指定した値にインストール ディレクトリを設定します。</p>

質問	回答
	<p>-m <名前> - <名前> が有効な場合、<名前> パラメータで指定した値にホスト名を設定します。</p> <p>-p <ポート番号> - <ポート番号> が有効な場合、<ポート番号> パラメータで指定した値にポート番号を設定します。</p> <p>-n - サイレント アップグレードで新しい設定が使用されるように設定します。</p> <p>-f - アップグレードまたはアンインストールで競合が強制的に解決されるように設定します。</p> <p>テキストインストールまたはアンインストール</p> <p><オプション> には、次のパラメータを指定できます。</p> <p>-t - テキスト インタフェースを使用した新規インストールを開始します。</p> <p>-t-r - テキスト インタフェースを使用したアンインストールを開始します。</p> <p>バンドル インストールのみ</p> <p><オプション> には、次のパラメータを指定できます。</p> <p>-b - サイレント バンドル インストールのみを開始します。</p> <p>Linux アップグレードのみ</p> <p><オプション> には、次のパラメータを指定できます。</p> <p>-u <ディレクトリ> - アップグレード インストールを開始します。以前のインストール ディレクトリが存在している必要があります。</p> <div>  <p>注記 新規インストールでは必ず以前のインストールが検索されます。以前のインストールが検出された場合は、アップグレード オプションが提供されます。</p> </div>
<p>setup -s -r all コマンドを使用しても HP Web Jetadmin をアンインストールできないのはなぜですか。</p>	<p>このコマンドでは完全アンインストールが実行されますが、HP Web Jetadmin のプラグイン モジュールとの競合が原因となって失敗します。完全アンインストールを実行するには、次のコマンドを実行します。</p> <pre>setup -s -f -r all</pre> <p>-f パラメータによって競合が強制的に解決されます。</p>
<p>HP Web Jetadmin は、Apache Web サーバーを対象とする CERT Advisory CA-2002-17 の対象になっていますか。</p>	<p>HP Web Jetadmin には、この CERT Advisory の対象になっていない Apache Web サーバー バージョン 2.0.39 が実装されています。詳細については、次の Web サイトを参照してください。</p> <p>http://www.cert.org/advisories/CA-2002-17.html</p> <div>  <p>注記 セキュリティ関連のその他の問題やセキュリティ関連以外の問題を解決するには、Apache Web サーバー バージョン 2.0.54 を使用します。</p> </div>
<p>HP Web Jetadmin は、CERT Advisory CA-2002-19 の対象になっていますか。</p>	<p>Windows 上で実行されている HP Web Jetadmin は、この CERT Advisory の対象になっていません。</p>

質問	回答
	<p>Linux 上で実行されている HP Web Jetadmin は、GNU libc ライブラリを使用するため、この CERT Advisory の対象になる可能性があります。適切なオペレーティングシステムパッチを適用する必要があります。詳細については、次の Web サイトを参照してください。</p> <p>http://www.cert.org/advisories/CA-2002-19.html</p> <p> 注記 セキュリティ関連のその他の問題やセキュリティ関連以外の問題を解決するには、Apache Web サーバー バージョン 2.0.54 を使用します。</p>
<p>HP Web Jetadmin でプリント キューを作成するときに、Windows XP コンピュータからプリンタ ドライバを選択しようとしても、プリンタ ドライバが表示されないのはなぜですか。</p>	<p>Windows XP ではセキュリティが拡張されているため、HP Web Jetadmin でリモートの Windows XP コンピュータにあるプリンタ ドライバのリストを表示するには、リモート コンピュータに HP プリント サーバー管理コンポーネント (PPS) をインストールする必要があります。リモート コンピュータに PPS ソフトウェアをプッシュするには、HP Web Jetadmin を使用して、そのリモート コンピュータ上にプリント キューを作成します。</p>
<p>セットアップ ウィザードを表示するには、どうすればよいですか。</p>	<p>セットアップ ウィザードを表示するには、ナビゲーション領域で [一般設定] フォルダを展開します。[一般設定] の下で [セットアップ ウィザード] を選択します。</p>
<p>[一般設定] > [HTTP (Web)] ページの [HP Web Jetadmin アクセスの指示] セクションにある [許可した後に拒否] オプションと [拒否した後に許可] オプションの違いは何ですか。</p>	<p>[許可した後に拒否] オプションでは、HP Web Jetadmin によって最初に許可ディレクティブが評価され、次に拒否ディレクティブが評価されます。このオプションを選択すると、HP Web Jetadmin はデフォルトでアクセスを拒否します。つまり、HP Web Jetadmin は、許可ディレクティブに一致しないクライアント コンピュータへのアクセスを拒否し、拒否ディレクティブに一致するクライアント コンピュータへのアクセスを拒否します。</p> <p>[拒否した後に許可] オプションでは、HP Web Jetadmin によって最初に拒否ディレクティブが評価され、次に許可ディレクティブが評価されます。このオプションを選択すると、HP Web Jetadmin はデフォルトでアクセスを許可します。つまり、HP Web Jetadmin は、拒否ディレクティブに一致しないクライアント コンピュータへのアクセスを許可し、許可ディレクティブに一致するクライアント コンピュータへのアクセスを許可します。</p>
<p>Linux で Windows NT ドメイン認証を設定するには、どうすればよいでしょうか。</p>	<p>Windows では、NT ドメイン認証は HP Web Jetadmin 内のオプションとして表示され、特別な設定はありません。</p> <p>しかし、Linux では、次の手順を実行して、Linux コンピュータでの Windows NT ドメイン認証のサポートを有効にする必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Linux コンピュータに winbindd がインストールされていない場合は、インストールします。 2. smb.conf ファイルを設定します。マニュアルの winbindd に関するページの説明を参照してください。[global] セクションに、次の行を追加します。 <pre>workgroup= <DOMAIN NAME> winbind uid= 10000-20000 winbind gid= 10000-20000 winbind enum users= yes winbind enum groups= yes template homedir= /home/winnt/%D/%U template shell= /bin/bash winbind separator= +</pre>

質問	回答
	<p>3. samba を起動 (再起動) するには、次のコマンドを実行します。</p> <pre>/etc/rc.d/init.d/smb start</pre> <p>4. ドメインに参加するには、次のコマンドを実行します。</p> <pre>smbpasswd -j <ドメイン名> -r <ドメイン サーバー> -U <ユーザー名></pre> <p>ユーザーのパスワードが要求されます。ユーザーは、ドメインへの参加を許可されている必要があります。</p> <p>5. 設定をテストするには、次のコマンドを実行します。</p> <pre>wbinfo -t</pre> <p>このテストは、Linux コンピュータが Windows NT ドメイン認証をサポートしているかどうかを調べるために HP Web Jetadmin で使用されるテストと同じです。このコマンドが正常に処理されると、「Secret is good (秘密は保持されています)」というメッセージが表示されます。wbinfo コマンドと -a オプションを使用して、特定のユーザーの認証をテストすることもできます。</p>
HP Jetdirect デバイスで一部のプロトコルを無効にすることができないのはなぜですか。	HP Web Jetadmin ホスト コンピュータに Novell NetWare Client 4.80 がインストールされている場合は、Novell NetWare Client 4.9 にアップグレードしてください。
[ナビゲーション] ツリー アプレット (画面の左側) をいつもロードできるとは限らないのは、どうしてですか。	<p>Sun Java クラスローダ および Java キャッシュ メカニズムに問題が発生している可能性があります。この問題を解決するには、Java キャッシュをオフにします。</p> <p>Windows の場合は、次の手順を使用します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [コントロール パネル] で、[Java プラグイン] をダブルクリックします。 2. [キャッシュ] タブをクリックします。 3. [Enable Caching] (キャッシュの有効化) チェック ボックスをオフにします。 4. [適用] をクリックします。 <p>Linux の場合は、次の手順を使用します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <code>./[Java へのパス]/bin/ControlPanel</code> 2. [キャッシュ] タブをクリックします。 3. [Enable Caching] (キャッシュの有効化) チェック ボックスをオフにします。 4. [適用] をクリックします。
NetWare クライアント バージョン 4.9 の使用時に、HP Web Jetadmin の NetWare キュー作成ページや診断ページで NetWare ログオン インタフェースが応答しないのはどうしてですか。	<p>HP Web Jetadmin サービスを停止して、再起動する必要があります。</p> <p>NetWare クライアント バージョン 4.9 では、Novell Modular Authentication Services (NMAS) という新技術を使用しています。この機能は、クライアントからの応答を、入力ミスしたパスワードやユーザー ID などのユーザーのエラーに変換します。その結果、NetWare の対話用に作成された HP Web Jetadmin スレッドが応答せず、さらに Netware と HP Web</p>

質問	回答
	<p>Jetadmin の相互接続を阻害します。この問題に関して、Novell は TID 10087719 をリリースしました。</p>
	<p> 注記 この問題を発生させないようにするには、NetWare クライアント設定インタフェース内の [NMAS] の設定をオフにします。</p>
<p>SUSE LINUX 9.1 Professional の使用時、HP Web Jetadmin を実行しているクライアント ブラウザが、[複数デバイス設定] ページでのデバイス グループの表示やデバイスのフィルタ処理を正常に行いません。この問題を解決するにはどうすればいいですか。</p>	<p>この問題を解決するには、クライアントのブラウザで [編集]、[環境設定]、[Privacy and Security] (プライバシーとセキュリティ)、[Cookies]、[すべての Cookie を受け入れる] の順にクリックします。この問題を解決するには、[編集]、[環境設定]、[Security & Privacy] (セキュリティとプライバシー)、[Cookies] の順にクリックして、HP Web Jetadmin サーバー上のブラウザで Cookie を設定することもできます。</p>
<p>HP Web Jetadmin では、Windows XP Service Pack 2 はサポートされていますか。</p>	<p>はい。HP Web Jetadmin では、Internet Connection Firewall が無効になっているか (ファームウェアのアップグレードには必須)、または次のポートが有効になっている場合、Windows XP Service Pack 2 をサポートします。</p> <p>8000 – HTTP のデフォルト ポート、プリント キュー作成ポート</p> <p>8443 – HTTPS のデフォルト ポート</p> <p>67 – BOOTP ディスカバリおよびサーバー ポート</p> <p>80 – EWS アラートの HTTP リスン ポート</p> <p>161 – SNMP IP ブロードキャスト ディスカバリおよびエージェント リスン ポート</p> <p>427 – SLP ブロードキャスト ディスカバリ ポート</p> <p>27892 – 非標準トラップ リスン ポート</p> <p>10167 – 補助の (受動的) BOOTP ディスカバリ ポート</p> <p>10527 – 補助の (受動的) SLP ディスカバリ ポート</p> <p>43768 – RDA 結果収集ポート</p> <p>54253 – FPM のインストール</p>

用語集

Application Manager デバイスまたはデバイス グループにインストールされているアプリケーションを管理するための HP Web Jetadmin の機能。この機能を使用して、次の作業を行うことができます。

- デバイスまたはデバイス グループにインストールされているデバイス アプリケーションを表示します。
- Application Manager のすべてのトランザクション履歴を表示します。
- 新しいデバイス アプリケーションをインストールします。
- デバイス アプリケーションを削除します。

arp アドレス解決プロトコル (Address Resolution Protocol) のこと。IP アドレスをハードウェア アドレスにマッピングするために使用するプロトコルです。ネットワークにおいてデバイスを認識する方法の 1 つです。

ARP テーブル ネットワーク内の TCP/IP プロトコルを使用したデバイスは、それぞれ ARP テーブルによって管理されています。ARP テーブルには、接続されているすべてのデバイスが含まれています。IP アドレスとハードウェア アドレスのアドレス解決を行います。ARP テーブルは、各デバイスのホスト名を IP アドレスに割り当てる DNS サーバーから IP アドレスを取得します。

BOOTP Bootstrap Protocol。BOOTP は、ネットワーク ユーザーが自動的に IP アドレスを受信するためのプロトコルです。BOOTP サーバーは、予備のアドレスから IP アドレスを時間制限付きで自動的に割り当てます。

BOOTP 要求 ネットワーク上のメッセージ。デバイスがネットワークに新たに接続されたときに送信されます。このメッセージは、接続されたデバイスに設定が必要なことをネットワークに通知します。新しいデバイスをリスン ディスカバリを実行するように、HP Web Jetadmin を設定すると、BOOTP 要求をリスンして、ネットワークに接続された新しいデバイスを検出します。

CGI コモン ゲートウェイ インタフェース (Common Gateway Interface) のこと。CGI 標準は、HP Web Jetadmin などのリモート Web サーバー上で実行される実行ファイルで、Web ブラウザと情報をやりとりします。CGI プログラムはリアルタイムで実行され、ダイナミックな情報を Web ブラウザのウィンドウに出力します。Web サーバーに保存されている実行形式ファイルの URL を入力すると、プログラムが実行され、必要な情報を探し出して取得します。つまり、ブラウザ側が直接データ ファイルにアクセスすることはなく、ブラウザがアクセスしたプログラムによってデータが操作されます。

Device Application Manager 「[Application Manager](#)」を参照。

DHCP ダイナミック ホスト構成プロトコル (Dynamic Host Configuration Protocol) のこと。このプロトコルは、ネットワークにデバイスが追加された際に、一時的なダイナミック IP アドレスを割り当てる、TCP/IP プロトコルです。あらかじめ定義されている範囲内で、再利用可能な IP アドレスが決定されます。このアドレスを、DHCP がデバイスにリースします。このリースされた IP アドレスには、あらかじめリース期間と呼ばれる有効期限が設定されています。DHCP がデバイスに割り当てる IP アドレスは、起動時、再起動時、または TCP/IP 設定の失効時など、デバイスが要求するたびに毎回異なります。DHCP は、代わりに IP アドレスを割り当て、管理します。これにより、IP アドレスの集中管理や有効利用が可能となります。

DLC Data Link Control のこと。SNA (Systems Network Architecture) において、DLC は、エラーコレクション プロトコルです。DLC は、配線などの物理的な接続を介して 2 つのデバイスの間でデータを転送します。

DMI Desktop Management Interface のこと。ワークステーションや、HP Jetdirect プリント サーバーなど、ネットワーク上のデバイスに関する情報を提供する、アプリケーション プログラム インタフェースです。DMI は、管理タスクをリモートで実行するために必要な情報を提供します。また DMI は、管理者の設定タスクや更新タスクに役立ちます。

DNS Domain Name Service のこと。DNS サーバーは、各デバイスのホスト名を IP アドレスにマッピングします。その後、ARP テーブルによってマッピングされた IP アドレスが、ハードウェア アドレスに解決されます。

EIO Enhanced Input/Output のこと。HP プリンタとネットワーク間の通信を実現するために、内蔵の HP Jetdirect プリント サーバーやネットワーク アダプタ カードで使用されるハードウェア インタフェース。このテクノロジーによって、32 ビットバス対応や、柔軟性の向上、低電力化、カードサイズのコンパクト化などが実現し、MIO インタフェースが不要になります。

Ethernet フレーム タイプ ネットワークのデータ転送のために、Ethernet でパケットをカプセル化する方法。フレーム タイプによって、使用するフォーマットは異なります。

FTP ファイル転送プロトコル (File Transfer Protocol) のこと。インターネットなどの TCP/IP 環境で、ファイルを転送するためのプログラム。一般的に、Web ブラウザが Web からソフトウェアをダウンロードする場合に FTP を使用します。「[HTTP](#)」と対比。

GIF Graphic Interchange Format のこと。インターネットで一般的に使用されている画像ファイル フォーマットです。デバイスやデバイス グループ、URLなどを割り当てたサイト マップを GIF 形式で作成して、HP Web Jetadmin にアップロードすることができます。

HTML Hypertext Markup Language のこと。Web ページ作成のための、特別な言語。テキストや、画像、サウンド、アニメーションなどを、文書に一体化し、Web ブラウザで表示できるようにします。

HTTP Hypertext Transfer Protocol のこと。標準的なインターネット プロトコル。インターネットや企業イントラネットにおいて、Web ブラウザが文書を取得したり、Web サーバーのプログラムを取得するときに使用します。「[FTP](#)」と対比。

HTTPS Hypertext Transfer Protocol Secure のこと。セキュリティ保護された Web サーバーにアクセスするためのプロトコル。HP Web Jetadmin では、HTTP と SSL を使用してアクセスのセキュリティを保護します。

HTTP ポート Web サイトの物理ポートを示すために使用される設定。

IP 「[TCP/IP](#)」を参照。

IPX/SPX Internetwork Packet Exchange/Sequenced Package Exchange のこと。ネットワークを介したコンピュータ同士の情報のやりとりのために開発されたソフトウェアです。IPX/SPX プロトコルは、Windows NT ネットワークでのみサポートされています。

IPX/SPX SAP IPX/SPX Service Advertising Protocol のこと。周期的に発生するパケットのブロードキャストです。NetWare サービスの情報を提供します。この情報はバインダリに保存されます。

IPX/SPX 名 管理者が HP Jetdirect カードに割り当てる名前。

IP アドレス デバイスに割り当てられた固有の識別子。TCP/IP プロトコルを使用してデバイスと情報をやりとりするには、この IP アドレスを使用します。

IP 範囲ディスカバリ ある IP アドレス、またはある範囲の特定の IP アドレスにあるデバイスを検索するディスカバリ方法。

JavaScript Java が必要ない場合に HP Web Jetadmin で使用されるプログラム言語。JavaScript は、Java よりも速い実行速度を持ち、CGI では提供されない機能が追加されています。アニメーションの多い、印象的なユーザー インタフェースを作成することができ、Web フォームの **[登録]** ボタンなどが不要になり、注目される Web ページを作成できます。

Java アプレット Java プログラム言語で作成された小さなアプリケーション。実行形式のコンテンツを作成するために Web ページに埋め込むことができます。これにより、Web ページにダイナミックでインタラクティブなコンテンツを表示することができます。Java を使用可能なブラウザが、Java アプレットを含むページを表示するには、アプレットをダウンロードして、コンピュータで実行します。アプレットの実行結果が Web ページに表示されます。HP Web Jetadmin のユーザーは、Java Status アプレットを参照できます。このアプレットは、デバイスの **[デバイス ステータス]** ページに表示されるデバイスのステータスを動的に更新します。

Jetadmin ネットワーク デバイスの設定や管理を行うソフトウェア。HP Web Jetadmin とは異なり、HP Jetadmin は、使用するワークステーションごとにソフトウェアをインストールする必要があります。また、プリンタを管理するコンピュータで使用している OS に一致したバージョンのインストールも必要です。

jetdirect の表示 HP Web Jetadmin の定義済み表示。ハードウェア アドレス、ポート番号、HP Jetdirect モデル、HP Jetdirect ファームウェア レビジョン、システム連絡先、デバイスのモデルが表示されます。

Jetdirect プリント サーバー Hewlett-Packard 社が開発した、内蔵または外付けの HP Jetdirect プリント サーバー ハードウェア。ネットワーク接続を利用した印刷が可能となります。

Jetsend 周辺機器同士のコミュニケーション アーキテクチャ。ネットワーク周辺機器やワークステーションなど、広範なデバイスにおいて、ピアツーピアを基本とする情報のやりとりを実現します。プリンタ ドライバやデバイス ドライバなど、デバイス固有のフォーマットや接続ソフトウェアは必要ありません。HP LaserJet 4000、HP LaserJet 5000、HP Color LaserJet 4500、HP LaserJet 8100、HP 9100C Digital Sender などの HP 製デバイスで、HP Jetsend はサポートされています。

LAN Local Area Network のこと。互いに通信できるように通信リンクで接続されたデバイス。ワークステーションや、プリンタ、大規模ストレージなど、LAN は、さまざまな種類のデバイスをサポートしています。しかし、全体で 1 つの接続プロトコルを使用しなければならないため、それらのデバイスは 1 つのビル内など、限られた領域になければなりません。

LLC Logical Link Control. データリンク層の 2 層の 1 つ。ISO の OSI (Open Systems Interconnection) モデルのサブレイヤ。IEEE 802 規格で定義されています。LLC サブレイヤは、ワークステーション同士の接続や、エラー コントロールに密接に関係しています。「**MAC**」と対比。

MAC メディア アクセス コントロール データリンク層の 2 層の 1 つ。ISO の OSI (Open Systems Interconnection) モデルのサブレイヤ。IEEE 802 規格で定義されています。MAC サブレイヤは、ネットワーク アクセスと、衝突の検知に密接に関係しています。ISO で定義されたネットワークの種類に応じて、規格によって変わります。「**LLC**」と対比。

MAC アドレス 製造元がネットワーク インタフェース カードに割り当てる固有のアドレス。ハードウェア アドレスとも呼ばれます。

MIB Management Information Base のこと。ネットワーク上のデバイスを管理するときに使用される、データベース プロトコル。MIB には、ネットワーク管理システムによって管理されているデバイスに関する情報が含まれます。この情報は、各デバイスから SNMP によって収集されます。デバイスの名前、機能、データ転送統計、エラーなどの情報が含まれます。デバイスの製造元や、モデルによって異なる固有の情報が MIB に保存されています。標準プリンタ MIB は、RFC (Request for Comments) 1759 によって定義されています。

MIO Modular Input/Output のこと。HP プリンタとネットワーク間の通信を実現するために、内蔵の HP Jetdirect プリント サーバーやネットワーク アダプタ カードで使用するハードウェア インタフェース。MIO のテクノロジーは、新しく登場した EIO に移行しました。

NDS NetWare ディレクトリ サービス。オブジェクトの組織化のための Novell 社の階層データベース モデル。

OpenView 広範な企業管理システム。ユーザー、プロセス、テクノロジーなど、企業のすべての構成要素を監視します。HP Web Jetadmin と bridges を介して情報をやり取りすることができます。HP Web Jetadmin の情報を企業管理レベルで 사용할 ことができます。

SAP Service Advertising Protocol のこと。ブロードキャスト プロトコル。ファイル サーバー、プリント サーバー、ゲートウェイ サーバー、アプリケーション サーバーが、TCP/IP ネットワーク上でサービスやアドレスを通知するときに使用します。SAP ブロードキャストは、一定の間隔で生成されます。たとえば、HP Jetdirect プリント サーバーは、SAP ブロードキャストを 60 秒ごとに送信します。IPX/SPX SAP ブロードキャスト間隔パラメータによって、HP Jetdirect の SAP ブロードキャストの頻度を設定することができます。SAP ブロードキャストを必要としないネットワークでは、この間隔を 0 に設定することによって無効にすることができます。

SLP Service Location Protocol のこと。TCP/IP を基本とするマルチキャスト パケットによって送られる、ネットワーク デバイスによる望まないサービス通知。「[マルチキャスト/SLP](#)」も参照。

SNMP Simple Network Management Protocol のこと。異なる製造元の複数のデバイスをお互いに機能させ、ネットワーク上のデバイスから管理のための情報を集める、インターネット標準のコミュニケーション プロトコルです。この情報はデバイスの MIB に記録されます。HP Web Jetadmin などの管理ユーティリティは、MIB から情報を集めるために SNMP を使用します。そしてその情報をさまざまなページに表示します。

SNMPv3 Simple Network Management Protocol バージョン 3 のこと。SNMPv3 では、SNMP の機能に加えて、ユーザー認証およびデータ暗号化によってネットワーク管理情報を保護します。HP Web Jetadmin では、SNMPv3 を使用して権限のないユーザーがネットワーク デバイスの設定の表示や変更をしないようにします。

SSL/TLS Secure Sockets Layer/Transport Layer Security のこと。Web トランザクションの保護に使用するネットワーク セキュリティ プロトコル。

TCP/IP Transmission Control Protocol/Internet Protocol のこと。インターネットを含む、ネットワークを介したコンピュータ間のデータ転送の標準として開発されたソフトウェアです。

TCP/IP 設定 IP アドレス、デフォルトのゲートウェイ、サブネット マスク、デバイスのアイドル タイムアウトなど。

TCP/IP タイムアウト HP Jetdirect プリント サーバーが、アイドル状態の TCP/IP 印刷データ接続を切断するまでの秒数。タイムアウトは、ウェイトとも呼ばれます。有効な値は、0 ～ 3600 です。0 を指定すると、タイムアウト機能は無効となります。

TFTP Trivial File Transfer Protocol のこと。ファイル転送プロトコルです。HP Web Jetadmin の統合ファームウェア ダウンローダは、更新されたファームウェアのイメージを HP Jetdirect プリント サーバーに送信する際に、TFTP を使用します。このダウンロード プロセスは、同一コードを持つ 2 つのイメージ ファイルを使用して、完全なフォールト トレラントを実現しています。

URL Uniform Resource Locator のこと。Web ページ、FTP、Gopher、Usenet、データベースなど、インターネット上の情報にアクセスするためのアドレス。URL のフォーマットは `http://host.domain/page` または `mailto:username@host.domain` です。

WAN Wide Area Network のこと。地理的に離れた国/地域を接続する通信ネットワーク。

Web サーバー サーバーで実行される特別なプログラム TCP/IP プロトコルをサポートします。Web サーバーは、ネットワークのワークステーションから Web にアクセスできるようにします。Web サーバーは、クライアントワークステーションで実行されている Web ブラウザから送信される、HTTP 要求を受信します。Web サーバーへの要求には、テキスト ファイルや画像ファイル、ZIP ファイルの取得があります。この要求に対して、Web サーバーはブラウザに、ファイルや、プログラムといった情報を送信します。内蔵 Web サーバーは、HP Jetdirect プリント サーバーに含まれており、デバイスを管理するための情報を提供します。

Web ブラウザ ワークステーション上で実行されるアプリケーション。このアプリケーションを使用して、Web の HTML 文書を表示したり、ハイパーリンクをクリックしたり、ファイルを転送したりします。Web ブラウザは、Web サーバーに情報を要求し、Web サーバーから得られた情報を表示します。情報は、Web ページの形式

で構築され、このページには、テキスト、画像、サウンド、HTML、Java アプレット形式のアニメーションなどが含まれます。HP Web Jetadmin は、Firefox (Linux) と、Microsoft Internet Explorer (Windows) をサポートしています。

Web リダイレクタ 簡易型 Web サーバー。HP Jetdirect プリント サーバーに含まれており、HP Web Jetadmin からデバイスの情報にアクセスします。ブラウザに URL として、HP Jetdirect プリント サーバーの IP アドレスを入力します。アクセスした HP Jetdirect は、HP Web Jetadmin の **[デバイス ステータス]** ページにデバイスの情報を表示します。管理者は、**[デバイス設定]** ページにある **[デバイス ステータス]** ページの、リダイレクト URL を指定します。

WINS Windows Internet Naming Service のこと。Windows NT Server で使用する、コンピュータのホスト名をアドレスに関連付ける方法。

www World Wide Web のこと。インターネットにおける簡単なグラフィックベースのインタフェース。世界中の Web サーバーにあるリンクの集まりやハイパーテキスト形式の文書を参照することができます。

アイドル タイムアウト HP Web Jetadmin が印刷データを受信した後、I/O ポートを切り替えるまでの待ち時間。HP Web Jetadmin では、デフォルトで 120 秒に設定されています。

赤の信号 プリンタがエラーの状態にあることを示す表示。停止信号アイコンが赤になっている場合、ユーザーはプリンタにプリント ジョブを送信できません。プリンタをオンラインに戻すには、ユーザーの復帰操作が必要です。

アセットの表示 HP Web Jetadmin の定義済み表示。デバイスのモデル、ハードウェア アドレス、ポート番号、デバイスの説明、システム連絡先、アセット番号、シリアル番号が表示されます。

アセット番号 ネットワーク管理者がデバイスに割り当てた最大 8 桁の数値です。この番号は、通常トラッキングに使用されます。**[デバイス設定]** ページと **[デバイス診断]** ページに表示されます。

アプリケーション プラグイン HP Web Jetadmin の機能強化を目的として追加するオプションのソフトウェア。

印刷したページ 現在のプリント ジョブで印刷した総ページ数。

印刷フィルタ Linux システムでプリント ジョブを作成するために必要なソフトウェア。

インターネット ネットワークやゲートウェイの世界的な集合体。TCP/IP プロトコルが使用されています。

インターネット ブラウザ インターネット上の情報を閲覧することができるアプリケーション ソフトウェア。

イントラネット 組織内で情報を配布するために使用されるネットワーク。イントラネットでは、インターネットで使用されるアプリケーションと同じものを使用しますが、組織内でしかアクセスできません。

エクスポート用表示 HP Web Jetadmin の定義済み表示。キャッシュに保存された情報の列のほとんどが表示されますが、必ずしもすべてではありません。この表示は、キャッシュからカンマ区切り値ファイル (CSV ファイル) にデバイス情報をエクスポートする場合に便利です。

エラー処理 HP Jetdirect EX プリント サーバーによるエラーの処理方法。エラー処理のオプションは次のとおりです。

- **[ダンプ後にリブート]** では、印刷ログをデバイスに送信し、HP Jetdirect プリント サーバーを再起動します。
- **[ダンプせずにリブート]** では、HP Jetdirect プリント サーバーを再起動します。印刷ログはデバイスに送信されません。
- **[ダンプ後に停止]** では、印刷ログをデバイスに送信し、HP Jetdirect プリント サーバーを停止します。

お気に入り 「[ブックマーク](#)」を参照。

オフライン ホスト コンピュータからの印刷データが届かない状態、または受け付けられない状態。

親アドレス ARP テーブル ディスカバリを実行するために HP Web Jetadmin が使用するデバイス アドレス。ARP テーブル ディスカバリでは、SNMP ブロードキャストを使用して、親リストと呼ばれる検出すべき最初のデバイスのリストを選択します。

親デバイス グループ デバイス グループの場所を表すマップ。親デバイス グループのアイコンをクリックすると、個別のデバイス グループのマップが表示されます。

オンライン ホスト コンピュータからの印刷データを受け付け、印刷できる状態。

カスタム表示 必要な情報を指定した順番で表示できる独自の表示。作成したカスタム表示は、すべてのデバイスのリストの表示に使用できます。

管理者プロファイル デフォルトのプロファイル。パスワードは、HP Web Jetadmin インストール プロセスで割り当てられます。HP Web Jetadmin でユーザーが設定を変更するには、このパスワードが必要です。

企業管理システム 包括的な管理ツール。人間、プロセス、テクノロジーなど、企業のすべての構成要素を監視します。HP OpenView は、企業管理システムの 1 つの例です。

企業 1 つのネットワーク、またはネットワークの集合。一般に、さまざまなプラットフォーム、オペレーティング システム、プロトコル、ネットワーク構造などを使用し、地理的に異なる場所にいるユーザーで構成されます。

機能 カラー印刷、PCL、PostScript、パワーセーブ モードなどのデバイスの機能やオプション。HP Web Jetadmin では、機能は **[デバイス ステータス]** ページに表示されます。

黄の信号 プリンタのトナーが少なくなっているか、またはメディアトレイが空であることを示す表示。停止信号アイコンが黄になっている場合でも、ユーザーはプリンタにプリントジョブを送信することができます。

キャッシュ 情報が保存されているディレクトリ。Web ブラウザは、このディレクトリからページを取得することができます。コンピュータは、キャッシュの中にあるデータに対して、キャッシュの外にあるデータよりもすばやくアクセスすることができます。

キュー コンテキスト NDS ツリー内のコンテキスト。NDS ツリーには、個別のキュー オブジェクトが定義されています。HP Web Jetadmin のユーザーは、キューを検索するために、NDS ツリーのコンテキストをブラウズすることができます。

キュー サービス リスト Bindery (バインダリ) キューのリスト。選択したデバイスに現在設定されているキューのリストです。

許可リスト HP Web Jetadmin にアクセス可能な IP アドレスとアクセスできない IP アドレスのリスト。

クイック コピー 一部のプリンタの機能。最初のジョブが終わった後でも、プリントジョブの追加コピーを印刷することができます。

クイック設定 よく使用する設定オプションをグループに分ける機能。**[クイック設定]** を定義すると、設定オプションは **[デバイス設定]** ページの **[クイック設定]** に表示されます。

クイック デバイス検索 特定のデバイスを検索する機能。ハードウェア アドレス、IP アドレス、IPX/SPX アドレス、IPX 名、IP ホスト名などを利用して、特定のデバイスをすばやく検索することができます。

クライアント ワークステーション 共有ネットワーク リソースにアクセスするネットワーク上のコンピュータ。共有ネットワーク リソースは、サーバーとも呼ばれる管理ソフトウェアが移動するコンピュータによって提供されます。

ゲートウェイ ネットワークを分離するデバイス。情報を交換できるように同じプロトコル、または異なるプロトコルを使用します。ルーターがその例です。

結果ページ デバイスの検索結果の表示。

交通信号アイコン 「[デバイスの信号](#)」を参照。

コンテキスト ヘルプ領域 HP Web Jetadmin の各ページにある領域。HP Web Jetadmin で設定してあると、ソフトウェア内にコンテキスト ヘルプが表示されます。デフォルトの設定では、HP Web Jetadmin はコンテキスト ヘルプを別のブラウザ ウィンドウに表示します。

コンテンツ ツールバー HP Web Jetadmin の各ページにあるコンテンツ領域の一部。次の項目が含まれています。

- 一部のページには、他の関連ページにアクセスできるドロップダウン リストがあります。たとえば、**[デバイス ステータス]** ページにアクセスすると、タスク バーのドロップダウン リストから、**[デバイス設定]** ページや **[デバイス診断]** ページなどの他のデバイス関連ページにアクセスできます。
- リフレッシュ、ホーム、ブックマーク、コンテキスト ヘルプなどの特定の機能を提供する複数のアイコンがあります。
- 一部のプロセスでは、コンテンツ ツールバーに進行状況インジケータが表示されます。

コンテンツ領域 HP Web Jetadmin の各ページの主要な領域。HP Web Jetadmin が情報を表示したり、ユーザーが設定を行ったり、その他のタスクを実行したりすることができる場所です。

コントロール パネル メッセージ 印字可、パワー セーブ オンなど、デバイスの現在の稼働状態を示すメッセージ。コントロール パネル メッセージは、**[デバイス ステータス]** ページに表示されます。

サーバー 管理ソフトウェアが実行されているネットワーク コンピュータ。ネットワークのすべてのリソースへのアクセスを制御します。サーバーは、ネットワーク上のクライアント ワークステーションでネットワーク リソースを使用できるようにします。

サブネット ブリッジとルーターに相互接続されている、複数の LAN で構成されるネットワーク。このような構成の場合、各 LAN はサブネットまたはサブネットワークと呼ばれます。サブネットは通常、ユーザーの部署やワークグループなどを限定したり、サブネット内でトラフィックを区別するときに使用します。

サブネット マスク サブネットワークを識別する番号。サブネット マスクにより、ローカル ネットワークが IP アドレスを共有することができます。

システム連絡先 管理者や、デバイス所有者、デバイス グループ所有者などと呼ばれ、ユーザーがデバイスや HP Web Jetadmin のサポートを受けるために連絡する担当者。

指定アドレス ディスカバリ 作成したデータ ファイルに記録されているデバイスだけを検索するディスカバリ方法。

詳細表示 HP Web Jetadmin の定義済み表示。デバイスのモデル、ハードウェア アドレス、ポート番号、デバイスの説明、システム連絡先が表示されます。

状態 **[保留中]** または **[完了]** などジョブの操作ステータス。

証明機関 証明書を発行し、その証明書の作成者およびソフトウェア発行者の ID を保証する機関。

証明書 デジタル情報を暗号化して署名するために組織が使用する電子キーのペアに、クライアントまたはサーバーの ID を組み合わせるファイル。証明書によって、インターネットでの通信のセキュリティが確実に保護されます。証明書を取得するプロセスをコード署名といいます。証明書によって、作成者およびソフトウェア発行者が識別されます。

ジョブ ID デバイスが自動的に割り当てる、ジョブを識別するための固有の参照番号。

ジョブサイズ プリント ジョブをバイト数で表したもの。

ジョブステータス [印刷済み]、[処理中]、[保留]などのジョブの状態。コンテンツ ツールバーの[リフレッシュ]アイコンをクリックして、定期的にステータスを更新することができます。

ジョブの詳細 ジョブ番号、入力時刻、バイト数、部数など、プリント ジョブに関する詳細な情報。

ジョブの所有者 デバイスにジョブを送信したユーザー。

ジョブの説明 ファイル名など、プリント ジョブの情報。

ジョブの入力時刻 プリント ジョブがプリント キューに入った時刻。

ジョブ番号 HP Jetdirect プリント サーバーがプリント ジョブに割り当てる番号。

ジョブ保留 大量データの保存能力のある一部のプリンタの機能。ジョブを保存したり、複数の部数を印刷したり、保護されたプライベート コピーをプリンタに保存したりできます。

ジョブリスト 印刷されたプリント ジョブのリスト。リストにはジョブ ID、ジョブの説明、ジョブステータス、およびジョブの所有者が含まれます。リストは、使用するオペレーティング システム、アプリケーションやプリンタ ドライバによって異なります。

所有者 ジョブを開始したアプリケーションの名前。

診断 問題の解決に役立つ情報を提供する機能。HP Web Jetadmin が、システムのさまざまな場所から、[デバイス診断] ページに情報を集めます。

スケジュール済みディスクカバリ時間 HP Web Jetadmin がディスクカバリを実行する時間。このディスクカバリ時間は管理者が指定します。

ステータス デバイスの動作状態。

ステータスの表示 HP Web Jetadmin の定義済み表示。デバイスのモデル、ハードウェア アドレス、ポート番号、デバイスの説明、ステータスの説明が表示されます。

ステータス ページ言語 デバイスのパーソナリティ。HP Jetdirect 外付けプリント サーバーがプリンタにステータス ページを送信するときに使用します。このパーソナリティは、HP-PCL、PostScript、テキスト、HP-GL2 で対応しています。

設定コミュニティ名 SNMP でカードにオブジェクトを設定できるようにする、カードの設定。カード上の SNMP を設定するには、一致する設定コミュニティ名が必要です。

大容量給紙 (HCI) 高性能 HP LaserJet プリンタや多機能周辺装置 (MFP) など、一部のプリンタのアクセサリ。大容量給紙機能を提供します。

大容量排紙 HCO (High-capacity output) のこと。一部のプリンタのアクセサリで、複数のトレイやメールボックスに排紙することができます。

タスク バー HP Web Jetadmin の各ページにあり、作業するタスクを選択するためのドロップダウン リストやテキスト ボックスが表示される領域。

試し刷り後、保留 ジョブ保有オプション。ユーザーは複数コピー プリント ジョブのいずれかのコピーを試し刷りのために印刷することができます。その後、残りのコピーを印刷するか、キャンセルすることができます。

次へ 一般的なブラウザで、既に表示した次のページを表示する機能。「次へ」は、「戻る」を使用してページを移動した場合や、ブックマークやお気に入りのほかのページを選択した場合にのみ使用することができます。

テスト ページ 埋め込みテスト ページの印刷。

デバイス アドレス情報テーブル デバイスの IPX/SPX 名、IP アドレス、ハードウェア アドレス、および説明を含む一覧。HP Web Jetadmin ではこの情報が [デバイス ステータス] ページに表示されます。

デバイスアプリケーション プリンタなどの周辺デバイスにインストールされ、そのデバイスに機能を追加するアプリケーション。

デバイス キャッシュ HP Web Jetadmin によってネットワーク上で検出されたデバイスに関する情報を保存するファイル。Web ブラウザでは、デバイス キャッシュの外のデータより中のデータにすばやくアクセスできるため、ネットワーク トラフィックが軽減されます。

デバイス グループ デバイスやその他のリソースの集合。場所や、ワークグループ、所有者、またはその他の識別情報を使用して、デバイスをグループに分けることができます。

デバイス グループの所有者 デバイス グループの管理者。管理者がデバイス グループの所有者になることもあります。

デバイス グループのパスワード 管理者またはデバイス グループの所有者が設定する、デバイス グループのパスワード。パスワードを設定してある場合、デバイス グループへの変更が試みられるたびに、HP Web Jetadmin はユーザーに対してパスワードの入力を求めます。

デバイス グループのページ デバイス グループに属するすべてのデバイスのリスト。デバイス名、IP ホスト名、および IP アドレスなどの情報を含みます。デバイス グループのページを HP Web Jetadmin のホーム ページとして指定することができます。

デバイス ステータス ページ ステータス、モデル名、アドレス、性能など、デバイスの情報を表示するページ。

デバイス プリンタやスキャナなど、ネットワークに接続できる周辺デバイス。デバイスは通常、HP Web Jetadmin が管理するデバイスの 1 つを指します。標準プリンタ MIB に準拠したプリンタや、HP Jetdirect プリント サーバー、HP ネットワーク スキャナなどが含まれます。「[デバイス グループ](#)」も参照。

デバイスのコントロール パネル メッセージ 印字可、パワーセーブ オンなどのデバイスのステータス。HP Web Jetadmin では、デバイスのコントロール パネル メッセージが **[デバイス ステータス]** ページに表示されます。

デバイスの削除 デバイス グループからのデバイスの削除。

デバイスの信号 デバイスの現在のステータスを表す 3 種類のイメージ。

- 赤 - ユーザーの介入が必要なエラー状態が発生したことを意味します。
- 黄 - デバイスがオフラインであるか、クリティカルではないエラーが発生したが、ジョブは印刷できることを意味します。
- 緑 - デバイスがオンラインで待機中であることを意味します。

デバイスのステータス アイコン 「[デバイスの信号](#)」を参照。

デバイスのステータス デバイスの現在の動作状態。

デバイスのステータス メッセージ デバイスのステータス。オンライン、オフライン、用紙切れやプリンタの通信エラーなど。

デバイスの性能 カラー印刷、PCL、PostScript、パワーセーブ モードなどのデバイスの機能やオプション。HP Web Jetadmin では、機能は **[デバイス ステータス]** ページに表示されます。

デバイスの説明 場所、オプション、ユーザーなど、現在選択しているデバイスの付加情報。管理者は、デバイスの設定時にデバイスの説明を割り当てます。

デバイス パスワード 特定のデバイスのパスワード。パスワードを設定してある場合、デバイスへの変更が試みられるたびに、HP Web Jetadmin はユーザーに対してパスワードの入力を求めます。

デバイス名 ネットワーク上のデバイスの識別名。デバイス名は、管理者が割り当てます。多くの場合、デバイスの名前は、名前設定に基づいて IP または IPX/SPX 名と組み合わせて付けられます。

デバイス モデル HP LaserJet 4si、HP Deskjet や HP LaserJet 5 などの、デバイスの製品名。

デフォルト あらかじめ定義されたオプションまたは値。通常、デフォルトは一般的なユーザーが使用する値に設定されています。

デフォルトのデバイス グループ ネットワーク管理者は、特定のデバイス グループをデフォルトのデバイス グループとして指定することができます。一般的に、デフォルトのデバイス グループには、よく使用するグループを指定します。便宜上、HP Web Jetadmin では、ユーザーがブラウザで HP Web Jetadmin を起動するたびに、またはユーザーがコンテンツ ツールバーのホーム アイコンをクリックしたときや、ブラウザの **[再読み込み]** または **[更新]** をクリックしたときに、デフォルトのデバイス グループ ページが表示されます。

デフォルト表示 HP Web Jetadmin の定義済み表示。デバイスのモデル、ハードウェア アドレス、ポート番号、IP アドレス、IP ホスト名、および IPX 名が表示されます。

トナー ゲージ トナー カートリッジに残っているトナーの量を表す画像。トナー ゲージは、**[デバイス ステータス]** ページと **[デバイス 診断]** ページに表示されます。この機能は、最近のプリンタでのみ使用可能です。

トラフィック ネットワークのコミュニケーション リンク上で処理されているアクティビティの量。一般的なネットワーク トラフィック、またはブロードキャストは、ネットワーク上のすべてのデバイスに送信されます。宛先指定のネットワーク トラフィックでは、指定したデバイスに送信されます。

内蔵 Web サーバー 完全にデバイスに組み込まれているサーバー。内蔵 Web サーバーは、デバイスの管理情報を提供します。小規模のネットワーク内で、1 つのデバイスを管理するのに適しています。Web ブラウザを使用して内蔵 Web サーバーにアクセスすると、ネットワーク ユーザーは、ネットワーク プリンタ ステータス アップデートの取得、簡単なトラブルシューティングの実行、デバイス設定の変更、オンライン カスタマ サポートへのアクセスなどを実行できます。多数のネットワーク デバイスを管理する場合は、HP Web Jetadmin などの統合 Web サーバー管理ツールの使用が適しています。

バージョン情報ページ HP Web Jetadmin のバージョン、ライセンス、および著作権などの情報のリスト。

ハードウェア アドレス 製造元がネットワーク インタフェース カードに割り当てる固有のアドレス。MAC (Media Access Control) アドレスとも呼ばれます。

背景 一般的なブラウザで、Web ページの背景として表示される色や画像。

バインダリ プリンタ情報を保存するための Novell 社のフラット データベース モデル。

パスワード セキュリティ保護されたシステムやデバイスにアクセスするために必要な文字と数字の組み合わせ。既存のパスワードの変更または削除、デバイスの設定の変更、HP Web Jetadmin ソフトウェアの変更を行うには、ユーザーは現在のパスワードを知っている必要があります。

パッケージ HP Web Jetadmin に特定の機能を提供するファイルの集合。たとえば、言語パッケージには、その言語のサポートを追加するために必要なすべてのファイルが含まれ、デバイス パッケージには、そのデバイスのサポートを追加するために必要なすべてのファイルが含まれます。

バッチ設定 「[アセットの表示](#)」を参照。

パッチ HP Web Jetadmin の現在のソフトウェア コンポーネント内の問題に対処するように設計された、特定のパッケージに含まれるファイルのサブセット。

パラメータ 電子メール設定や内蔵 Web サーバー言語などの、プリンタの設定オプション。

パラレル ハンドシェーク HP Jetdirect 外付けプリント サーバーとプリンタ間で使用される、通信プロトコル、またはハンドシェーク。Busy のみ、nACK と Busy、または nACK のみを選択することができます。

パラレル モード HP Jetdirect 外付けプリント サーバーが使用するパラレル モードの種類。

表示 表示するデバイスの情報を決めます。次に示す表示の種類を選択することができます。

- [デフォルト表示](#)
- [ステータスの表示](#)
- [詳細表示](#)
- [アセットの表示](#)
- [Jetdirect プリント サーバー](#)
- [ページ カウントの表示](#)
- [エクスポート用表示](#)
- [カスタム表示](#)

ピング ネットワーク上のデバイスに送られる信号。応答が返ってきます。HP Web Jetadmin はディスカバリの間に、デバイスを検索するためにピングします。

ファームウェア ダウンローダ HP Web Jetadmin に統合された、HP Jetdirect プリント サーバーのファームウェアを更新できる機能。ファームウェア ダウンローダは、最新のファームウェアのイメージを HP Web Jetadmin をホスティングするサーバーで検索したり、HP の Web サイトからダウンロードしたりすることができます。HP Download Manager とは異なり、ファームウェア ダウンローダは独立したユーティリティではありません。複数のプラットフォームに対してファームウェアをダウンロードすることができます。さらに、ファームウェア ダウンローダを使用すると、最新のファームウェアのバージョンをユーザーが管理する必要がなくなります。

ファームウェア スタートアップルーチンや、入出力命令などのソフトウェア ルーチン。ROM 内に格納されています。HP Jetdirect プリント サーバーのファームウェアは、ネットワークを介して更新することができます。ファームウェアの更新によって、ハードウェアをアップグレードすることなく、機能の追加や問題の修正などが可能です。

ファイル サーバー ボリューム オブジェクト NDS ツリーでファイル サーバー ボリュームを表す論理オブジェクト。

ファイル サーバー ボリューム NetWare ファイル サーバー ディスク ドライブの物理領域。ファイル サーバー ボリュームはその他のオペレーティング システム内のパーティションと似ています。

複数デバイスの設定 2 つ以上のデバイスの設定を一括して変更する方法。複数のデバイスの選択したフィールドに、同じ値を設定します。

ブックマーク HP Web Jetadmin ページにマークを付けて、あとでそのページにすばやく戻ることができるようにする、コンテンツ ツールバーにあるアイコン。ナビゲーション領域の **【お気に入り】** フォルダを展開すると、ブックマークを付けたページのリストが HP Web Jetadmin に表示されます。

プッシュ デバイスにリモートでソフトウェアをインストールする処理。たとえば、HP Jetdirect プリント サーバーと HP Jetdirect デバイス間の通信を可能にするソフトウェアは、HP Jetdirect プリント サーバーにインストールされます。Windows など、一部のオペレーティング システムでは、HP Web Jetadmin はソフトウェアをプッシュすることができます。

プライベート ジョブ ジョブ保有オプション。個人識別番号を入力して、ユーザーによって解放されるまで保持されるプリント ジョブ。

ブラウザ インターネット上の情報を閲覧することができるアプリケーション ソフトウェア。「[Web ブラウザ](#)」も参照。

フラッシュ メモリ 不揮発性メモリの一種。ブロック単位の消去が可能です。ネットワークを介して、フラッシュ メモリ内の情報を更新することができます。このようにして、HP Web Jetadmin のファームウェア ダウンローダ HP Download Manager が HP Jetdirect プリント サーバー内のファームウェアを更新します。

プリンタ ドライバ Windows システムでプリント ジョブを作成するために必要なソフトウェア。

プリント キューの作成 ネットワーク プリント サーバーにおいて、共有ネットワーク プリンタを作成するために必要な作業。

プリント キュー ユーザーがクライアント ワークステーション上のアプリケーションからプリント ジョブをプリンタに送った後で、プリント ジョブがプリンタに到達するまでに通るパス。

プリント サーバー オブジェクト NDS ツリー内のオブジェクト。NDS ツリーには、特定のプリント サーバーが定義されています。

プリント サーバー ツリー NDS ツリーには、特定のプリント サーバーが定義されています。特定のプリント サーバー オブジェクトにアクセスするには、HP Web Jetadmin ユーザーはオブジェクトの定義されている NDS ツリーにログインする必要があります。つまり、ユーザー ツリーとプリント サーバー ツリーは同じものです。

プリント サーバー ネットワークのプリンタ リソースへのアクセスを制御する管理ソフトウェアが稼働しているネットワーク コンピュータあるいは類似デバイス。プリント サーバーは、ネットワーク上のクライアント ワークステーションでプリンタを使用できるようにします。

プリント サーバー名 NetWare プリント サーバー オブジェクトの名前。

ブロードキャスト ネットワーク上のすべてのデバイスに送信されるメッセージ。ブロードキャスト メッセージは、ネットワークのトラフィックを大幅に増加させますが、長くは続きません。

プロトコル スタック デバイス間のコミュニケーションをコントロールするソフトウェアの集合。同じプロトコル スタックを持つデバイスは、互いに情報をやり取りすることができます。

ページ カウントの表示 HP Web Jetadmin の定義済み表示。デバイスのモデル、IP アドレス、ポート番号、開始日、中間ページ カウント、合計ページ カウントが表示されます。中間ページ カウントは、ページ カウントがゼロにリセットされた後に、プリンタが処理したページ数です。合計ページ カウントは、プリンタのテスト ページに表示されるページ カウントと同じです。一部のプリンタでは **[ページ カウントの表示]** はサポートされていません。表示されている開始時刻は、ホスト コンピュータの時計から取得しています。HP Web Jetadmin が実行されているホスト コンピュータと、ブラウザが実行されているクライアント コンピュータでは、異なるタイム ゾーンを使用している可能性があることに注意してください。

ページ/分 1 分間にデバイスが印刷できるページ数。

ポイントと印刷 共有プリンタをネットワーク上にインストールした後に、すべての Windows ユーザーがその共有プリンタを使用できるようにする機能。共有プリンタのプリンタ ドライバは、共有プリンタにアクセスする Windows コンピュータすべてに自動的にダウンロードされます。

ホーム ページ HP Web Jetadmin を起動したときの最初の画面。管理者はホーム ページとして表示するページを選択できます。

ホストマシン すべてのネットワーク リソースへのアクセスを制御する管理ソフトウェアを実行している、ネットワーク コンピュータ。ホスト コンピュータを使用して、ネットワーク上のクライアント ワークステーションでネットワーク リソースを使用できるようにします。

ホスト名 デバイスに付けられた、わかりやすい名前。デバイスと情報をやりとりする際に IP アドレスを使用する必要がなくなります。ホスト名は、デバイス自体に保存されるか、または DNS などのネーム サーバーで管理されます。

保存ジョブ ジョブ保存機能。一部のプリンタにある、プリント ジョブを保存する機能です。保存したジョブは、必要に応じてプリンタのコントロール パネルから呼び出すことができます。この機能は、フォームや一般的な共有文書などを保存する場合に便利です。

ボリューム コンテキスト NDS ツリー内のコンテキスト。NDS ツリーには、ファイル サーバーのボリューム オブジェクトが定義されています。NetWare システム管理者が、このコンテキストを指定します。

マップ サイトの物理的なレイアウトを表したグラフィック画像。デバイス グループやデバイスの場所がわかります。マップのアイコンをクリックして、デバイスの **[デバイス ステータス]** ページを表示したり、他のマップや、ページ、URL のリンクへジャンプしたりすることもできます。HP Web Jetadmin では、デバイスのステータスを示すダイナミックなマップを表示できます。

マルチキャスト/SLP ブロードキャストのオプション。データ パケットをデバイスの集合に送信し、それぞれ共通の IP アドレスのリسنを行います。マルチキャスト/SLP 検出は、新しい IP アドレスと再接続されたプリンタも含めて検索します。

マルチキャスト ネットワーク上の特定のデバイスに向けたブロードキャスト。マルチキャスト/SLP 検出が SNMP クエリをブロードキャストします。SNMP クエリは、ネットワーク上のすべてのマルチキャスト デバイスに応答するためのクエリーです。

緑の信号 プリンタがオンラインであることを示す表示。

メニュー バー HP Web Jetadmin の各ページで、一連のボタンがあるバー。これらのボタンを使用すると、情報を表示したり特定のタスクを実行するページに移動できます。ボタンは、HP Web Jetadmin で表示されているページによって異なります。たとえば、**[デバイス リスト]** ページを表示している場合は、メニュー バーには以下のボタンが表示されます。**[デバイス]**、**[設定]**、**[更新]**、および **[表示]** です。

モデル スクリプト Linux または UNIX システムでプリント ジョブを作成するために必要なソフトウェア。

戻る 一般的なブラウザで、前のページに戻る機能。

ユーザー コンテキスト NDS ツリー内のコンテキスト。NDS ツリーには、ユーザー オブジェクトが定義されています。NetWare システム管理者は、ユーザー オブジェクトを作成する際に、このコンテキストを決めます。

ユーザー ツリー ユーザー オブジェクトが定義されている NDS ツリー。NetWare システム管理者は、ユーザー オブジェクトの作成や管理を行います。

リフレッシュ 現在の、あるいはキャッシュされた HP Web Jetadmin ページの情報を最新のものに更新します。

リフレッシュ レート HP Web Jetadmin の情報をどれくらいの頻度で自動的に更新するかを制御します。自動リフレッシュ レートを設定すると、ロードの必要がなくても Web サーバーからデータをロードします。したがって、デフォルトの設定では、このオプションは無効となっています。この機能を選択する場合、適切な値は 6 ～ 60 秒です。

ローカル ブロードキャスト TCP/IP や IPX/SPX など、プロトコルを越えた Web サーバーのサブネット ローカルで発生するブロードキャスト。

索引

A

ARP テーブル ディスカバリ
概要 126
使用に関する推奨事項 127
トラブルシューティング 278

B

BOOTP
IP アドレスを自動で割り当て 25
テーブルのエントリ 91

D

Device Application Manager
使用 226
DHCP
IP アドレスを自動で割り当て 25
DLC/LLC 診断情報 223

E

EtherTalk 診断情報 223

F

FAX 設定 220

H

HP Jetadmin
ディスカバリ ファイルのインポート 129
デバイス データベースのインポート 129
HP Jetadmin ディスカバリ ファイルのインポート 129
HP Jetdirect デバイス
パスワード 183
HP Jetdirect 内蔵 Web サーバー
パスワード 183
HP Jetdirect のアラート通知 199

HP Jetdirect ファームウェア
概要 241
HP Jetdirect ファームウェア
Web からのダウンロード 242
更新 243
診断情報 223
セキュリティ 178
HP Jetdirect プリント サーバー
概要 241
HP Jetdirect プリント サーバー
Novell NetWare プリント キューの設定 162
Web からのファームウェアのダウンロード 242
管理方法 41
更新 243
セキュリティのトラブルシューティング 273
HP Web Jetadmin のインストール
概要 39
HP Web Jetadmin のインストール
Windows 44
言語サポート 59
コピー数の決定 28
トラブルシューティング 267
バック エンド 40
要件 43
プラットフォームの選択 27
フロント エンド 40
他にインストールされている 140
HP Web Jetadmin の開始 47
HP Web Jetadmin のカスタマイズ
概要 33
許可リスト 77
言語サポート 59
設定可能な表示 61
テクニカル サポートのリンク 64

デバイスの一時グループと固定グループ 63
プロファイル 62, 81
HP Web Jetadmin の管理 34
HP Web Jetadmin の計画
インストール 32
カスタマイズ 33
サポート Web サイト 35
製品情報 35
操作 34
目標の設定 21
目標の達成 24
HP Web Jetadmin の実装
インストール 32
カスタマイズ 33
サポート Web サイト 35
製品情報 35
操作 34
目標の設定 21
目標の達成 24
HP Web Jetadmin の操作 34
HP Web Jetadmin の停止 47
HP Web Jetadmin の表示 48
HP Web Jetadmin の変更 56
HP 以外のデバイス
検出 111
HTTPS 172
HTTP 設定
許可リスト 77
トラブルシューティング 275
プロキシ 77
ポート 77

I

IPX/SPX ピアツーピア診断情報 223
IPX/SPX プロトコル 193
IPX SAP ブロードキャスト インターバル 236

IPX サービス クエリー ディスカバリ

- 概要 122
- 使用に関する推奨事項 123
- トラブルシューティング 276

IP アドレス

- 自動で割り当て 25
- 手動で割り当て 25

IP 範囲 ディスカバリ

- 概要 130
- 使用に関する推奨事項 131
- トラブルシューティング 278

IPX ブロードキャスト ディスカバリ

- 概要 120
- 使用に関する推奨事項 121
- トラブルシューティング 276

IP ブロードキャスト ディスカバリ

- 概要 120
- 使用に関する推奨事項 121
- トラブルシューティング 276

IP リスト 128

J

JavaScript 196

Java アプレット

- 概要 196
- ポーリング レート 93

Jetdirect の表示 208

L

Linux

- HP Web Jetadmin のアップグレード 45

- HP Web Jetadmin のインストール 45

- HP Web Jetadmin の開始 47

- HP Web Jetadmin の停止 47

- 構成の確認 46

Linux の印刷フィルタ 155

Linux のプリント キュー

- 管理 148
- 計画 150
- 削除 156
- 作成 154
- ソフトウェアのインストール 157
- ソフトウェアの削除 158
- トラブルシューティング 282

M

Management Information Base

- (MIB) 111

MIB II 111

N

NetWare ディレクトリ サービス (NDS)

- 設定のトラブルシューティング 284

NetWare ディレクトリ サービス (NDS)

- 接続 161
- 設定の必要条件 162
- ツリー名 165
- プリント サーバー オブジェクトのコンテキスト 164

NetWare バインダリ ディスカバリ

- 概要 134
- 使用に関する推奨事項 135
- トラブルシューティング 279

NetWare ファイル サーバー ログイン ディスカバリ

- 概要 136
- 使用に関する推奨事項 137
- トラブルシューティング 280

Novell NetWare

- 診断情報 223
- プリンタ オブジェクト名 166
- プリント サーバー オブジェクト名 166

Novell NetWare のプリント サービス

- NDS 接続 161
- 設定の必要条件 162
- バインダリ接続 161

Novell NetWare プリント キュー

- NDS コンテキスト 164
- NDS 接続 161
- NDS ツリー名 165
- NDS プリント サーバー名 165

- 概要 160
- サポート 43
- 設定の必要条件 162
- バインダリ接続 161
- プリンタ オブジェクト名 166

プリント サーバー オブジェクトのコンテキスト 164

プリント サーバー オブジェクト名 166

Novell

NetWare バインダリ ディスカバリ 134

NetWare ファイル サーバー ログイン ディスカバリ 136

P

POP3 219

R

Red Hat の印刷フィルタ

- インストール 155

rhs-printfilters RPM 155

S

SMTP 219

SMTP メール ホスト

- 概要 79
- トラブルシューティング 274

SNMP 181

SNMP コミュニティ名 144

SNMP 設定 90

SNMP トラップ

- SMTP メール ホスト 79

- アラート 98

- 概要 199

- 重複 105

- ポーリングの遅延 99

- ログ ファイル 106

SSL/TLS 172

T

TCP/IP 診断情報 223

TCP/IP プロトコル 193

TFTP 設定 92

U

UNIX のプリント キュー

- 管理 148

- 計画 150

- 削除 156

- 作成 154

W

- Web サーバー
 - 概要 40
 - 構成 42
- Web サーバーの構成 42
- Web サーバー、内蔵および統合 197
- Web ブラウザ
 - 言語の指定 60
 - 高セキュリティ環境 27
 - サポート 43
 - 製品独自のセキュリティ 7
 - トラブルシューティング 271
 - フロントエンド 40
- Web リダイレクタ機能 198
- Windows NT ドメインの認証 175
- Windows
 - HP Web Jetadmin のインストール 44
 - HP Web Jetadmin の開始 47
 - HP Web Jetadmin の停止 47
- Windows のプリント キュー
 - 管理 148
 - 計画 150
 - 削除 156
 - 作成 154
 - ソフトウェアのインストール 157
 - ソフトウェアの削除 158
 - トラブルシューティング 282
- Windows プリンタ ドライバ 155

あ

- アクセス コントロール リスト (ACL) 186
- アクティビティ ログ 226, 227
- アセットの表示 208
- 新しいデバイスをリスン ディスカバリ
 - 概要 138
 - 使用に関する推奨事項 139
 - トラブルシューティング 280
- アプリケーション プラグイン
 - インストール 67
 - 削除 68
 - ファイルのアップロード 71
- アプリケーション マネージャ 226

アプレット、Java

- 概要 196
 - ポーリング レート 93
- ## アラート
- SMTP メール ホスト 79
 - 概要 97, 199
 - 構成 102
 - 自動設定 253
 - 重複 105
 - 通知電子メール 103
 - デバイスの選択 102
 - 電子メール メッセージ形式 103
 - トラップ サーバーのポート番号 98
 - 内蔵 Web サーバー 100
 - プロファイルのカスタマイズ 85
 - ポーリングの遅延 99
 - ログ ファイル 106
- ## アラートのポーリングの遅延 99
- ## アラート メッセージの内容 200
- ## 暗号化レベル 172

い

- 一時デバイス グループ 63
- 一覧表領域 54
- 一般ネットワーク設定 89
- 印刷可能なマニュアル 16
- 印刷フィルタ、Linux
 - インストール 155
- インストール結果 229
- インストール ページ 228
- インタフェース、ユーザー
 - 概要 52
- インテリジェント更新機能 66
- インポート ファイルの設定 238

え

- エクスポート用表示 208

お

- オブジェクト名、バインダリ 161
- オペレーティング システム
 - インストールの要件 43
 - サポート 5
 - 選択のガイドライン 27
 - トラブルシューティング 270

か

- ガイドライン
 - インストール プラットフォームの選択 27
 - ディスカバリ方法の選択 116
- カスタム表示 209
- 画面解像度、推奨設定 43
- カラー パレット、推奨設定 43
- 監視デバイス アラート
 - 概要 54
 - プロファイルのカスタマイズ 85
- 管理者情報 76
- 管理者プロファイル
 - パスワード 83

き

- 機能
 - 時間の節約 4
 - 実装目標別の分類 21
 - 使いやすさ 3
- 疑問符アイコン 55
- キャッシュ
 - エントリのエージング 225
 - クリア 225
 - 保存される情報の量 144
- 共有印刷環境 151
- 許可リスト
 - HP Web Jetadmin 77

く

- クイック デバイス検索 204
- クイック デバイス検索のオプション 204
- クリティカル デバイス アラート
 - 概要 54
 - プロファイルのカスタマイズ 85
- グループ、デバイス
 - 一時 63
 - 概要 247
 - 管理 246
 - 固定 63
 - サイト マップ 257
 - サイト マップの割り当て 260
 - 作成 248
 - サブグループ 254
 - 実装のガイドライン 30
 - ステータスのリフレッシュ 255

- パスワード 249
- バッチ設定 237
- プロパティ 248
- 保守 250
- け**
- 経営上の決定 21
- 結果
 - インストール 229
 - 削除 230
- 言語サポート 59
- 言語
 - Web ブラウザでの指定 60
 - 追加と削除 69
 - 表示の一貫性 60
- こ**
- 更新の通知、有効化 70
- 固定デバイス グループ 63
- コミュニティ名 144
- コンテキスト ヘルプ
 - 概要 15
 - プロファイルのカスタマイズ 85
- コンテキスト ヘルプ領域 55
- コンテキスト、NDS 164
- コンテンツ タイトル バー 55
- コンテンツ ツールバー 55
- コンテンツ領域 54
- コントロール パネル、プリンタ
 - ロック 184
- コントロール リスト、アクセス 186
- さ**
- サードパーティのデバイス
 - 検出 111
 - サポート 9, 193
- サーバー、HP Web Jetadmin
 - 同期化 80
- サーバーのページ、内蔵
 - Web 201
- サーバー、Web
 - 概要 40
 - 構成 42
 - 内蔵および統合 197
- サイト マップ
 - アップロード 259
 - 概要 257
 - 管理 256
- 作成 258
- 使用のガイドライン 258
- デバイス グループへの割り当て 260
- トラブルシューティング 287
- ネスト 263
- 表示 262
- 保守 261
- サイト マップのネスト 263
- 削除ページ 229
- サブグループ
 - 概要 254
 - マップのネスト 263
- サポート Web サイト 35
- サポートされるデバイス
 - サードパーティ 193
 - レガシー 193
- サポートする周辺装置 5
- サポートするネットワーク周辺装置 5
- サポートのリンク
 - 概要 64
- し**
- 資格証明ストレージ 190
- 時間の節約に関する機能 4
- システム依存タスク 21
- 事前設定キャッシュ レベル 144
- 事前の更新、有効化 70
- 実装のプロジェクト チーム 24
- 実装プロジェクト チーム 24
- 指定アドレス ディスカバリ
 - 概要 128
 - 使用に関する推奨事項 129
 - トラブルシューティング 278
- 詳細 ディスカバリ オプション 144
- 詳細表示 208
- 状態 227
- 証明書 172
- 使用量メーター 223
- ジョブ ID 227
- ジョブの状態 227
- 所有者 227
- 診断ページ 223
- す**
- ステータスの表示 208
- ステータス ページ 216
- せ**
- 製品概要 3
- 製品情報 35
- 製品独自のセキュリティ 7
- 製品の概要 3
- 製品の使用 226
- セキュリティ
 - HP Jetdirect プリント サーバーのトラブルシューティング 273
 - 概要 6
 - 許可リスト 77
 - 計画を立てる 28
 - 資格証明ストレージ 190
 - 製品独自 7
 - デバイス グループのパスワード 249
 - トラブルシューティング 272
 - ネットワーク 168, 187
 - プロファイルのパスワード 83
- 接続
 - NDS 161
 - Bindery (バインダリ) 161
- 設定可能なアラート 97
- 設定可能な表示 61
- 設定コミュニティ名 180
- 設定の必要条件
 - Novell NetWare プリント キュー 162
- セットアップ ウィザード 49
- セットアップ ガイド 17
- 前提条件
 - インストール 43
 - ネットワーク情報 24
- そ**
- ソフトウェア コンポーネント
 - インストール 67
 - 削除 68
 - ファイルのアップロード 71
- た**
- ダウンロード
 - HP Web Jetadmin 43
 - Web からの HP Jetdirect ファームウェア 242
 - デバイス ファームウェア 242
- 多言語環境
 - 概要 59
 - 利点 60

ち

注意デバイス アラート

概要 54

プロファイルのカスタマイズ 85

重複デバイス アラート 105

直接印刷環境 150

つ

通知電子メール、アラート 103

使いやすさ 3

ツリー名、NDS 165

て

定義済みのデバイス リスト表示 208

ディスカバリ

HP Jetadmin ディスカバリ ファイルのインポート 129

SNMP 対応デバイス 116

SNMP コミュニティ名 144

概要 109

管理 143

起動 145

サードパーティのデバイス 111

事前設定キャッシュ レベル 144

詳細オプション 144

スケジュール 146

デバイス キャッシュ エントリのエージング 225

デバイスキャッシュのクリア 225

トラブルシューティング 276

ネットワーク通信タイムアウト値 144

ネットワーク トラフィック 114

方針の計画 115

ホスト ファイルの作成 129

ディスカバリのスケジュールリング 146

ディスカバリのトラフィック 114

ディスカバリ方法

ARP テーブル 126

IPX サービス クエリー 122

IPX ブロードキャスト 120

IP 範囲 130

IP ブロードキャスト 120

NetWare バインダリ 134

NetWare ファイル サーバー ログイン 136

新しいデバイスをリスン 138

指定アドレス 128

選択のガイドライン 116

デフォルト 113

トラブルシューティング 276

他にインストールされている

HP Web Jetadmin 140

マルチキャスト/SLP 124

要約 112

リモート ディスカバリ エージェント (RDA) 132

適用ボタン 56

テクニカル サポートのリンク

概要 64

デジタル送信 220

デバイス アプリケーション

インストール 228

削除 229

リスト 227

デバイス アラート

SMTP メール ホスト 79

概要 199

選択 102

重複 105

トラップ サーバーのポート番号 98

プロファイルのカスタマイズ 85

ポーリングの遅延 99

ログ ファイル 106

デバイス キャッシュ エントリのエージング 225

デバイス キャッシュ

エントリのエージング 225

クリア 225

保存される情報の量 144

デバイスキャッシュのクリア 225

デバイス グループ

アラート 253

一時 63

概要 247

管理 246

固定 63

サイト マップ 257

サイト マップの割り当て 260

作成 248

サブグループ 254

実装のガイドライン 30

ステータスのリフレッシュ 255

パスワード 249

バッチ設定 237

プロパティ 248

保守 250

デバイス グループのバッチ設定 237

デバイス グループ表示

プロファイルのカスタマイズ 86

デバイス

HP Jetdirect のアラート通知 199

JavaScript 196

Java アプレット 196

SNMP 設定 90

Web リダイレクタ機能 198

アラートのログ ファイル 106

概要 193

確認 225

管理 214

クイック検索 204

検索 203

サードパーティ 193

サードパーティの検出 111

サポート 5

使用量メーター 223

診断情報 223

ステータス ページ 216

統合 Web サーバー 197

統合化 URL 198

トナー ゲージ 216

トラブルシューティング 285

内蔵 Web サーバー ページ 201

内蔵 Web サーバー 197

複数の設定 235

リセット 232

リダイレクト URL 198

レガシー サポート 193

デバイスの検索 203

デバイスの内蔵 Web サーバー

セキュリティ 185

パスワード 183

デバイス ファームウェア

概要 241

- デバイス リスト
 - 印刷 213
 - エクスポート 212
 - 概要 207
 - カスタム表示 209
 - 検索 205
 - ソート 211
 - 定義済みの表示 208
 - フィルタ 210
- デバイス リストの印刷 213
- デバイス リストのエクスポート 212
- デバイス リストのソート 211
- デバイス リストのフィルタ 210
- デバイス リスト表示
 - カスタム 209
 - 定義済み 208
 - プロファイルのカスタマイズ 86
- デバイス、HP Jetdirect パスワード 183
- デバイス、設定 218, 238
- デフォルトのディスカバリ方法 113
- デフォルト表示 208
- デフォルト プロファイル 82

と

- 統合 Web サーバー 197
- 統合化 URL 198
- トナー ゲージ 216
- ドメイン名 219
- ドライバ、プリンタ
 - 管理計画を立てる 30
- トラップ、SNMP
 - アラート 98
 - ポーリングの遅延 99
- トラップ サーバーのポート番号 98
- トラップ、SNMP
 - SMTP メール ホスト 79
 - 概要 199
 - 重複 105
 - ログ ファイル 106
- トラブルシューティング
 - HP Jetdirect プリント サーバーのセキュリティ 273
 - HTTP 設定 275
 - NDS の設定 284
 - SMTP メール ホスト 274

- Web ブラウザ 271
- インストール 267
- オペレーティング システム 270
- サイト マップ 287
- セキュリティ 272
- ディスカバリ方法 276
- デバイス 285
- プリンタ ドライバ 269
- プリント キュー 282

な

- 内蔵 Web サーバー (EWS) の設定 219
- 内蔵 Web サーバー、デバイスアラート 100
- 内蔵 Web サーバー ページ 201
- 内蔵 Web サーバー、HP Jetdirect パスワード 183
- 内蔵 Web サーバー、デバイスセキュリティ 185
- パスワード 183
- 内蔵 Web サーバー 197
- ナビゲーション領域
 - 概要 53
 - プロファイルのカスタマイズ 85, 86

に

- 認証方法 175

ね

- ネットワーク管理者、利点 8
- ネットワーク セキュリティ 168, 187
- ネットワーク通信タイムアウト値 144
- ネットワークでのデバイスの検索 108, 118
- ネットワーク トラフィック、ディスカバリ 114
- ネットワークの宛先指定トラフィック 114
- ネットワークの一般トラフィック 114
- ネットワークの検索 108, 118
- ネットワークへの統合 5
- ネットワーク ユーザー、利点 11

は

- ハードウェア インストールの要件 43
- バイナリ
 - オブジェクト名 161
 - 接続 161
 - 設定の必要条件 162
 - ディスカバリ 134
- パスワード
 - HP Jetdirect デバイス 183
 - HP Jetdirect 内蔵 Web サーバー 183
 - デバイス グループ 249
 - デバイスの内蔵 Web サーバー 183
 - プロファイル 83
- バックアップ
 - 計画を立てる 29
- バック エンド
 - 概要 40
 - 構成 42
- バックグラウンド ディスカバリ起動 145
- パッケージのアップロード 71
- バッチ デバイス設定 238
- バッチ
 - インストール 67
 - 削除 68
 - ファイルのアップロード 71

ひ

- 非システム依存タスク 21
- ビジネス上の決定 21
- ビジネスの目標 24
- 要件
 - インストール 43
 - ネットワーク情報 24
- 必要なネットワーク情報 24
- 標準プリンタ MIB 111
- 表示、設定可能 61
- 表示、デバイス グループ
 - プロファイルのカスタマイズ 86
- 表示、デバイス リスト
 - カスタム 209
 - 定義済み 208
 - プロファイルのカスタマイズ 86

- 表示
 - アクティビティ ログ 226
 - デバイスごとのデバイス アプリケーション 227
- 頻繁に寄せられる質問 288, 289
- ふ
 - ファームウェアの更新 244
 - ファームウェア
 - デバイス 242
 - ファームウェア、HP Jetdirect
 - 概要 241
 - ファームウェア、HP Jetdirect
 - Web からのダウンロード 242
 - 更新 243
 - 診断情報 223
 - セキュリティ 178
 - フィルタ ツール 210
 - フィルタ、保存 210
 - 複数デバイスの設定 235
 - ブックマーク アイコン 55
 - ブラウザ
 - 言語の指定 60
 - 高セキュリティ環境 27
 - サポート 43
 - 製品独自のセキュリティ 7
 - トラブルシューティング 271
 - フロントエンド 40
 - ブラウズ可能なヘルプ 14
 - プラットフォーム
 - サポート 5
 - 選択のガイドライン 27
 - トラブルシューティング 270
 - プリンタ オブジェクト名
 - Novell NetWare プリント キュー 166
 - プリンタ ドライバ
 - 管理計画を立てる 30
 - トラブルシューティング 269
 - プリンタ ドライバ、Windows
 - インストール 155
 - プリンタ ファームウェアの更新 244
 - プリンタ
 - コントロール パネルのロック 184
 - プリント キューのサポート 5
 - プリント キュー
 - Linux の印刷フィルタ 155
 - Windows プリンタ ドライバ
 - 155
 - 管理 148
 - 共有印刷 151
 - 計画を立てる 24
 - 計画 150
 - 削除 156
 - 作成 154, 222
 - サポートされているオペレーティング システム 5
 - ソフトウェアのインストール 157
 - ソフトウェアの削除 158
 - 直接印刷 150
 - ホスト コンピュータ 153
 - プリント キュー、Linux
 - 管理 148
 - 計画 150
 - 削除 156
 - 作成 154
 - ソフトウェアのインストール 157
 - ソフトウェアの削除 158
 - トラブルシューティング 282
 - プリント キュー、Novell NetWare
 - NDS コンテキスト 164
 - NDS 接続 161
 - NDS ツリー名 165
 - 概要 160
 - サポート 43
 - 設定の必要条件 162
 - バインダリ接続 161
 - プリンタ オブジェクト名 166
 - プリント サーバー オブジェクトのコンテキスト 164
 - プリント サーバー オブジェクト名 166
 - プリント キュー、UNIX
 - 管理 148
 - 計画 150
 - 削除 156
 - 作成 154
 - プリント キュー、Windows
 - 管理 148
 - 計画 150
 - 削除 156
 - 作成 154
 - ソフトウェアのインストール 157
 - ソフトウェアの削除 158
 - トラブルシューティング 282
 - プリント サーバー オブジェクトのコンテキスト 164
 - プリント サーバー オブジェクト名
 - Novell NetWare プリント キュー 166
 - プリント サーバー、HP Jetdirect
 - 概要 241
 - プリント サーバー、HP Jetdirect
 - Novell NetWare プリント キューの設定 162
 - Web からのファームウェアのダウンロード 242
 - 管理方法 41
 - 更新 243
 - セキュリティのトラブルシューティング 273
 - プリント サービス、Novell NetWare
 - NDS 接続 161
 - 設定の必要条件 162
 - バインダリ接続 161
 - プリント ジョブ管理機能 3
 - ブロードキャスト トラフィック 114
 - プロキシ、HTTP 77
 - プロトコル スタック
 - 複数デバイスの設定 236
 - プロトコル
 - IPX/SPX 193
 - TCP/IP 193
 - サポート 5
 - 選択 25
 - 未使用のプロトコルの無効化 182
 - プロファイルの更新 82
 - プロファイルの削除 82
 - プロファイルの追加 82
 - プロファイル
 - 管理者の URL 76
 - 管理者名 76
 - 許可 84
 - 更新 82
 - コンテキスト ヘルプ 85
 - 削除 82
 - 追加 82
 - デバイス アラート 85
 - デフォルト 82

デフォルトのデバイス グループ
表示 86
デフォルトのデバイス リスト表
示 86
デフォルトのナビゲーション領
域の表示 86
デフォルトのホーム ペー
ジ 86
認証方法 176
パスワード 83
編集機能 84
フロントエンド 40

へ

ページ カウントの表示 208
ページ
アクティビティ ログ 226
インストール 228
インストール結果 229
削除結果 230
削除 229
デバイス テスト 231
プリント ジョブ 224
リスト 227
ページ レイアウト 53
ヘルプ アイコン 55
ヘルプ デスク、利点 10
ヘルプ、コンテキスト
概要 15
プロファイルのカスタマイ
ズ 85
ヘルプ、ブラウズ可能 14
編集機能
プロファイルのカスタマイ
ズ 84

ほ

ポイントと印刷 155
方針
セキュリティ 28
ディスカバリ 115
バックアップ 29
プリンタ ドライバの管理 30
プリント キューの作成 24
ポート
HTTP 77
バンゴウ、トラップ サーバ
ー 98
ホーム アイコン 55

ホーム ページ
プロファイルのカスタマイ
ズ 86
ホスト コンピュータ
同期化 80
複数の 153
ホスト ファイル
作成 129

ま

マップ、サイト
アップロード 259
概要 257
管理 256
作成 258
使用のガイドライン 258
デバイス グループへの割り当
て 260
トラブルシューティング 287
ネスト 263
表示 262
保守 261
マニュアル
印刷可能なマニュアル 16
コンテキスト ヘルプ 15
表記規則 iii
ブラウズ可能なヘルプ 14
マルチキャスト/SLP ディスカバリ
概要 124
使用に関する推奨事項 125
トラブルシューティング 277

め

メール サーバー、設定 102
メール ホスト、SMTP
トラブルシューティング 274

も

目標、実装
設定 21
達成 24

ゆ

ユーザー インタフェース
概要 52

よ

用語集 301

り

リスト ページ 227
リスト、デバイス
印刷 213
エクスポート 212
概要 207
カスタム表示 209
ソート 211
定義済みの表示 208
フィルタ 210
リセット、デバイス 232
リダイレクト URL 198
利点
多言語環境 60
ネットワーク管理者 8
ネットワーク ユーザー 11
ヘルプ デスク 10
リフレッシュ アイコン 55
リモート サブネット ディスカバ
リ 132
リモート ディスカバリ エージェン
ト (RDA) ディスカバリ
概要 132
使用に関する推奨事項 133
トラブルシューティング 279

れ

レガシー デバイスのサポー
ト 193

ろ

ローカル ブロードキャスト ディス
カバリ
IPX サービス クエリー 122
IPX ブロードキャスト 120
IP ブロードキャスト 120
トラブルシューティング 276
ログ ファイル、アラート 106

